別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画									
事項		記入欄							備考
計画の区分		研究科等連係課程実施基本組織の設置　（研究科の設置）							
フリガナ 設置者		コクリツダイガクホウジン　ナガサキダイガク 国立大学法人　長崎大学							
フリガナ 大学の名称		ナガサキダイガクダイガクイン 長崎大学大学院　(Graduate school of Nagasaki University)							
大学本部の位置		長崎県長崎市文教町1番14号							
大学の目的		長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ，豊かな心を育み，地球の平和を支える科学を創造することによって，社会の調和的発展に貢献するとの理念に基づき，実践的問題解決能力と政策立案能力を有し国際的問題及び地域の諸課題を解決しうる高度専門職業人並びに豊かな創造的能力を有し先導的知を創生しうる研究者を養成し，もって広く人類に貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的		学際的な教育・研究を通して，人間社会と地球・生態系の共存を主要な課題とするプラネタリーヘルスの実現に貢献できる人材の養成を目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次 人	人		年　月 第　年次		
	研究科等連係課程実施基本組織								研究科等連係課程実施基本組織
	プラネタリーヘルス学環 [Interfaculty Initiative in Planetary Health]	3	5	—	15	博士（公衆衛生学） 【Doctor of Public Health】	令和4年10月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）
	連係協力研究科（Ⅰ）								
	多文化社会学研究科 [Graduate School of Global Humanities and Social Sciences]								
	多文化社会学専攻 [Department of Global Humanities and Social Sciences]	3	3	—	9	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】	令和2年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	学位の分野： 文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係
	多文化社会学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				
	連係協力研究科（Ⅱ）								
	経済学研究科 [Graduate School of Economics]								
	経営意思決定専攻 [Department of Managerial Decision Making]	3	3	—	9	博士（経営学） 【Doctor of Business Administration】	平成16年4月 第1年次	長崎県長崎市片淵4丁目2番1号	学位の分野： 経済学関係
	経営意思決定専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				
	連係協力研究科（Ⅲ）								
	工学研究科 [Graduate School of Engineering]								
	生産システム工学専攻 [Department of Science and Technology]	3	15	—	45	博士（工学） 【Doctor of Philosophy in Engineering】	平成23年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	学位の分野： 工学関係
	生産システム工学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				

	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	備考
		年	人	年次 人	人		年 月 第 年次		
新	連係協力研究科（Ⅳ）								
	水産・環境科学総合研究科 [Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences]					博士（水産学） 【Doctor of Philosophy in Fisheries Science】			
	環境海洋資源学専攻 [Department of Environment and Fisheries Resources]	3	12	—	36	博士（環境科学） 【Doctor of Philosophy in Environmental Science】	平成23年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	学位の分野： 農学関係 文学関係 法学関係 経済学関係
設	環境海洋資源学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】			
	連係協力研究科（Ⅴ）								
	医歯薬学総合研究科 [Graduate School of Biomedical Sciences]								
学						博士（学術） 【Doctor of Philosophy】			
	医療科学専攻 [Medical and Dental Sciences]	4	60	—	240	博士（医学） 【Doctor of Philosophy in Medical Science】	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係 歯学関係 薬学関係
	医療科学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0	博士（歯学） 【Doctor of Philosophy in Dental Science】			
部						博士（薬学） 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】			
						博士（学術） 【Doctor of Philosophy】			
	新興感染症病態制御学系専攻 [Infection Research]	4	20	—	80	博士（医学） 【Doctor of Philosophy in Medical Science】	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係 歯学関係 薬学関係
等	新興感染症病態制御学系専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0	博士（歯学） 【Doctor of Philosophy in Dental Science】			
						博士（薬学） 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】			
の						博士（学術） 【Doctor of Philosophy】			
	放射線医療科学専攻 [Life Sciences and Radiation Research]	4	5	—	20	博士（医学） 【Doctor of Philosophy in Medical Science】	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係 歯学関係 薬学関係
概	放射線医療科学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0	博士（歯学） 【Doctor of Philosophy in Dental Science】			
						博士（薬学） 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】			
	先進予防医学共同専攻 [Division of Advanced Preventive Medical Sciences]	4	10	—	40	博士（医学） 【Doctor of Medicine】	平成28年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係
要	先進予防医学共同専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				

	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	備考
		年	人	年次 人	人		年 月 第 年次		
新設学部等の概要	連係協力研究科（VI） 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 [School of Tropical Medicine and Global Health]								
	グローバルヘルス専攻 [Department of Global Health]	3	10	—	30	博士（グローバルヘルス） 【Doctor of Philosophy】	平成30年10月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）
	グローバルヘルス専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		5	—	15				
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻 [Nagasaki University-London School of Hygiene & Tropical Medicine Joint PhD Programme]	3	5	—	15	博士（グローバルヘルス） 【Doctor of Philosophy】	平成30年10月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				
	計	—	—	—	—				

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	水産・環境科学総合研究科 海洋フィールド生命科学専攻 （博士課程（５年一貫制））（廃止） （△５） ※令和４年４月 学生募集停止 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 （博士後期課程） ［定員増］ （ ５） （令和４年１０月）

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
	プラネタリーヘルス学環	８ 科目	１ 科目	１ 科目	１０ 科目	１５ 単位

	学部等の名称		専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
			人	人	人	人	人	人	人
教員組織の概要	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環								
	新設	連係協力研究科（Ⅰ） 多文化社会学研究科 多文化社会学専攻							
		連係協力研究科（Ⅱ） 経済学研究科 経営意思決定専攻							
		連係協力研究科（Ⅲ） 工学研究科 生産システム工学専攻							
		連係協力研究科（Ⅳ） 水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	＜4＞ 【20】 (24)	＜2＞ 【12】 (14)	＜0＞ 【0】 (0)	＜1＞ 【2】 (3)	＜7＞ 【34】 (41)	＜0＞ 【0】 (0)	＜0＞ 【8】 (8)
		連係協力研究科（Ⅴ） 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻							
		連係協力研究科（VI） 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻							
	分	計	24 (24)	14 (14)	0 (0)	3 (3)	41 (41)	0 (0)	8 (8)

（注）

＜＞内は，研究科等連係課程実施基本組織のみに従事する専任教員数。

【 】内は，研究科等連係課程実施基本組織と連係協力研究科等を兼ねる専任教員数。

	学部等の名称		専任教員等 教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等	備考
教員組織の概要	既設分	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	16 【2】 (16)	20 【4】 (14)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	36 【6】 (30)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	(注) 【 】内は，研究科等連係課程実施基本組織と連係協力研究科等を兼ねる専任教員数。
		経済学研究科 経営意思決定専攻	11 【2】 (12)	16 【1】 (13)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	27 【3】 (25)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
		工学研究科 生産システム工学専攻	28 【1】 (28)	41 【3】 (41)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	69 【4】 (69)	0 【0】 (0)	16 【0】 (16)	
		水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	33 【1】 (42)	42 【1】 (36)	0 【0】 (0)	6 【0】 (3)	81 【2】 (81)	0 【0】 (0)	6 【0】 (6)	
		医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	77 【1】 (77)	52 【0】 (52)	12 【0】 (12)	15 【0】 (15)	156 【1】 (156)	0 【0】 (0)	112 【0】 (112)	
		新興感染症病態制御学系専攻	25 【3】 (25)	8 【0】 (8)	1 【0】 (1)	0 【0】 (0)	34 【3】 (34)	0 【0】 (0)	222 【0】 (222)	
		放射線医療科学専攻	6 【1】 (6)	2 【0】 (2)	0 【0】 (0)	2 【0】 (2)	10 【1】 (10)	0 【0】 (0)	213 【0】 (213)	
		先進予防医学共同専攻	29 【2】 (29)	15 【0】 (15)	5 【0】 (5)	13 【0】 (13)	62 【2】 (62)	0 【0】 (0)	2 【0】 (12)	
		熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	12 【7】 (12)	9 【3】 (9)	0 【0】 (0)	10 【2】 (10)	31 【12】 (31)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】 人数：1名 職名：助教 所属：熱帯医学研究所
		計	237 (247)	205 (190)	18 (18)	46 (43)	506 (498)	0 (0)	575 (575)	
	合計		24 (24)	14 (14)	0 (0)	3 (3)	41 (41)	0 (0)	8 (8)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計
		人	人	人
	事務職員	470 (470)	657 (657)	1,127 (1,127)
	技術職員	103 (103)	65 (65)	168 (168)
	図書館専門職員	7 (7)	0 (0)	7 (7)
	その他の職員	1,393 (1,393)	723 (723)	2,116 (2,116)
	計	1,973 (1,973)	1,445 (1,445)	3,418 (3,418)

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	272,093 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	272,093 ㎡	借用面積229㎡
	運動場用地	110,819 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	110,819 ㎡	
	小計	382,912 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	382,912 ㎡	
	その他	279,977 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	279,977 ㎡	借用面積3,190㎡
	合計	662,889 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	662,889 ㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
	187,993 ㎡ (187,993 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	187,993 ㎡ (187,993 ㎡)

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	110 室	223 室	482 室	20 室 (補助職員3人)	5 室 (補助職員1人)	大学全体

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	プラネタリーヘルス学環	41 室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	プラネタリーヘルス学環	1,033,000〔296,000〕 (1,018,000〔294,000〕)	25,000〔7,300〕 (24,900〔7,300〕)	27,000〔25,300〕 (24,000〔22,600〕)	6,490 (5,900)	15,301 (15,301)	78 78	プラネタリーヘルス学環に係る数量は特定不能なため，大学全体の数
	計	1,033,000〔296,000〕 (1,018,000〔294,000〕)	25,000〔7,300〕 (24,900〔7,300〕)	27,000〔25,300〕 (24,000〔22,600〕)	6,490 (5,900)	15,301 (15,301)	78 78	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	10,758 ㎡	1,359	959,527	大学全体

体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	12,541 ㎡	弓道場，テニスコート，ハンドボールコート，プール等	大学全体

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	経費の見積り 教員１人当り研究費等								国費による
	経費の見積り 共同研究費等								
	経費の見積り 図書購入費								
	経費の見積り 設備購入費								

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要

既設大学等の状況

大学の名称：長崎大学

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次 人	人		倍			
多文化社会学部									
多文化社会学科	4	100	—	400	学士(多文化社会学)	1.03	平成26年度	長崎市文教町1番14号	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	180	—	840	学士(教育学)	1.00	平成10年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度入学定員減（△60人）
経済学部									
総合経済学科			3年次						
昼間コース	4	265	10	1,080	学士(経済学)	1.02	平成9年度	長崎市片渕4丁目2番1号	
夜間主コース	4	60	5	250					
医学部									
医学科	6	120	2年次 5	743	学士(医学)	1.00	昭和24年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
保健学科	4	106	3年次 10	444	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成13年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
歯学部									
歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	昭和54年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
薬学部									
薬学科	6	40	—	240	学士(薬学)	1.03	平成18年度	長崎市文教町1番14号	
薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	1.04	昭和61年度	長崎市文教町1番14号	
情報データ科学部									
情報データ科学科	4	110	—	330	学士(情報データ科学)	1.02	令和2年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度設置
工学部									
工学科	4	330	—	1,420	学士(工学)	1.02	平成23年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度入学定員減（△50人）
環境科学部			3年次						
環境科学科	4	130	5	530	学士(環境科学)	1.02	平成9年度	長崎市文教町1番14号	
水産学部									
水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.03	昭和48年度	長崎市文教町1番14号	

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
	【研究科】	年	人	年次人	人		倍			
既	多文化社会学研究科									
	(博士前期課程)									
	多文化社会学専攻	2	10	—	20	修士（学術）	1.00	平成30年度	長崎市文教町1番14号	
	(博士後期課程)									
	多文化社会学専攻	3	3	—	6	博士（学術）	1.16	令和2年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度設置
	教育学研究科									
設	(専門職学位課程)									
	教職実践専攻	2	28	—	56	教職修士(専門職)	1.12	平成20年度	長崎市文教町１番14号	
	経済学研究科									
	(博士前期課程)									
	経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学) 修士(経営学)	0.73	平成7年度	長崎市片渕4丁目2番1号	
	(博士後期課程)									
大	経営意志決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.77	平成16年度	長崎市片渕4丁目2番1号	
	工学研究科									
	(博士前期課程)									
	総合工学専攻	2	220	—	440	修士(工学)	0.93	平成23年度	長崎市文教町１番14号	
	(博士後期課程)									
	生産システム工学専攻	3	15	—	45	博士(工学)	0.97	平成23年度	長崎市文教町１番14号	
	(5年一貫制博士課程)									
学	グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	0.52	平成23年度	長崎市文教町１番14号	
	水産・環境科学総合研究科									
	(博士前期課程)									
	水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.85	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	環境科学専攻	2	25	—	50	修士(学術) 修士(環境科学)	1.00	平成27年度	長崎市文教町1番14号	
等	(博士後期課程)									
	環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	0.91	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	(5年一貫制博士課程)									
	海洋フィールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.12	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
の	医歯薬学総合研究科									
	(修士課程)									
	保健学専攻	2	30	—	50	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.10	平成18年度	長崎市坂本1丁目7番1号	令和3年度入学定員増（10人）
	災害・被ばく医療科学共同専攻	2	10	—	20	修士（医科学） 修士（看護学）	0.95	平成28年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
状	(博士課程)									
	医療科学専攻	4	60	—	240	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.16	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
況	新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.77	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	放射線医療科学専攻	4	5	—	20	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.25	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	先進予防医学共同専攻	4	10	—	40	博士(医学)	1.17	平成28年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.88	平成24年度	長崎市文教町1番14号	
	(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.76	平成24年度	長崎市文教町1番14号	
	熱帯医学・グローバルヘルス研究科									
	(博士前期課程) グローバルヘルス専攻	2	37	—	62	修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	0.98	平成27年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	(博士後期課程) グローバルヘルス専攻	3	5	—	15	博士（グローバルヘルス）	1.00	平成30年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	長崎大学―ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	3	5	—	15	博士（グローバルヘルス）	1.00	平成30年度	長崎市坂本1丁目12番4号	

附属施設の概要

（附置研究所）

○熱帯医学研究所
所在地：長崎市坂本１丁目１２番４号
設置年月：昭和２４年５月（昭和４２年６月　風土病研究所から改称）
規模等：土地　３，７４３㎡　　建物　１０，０３１㎡
目　　的：熱帯医学に関する学理及びその応用を研究する。

○原爆後障害医療研究所
所在地：長崎市坂本１丁目１２番４号
設置年月：平成２５年４月
規模等：土地　１，９８６㎡　　建物　４，８４５㎡
目　　的：放射線の人体への影響を国内外のヒバクシャを対象として研究により究明して，人類の安全と安心に寄与する放射線健康リスク評価・管理学を実践し，全人的被ばく医療学を推進するとともに，国際的な放射線被ばく影響の実態調査，ヒバクシャの試料・資料の収集及びデータベースの構築を行う。

（附属病院）

○長崎大学病院
所在地：長崎市坂本１丁目７番１号
設置年月：昭和２４年５月（平成２１年４月　医学部・歯学部附属病院を改組）
規模等：土地　１７，８１２㎡　　建物　８２，２３９㎡
目　　的：患者の診療を通じて医歯薬学関連の教育及び研究を行う。

（附属学校）

目　　的：
(1)教育基本法及び学校教育法に定める教育又は保育を行う。
(2)教育学部における児童若しくは生徒の教育又は幼児の保育に関する研究に協力し，教育学部の計画に従い，学生の教育実習の実施にあたる。
(3)教育の理論的，実証的研究を行うとともに，他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行う。

○教育学部附属幼稚園
所在地：長崎市文教町４番２３号
設置年月：昭和２４年５月
規模等：土地　１，３６４㎡　　建物　１，１４８㎡

○教育学部附属小学校
所在地：長崎市文教町４番２３号
設置年月：昭和２４年５月
規模等：土地　４，２０２㎡　　建物　７，２４０㎡

○教育学部附属中学校
所在地：長崎市文教町４番２３号
設置年月：昭和２４年５月
規模等：土地　３，７１１㎡　　建物　７，６６３㎡

○教育学部附属特別支援学校
所在地：長崎市柳谷町４２番１号
設置年月：昭和４６年４月
規模等：土地　２，４４３㎡　　建物　３，５１８㎡

附属施設の概要	（学部等の附属施設） ○水産学部附属練習船鶴洋丸 設置年月：昭和５０年６月（現船：平成１６年１２月） 規 模 等：アルミニウム合金船　１５５トン　最大搭載人員　３６名 目　　的：航海・漁労実習，海洋環境観測，海洋生物資源調査 ○水産学部附属練習船長崎丸 設置年月：昭和２７年３月（現船：平成３０年３月） 規 模 等：鋼船　１，１３１トン　最大搭載人員　７０名 目　　的：トロール漁業実習，海洋学実習，航海運用実習 ○医歯薬学総合研究科附属先進予防医学研究センター 所 在 地：長崎県五島市三尾野1-7-1 設置年月：平成２９年６月 規 模 等：土地　４，８２６㎡　　建物　３９㎡ 目　　的：長崎大学医歯薬学総合研究科における先進予防医学に関する国内外の研究機関との共同研究の推進に寄与する。 ○医歯薬学総合研究科附属薬用植物園 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：昭和４７年５月（平成１５年４月　薬学部附属施設から医歯薬学総合研究科附属施設へ移行） 規 模 等：土地　２６１㎡　　建物　４４５㎡ 目　　的：園内に薬用植物を栽培し，もって学術研究及び教育に資する。 ○熱帯医学研究所附属アジア・アフリカ感染症研究施設 所 在 地：長崎市坂本１丁目１２番４号 設置年月：平成２０年４月（熱帯感染症研究センターを改組） 規 模 等：土地　２，２３３㎡　　建物　１０５㎡ 目　　的：アジアやアフリカにおける熱帯病・新興再興感染症の発生・拡大に関与する現地長期調査及び複合要因の解析並びに予防制圧に資する研究及び教育を行うことにより，当該分野の学術研究の進展及び人材育成に寄与する。 ○熱帯医学研究所附属熱帯医学ミュージアム 所 在 地：長崎市坂本１丁目１２番４号 設置年月：平成２０年４月（熱帯感染症研究センターを改組） 規 模 等：土地　５５５㎡　　建物　３８２㎡ 目　　的：熱帯医学に関する資料・情報を収集，整理，保存，解析及び提供するとともに，公衆への供覧等を行うことにより，熱帯医学に対する社会の理解を深め，学術研究の進展に寄与する。 ○原爆後障害医療研究所附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター 所 在 地：長崎市坂本１丁目１２番４号 設置年月：平成２６年９月 規 模 等：土地　１，２００㎡　　建物　５１㎡ 目　　的：長崎大学原爆後障害医療研究所における放射線・環境健康影響研究の国内外との共同研究の推進に寄与する。 （学内共同教育研究施設等） ○保健センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：昭和４１年４月（令和３年４月　保健・医療推進センターを改組） 規 模 等：土地　４９４㎡　　建物　５４０㎡ 目　　的：長崎大学の学生及び職員の健康及び安全を守り，予防に努めるとともに，保健・医療分野での医療教育・研究，本学の地域連携及び地域貢献を県及び自治体と連携し，推進する。 ○教育開発推進機構 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成１４年４月（令和２年７月　大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組） 規 模 等：土地　４，０１２㎡　　建物　６７３㎡ 目　　的：長崎大学の教育改善及び入学者選抜に係る支援並びに長崎県内における学校教育，社会教育等の地域教育向上に資するための支援を推進する。 ○ＩＣＴ基盤センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成１６年１２月 規 模 等：土地　７５５㎡　　建物　１，１３７㎡ 目　　的：ＩＣＴを活用した教育研究環境を提供するため，情報政策の企画立案・実施，高度情報化技術に基づく情報基盤の整備，教育の情報化及び情報教育の推進並びに知識情報基盤の整備及び活用支援を行う。 ○言語教育研究センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２４年４月 規 模 等：土地　９１０㎡　　建物　４００㎡ 目　　的：本学における外国語教育に関する教育及び研究を推進するとともに，外国語教育の実施に関する企画運営を行う。	

附属施設の概要	○キャリアセンター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：令和元年４月 規 模 等：土地 ４，６２４㎡　建物 ２５６㎡ 目　　的：長崎大学のキャリア教育・キャリア形成支援の企画，実施及び調査研究並びに就職支援全般に係る業務を学内関係部局及び社会・地域との連携を図りながら実施することにより，学生の主体的なキャリア形成の醸成に全学的に取り組む。 ○障がい学生支援室 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２５年８月 規 模 等：土地 ４３６㎡　建物 ５７㎡ 目　　的：学内の関係部局等と連携を図りながら障がい学生への全学的な支援体制を強化し，もって障がい学生の円滑な修学に寄与する。 ○研究開発推進機構 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成３０年７月 規 模 等：土地 ８，８２１㎡　建物 ２，５７５㎡ 目　　的：全学の学術研究及び産学官連携を推進し，もって長崎大学の教育研究の充実と社会貢献に資する。 ○海洋未来イノベーション機構 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２８年４月 規 模 等：土地 １，３２５㎡　建物 １，６０９㎡ 目　　的：海洋エネルギー開発及び海洋環境保全・回復並びに海洋生物資源の持続的利用を同時に可能とするための融合研究プラットフォームを構築し，研究成果を社会に還元することにより，長崎県更には我が国の海洋未来産業の発展に寄与する。 ○先導生命科学研究支援センター 所 在 地：長崎市坂本１丁目１２番４号 設置年月：平成１５年４月（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設を統合再編） 規 模 等：土地 ２，９０９㎡　建物 １０，６８１㎡ 目　　的：放射性同位元素等，動物資源及びゲノム情報・遺伝子を用いる教育研究並びに生体分子解析及び細胞機能解析に関する教育研究にその施設等を供するとともに，本学における ○核兵器廃絶研究センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２４年４月 規 模 等：土地 １５０㎡　建物 ２３０㎡ 目　　的：ヒロシマ・ナガサキを現在の世界の潮流の中で新たに位置づけ，学問的調査・分析を通して核兵器廃絶に向けた情報や提言を様々な角度から世界に発信するため，長崎市，長崎県等と連携を図りながら核兵器廃絶に係る教育研究活動を行うことにより，もって本学の教育研究の進展に資する。 ○先端創薬イノベーションセンター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２４年１月 規 模 等：土地 ２，５３２㎡　建物 ３３５㎡ 目　　的：基礎創薬技術を効率的に開発研究に結び付けることにより，迅速な製品開発を推進すること及び長崎大学病院臨床研究センターと協力し，臨床研究，早期臨床試験等を着実に実施することにより，臨床創薬段階にある研究テーマを迅速に治験段階へステージアップする。 ○環境保全センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成３０年７月 規 模 等：土地 １，９９２㎡　建物 １，３３２㎡ 目　　的：本学の研究，教育等により生じた排水，重金属等含有廃液，有機溶媒等廃液，排ガス等による公害の発生を防止する。 ○グローバル連携機構 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成３０年７月 規 模 等：土地 ６３３㎡　建物 １５７㎡ 目　　的：長崎大学の特色を生かしたグローバルな教育研究活動を展開するとともに世界的に活躍し得る人材の育成を推進することにより，世界の平和と人類の福祉に貢献する大学の創出に資する。 ○留学生教育・支援センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成３０年７月 規 模 等：土地 ６３３㎡　建物 １５７㎡ 目　　的：外国人留学生並びに学部及び大学院への入学前における日本語等に関する予備教育を受ける者並びに外国の大学等に留学する日本人学生に対し，必要な教育及び指導助言を行うことにより，本学における外国人留学生の受入れ及び学生の海外留学の推進を図る。 ○子どもの心の医療・教育センター 所 在 地：長崎市坂本１丁目７番１号 設置年月：平成２８年１０月 規 模 等：土地 １，０２７㎡　建物 ３６㎡ 目　　的：発達障害児等への医療的支援を踏まえた支援ができる高度な知識及び技術を有する人材を育成すること並びに医療，教育，療育，保健，福祉，就労等を行う関係機関との連携を強化してながさき子どもの心の支援ネットワークを構築する。	

附 属 施 設 の 概 要	○福島未来創造支援研究センター 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２６年４月 規 模 等：土地 ７０２㎡　建物 ９０㎡ 目　　的：東日本大震災により甚大な被害を受けた福島県に対する健康，医療，福祉，教育等の包括的かつ具体的な支援及び協力を行うことにより，福島県の未来創造に資する。 ○教員免許状更新講習支援室 所 在 地：長崎市文教町１番１４号 設置年月：平成２１年４月 規 模 等：土地 １，８６０㎡　建物 ４５㎡ 目　　的：教育職員免許法第9条の3に規定する免許状更新講習の企画及び円滑な実施を行う。	

補足資料（国立大学法人長崎大学　組織の移行表）

令和3年度	入学定員	編入学	収容定員	令和4年度	入学定員	編入学	収容定員	変更の事由
長崎大学				**長崎大学**				
多文化社会学部				多文化社会学部				
多文化社会学科	100	―	400	多文化社会学科	100	―	400	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	180	―	720	学校教育教員養成課程	180	―	720	
経済学部		3年次		経済学部		3年次		
総合経済学科（昼間コース）	265	10	1,330	総合経済学科（昼間コース）	265	10	1,330	
総合経済学科（夜間主コース）	60	5		総合経済学科（夜間主コース）	60	5		
医学部				医学部				
医学科	120	2年次 5	745	医学科	120	2年次 5	745	
保健学科	106	3年次 10	444	保健学科	106	3年次 10	444	
歯学部				歯学部				
歯学科	50	―	300	歯学科	50	―	300	
薬学部				薬学部				
薬学科	40	―	240	薬学科	40	―	240	
薬科学科	40	―	160	薬科学科	40	―	160	
情報データ科学部				情報データ科学部				
情報データ科学科	110	―	440	情報データ科学科	110	―	440	
工学部				工学部				
工学科	330	―	1,320	工学科	330	―	1,320	
環境科学部		3年次		環境科学部		3年次		
環境科学科	130	5	530	環境科学科	130	5	530	
水産学部				水産学部				
水産学科	110	―	440	水産学科	110	―	440	
計	1,641	2年次 5 3年次 30	7,069	計	1,641	2年次 5 3年次 30	7,069	
長崎大学大学院				**長崎大学大学院**				
多文化社会学研究科				多文化社会学研究科				
多文化社会学専攻（M）	10		20	多文化社会学専攻（M）	10		20	
多文化社会学専攻（D）	3		9	多文化社会学専攻（D）	3		9	
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践専攻（P）	28		56	教職実践専攻（P）	28		56	
経済学研究科				経済学研究科				
経済経営政策専攻（M）	15		30	経済経営政策専攻（M）	15		30	
経営意思決定専攻（D）	3		9	経営意思決定専攻（D）	3		9	
工学研究科				工学研究科				
総合工学専攻（M）	220		440	総合工学専攻（M）	220		440	
生産システム工学専攻（D）	15		45	生産システム工学専攻（D）	15		45	
グリーンシステム創成科学専攻（D）	5		25	グリーンシステム創成科学専攻（D）	5		25	
水産・環境科学総合研究科				水産・環境科学総合研究科				
水産学専攻（M）	35		70	水産学専攻（M）	35		70	
環境科学専攻（M）	25		50	環境科学専攻（M）	25		50	
環境海洋資源学専攻（D）	12		36	環境海洋資源学専攻（D）	12		36	
海洋フィールド生命科学専攻（D）	5		25		0		0	令和4年4月学生募集停止
医歯薬学総合研究科				医歯薬学総合研究科				
保健学専攻（M）	30		60	保健学専攻（M）	30		60	
災害・被ばく医療科学共同専攻（M）	10		20	災害・被ばく医療科学共同専攻（M）	10		20	
医療科学専攻（D）	60		240	医療科学専攻（D）	60		240	
新興感染症病態制御学系専攻（D）	20		80	新興感染症病態制御学系専攻（D）	20		80	
放射線医療科学専攻（D）	5		20	放射線医療科学専攻（D）	5		20	
先進予防医学共同専攻（D）	10		40	先進予防医学共同専攻（D）	10		40	
生命薬科学専攻（M）	36		72	生命薬科学専攻（M）	36		72	
生命薬科学専攻（D）	10		30	生命薬科学専攻（D）	10		30	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科				熱帯医学・グローバルヘルス研究科				
グローバルヘルス専攻（M）	37		62	グローバルヘルス専攻（M）	37		62	
グローバルヘルス専攻（D）	5		15	グローバルヘルス専攻（D）	10		30	定員変更（5）
				プラネタリーヘルス学環の内数とする定員	(5)		(15)	※
長崎大学−ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（D）	5		15	長崎大学−ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（D）	5		15	
				プラネタリーヘルス学環（D）	5		15	研究科等連係課程実施基本組織の設置（設置報告）
計	604		1,469	計	604		1,459	

※（ ）内の数字は，熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（D）から，プラネタリーヘルス学環（D）に活用する入学定員及び収容定員とし，内数とする。

別記様式第２号・別添１

（用紙　日本産業規格A4縦型）

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況						新設学部等の学年進行終了時における状況					
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	博士（学術）	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	30	16	プラネタリーヘルス学環	博士（公衆衛生学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（兼務）	6	2
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	6	2				経済学研究科 経営意思決定専攻（兼務）	3	2
			計	30	16				工学研究科 生産システム工学専攻（兼務）	4	1
経済学研究科 経営意思決定専攻	博士（経営学）	経済学関係	経済学研究科 経営意思決定専攻	25	12				水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（兼務）	2	1
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	3	2				医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（兼務）	1	1
			計	25	12				医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（兼務）	3	3
工学研究科 生産システム工学専攻	博士（工学）	工学関係	工学研究科 生産システム工学専攻	69	28				医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（兼務）	1	1
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	4	1				医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻（兼務）	2	2
			計	69	28				熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻 （兼務）	12	7
水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	博士（水産学） 博士（環境科学） 博士（学術）	農学関係 文学関係 法学関係 経済学関係	水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	81	42				多文化社会学部	1	0
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	2	1				情報データ科学部	2	2
			計	81	42				教育学研究科	1	0
医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	博士（学術） 博士（医学） 博士（歯学） 博士（薬学）	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	156	77				熱帯医学研究所	1	0
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	1	1				グローバル連携機構	1	1
			計	156	77				研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター	1	1
医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻	博士（学術） 博士（医学） 博士（歯学） 博士（薬学）	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻	34	25				計	41	24
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	3	3						
			計	34	25						
医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻	博士（学術） 博士（医学） 博士（歯学） 博士（薬学）	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻	10	6						
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	1	1						
			計	10	6						
医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	博士（医学）	医学関係	医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	74	29						
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	2	2						
			計	74	29						
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	博士（グローバルヘルス）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	31	12						
			プラネタリーヘルス学環（兼務）	12	7						
			計	31	12						

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

【多文化社会学研究科】

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は 学　科　の　分　野	手続きの区分
平成30年4月	多文化社会学研究科 　多文化社会学専攻(修士課程) 設置	文学関係 法学関係 社会学･社会福祉学関係	意見伺い(研究科の設置)
令和2年4月	多文化社会学専攻(博士後期課程) 設置 多文化社会学専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	文学関係 法学関係 社会学･社会福祉学関係	意見伺い(研究科の専攻に係る課程の変更)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織　プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

【経済学研究科】

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は学　科　の　分　野	手続きの区分
平成7年4月	経済学研究科 　経済経営政策専攻（修士課程）設置	経済学関係	設置申請（研究科）
平成16年4月	経営意思決定専攻（博士後期課程）設置 経済経営政策専攻（修士課程）を博士前期課程に変更	経済学関係	設置申請（研究科の専攻の設置）
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織　プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	設置報告（研究科等連係課程実施基本組織の設置）

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

【工学研究科】

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は 学　科　の　分　野	手続きの区分
平成23年4月	工学研究科（3専攻）設置		事前伺い（研究科の設置）
	・総合工学専攻（博士前期課程）	工学関係	
	・生産システム工学専攻（博士後期課程）	工学関係	
	・グリーンシステム創成科学専攻（博士課程（5年一貫制））	工学関係	
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織　プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	設置報告（研究科等連係課程実施基本組織の設置）

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

【水産・環境科学総合研究科】

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は 学　科　の　分　野	手続きの区分
平成23年4月	水産・環境科学総合研究科（5専攻）設置		事前伺い（研究科の設置）
	・水産学専攻（博士前期課程）	農学関係	
	・環境共生政策学専攻（博士前期課程）	文学関係，法学関係， 経済学関係	
	・環境保全設計学専攻（博士前期課程）	農学関係	
	・環境海洋資源学専攻（博士後期課程）	農学関係，文学関係， 法学関係，経済学関係	
	・海洋フィールド生命科学専攻（博士課程（5年一貫制））	農学関係	
平成27年4月	環境科学専攻（博士前期課程）設置	法学関係 経済学関係 農学関係	事前伺い（研究科の専攻の設置）
	環境科学系2専攻 学生募集停止 ・環境共生政策学専攻（博士前期課程） ・環境保全設計学専攻（博士前期課程）	―	―
令和4年4月	海洋フィールド生命科学専攻（博士課程（5年一貫制））学生募集停止	―	―
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織　プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	設置報告（研究科等連係課程実施基本組織の設置）

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

【医歯薬学総合研究科】

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は 学　科　の　分　野	手続きの区分
平成14年4月	医歯薬学総合研究科（4専攻）設置		設置申請（研究科）
	・医療科学専攻（博士課程）	医学関係 歯学関係	
	・新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）	医学関係 薬学関係	
	・放射線医療科学専攻（博士課程）	医学関係 歯学関係 薬学関係	
	・生命薬科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）	薬学関係	
平成18年4月	保健学専攻（修士課程）設置	保健衛生学関係（看護学関係） 保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	設置申請（研究科の専攻の設置）
	熱帯医学専攻（修士課程）設置	医学関係	設置申請（研究科の専攻の設置）
	新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）学位の分野（歯学関係）の追加	医学関係 歯学関係 薬学関係	―
平成22年4月	生命薬科学専攻（修士課程）設置	薬学関係	事前伺い（研究科の専攻の設置）
	生命薬科学専攻（博士前期課程）　学生募集停止	―	―
平成24年4月	医療科学専攻（博士課程）課程変更	医学関係 歯学関係 薬学関係	事前伺い（研究科の専攻の課程変更）
	生命薬科学専攻（博士後期課程）課程変更 生命薬科学専攻（修士課程）を博士前期課程に変更	薬学関係	事前伺い（研究科の専攻の課程変更）
平成27年10月	熱帯医学専攻（修士課程）　学生募集停止	―	―
平成28年4月	災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）設置 ※福島県立医科大学大学院医学研究科との共同専攻	医学関係 保健衛生学関係（看護学関係）	事前伺い（研究科の専攻の設置）
	先進予防医学共同専攻（博士課程）設置 ※千葉大学大学院医学薬学府，金沢大学大学院先進予防医学研究科との共同専攻	医学関係	事前伺い（研究科の専攻の設置）
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織　プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	設置報告（研究科等連係課程実施基本組織の設置）

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

【熱帯医学･グローバルヘルス研究科】

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は 学　科　の　分　野	手続きの区分
平成27年4月	熱帯医学･グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（修士課程）設置	医学関係 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	意見伺い（研究科の設置）
平成30年4月	博士後期課程（2専攻）設置 ・グローバルヘルス専攻 ・長崎大学－ロンドン大学衛生･熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻 グローバルヘルス専攻（修士課程）を博士前期課程に変更	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	意見伺い（研究科の専攻に係る課程の変更）
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織　プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	設置報告（研究科等連係課程実施基本組織の設置）

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

プラネタリーヘルス学環

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
専門科目	プラネタリーヘルス	プラネタリーヘルス特論	1①・②	2			○			12	10				兼2 オムニバス
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			12	10	0	0	0	兼2
	政策とシステム	政策過程特論	1④	1			○				1				
		実装科学特論	1③	1			○			1			1		兼1 オムニバス
		保健システム特論	2①	1			○			1			1		オムニバス
		小計（3科目）	－	3	0	0	－			2	1	0	2	0	兼1
	データと分析	政策分析法特論	2②	1			○			2	1		1		兼1 オムニバス
		小計（1科目）	－	1	0	0	－			2	1	0	1	0	兼1
	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	1①	1			○				1				兼1 オムニバス
		渉外マネジメント特論	1②	1			○			1	1				オムニバス
		グローバルヘルスガバナンス特論	1③・④	1			○			2					兼2 オムニバス
		小計（3科目）	－	3	0	0	－			4	2	0	0	0	兼2
	実習科目	実務研修	1夏期	2					○	24	14		3		兼5
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			24	14	0	3	0	兼5
演習科目		プロジェクト演習	2④～3通	4				○		24	14		3		兼5
		小計（1科目）	－	4	0	0	－			24	14	0	3	0	兼5
合計（10科目）			－	15	0	0	－			24	14	0	3	0	兼8 －

学位又は称号	博士（公衆衛生学）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）

修　了　要　件　及　び　履　修　方　法	授業期間等	
３年以上在学し，必修科目15単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格すること。	1学年の学期区分	４期
	1学期の授業期間	１０週
	1時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　多文化社会学研究科　多文化社会学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
講義科目	多文化社会学特論Ⅰ	1①	2			○			6					兼2	オムニバス
	多文化社会学特論Ⅱ	1②	2			○			2	1				兼2	オムニバス
	小計（2科目）	－	4	0	0	－			8	1	0	0	0	兼4	
演習科目	研究演習Ⅰ	1通	4				○		16	14					
	研究演習Ⅱ	2通	4				○		16	14					
	小計（2科目）	－	8	0	0	－			16	14	0	0	0		
研究指導科目	研究指導	3通	4				○		16	14					
	小計（1科目）	－	4	0	0	－			16	14	0	0	0		
合計（5科目）		－	16	0	0	－			16	14	0	0	0	兼4	

学位又は称号	博士（学術）	学位又は学科の分野	文学関係，法学関係，社会学・社会福祉学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
３年以上在学し，１６単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。	１学年の学期区分	２期（４クォータ）※
	１学期の授業期間	１５週（７．５週）※
	１時限の授業時間	９０分

※　本学では，２学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の２期に分け，前期を４月１日から９月３０日まで，後期を１０月１日から翌年３月３１日までとし，前期の前半を第１クォータ，後半を第２クォータ，後期の前半を第３クォータ，後半を第４クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　経済学研究科 経営意思決定専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
意思決定基礎	トップマネジメント特論	1・2・3前		2		○			1					
	企業行動原理特論	1・2・3前		2		○				1				
	ゲーム理論特論	1・2・3前		2		○				3				オムニバス
	数理計画法特論	1・2・3前		2		○			1					
	決定分析特論	1・2・3前		2		○			1	2				オムニバス
	経営情報分析特論	1・2・3前		2		○			1					
	経済・経営史特論	1・2・3前		2		○				1				
	小計（7科目）	－	0	14	0	－			4	5	0	0	0	
意思決定応用	人的資源管理特論	1・2・3後		2		○				1				
	財務会計特論	1・2・3後		2		○			2					オムニバス
	企業ファイナンス特論	1・2・3後		2		○				1				
	金融システム特論	1・2・3後		2		○			2					オムニバス
	国際金融特論	1・2・3後		2		○			1					
	現代世界経済特論	1・2・3後		2		○				1				
	労働経済学特論	1・2・3後		2		○			1	1				オムニバス
	公共経済学特論	1・2・3後		2		○			1					
	ビジネス法特論	1・2・3後		2		○				1				オムニバス
	国際関係論特論	1・2・3後		2		○				1				
	小計（10科目）	－	0	20	0	－			7	6	0	0	0	
演習	テーマサーベイ	1・2・3前	4				○		9					
	リサーチ演習	1・2・3前	6				○		9					
	特別演習	1・2・3前	6				○		9					
	小計（3科目）	－	16	0	0	－			9	0	0	0	0	
合計（20科目）		－	16	34	0	－			12	13	0	0	0	

学位又は称号	博士（経営学）	学位又は学科の分野	経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
３年以上在学し，１６単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１５週
	１時限の授業時間	９０分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目		生産システム工学特別講義	1前		1		○			1					兼4	オムニバス
		生産システム工学特別演習	1後	1				○		28	41					
		生産システム工学特別研究	1後	1					○	28	41					
		工場実習	1・2・3通		1				○						兼1	
		研究英語コミュニケーション講座	1・2・3③		1		○								兼1	
		スーパーコンピューテーション特論	1・2・3④		1		○								兼1	
		小計（6科目）	－	2	4	0	－			28	41	0	0	0	兼5	
コース科目	システム工学コース	ロボティクス特論	1・2・3前		2		○			1						
		人間機械システム工学特論	1・2・3前		2		○				1					
		応用材料強度学Ⅱ	1・2・3後		2		○				1					
		破壊解析学	1・2・3前		2		○								兼1	
		トライボ損傷評価学	1・2・3前		2		○				1					
		伝動システム学	1・2・3前		2		○				1					
		超精密加工・計測学特論	1・2・3後		2		○								兼1	
		熱流体光計測学	1・2・3前		2		○			1						
		熱物質移動特論	1・2・3後		2		○			1						
		流体音響学	1・2・3後		2		○			1						
		熱物質変換基礎学	1・2・3前		2		○			1						
		多成分系熱力学特論	1・2・3後		2		○			1						
		応用材料強度学Ⅰ	1・2・3前		2		○				1					
		構造物解析学特論	1・2・3後		2		○			1						
		維持管理システム学特論	1・2・3前		2		○				1					
		複合構造学特論	1・2・3後		2		○			1						
		持続的居住計画論	1・2・3後		2		○			1						
		不安定振動学特論	1・2・3後		2		○			1						
		建築環境計画論	1・2・3後		2		○				1					
		コンクリート材料学特論	1・2・3後		2		○				1					
		空力弾性学特論	1・2・3前		2		○				1					
		社会基盤計画特論	1・2・3後		2		○				1					
		地圏環境工学	1・2・3前		2		○			1						
		地盤解析工学特論	1・2・3前		2		○			1						
		地盤防災工学特論	1・2・3前		2		○				1					
		鋼構造維持管理学	1・2・3後		2		○			1						
		土木遠隔計測学	1・2・3前		2		○			1						
		構造振動学特論	1・2・3後		2		○				1					
		環境水理学特論	1・2・3後		2		○								兼1	
		水環境制御特論	1・2・3後		2		○				1					
		環境マネジメントシステム論	1・2・3後		2		○			1						
		環境設計学特論	1・2・3後		2		○				1					
		小計（32科目）	－	0	64	0	－			14	14	0	0	0	兼3	

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
コース科目	電気情報工学コース	光エレクトロニクス特論	1・2・3後		2		○			1					
		電磁界解析特論	1・2・3後		2		○				1				
		応用アンテナ工学特論	1・2・3前		2		○				1				
		応用電磁波工学特論	1・2・3後		2		○			1					
		パワー電子回路特論	1・2・3前		2		○				1				
		エネルギーエレクトロニクス特論	1・2・3後		2		○				1				
		非線形回路・システム特論	1・2・3後		2		○				1				
		プラズマ機能科学特論	1・2・3後		2		○				1				
		マグネティクス特論	1・2・3前		2		○				1				
		マグネティクス応用特論	1・2・3後		2		○								兼1
		電気駆動システム設計特論	1・2・3後		2		○				1				
		電力変換システム制御特論	1・2・3後		2		○								兼1
		電磁エネルギー放射・伝送特論	1・2・3前		2		○				1				
		電気エネルギーシステム特論	1・2・3前		2		○								兼1
		電気―機械エネルギー変換特論	1・2・3前		2		○			1					
		アナログ集積回路特論	1・2・3前		2		○			1					
		情報処理システム特論	1・2・3前		2		○				1				
		マルチメディア応用特論	1・2・3後		2		○			1					
		ソフトウェア科学特論	1・2・3後		2		○			1					
		再構成可能システム特論	1・2・3後		2		○			1					
		画像応用システム特論	1・2・3前		2		○				1				
		情報ネットワーク学特論	1・2・3後		2		○			1					
		通信応用代数学特論	1・2・3前		2		○				1				
		応用画像工学特論	1・2・3後		2		○			1					
		映像情報処理特論	1・2・3前		2		○			1					
		データマイニング応用特論	1・2・3前		2		○				1				
		小計（26科目）	－	0	52	0	－			10	11	0	0	0	兼3
	物質工学コース	機能材料科学特論	1・2・3前		2		○								兼1
		界面物性学特論	1・2・3後		2		○			1					
		セラミックス物性化学	1・2・3後		2		○				1				
		高次構造材料学特論	1・2・3前		2		○								兼1
		金属物理学特論	1・2・3後		2		○								兼1
		無機複合物性学	1・2・3前		2		○				1				
		材料組織物性学	1・2・3後		2		○								兼1
		固体物理学特論	1・2・3後		2		○				1				
		ナノ無機材料学特論	1・2・3前		2		○				1				
		生物分子機能学	1・2・3前		2		○			1					
		生体機能物質化学	1・2・3前		2		○				1				
		天然物合成化学特論	1・2・3前		2		○				1				
		物質変換触媒化学	1・2・3後		2		○								兼1
		応用錯体化学特論	1・2・3後		2		○			1					
		無機変換化学特論	1・2・3前		2		○								兼1
		先端分光計測特論	1・2・3前		2		○				1				
		生体機能構造論	1・2・3前		2		○				1				
		分子組織科学特論	1・2・3後		2		○								兼1
		界面機能科学特論	1・2・3後		2		○				1				
		先端高分子科学特論	1・2・3後		2		○			1					
		界面構造化学特論	1・2・3後		2		○								兼1
		量子計算設計学特論	1・2・3後		2		○			1					
		先端構造分析化学特論	1・2・3後		2		○				1				
		小計（23科目）	－	0	46	0	－			5	10	0	0	0	兼8

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
コース科目	国際水環境科学コース	高度膜分離技術論	1・2・3前		2		○				1				
		環境プロセス工学特論	1・2・3前		2		○			1					
		国際水処理工学特論	1・2・3前		2		○			1					
		水再生技術特論	1・2・3前		2		○				1				
		水処理設備計画特論	1・2・3前		2		○				1				
		国際機関共同研究	1・2・3後		1			○			1				
		水質モニタリング演習	1・2・3後		1			○			1				
		小計（7科目）	－	0	12	0	－			1	1	0	0	0	
合計（94科目）			－	2	178	0	－			28	41	0	0	0	兼16

学位又は称号	博士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
３年以上在学し，総合科目から２単位，総合科目及び所属コースのコース科目から１３単位以上の計１５単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。なお，指導教員が認めた場合に限り，他コースの	１学年の学期区分	２期（４クォータ）※
	１学期の授業期間	１５週（７．５週）※
	１時限の授業時間	９０分

開講科目について修得した単位並びに他の専攻，研究科及び大学院（外国の大学院を含む。）において修得した単位は，４単位を限度として選択科目に算入することができる。この場合において，本研究科における修得単位数として算入することができるのは，博士前期課程と博士後期課程とを合わせて１５単位を限度とする。

※本学では，２学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の２期に分け，前期を４月１日から９月３０日まで，後期を１０月１日から翌年３月３１日までとし，前期の前半を第１クォータ，後半を第２クォータ，後期の前半を第３クォータ，後半を第４クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（水産科学コース）	海洋生物流体力学特論	1・2・3③		2		○			1					
	海洋生態システム論	1・2・3後		2		○			1					
	海洋システム解析学	1・2・3③		2		○			1					
	漁船漁法工学	1・2・3①		2		○			1					
	漁船船型学特論	1・2・3前		2		○				1				
	漁業生産システム設計学	1・2・3後		2		○				1				
	海洋生物環境学	1・2・3②		2		○				1				
	海洋環境流体力学	1・2・3後		2		○				1				
	海洋生物汚損対策特論	1・2・3④		2		○			1					
	海洋微生物生態学	1・2・3前		2		○			1					
	沿岸底生生態学	1・2・3後		2		○				1				
	海洋浮游生物学	1・2・3④		2		○			1					
	水族病理学	1・2・3前		2		○			1					
	栽培漁業論	1・2・3①		2		○			1					
	海洋生物生体防御論	1・2・3後		2		○				1				
	分子細胞生物学	1・2・3③		2		○				1				
	生体高分子化学	1・2・3①		2		○				1				
	細胞機能生化学	1・2・3後		2		○						1		
	水産無脊椎動物学特論	1・2・3③		2		○				1				
	海洋植物資源学Ⅰ	1・2・3②		2		○			1					
	海洋植物資源学Ⅱ	1・2・3②		2		○			1					
	生理活性物質化学特論	1・2・3②		2		○			1					
	水族情報学	1・2・3③		2		○			1					
	海洋測位学	1・2・3①		2		○			1					
	水産経営管理学	1・2・3③		2		○			1					
	水産資源社会学	1・2・3②		2		○			1					
	生物栄養化学特論	1・2・3③		2		○			1					
	水族内分泌学	1・2・3③		2		○			1					
	魚類生態学特論	1・2・3①		2		○			1					
	海洋生物栄養学	1・2・3③		2		○			1					
	水産食品化学	1・2・3前		2		○				1				
	水産衛生化学	1・2・3①		2		○			1					
	水族毒性学	1・2・3前		2		○			1					
	生体関連物質化学特論	1・2・3③		2		○				1				
	応用生体分子機能論	1・2・3②		2		○				1				
	深海生物環境学特論	1・2・3③		2		○				1				
	水圏生物環境学特論	1・2・3②		2		○			1					
	高分子機能生化学特論	1・2・3後		2		○			1					
	海洋生物工学特論	1・2・3④		2		○			1					
	サンゴ礁生態系保全学	1・2・3後		2		○								兼1
	亜熱帯海洋動物分布生態学	1・2・3後		2		○								兼1
	生元素循環学	1・2・3後		2		○								兼1
	海洋資源生物学	1・2・3後		2		○								兼1
	水産資源動態学	1・2・3後		2		○								兼1
	水産統計学	1・2・3後		2		○								兼1
	生物機能生化学	1・2・3②		2		○				1				
	共生微生物学	1・2・3③		2		○			1					
	インターンシップ	1・2・3通		1		○			1					
	小計（48科目）	－	0	95	0	－			25	14	0	1	0	兼6

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目（環境科学コース）	環境地下水学特論	1・2・3前		2		○			1	1				オムニバス
	エネルギー資源学特論	1・2・3③		2		○				1				
	地域環境計測学特論	1・2・3③		2		○			1					
	植物生態学特論	1・2・3③		2		○				1				
	大気環境学特論	1・2・3②		2		○			1	1				オムニバス
	環境物理学特論	1・2・3④		2		○				1				
	堆積岩地球環境解析学特論	1・2・3①		2		○			1					
	地震・火山学特論	1・2・3③		2		○			1					
	放射線生物物理学特論	1・2・3③		2		○			1					
	環境生物化学特論	1・2・3前		2		○			1					
	環境化学特論	1・2・3③		2		○			1					
	グリーンケミストリー特論	1・2・3③		2		○				1				
	微量環境分析化学特論	1・2・3④		2		○			1	1				
	生殖生理学特論	1・2・3③		2		○			1					
	陸域生物環境学特論	1・2・3後		2		○				1				
	環境適応学特論	1・2・3①		2		○			1					
	環境生理学特論	1・2・3④		2		○			1					
	保全生態学特論	1・2・3①		2		○			1			1		
	環境毒性学特論	1・2・3④		2		○			1					
	動物生態学特論	1・2・3②		2		○			1					
	環境哲学特論	1・2・3前		2		○				1				
	人間生活環境学特論	1・2・3③		2		○				1				
	環境思想学特論	1・2・3①		2		○			1					
	複合文化環境特論	1・2・3①		2		○			1					
	環境民俗学特論	1・2・3③		2		○				1				
	共生持続社会学特論	1・2・3①		2		○			1					
	環境政策学特論	1・2・3後		2		○				1				
	環境経済学特論	1・2・3前		2		○				1				
	環境社会学特論	1・2・3②		2		○			1					
	環境マネジメント学特論	1・2・3④		2		○				1				
	地域環境政策学特論	1・2・3③		2		○			1					
	環境リスク政策学特論	1・2・3①		2		○				1				
	環境資源経済学特論	1・2・3前		2		○				1				
	環境観光学特論	1・2・3①		2		○				1				
	環境計画学特論	1・2・3③		2		○			1					
	森林環境学特論	1・2・3②		2		○				1				
	地域計画学特論	1・2・3①		2		○			1					
	国際環境政策学特論	1・2・3後		2		○				1				
	地域社会学特論	1・2・3④		2		○				1				
	環境法学特論	1・2・3前		2						1				
	インターンシップ	1・2・3通		1		○			1					
	小計（41科目）	－	0	81	0	－			18	19	0	1	0	

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
必修科目	特別講義	1・2・3前	2			○			1	5				オムニバス
	特別演習	1・2・3後	1				○		42	36		3		
	学外実習	1・2・3前	1					○	1					
	小計（3科目）	－	4	0	0	－			42	36	0	3	0	
合計（92科目）		－	4	176	0	－			42	36	0	3	0	兼6

学位又は称号	学位又は学科の分野
博士（水産学） 博士（環境科学） 博士（学術）	農学関係，文学関係，法学関係， 経済学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
３年以上在学し，１５単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。科目区分ごとの必要単位は以下のとおりである。	１学年の学期区分	２期（４クォータ）※
	１学期の授業期間	１５週（７．５週）※
	１時限の授業時間	９０分

専門科目　合計１１単位以上　（うち，所属コースから４単位以上，他コースから２単位以上を修得すること。）
必修科目　合計４単位

※本学では，２学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の２期に分け，前期を４月１日から９月３０日まで，後期を１０月１日から翌年３月３１日までとし，前期の前半を第１クォータ，後半を第２クォータ，後期の前半を第３クォータ，後半を第４クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④	2			○			5	4				兼8
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			5	4	0	0	0	兼8
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④		1		○			1					兼1
		医療情報学	1・2③		1		○			1	2				兼1
		国際・熱帯医学	1・2②		1		○								兼10
		小計（3科目）	－	0	3	0	－			2	2	0	0	0	兼12
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③		1		○			1					
		分子細胞生物学	1・2③		1		○			1	1				兼2
		ゲノム科学	1・2④		1		○				1				兼6
		生体材料科学	1・2①		1		○			3	3				
		硬組織疾患特論	1・2②		1		○			3			1		兼4
		医薬品化学	1・2②		1		○								兼6
		生体分子解析学	1・2④		1		○								兼3
		腫瘍診断治療学	1・2④		1		○			1		1			兼6
		移植・再生医療学特論	1・2①		1		○			3	3				兼2
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①		1		○			6					
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②		1		○			5					兼2
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④		1		○			1	1				兼5
		神経科学特論	1・2②		1		○								兼1
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通		1		○			1					
		先端医療科学特論(臨床編)	1・2通		1		○								兼1
		先端新興感染症病態制御学特論	1・2通		1		○								兼1
		先端放射線医療科学特論	1・2通		1		○								兼1
		先端臨床試験特論	1・2②		1		○			1					兼4
		小計（18科目）	－	0	18	0	－			23	8	1	1	0	兼39
	生命医療科学実習	先端機器実習	1・2②		1										兼1
		小計（1科目）	－	0	1	0	－			0	0	0	0	0	兼1
がんプロフェッショナル養成コース	がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース，がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門医師・歯科医師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)	1・2前		1		○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)	1・2後		1		○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)	1・2前		1		○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)	1・2後		1		○			1					
		集学的がん治療学実習	1・2通		2				○	1					兼2
		在宅・地域医療実習	1・2通		1				○	1					兼1
		離島・僻地病院実習	1・2通		2				○	1					兼1
		小計（7科目）	－	0	9	0	－			1	0	0	0	0	兼3
	がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース	がん専門薬剤師養成実習A	1・2通		8				○	1					
		がん専門薬剤師養成実習B	1・2通		8				○	1					
		小計（2科目）	－	0	16	0	－			2	0	0	0	0	
医療科学専攻	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○		1		2	1		兼1
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○			1	2			
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2			○			1				兼1
		細胞生物学演習	1・2④		2			○		1					
		内臓機能生理学演習	1・2④		2			○		1		1			
		生化学演習	1・2④		2			○		1		1			兼1
		腫瘍医学演習	1・2④		2			○		1	1				兼1
		臨床疫学演習	1・2④		2			○		1					
		分子標的医学演習	1・2④		2			○		1			1		兼3
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		医科薬理学演習	1・2④		2			○		1	1		1		兼1
		歯科薬理学演習	1・2④		2			○		1			1		兼1
		病理診断科学演習	1・2④		2			○		1					
		基礎病理学演習	1・2④		2			○		1	1	1			兼1
		口腔病理学演習	1・2④		2			○			1		1		
		生体材料学演習	1・2④		2			○		1					
		分子硬組織生物学演習	1・2④		2			○		1					

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療科学専攻	研究支援科目	法医学演習	1・2④		2			○		1			1		
		歯科法医学演習	1・2④		2			○		1					
		フロンティアロ腔科学演習	1・2④		2			○		1					
		口腔保健学演習	1・2④		2			○		1	1				
		眼科・視覚科学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		脳神経外科学演習	1・2④		2			○		1	1				
		麻酔集中治療医学演習	1・2④		2			○		1	1				
		心臓血管外科学演習	1・2④		2			○		1					
		泌尿器科学演習	1・2④		2			○		1	1				兼1
		腫瘍外科学演習	1・2④		2			○			2				兼1
		移植・消化器外科学演習	1・2④		2			○		2	1				兼1
		産科婦人科学演習	1・2④		2			○		1					
		整形外科学演習	1・2④		2			○		1	1		1		
		形成再建外科学演習	1・2④		2			○		1					
		精神神経科学演習	1・2④		2			○		1					
		皮膚病態学演習	1・2④		2			○		1	1				兼1
		循環器内科学演習	1・2④		2			○		1	1	1			
		消化器内科学演習	1・2④		2			○		1					
		呼吸器内科学演習	1・2④		2			○		1	1	1			兼1
		病態解析・診断学演習	1・2④		2			○		1		1			兼2
		小児科学演習	1・2④		2			○		1			1		兼1
		放射線診断治療学演習	1・2④		2			○		1	1				
		臨床腫瘍学演習	1・2④		2			○		1					兼3
		歯科麻酔学演習	1・2④		2			○		1	1				
		歯科矯正学演習	1・2④		2			○			1				
		小児歯科学演習	1・2④		2			○		1					
		歯周歯内治療学演習	1・2④		2			○		1					
		口腔インプラント学演習	1・2④		2			○		1	1				
		歯科補綴学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔腫瘍治療学演習	1・2④		2			○		1					
		顎口腔再生外科学演習	1・2④		2			○		1	2		1		
		口腔診断・情報科学演習	1・2④		2			○		1	1				
		看護学演習	1・2④		2			○		5					
		理学療法学演習	1・2④		2			○		3	1				
		作業療法学演習	1・2④		2			○		2					
		保健科学演習	1・2④		2			○		4					
		先端臨床薬学特論	1・2④		1		○			1	1				
		先端薬物治療学特論	1・2④		1		○			1					
		薬物治療学演習	1・2④		2			○		1					
		医薬品情報学演習	1・2④		2			○		1	1				
		薬剤学演習	1・2④		2			○		1	1				
		実践薬学演習	1・2④		2			○		1	1				
		比較動物医学演習	1・2④		2			○		1					
		ゲノム機能解析学演習	1・2④		2			○			1				
		予防医学演習	1・2④		2			○			1				
		先端創薬学演習	1・2④		2			○		1					
		地域保健・福祉連携学演習	1・2④		2			○			1				
		内分泌・代謝内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		脳神経内科学演習	1・2④		2			○		1					
		腎臓内科学演習	1・2④		2			○		1					兼2
		臨床薬物動態学演習	1・2④		2			○			1				
		救命救急医療学演習	1・2④		2			○		1					
		脳神経病態学演習	1・2④		2			○			1				
		神経免疫学演習	1・2④		2			○		1					
		地域包括ケア学演習	1・2④		2			○		1					
		包括的腫瘍学演習	1・2④		2			○			1				
		免疫学演習	1・2④		2			○							兼2
		感染分子解析学演習	1・2④		2			○							兼2

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療科学系専攻	研究支援科目	臨床感染症学演習	1・2④		2			○							兼3
		口腔病原微生物学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床微生物学特論	1・2③		1		○			1					
		感染疫学特論	1・2③		1			○		1					
		臨床感染症学実習	1・2③		2			○							兼3
		感染制御学実習	1・2②		1			○							兼5
		短期海外臨床研修	3・4②		1			○							兼3
		熱帯ウイルス病学演習	1・2④		2			○							兼1
		病原細菌学演習	1・2④		2			○							兼3
		病原原虫学演習	1・2④		2			○							兼2
		熱帯寄生虫学演習	1・2④		2			○							兼2
		免疫遺伝学演習	1・2④		2			○							兼1
		感染病理学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯医学情報学演習	1・2④		2			○							兼2
		国際保健学演習	1・2④		2			○							兼2
		病害動物学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床熱帯医学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯小児感染症学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床開発学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯細菌学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯微生物学演習	1・2④		2			○							兼1
		新興ウイルス感染症学演習	1・2④		2			○							兼3
		ウイルス感染制御学演習	1・2④		2			○							兼1
		ウイルス生態学演習	1・2④		2			○							兼1
		臓器統合制御学演習	1・2④		2			○							兼1
		医療政策学演習	1・2④		2			○							兼1
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		先端医療学演習	1・2④		2			○							兼2
		分子免疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		機能形態学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床病理学演習	1・2④		2			○							兼1
		基礎抗酸菌症学演習	1・2④		2			○							兼2
		臨床抗酸菌症学演習	1・2④		2			○							兼3
		放射線災害医療学演習	1・2④		2			○							兼3
		放射線分子疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		放射線生物・防護学演習	1・2④		2			○							兼1
		放射線・環境健康影響学演習	1・2④		2			○							兼1
		ゲノム機能修復学演習	1・2④		2			○							兼1
		幹細胞生物学演習	1・2④		2			○							兼2
		血液内科学演習	1・2④		2			○							兼2
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④		2			○							兼2
		国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④		2			○							兼1
		神経機能学演習	1・2④		2			○							兼4
		公衆衛生学演習	1・2④		2			○							兼2
		医療情報学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域医療学演習	1・2④		2			○							兼2
		リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④		2			○							兼6
		総合診療学演習	1・2④		2			○							兼3
		国際保健医療福祉学演習	1・2④		2			○							兼1
		人類遺伝学演習	1・2④		2			○							兼2
		分子医学演習	1・2④		2			○							兼1
		腫瘍・診断病理学演習	1・2④		2			○							兼1
	研究支援科目 課題研究	課題研究Ⅰ（医療科学）	1・2①	2				○		75	45	11	14		兼26
		課題研究Ⅱ（医療科学）	1・2③	2				○		74	45	11	14		兼26
	研究支援科目 実習科目	特別実習Ⅰ（医療科学）	2・3②	2					○	73	47	12	13		兼28
		特別実習Ⅱ（医療科学）	2・3④	2					○	72	47	11	13		兼30
	論文研究	論文研究Ⅰ（医療科学）	3・4①	4					○	72	47	11	14		兼26
		論文研究Ⅱ（医療科学）	3・4③	4					○	72	47	12	14		兼25
		小計（134科目）	－	16	250	0	－			77	53	12	14	0	兼75

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専門薬剤師養成コース及びコーディネーター養成コース	コース科目	専門薬剤師養成実習（感染制御）	2・3後		4				○	2					
		専門薬剤師養成実習（糖尿病）	2・3通		4				○	1					兼1
		専門薬剤師養成実習（精神科）	2・3通		4				○	1					
		専門薬剤師養成実習（妊婦・授乳婦）	2・3前		4				○	3					
		コーディネーター養成実習	2・3前		4				○	1	1				
		小計（5科目）	－	0	20	0	－			6	1	0	0	0	兼1
ハイブリッド医療人養成コース	コース科目	臨床先端医療機器特論	1・2通	3			○			3	1				兼3
		臨床先端医療機器実習	1・2通	2					○	3	2				兼4
		ロボティクス特論	1・2前		2		○								兼1
		超精密加工・計測学特論	1・2後		2		○								兼1
		応用材料強度学Ⅰ	1・2前		2		○								兼1
		電気駆動システム設計特論	1・2後		2		○								兼1
		画像応用システム特論	1・2前		2		○								兼1
		映像情報処理特論	1・2前		2		○								兼1
		無機複合物性学	1・2前		2		○								兼1
		先端高分子科学特論	1・2後		2		○								兼1
		先進センシング科学特論	1・2③		2		○								兼1
		先端高分子材料学特論	1・2④		2		○								兼1
		学外連携セミナー	1・2通		2				○		1				兼2
		小計（13科目）	－	5	22	0	－			3	2	0	0	0	兼15
地域包括ケア研究医養成コース	コース科目	地域包括ケア特論	1・2後		3		○			1					
		地域包括ケア演習	1・2後		2			○		1					
		地域包括ケア実習	1・2前		2				○	1					
		在宅・地域医療実習	1・2通		1				○	1					兼1
		離島・僻地病院実習	1・2通		2				○	1					兼1
		小計（5科目）	－	0	10	0	－			2	0	0	0	0	兼1
合計（189科目）			－	23	349	0	－			25	52	12	15	0	兼112

学位又は称号	博士（学術），博士（医学），博士（歯学），博士（薬学）	学位又は学科の分野	医学関係，歯学関係，薬学関係

卒業要件及び履修方法

４年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。医療科学専攻及び各コースの必要単位は，以下のとおりである。

○医療科学専攻（コースに所属しない場合）
（共通科目）　合計８単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　２単位以上
3.生命医療科学特論，生命医療科学実習　４単位以上
（研究支援科目）　合計１４単位以上
1.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(医療科学)」，「課題研究Ⅱ(医療科学)」，「特別実習Ⅰ(医療科学)」，「特別実習Ⅱ(医療科学)」）
2.選択科目　６単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　８単位

○がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目）　合計４単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　１単位以上
3.生命医療科学特論　１単位　（「腫瘍学特論(基礎編)」）
（コース科目）　６単位　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目）　合計１４単位以上
1.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(医療科学)」，「課題研究Ⅱ(医療科学)」，「特別実習Ⅰ(医療科学)」，「特別実習Ⅱ(医療科学)」）
2.選択科目　６単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　８単位

授業期間等

１学年の学期区分	２期（４クォータ）※
１学期の授業期間	１５週（７．５週）※
１時限の授業時間	９０分

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

○包括的がん専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目）　合計４単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　１単位以上
3.生命医療科学特論　１単位　（「腫瘍学特論(臨床編)」）
（コース科目）　合計６単位以上
1.選択科目　４単位以上　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「在宅・地域医療実習」，「離島・僻地病院実習」）
※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を１単位以上履修する。
2.選択必修科目　２単位　（「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目）　合計１４単位以上
1.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(医療科学)」，「課題研究Ⅱ(医療科学)」，　「特別実習Ⅰ(医療科学)」，「特別実習Ⅱ(医療科学)」）
2.選択科目　６単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　８単位

○がんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コース
（共通科目）　合計４単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　１単位以上
3.生命医療科学特論　１単位
※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(基礎編)」を履修し，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(臨床編)」を履修する。
（コース科目）　合計１２単位以上
1.選択科目　２単位以上　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)，希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」）
2.選択必修科目　１０単位　（「集学的がん治療学実習」，「がん専門薬剤師養成実習A」，「がん専門薬剤師養成実習B」）
※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」を履修し，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修する。
（研究支援科目）　８単位　（「課題研究Ⅰ(医療科学)」，「課題研究Ⅱ(医療科学)」，「特別実習Ⅰ(医療科学)」，「特別実習Ⅱ(医療科学)」）
（論文研究）　８単位

○医療科学専攻のハイブリッド医療人養成コースの最低修得単位数

（共通科目）
生命医療科学セミナー　２単位
生命医療科学概論,生命医療科学特論　１単位以上
（コース科目）
臨床先端医療機器特論　３単位
臨床先端医療機器実習　２単位
ロボティクス特論,超精密加工・計測学特論,応用材料強度学Ⅰ,電気駆動システム設計特論,画像応用システム特論,映像情報処理特論,無機複合物性学,先端高分子科学特論,先進センシング科学特論,先端高分子材料学特論,学外連携セミナー　４単位以上
（研究支援科目）
必修科目　８単位
選択科目（備考）　４単位以上
（論文研究）　８単位
合計　３２単位以上
備考　研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

○医療科学専攻の専門薬剤師養成コース及びコーディネーター養成コースの最低修得単位数
（共通科目）　合計８単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　２単位以上
3.生命医療科学特論，生命医療科学実習　４単位以上
（コース科目）　研究科が開設する病院における実習（備考１）　４単位
（研究支援科目）　合計１２単位以上
1.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(医療科学)」，「課題研究Ⅱ(医療科学)」，「特別実習Ⅰ(医療科学)」，「特別実習Ⅱ(医療科学)」）
2.選択科目（備考２）　４単位以上
（論文研究）　８単位
合計　３２単位以上

備考
1　研究科が開設する病院における実習について，１コースを選択すること。ただし，２コースまで選択することができる。
2　研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

○医療科学専攻の地域包括ケア研究医養成コースの最低修得単位数
（共通科目）
　生命医療科学セミナー　２単位
　生命医療科学概論，生命医療科学特論　１単位以上
（コース科目）
　地域包括ケア特論，地域包括ケア演習，地域包括ケア実習，在宅・地域医療実習，離島・僻地病院実習　７単位以上
（研究支援科目）
　必修科目　８単位
　選択科目（備考）　６単位以上
（論文研究）　８単位
合計　３２単位以上

備考　研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

※本学では，２学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の２期に分け，前期を４月１日から９月３０日まで，後期を１０月１日から翌年３月３１日までとし，前期の前半を第１クォータ，後半を第２クォータ，後期の前半を第３クォータ，後半を第４クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④		2		○								兼17
		小計（1科目）	－	0	2	0	－			0	0	0	0	0	兼17
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④		1		○			1					兼1
		医療情報学	1・2③		1		○								兼4
		国際・熱帯医学	1・2②		1		○			9					兼1
		小計（3科目）	－	0	3	0	－			10	0	0	0	0	兼6
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③		1		○								兼1
		分子細胞生物学	1・2③		1		○								兼4
		ゲノム科学	1・2④		1		○			1	1				兼5
		生体材料科学	1・2①		1		○								兼6
		硬組織疾患特論	1・2②		1		○			1	1				兼6
		医薬品化学	1・2②		1		○								兼6
		生体分子解析学	1・2④		1		○								兼3
		腫瘍診断治療学	1・2④		1		○								兼8
		移植・再生医療学特論	1・2①		1		○								兼8
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①		1		○								兼6
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②		1		○								兼7
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④		1		○								兼7
		神経科学特論	1・2②		1		○								兼1
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通		1		○								兼1
		先端医療科学特論(臨床編)	1・2通		1		○			1					
		先端新興感染症病態制御学特論	1・2通		1		○			1					
		先端放射線医療科学特論	1・2通		1		○								兼1
		先端臨床試験特論	1・2②		1		○								兼5
		小計（18科目）	－	0	18	0	－			3	1	0	0	0	兼68
	生命医療科学実習	先端機器実習	1・2②		1										兼1
		小計（1科目）	－	0	1	0	－			0	0	0	0	0	兼1
コース科目	がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース，がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門医師・歯科医師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)	1・2前		1		○								兼1
		集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)	1・2後		1		○								兼1
		集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)	1・2前		1		○								兼1
		集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)	1・2後		1		○								兼1
		集学的がん治療学実習	1・2通		2				○						兼3
		在宅・地域医療実習	1・2通		1				○						兼2
		離島・僻地病院実習	1・2通		2				○						兼2
		小計（7科目）	－	0	9	0	－			0	0	0	0	0	兼4
	がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース	がん専門薬剤師養成実習A	1・2通		8				○						兼1
		がん専門薬剤師養成実習B	1・2通		8				○						兼1
		小計（2科目）	－	0	16	0	－			0	0	0	0	0	兼2
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○							兼5
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○							兼3
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2			○							兼2
		細胞生物学演習	1・2④		2			○							兼1
		内臓機能生理学演習	1・2④		2			○							兼2
		生化学演習	1・2④		2			○							兼3
		腫瘍医学演習	1・2④		2			○							兼3
		臨床疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		分子標的医学演習	1・2④		2			○							兼5
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2			○							兼2
		医科薬理学演習	1・2④		2			○							兼4
		歯科薬理学演習	1・2④		2			○							兼3
		病理診断科学演習	1・2④		2			○							兼1
		基礎病理学演習	1・2④		2			○							兼4
		口腔病理学演習	1・2④		2			○							兼2
		生体材料学演習	1・2④		2			○							兼1
		分子硬組織生物学演習	1・2④		2			○							兼1

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	研究支援科目	法医学演習	1・2④		2			○							兼2
		歯科法医学演習	1・2④		2			○							兼1
		フロンティア口腔科学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔保健学演習	1・2④		2			○							兼2
		眼科・視覚科学演習	1・2④		2			○							兼2
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④		2			○							兼2
		脳神経外科学演習	1・2④		2			○							兼2
		麻酔集中治療医学演習	1・2④		2			○							兼2
		心臓血管外科学演習	1・2④		2			○							兼1
		泌尿器科学演習	1・2④		2			○							兼3
		腫瘍外科学演習	1・2④		2			○							兼3
		移植・消化器外科学演習	1・2④		2			○							兼4
		産科婦人科学演習	1・2④		2			○							兼1
		整形外科学演習	1・2④		2			○							兼3
		形成再建外科学演習	1・2④		2			○							兼1
		精神神経科学演習	1・2④		2			○							兼1
		皮膚病態学演習	1・2④		2			○							兼3
		循環器内科学演習	1・2④		2			○							兼3
		消化器内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		呼吸器内科学演習	1・2④		2			○							兼4
		病態解析・診断学演習	1・2④		2			○							兼4
		小児科学演習	1・2④		2			○							兼3
		放射線診断治療学演習	1・2④		2			○							兼2
		臨床腫瘍学演習	1・2④		2			○							兼4
		歯科麻酔学演習	1・2④		2			○							兼2
		歯科矯正学演習	1・2④		2			○							兼1
		小児歯科学演習	1・2④		2			○							兼1
		歯周歯内治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔インプラント学演習	1・2④		2			○							兼2
		歯科補綴学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔腫瘍治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		顎口腔再生外科学演習	1・2④		2			○							兼4
		口腔診断・情報科学演習	1・2④		2			○							兼2
		看護学演習	1・2④		2			○							兼5
		理学療法学演習	1・2④		2			○							兼4
		作業療法学演習	1・2④		2			○							兼2
		保健科学演習	1・2④		2			○							兼4
		先端臨床薬学特論	1・2④		1		○								兼2
		先端薬物治療学特論	1・2④		1		○								兼1
		薬物治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		医薬品情報学演習	1・2④		2			○							兼2
		薬剤学演習	1・2④		2			○							兼2
		実践薬学演習	1・2④		2			○							兼2
		比較動物医学演習	1・2④		2			○							兼1
		ゲノム機能解析学演習	1・2④		2			○							兼1
		予防医学演習	1・2④		2			○							兼1
		先端創薬学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域保健・福祉連携学演習	1・2④		2			○							兼1
		内分泌・代謝内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		脳神経内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		腎臓内科学演習	1・2④		2			○							兼3
		臨床薬物動態学演習	1・2④		2			○							兼1
		救命救急医療学演習	1・2④		2			○							兼1
		脳神経病態学演習	1・2④		2			○							兼1
		神経免疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域包括ケア学演習	1・2④		2			○							兼1
		包括的腫瘍学演習	1・2④		2			○							兼1
		免疫学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		感染分子解析学演習	1・2④		2			○		1					兼1

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	研究支援科目	臨床感染症学演習	1・2④		2			○		1	1	1			
		口腔病原微生物学演習	1・2④		2			○		1					
		臨床微生物学特論	1・2③		1		○								兼1
		感染疫学特論	1・2③		1			○							兼1
		臨床感染症学実習	1・2③		2			○		1	1	1			
		感染制御学実習	1・2②		1			○		1	1	1			兼2
		短期海外臨床研修	3・4②		1			○		1	1	1			
		熱帯ウイルス病学演習	1・2④		2			○		1					
		病原細菌学演習	1・2④		2			○		1					兼2
		病原原虫学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		熱帯寄生虫学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		免疫遺伝学演習	1・2④		2			○		1					
		感染病理学演習	1・2④		2			○		1					
		熱帯医学情報学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		国際保健学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		病害動物学演習	1・2④		2			○		1					
		臨床熱帯医学演習	1・2④		2			○		1					
		熱帯小児感染症学演習	1・2④		2			○		1					
		臨床開発学演習	1・2④		2			○		1					
		熱帯細菌学演習	1・2④		2			○		1					
		熱帯微生物学演習	1・2④		2			○		1					
		新興ウイルス感染症学演習	1・2④		2			○		1					兼2
		ウイルス感染制御学演習	1・2④		2			○		1					
		ウイルス生態学演習	1・2④		2			○		1					
		臓器統合制御学演習	1・2④		2			○		1					
		医療政策学演習	1・2④		2			○		1					
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④		2			○		1					
		先端医療学演習	1・2④		2			○		1	1				
		分子免疫学演習	1・2④		2			○		1					
		機能形態学演習	1・2④		2			○		1					
		臨床病理学演習	1・2④		2			○		1					
		基礎抗酸菌症学演習	1・2④		2			○		1	1				
		臨床抗酸菌症学演習	1・2④		2			○		3					
		放射線災害医療学演習	1・2④		2			○							兼3
		放射線分子疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		放射線生物・防護学演習	1・2④		2			○							兼1
		放射線・環境健康影響学演習	1・2④		2			○							兼1
		ゲノム機能修復学演習	1・2④		2			○							兼1
		幹細胞生物学演習	1・2④		2			○							兼2
		血液内科学演習	1・2④		2			○							兼2
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④		2			○							兼2
		国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④		2			○							兼1
		神経機能学演習	1・2④		2			○							兼4
		公衆衛生学演習	1・2④		2			○							兼2
		医療情報学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域医療学演習	1・2④		2			○							兼2
		リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④		2			○							兼6
		総合診療学演習	1・2④		2			○							兼3
		国際保健医療福祉学演習	1・2④		2			○							兼1
		人類遺伝学演習	1・2④		2			○							兼2
		分子医学演習	1・2④		2			○							兼1
		腫瘍・診断病理学演習	1・2④		2			○							兼1
	研究支援科目 課題研究	課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	1・2①	2				○		25	6	1			兼15
		課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2③	2				○		24	5	1			兼15
	研究支援科目 実習科目	特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）	2・3②	2					○	22	7	1			兼15
		特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）	2・3④	2					○	23	7	1			兼15
	論文研究	論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	3・4①	4					○	25	6	1			兼15
		論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	3・4③	4					○	25	6	1			兼15
		小計（134科目）	－	16	250	0	－			25	7	1	0	0	兼185

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	授業形態 講義	演習	実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コース	感染症課題解決型科目群	ウイルス学特論	1後		1		○			1					
		細菌学特論	1後		1		○								兼4
		疫学統計学特論	1後		1		○			1					
		寄生虫学特論	1・2前		1		○			1					
		病害動物学特論	1・2前		1		○			1					
		感染創薬学特論	1・2前		1		○								兼1
		小計（6科目）	－	0	6	0	－			4	0	0	0	0	兼5
	実習演習科目群	生物医科学実習	1・2前		2			○		1					
		グラント申請演習	1・2前		2			○		1					兼1
		海外研修	2・3後		2			○		1					
		小計（3科目）	－	0	6	0	－			3	0	0	0	0	兼1
	グローバルリーダー教養科目群	感染症危機管理学	1・2後		1		○			2					兼1
		生命倫理学	1・2④		1		○			1					
		文化人類学	1・2後		1		○			1					兼2
		国際経済学	1・2後		1		○								兼2
		国際法学	1・2後		1		○								兼1
		小計（5科目）	－	0	5	0	－			4	0	0	0	0	兼5
	グローバルリーダー演習科目群	コミュニケーションスキル演習Ⅰ	1・2後		1			○							兼1
		コミュニケーションスキル演習Ⅱ	1・2前		1			○							兼1
		グローバルリーダー演習Ⅰ	2・3後		1			○		1					
		グローバルリーダー演習Ⅱ	2・3後		1			○		1					
		小計（4科目）	－	0	4	0	－			1	0	0	0	0	兼1
	課題研究	課題研究Ⅰ（グローバルリーダー）	1・2前	2				○		10	3				兼5
		課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2後	2				○		10	3				兼5
		小計（2科目）	－	4	0	0	－			11	3	0	0	0	兼5
	論文研究	論文研究Ⅰ（グローバルリーダー）	3・4前	4					○	7	2				兼4
		論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	3・4後	4					○	7	2				兼4
		小計（2科目）	－	8	0	0	－			7	2	0	0	0	兼4
合計（188科目）			－	28	328	0	－			25	8	1	0	0	兼222

学位又は称号	博士（学術），博士（医学），博士（歯学），博士（薬学）	学位又は学科の分野	医学関係，歯学関係，薬学関係

卒業要件及び履修方法

４年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。新興感染症病態制御学系専攻及び各コースの必要単位は，以下のとおりである。

○新興感染症病態制御学系専攻（コースに所属しない場合）
（共通科目）　合計８単位以上
１.生命医療科学セミナー　２単位
２.生命医療科学概論　２単位以上
３.生命医療科学特論，生命医療科学実習　４単位以上
（研究支援科目）　合計１４単位以上
１.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)」）
２.選択科目　６単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　８単位

○がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目）　合計４単位以上
１.生命医療科学セミナー　２単位
２.生命医療科学概論　１単位以上
３.生命医療科学特論　１単位　（「腫瘍学特論(基礎編)」）
（コース科目）　６単位　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目）　合計１４単位以上
１.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)」）
２.選択科目　６単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　８単位

授業期間等

１学年の学期区分	２期（４クォータ）※
１学期の授業期間	１５週（７.５週）※
１時限の授業時間	９０分

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

○包括的がん専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目）　合計４単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　１単位以上
3.生命医療科学特論　１単位　（「腫瘍学特論(臨床編)」）
（コース科目）　合計６単位以上
1.選択科目　４単位以上　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)，希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「在宅・地域医療実習」，「離島・僻地病院実習」）
※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を１単位以上履修する。
2.選択必修科目　２単位　（「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目）　合計１４単位以上
1.必修科目　８単位　（「課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)」）
2.選択科目　６単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　８単位

○がんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コース
（共通科目）　合計４単位以上
1.生命医療科学セミナー　２単位
2.生命医療科学概論　１単位以上
3.生命医療科学特論　１単位
※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(基礎編)」を履修し，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(臨床編)」を履修する。
（コース科目）　合計１２単位以上
1.選択科目　２単位以上　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)，希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」）
2.選択必修科目　１０単位　（「集学的がん治療学実習」，「がん専門薬剤師養成実習A」，「がん専門薬剤師養成実習B」）
※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」を履修し，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修する。
（研究支援科目）　８単位　（「課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)」）
（論文研究）　８単位

○熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コース
（感染症課題解決型科目群）　６単位
（実習演習科目群，グローバルリーダー教養科目群及びグローバルリーダー演習科目群）　１２単位以上
（課題研究）　４単位
（論文研究）　８単位

※本学では，２学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の２期に分け，前期を４月１日から９月３０日まで，後期を１０月１日から翌年３月３１日までとし，前期の前半を第１クォータ，後半を第２クォータ，後期の前半を第３クォータ，後半を第４クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④	2			○			3					兼14
		小計（1科目）	－	2	0	0	－			3	0	0	0	0	兼14
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④		1		○								兼2
		医療情報学	1・2③		1		○								兼4
		国際・熱帯医学	1・2②		1		○								兼10
		小計（3科目）	－	0	3	0	－			0	0	0	0	0	兼16
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③		1		○								兼1
		分子細胞生物学	1・2③		1		○			1					兼3
		ゲノム科学	1・2④		1		○								兼7
		生体材料科学	1・2①		1		○								兼6
		硬組織疾患特論	1・2②		1		○								兼8
		医薬品化学	1・2②		1		○								兼6
		生体分子解析学	1・2④		1		○								兼3
		腫瘍診断治療学	1・2④		1		○								兼8
		移植・再生医療学特論	1・2①		1		○			1					兼7
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①		1		○								兼6
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②		1		○			1					兼6
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④		1		○								兼7
		神経科学特論	1・2②		1		○								兼1
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通		1		○								兼1
		先端医療科学特論(臨床編)	1・2通		1		○								兼1
		先端新興感染症病態制御学特論	1・2通		1		○								兼1
		先端放射線医療科学特論	1・2通		1		○			1					
		先端臨床試験特論	1・2②		1		○								兼5
		小計（18科目）	－	0	18	0	－			2	0	0	0	0	兼70
	生命医療科学実習	先端機器実習	1・2②		1										兼1
		小計（1科目）	－	0	1	0	－			0	0	0	0	0	兼1
がんプロフェッショナル養成コース	がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース，がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門医師・歯科医師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)	1・2前		1		○								兼1
		集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)	1・2後		1		○								兼1
		集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)	1・2前		1		○								兼1
		集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)	1・2後		1		○								兼1
		集学的がん治療学実習	1・2通		2				○						兼3
		在宅・地域医療実習	1・2通		1				○						兼2
		離島・僻地病院実習	1・2通		2				○						兼2
		小計（7科目）	－	0	9	0	－			0	0	0	0	0	兼4
	がんゲノム医療専門薬剤師養成コース，包括的がん専門薬剤師養成コース	がん専門薬剤師養成実習A	1・2通		8				○						兼1
		がん専門薬剤師養成実習B	1・2通		8				○						兼1
		小計（2科目）	－	0	16	0	－			0	0	0	0	0	兼2
放射線医療科学専攻	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○							兼5
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○							兼3
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2			○							兼2
		細胞生物学演習	1・2④		2			○							兼1
		内臓機能生理学演習	1・2④		2			○							兼2
		生化学演習	1・2④		2			○							兼3
		腫瘍医学演習	1・2④		2			○							兼3
		臨床疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		分子標的医学演習	1・2④		2			○							兼5
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2			○							兼2
		医科薬理学演習	1・2④		2			○							兼4
		歯科薬理学演習	1・2④		2			○							兼3
		病理診断科学演習	1・2④		2			○							兼1
		基礎病理学演習	1・2④		2			○							兼4
		口腔病理学演習	1・2④		2			○							兼2
		生体材料学演習	1・2④		2			○							兼1
		分子硬組織生物学演習	1・2④		2			○							兼1

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
放射線医療科学専攻	研究支援科目	法医学演習	1・2④		2			○							兼2
		歯科法医学演習	1・2④		2			○							兼1
		フロンティア口腔科学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔保健学演習	1・2④		2			○							兼2
		眼科・視覚科学演習	1・2④		2			○							兼2
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④		2			○							兼2
		脳神経外科学演習	1・2④		2			○							兼2
		麻酔集中治療医学演習	1・2④		2			○							兼2
		心臓血管外科学演習	1・2④		2			○							兼1
		泌尿器科学演習	1・2④		2			○							兼3
		腫瘍外科学演習	1・2④		2			○							兼3
		移植・消化器外科学演習	1・2④		2			○							兼4
		産科婦人科学演習	1・2④		2			○							兼1
		整形外科学演習	1・2④		2			○							兼3
		形成再建外科学演習	1・2④		2			○							兼1
		精神神経科学演習	1・2④		2			○							兼1
		皮膚病態学演習	1・2④		2			○							兼3
		循環器内科学演習	1・2④		2			○							兼3
		消化器内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		呼吸器内科学演習	1・2④		2			○							兼4
		病態解析・診断学演習	1・2④		2			○							兼4
		小児科学演習	1・2④		2			○							兼3
		放射線診断治療学演習	1・2④		2			○							兼2
		臨床腫瘍学演習	1・2④		2			○							兼4
		歯科麻酔学演習	1・2④		2			○							兼2
		歯科矯正学演習	1・2④		2			○							兼1
		小児歯科学演習	1・2④		2			○							兼1
		歯周歯内治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔インプラント学演習	1・2④		2			○							兼2
		歯科補綴学演習	1・2④		2			○							兼1
		口腔腫瘍治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		顎口腔再生外科学演習	1・2④		2			○							兼4
		口腔診断・情報科学演習	1・2④		2			○							兼2
		看護学演習	1・2④		2			○							兼5
		理学療法学演習	1・2④		2			○							兼4
		作業療法学演習	1・2④		2			○							兼2
		保健科学演習	1・2④		2			○							兼4
		先端臨床薬学特論	1・2④		1		○								兼2
		先端薬物治療学特論	1・2④		1		○								兼1
		薬物治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		医薬品情報学演習	1・2④		2			○							兼2
		薬剤学演習	1・2④		2			○							兼2
		実践薬学演習	1・2④		2			○							兼2
		比較動物医学演習	1・2④		2			○							兼1
		ゲノム機能解析学演習	1・2④		2			○							兼1
		予防医学演習	1・2④		2			○							兼1
		先端創薬学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域保健・福祉連携学演習	1・2④		2			○							兼1
		内分泌・代謝内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		脳神経内科学演習	1・2④		2			○							兼1
		腎臓内科学演習	1・2④		2			○							兼3
		臨床薬物動態学演習	1・2④		2			○							兼1
		救命救急医療学演習	1・2④		2			○							兼1
		脳神経病態学演習	1・2④		2			○							兼1
		神経免疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域包括ケア学演習	1・2④		2			○							兼1
		包括的腫瘍学演習	1・2④		2			○							兼1
		免疫学演習	1・2④		2			○							兼2
		感染分子解析学演習	1・2④		2			○							兼2

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
放射線医療科学系専攻	研究支援科目	臨床感染症学演習	1・2④		2			○							兼3
		口腔病原微生物学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床微生物学特論	1・2③		1		○								兼1
		感染疫学特論	1・2③		1			○							兼1
		臨床感染症学実習	1・2③		2			○							兼3
		感染制御学実習	1・2②		1			○							兼5
		短期海外臨床研修	3・4②		1			○							兼3
		熱帯ウイルス病学演習	1・2④		2			○							兼1
		病原細菌学演習	1・2④		2			○							兼3
		病原原虫学演習	1・2④		2			○							兼2
		熱帯寄生虫学演習	1・2④		2			○							兼2
		免疫遺伝学演習	1・2④		2			○							兼1
		感染病理学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯医学情報学演習	1・2④		2			○							兼2
		国際保健学演習	1・2④		2			○							兼2
		病害動物学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床熱帯医学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯小児感染症学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床開発学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯細菌学演習	1・2④		2			○							兼1
		熱帯微生物学演習	1・2④		2			○							兼1
		新興ウイルス感染症学演習	1・2④		2			○							兼3
		ウイルス感染制御学演習	1・2④		2			○							兼1
		ウイルス生態学演習	1・2④		2			○							兼1
		臓器統合制御学演習	1・2④		2			○							兼1
		医療政策学演習	1・2④		2			○							兼1
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④		2			○							兼1
		先端医療学演習	1・2④		2			○							兼2
		分子免疫学演習	1・2④		2			○							兼1
		機能形態学演習	1・2④		2			○							兼1
		臨床病理学演習	1・2④		2			○							兼1
		基礎抗酸菌症学演習	1・2④		2			○							兼2
		臨床抗酸菌症学演習	1・2④		2			○							兼3
		放射線災害医療学演習	1・2④		2			○		1	1				兼1
		放射線分子疫学演習	1・2④		2			○		1					
		放射線生物・防護学演習	1・2④		2			○		1					
		放射線・環境健康影響学演習	1・2④		2			○		1					
		ゲノム機能修復学演習	1・2④		2			○		1					
		幹細胞生物学演習	1・2④		2			○		1			1		
		血液内科学演習	1・2④		2			○		1	1				
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④		2			○		1			1		
		国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④		2			○							兼1
		神経機能学演習	1・2④		2			○							兼4
		公衆衛生学演習	1・2④		2			○							兼2
		医療情報学演習	1・2④		2			○							兼1
		地域医療学演習	1・2④		2			○							兼2
		リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④		2			○							兼6
		総合診療学演習	1・2④		2			○							兼3
		国際保健医療福祉学演習	1・2④		2			○							兼1
		人類遺伝学演習	1・2④		2			○							兼2
		分子医学演習	1・2④		2			○							兼1
		腫瘍・診断病理学演習	1・2④		2			○							兼1
	研究支援科目 課題研究	課題研究Ⅰ（放射線医療科学）	1・2①	2				○		6	2		2		兼2
		課題研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2③	2				○		6	2		2		兼2
	研究支援科目 実習科目	特別実習Ⅰ（放射線医療科学）	2・3②	2					○	6	2		2		
		特別実習Ⅱ（放射線医療科学）	2・3④	2					○	6	2		2		
	論文研究	論文研究Ⅰ（放射線医療科学）	3・4①	4					○	6	2		2		兼2
		論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	3・4③	4					○	6	2		2		兼2
		小計（134科目）	－	16	250	0	－			6	2	0	2	0	兼184
合計（166科目）			－	18	297	0	－			6	2	0	2	0	兼213

学位又は称号	博士（学術），博士（医学），博士（歯学），博士（薬学）	学位又は学科の分野	医学関係，歯学関係，薬学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期（4クォータ）※
	1学期の授業期間	15週（7.5週）※
	1時限の授業時間	90分

4年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。放射線医療科学専攻及び各コースの必要単位は，以下のとおりである。

○放射線医療科学専攻（コースに所属しない場合）
（共通科目）　合計8単位以上
1.生命医療科学セミナー　2単位
2.生命医療科学概論　2単位以上
3.生命医療科学特論，生命医療科学実習　4単位以上
（研究支援科目）　合計14単位以上
1.必修科目　8単位　（「課題研究Ⅰ(放射線医療科学)」，「課題研究Ⅱ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅰ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅱ(放射線医療科学)」）
2.選択科目　6単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　8単位

○がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目）　合計4単位以上
1.生命医療科学セミナー　2単位
2.生命医療科学概論　1単位以上
3.生命医療科学特論　1単位　（「腫瘍学特論(基礎編)」）
（コース科目）　6単位　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目）　合計14単位以上
1.必修科目　8単位　（「課題研究Ⅰ(放射線医療科学)」，「課題研究Ⅱ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅰ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅱ(放射線医療科学)」）
2.選択科目　6単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　8単位

○包括的がん専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目）　合計4単位以上
1.生命医療科学セミナー　2単位
2.生命医療科学概論　1単位以上
3.生命医療科学特論　1単位　（「腫瘍学特論(臨床編)」）
（コース科目）　合計6単位以上
1.選択科目　4単位以上　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「在宅・地域医療実習」，「離島・僻地病院実習」）
※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を1単位以上履修する。
2.選択必修科目　2単位　（「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目）　合計14単位以上
1.必修科目　8単位　（「課題研究Ⅰ(放射線医療科学)」，「課題研究Ⅱ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅰ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅱ(放射線医療科学)」）
2.選択科目　6単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究）　8単位

○がんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コース
（共通科目）　合計4単位以上
1.生命医療科学セミナー　2単位
2.生命医療科学概論　1単位以上
3.生命医療科学特論　1単位
※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(基礎編)」を履修し，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(臨床編)」を履修する。
（コース科目）　合計12単位以上
1.選択科目　2単位以上　（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」）
2.選択必修科目　10単位　（「集学的がん治療学実習」，「がん専門薬剤師養成実習A」，「がん専門薬剤師養成実習B」）
※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」を履修し，包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修する。
（研究支援科目）　8単位　（「課題研究Ⅰ(放射線医療科学)」，「課題研究Ⅱ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅰ(放射線医療科学)」，「特別実習Ⅱ(放射線医療科学)」）
（論文研究）　8単位

※本学では，2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2期に分け，前期を4月1日から9月30日まで，後期を10月1日から翌年3月31日までとし，前期の前半を第1クォータ，後半を第2クォータ，後期の前半を第3クォータ，後半を第4クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻（博士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
医学基礎科目		医学基礎	1前・1後	各大学		2		○			1					
		小計（1科目）	－	－	0	2	0	－			1	0	0	0	0	
基盤科目	予防医学	医療統計学・疫学	1前	各大学		1		○			1	1				
		環境と遺伝	1前	各大学		1		○			1					
		生命倫理	1前・1後	各大学		1		○								兼2
		小計（3科目）	－	－	0	3	0	－			2	1	0	0	0	兼2
先進予防医学に関する科目	オミクス解析領域	オミクス解析	1後	金沢大学	1			○			1					
		分子腫瘍医科学	1・2後	金沢大学		1		○			1					
		分子薬剤応答学	2前	金沢大学		1		○			1					
		栄養代謝学	1・2後	金沢大学		1		○			1					
		臨床遺伝学	1・2後	長崎大学		1		○			1		1			兼1
	情報医工学領域	情報医工学	1後	長崎大学	1			○				1				
		バイオインフォマティックス	1・2後	金沢大学		1		○			1					
		探索イメージング学	2前	金沢大学		1		○			1					
		レギュラトリーサイエンス	1・2後	千葉大学		1		○			1					
		医療情報管理学	1・2後	千葉大学		1		○			1					
		メディカルロボティクス	2前	長崎大学		1		○								兼1
	マクロ環境領域	マクロ環境	1後	千葉大学	1			○			1					
		医療政策・マネジメント	1・2後	千葉大学		1		○			1					
		サステイナブル環境健康科学	2前	千葉大学		1		○			1					
		社会疫学	2前	千葉大学		1		○			1					
		行動・精神衛生	2後	長崎大学		1		○			1	1				兼2
		放射線健康影響概論	1・2後	長崎大学		1		○			4					兼3
		地域医療論	2前	長崎大学		1		○			2	1				兼1
		小計（18科目）	－	－	3	15	0	－			17	3	0	0	0	兼8
国内・海外フィールド実習に関する科目		ゲノム実習（金沢）	3・4通	金沢大学		1				○	1					
		過疎地コホート実習	3・4通	金沢大学		1				○	1					
		地域医療実習（金沢）	3・4通	金沢大学		1				○	1					
		HIV／AIDS研究フィールドワーク実習	3・4通	金沢大学		1				○		1				
		ウィルス感染症研究フィールドワーク実習	3・4通	金沢大学		1				○		1				
		寄生虫感染症研究フィールドワーク実習	3・4通	金沢大学		1				○		1				
		グローバルヘルス実習	3・4通	金沢大学		1				○		1				
		ゲノム実習（千葉）	3・4通	千葉大学		1				○	1					
		ヘルシーシティーズ・都市部コホート実習	3・4通	千葉大学		1				○	1					
		医療機関情報実習（千葉）	3・4通	千葉大学		1				○	1					
		グローバルヘルス環境医学実習	3・4通	千葉大学		1				○	1					
		ゲノム実習（長崎）	3・4通	長崎大学		1				○	1					
		離島コホート実習	3・4通	長崎大学		1				○	1					兼2
		原爆被爆者健康診断学実習	3・4通	長崎大学		1				○	1					
		放射線臨床疫学実習	3・4通	長崎大学		1				○	1					
		海外母子コホート実習	3・4通	長崎大学		1				○	1					
		小計（16科目）	－	－	0	16	0	－			11	2	0	0	0	兼2
研究支援科目		課題研究	2通	各大学	1				○		9	5	3	3		兼3
		研究実践レポート（金沢）	2通	金沢大学		1			○		12	7		3		
		研究実践レポート（千葉）	2通	千葉大学		1			○		8	3	2	7		
		研究実践レポート（長崎）	2通	長崎大学		1			○		9	5	3	3		
		特別研究Ⅰ	3・4通	各大学	3				○		9	5	3	3		兼3
		研究デベロップメントⅠ（金沢）	3・4通	金沢大学		2			○		12	7		3		
		研究デベロップメントⅠ（千葉）	3・4通	千葉大学		2			○		8	3	2	7		
		研究デベロップメントⅠ（長崎）	3・4通	長崎大学		2			○		9	5	3	3		
		特別研究Ⅱ	3・4通	各大学	5				○		9	5	3	3		兼3
		研究デベロップメントⅡ（金沢）	3・4通	金沢大学		5			○		12	7		3		
		研究デベロップメントⅡ（千葉）	3・4通	千葉大学		5			○		8	3	2	7		
		研究デベロップメントⅡ（長崎）	3・4通	長崎大学		5			○		9	5	3	3		
		小計（12科目）	－	－	9	24	0	－			29	15	5	13	0	兼3
合計（50科目）			－	－	12	60	0	－			29	15	5	13	0	兼12

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
４年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。先進予防医学共同専攻の必要単位は，以下のとおりである。	１学年の学期区分	２期（４クォータ）※
	１学期の授業期間	１５週（７．５週）※
	１時限の授業時間	９０分

予防医学基盤科目　必修科目　３単位

先進予防医学に関する科目　必修科目３単位

　　選択必修科目　３単位以上

国内・海外フィールド実習に関する科目　選択必修科目　１単位以上

研究支援科目　必修科目　９単位

　　選択必修科目　１６単位

合計

備考

１　各科目区分から上記の単位を修得するとともに，それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により１０単位以上修得すること。

２　予防医学基盤科目は，原則として，研究科で修得すること。

３　先進予防医学に関する科目のうち，「選択必修科目」については，それぞれの構成大学院から１単位以上修得すること。

４　研究支援科目において，「課題研究」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究実践レポート」（各１単位）をそれぞれ修得すること。

５　研究支援科目において，「特別研究Ⅰ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅠ」（各２単位）をそれぞれ修得すること。

６　研究支援科目において，「特別研究Ⅱ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅡ」（各５単位）をそれぞれ修得すること。

※本学では，２学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の２期に分け，前期を４月１日から９月３０日まで，後期を１０月１日から翌年３月３１日までとし，前期の前半を第１クォータ，後半を第２クォータ，後期の前半を第３クォータ，後半を第４クォータとしている。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

【既設研究科】　熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	グローバルヘルス研究演習	１通	4				○		12	9		10		
	小計（1科目）	－	4	0	0	－			12	9	0	10	0	
特別研究	グローバルヘルス特別研究	2～3通	12				○		12	9		10		
	小計（1科目）	－	12	0	0	－			12	9	0	10	0	
合計（2科目）		－	16	0	0	－			12	9	0	10	0	

学位又は称号	博士（グローバルヘルス）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
博士（グローバルヘルス）の学位授与に値する教育を３年，あるいは，それ以上の期間受け，修了要件である16単位以上を取得し，博士論文を作成し，最終審査に合格することによって本コースを修了する。 総単位数　１６単位	１学年の学期区分	４期
	１学期の授業期間	１０週
	１時限の授業時間	９０分

（用紙　日本工業規格Ａ４横型）

教 育 課 程 等 の 概 要 （ 国 際 連 携 学 科 等 ）

【既設研究科】 熱帯医学・グローバルヘルス研究科　長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置														備考
											申請大学						連携外国大学								
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員	助手に相当する教員	小計	合計	
（研究指導）		－	1～3通	長崎大学 ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院	－	－	－	－			12	9		10		31	18			1		19	50	
合計（－科目）		－	－	－	－	－	－	－			12	9	0	10	0	31	18	0	0	1	0	19	50	

学位又は称号	博士（グローバルヘルス）（Doctor of Philosophy）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）

卒業要件及び履修方法	開設大学等	開設単位数（必修）	授業期間等	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、最終年次の研究報告会において口頭発表を行い、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	長崎大学	－	1学年の学期区分	－
	ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院	－	1学期の授業期間	－
			1時限の授業時間	－

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（プラネタリーヘルス学環）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	プラネタリーヘルス	プラネタリーヘルス特論	（講義科目） 人類の健康と地球環境は密接に関わっており、人類の活動がどのように地球環境を変化させ、その環境変化がどのように人の健康に影響しているかを理解することがますます重要になっている。本科目では、健康を人類のみならず地球全体で捉えたプラネタリーヘルスによる包括的なアプローチの基本概念を習得するとともに、その保健政策・プログラムへの運用を探索する。本科目を通し、学生はプラネタリーヘルスに関する学際的な理解力と考察力を習得し、持続的な健康ならびに開発を可能とするマルチセクトラルプログラム案件の策定に向けた素地を養う。 （オムニバス方式／全22回） （５ 渡辺 知保／２回） プラネタリーヘルス概要、まとめ （14 門司 和彦／１回） 健康の社会的決定要因（SDH） （49 CHRIS NG FOOK SHENG／１回） 人の健康と環境要因、大気汚染 （28 成田 真紀子／１回） 国家間の社会経済的格差 （10 皆川 昇／１回） 気候変動と感染症 （15 滝澤 克彦／１回） 宗教と健康 （38 昔 宣希／１回） 気候変動に対する経済学的アプローチ （29 河村 有教／１回） 倫理規範、法規制とジェンダー （44 橋爪 真弘／１回） 気候変動に関する政府間パネル（IPCC） （30 GUELBEYAZ ABDURRAHMAN／１回） 紛争、民族問題（記号論） （31 小松 悟／１回） 社会経済格差と気候変動 （32 COMPEL RADOMIR／１回） 紛争研究（政治学） （18 大嶺 聖／１回） 地球環境問題とリサイクル （33 細田 尚美／１回） 移民・難民（文化人類学） （19 阪倉 良孝・21 持田 恵一／１回） 食料問題 （12 高村 昇・13 松田 尚樹／１回） 放射線リスク管理 （35 藤岡 貴浩／１回） 水質と水の欠乏 （22 吉田 文彦／1回） 核兵器と核軍縮 （36 西川 貴文・37 佐々木 謙二／１回） 都市化と環境、健康 （17 深浦 厚之／１回） 官民協調 （11 山本 太郎／１回） 自然災害リスク管理	オムニバス
	政策とシステム	政策過程特論	（講義科目） グローバルヘルス領域のリーダーとして保健政策の立案に効果的に関与するには、政策過程・サイクルについての深い洞察力を有し、政策変化が起きる理由を説明できなければならない。本科目では、公共政策学の知見や主要理論を応用し、保健政策が作られるプロセスや、そのプロセスに影響を与える要因を理解することを目指す。同時に、事例研究が拠って立つ因果推論の方法論についても理解を深め、政策研究が蓄積してきた科学的知見をより深く理解するための能力を向上させる。 （27 MARCO LIVERRANI／８回）	
		実装科学特論	（講義科目） グローバルヘルス領域のリーダーとして、保健政策の実施に効果的に関与するには、政策サイクルのうち実装（implementation）に関わる主要概念や問題点、その解決法を理解している必要がある。本科目では、近年、「実装科学」として成立しつつある学問分野に立脚し、保健システムの複雑性、政治経済等との相互関連性、文脈依存性を理解した上で、保健政策の実装化を検証する能力を涵養する。具体的には、政策と実施の乖離を検証し、その対応策を立案、実施する能力、政策実践を取り巻く文脈性の理解に基づき政策実践プロセスを検証する知識とスキル、問題解決の刷新的アプローチを考案、実施、評価する知識・スキルを習得する。 （オムニバス方式／全11回） （３ 神谷 保彦　／５回） 実装科学総論、政策-実施乖離の検証と解決、公衆衛生における実装科学、保健医療サービスの実装科学、オペレーショナルリサーチ （47 JUDD WALSON／４回） グローバルヘルスにおける普及科学、Precision Public Health、ソーシャルマーケティングによる介入、感染症対策の実装科学 （40 佐藤 美穂　／２回） ジェンダーヘルスのための実施科学、実装科学における質的調査	オムニバス
		保健システム特論	（講義科目） 保健システムとは、人々の健康を改善するための活動を生み出すすべての組織、制度、資源と定義される。保健政策が期待される成果を上げるには、効率的かつ適応性の高い保健システムの存在が不可欠である。グローバルヘルスのリーダーとして、保健政策を成功に導くには、保健システムが抱える問題を特定し、解決できる能力が不可欠である。本科目では、保健システムの問題点を分析し、システム改善のためのオプションを理解し、実現可能な提案を導く能力を習得する。 （オムニバス方式／全10回） （39 吉岡 浩太／８回）　保健システムのフレームワーク （４ 相賀 裕嗣／２回）　保健システム改善の事例	オムニバス

授　業　科　目　の　概　要

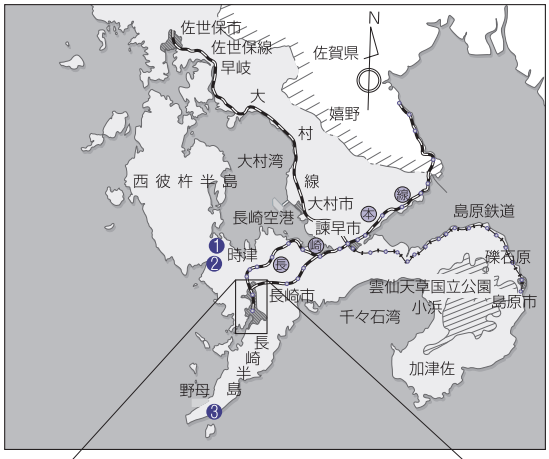
（プラネタリーヘルス学環）

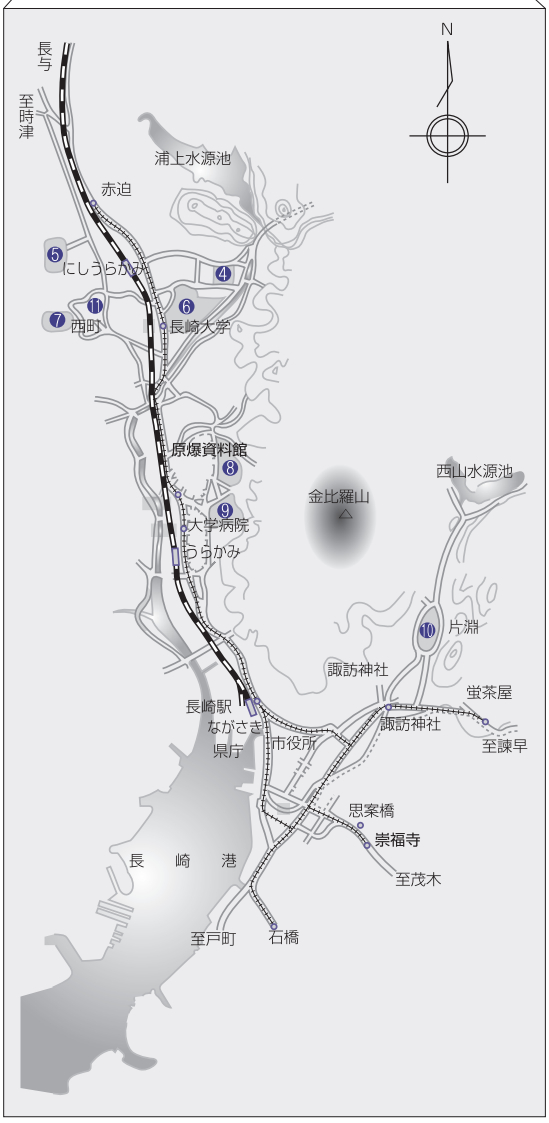
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	データと分析	政策分析法特論	（講義科目） 科学的エビデンスに基づいた政策決定を促すには、エビデンスの創出に使われるデータや分析法について一定の理解をしておく必要がある。本科目では、集団レベルの健康課題を発見し、政策案のアセスメントや比較、既存政策の評価に使われる数理的な手法を概観する。具体的には、メタ解析、ビッグデータ解析、医療技術評価、モデリング、介入研究効果予測といった分析アプローチを取り上げ、それぞれのアプローチにおいて、どのようにデータが収集、分析され、政策立案に活かされているかについて、グローバルヘルス分野のリーダーとして必要な素養を身につける。 （オムニバス方式／全10回） （26 NGUYEN HUY TIEN　／２回）　システマティックレビュー、メタ解析 （20 植木 優夫　／２回）　ビッグデータ解析 （41 XERXES SEPOSO TESORO／２回）　医療技術評価、費用効果分析 （43 JOHN EDMUNDS　／２回）　モデリング、介入効果予測 （16 丸山 幸宏　／２回）　包絡線分析	オムニバス
	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	（講義科目） 組織のマネジメント及び戦略策定に関わる知識・技術・スキルを習得する。本講義では、公的組織および民間企業のマネジメントを扱う。公的組織のマネジメントでは、政府系機関でリーダーとして働くのに求められる、公共財政、資源動員と配置、プログラム・プロジェクトマネジメントなどに関する知識やスキルを学ぶ。民間企業のマネジメントでは、企業の競争戦略の作り方、イノベーション、アントレプレナーシップ、ベンチャーファイナンスなどを取り上げる。 （オムニバス方式／全８回） （45 山下 淳司／４回） 企業の競争戦略、イノベーション、アントレプレナーシップ、ベンチャーファイナンス （25 松井 三明／４回） プログラム・プロジェクトマネジメント、公共・医療財政管理、資源動員と配置	オムニバス
		渉外マネジメント特論	（講義科目） グローバルヘルス分野のリーダーとして成果を上げるには、自らのアイデアや要求を他者に伝え、説得する能力が欠かせない。本科目では、組織や事業の渉外に関わる知識・技術・スキルを習得する。交渉の基本理論と国際交渉や組織間交渉等の実例を学んだのち、コミュニケーションスキル（writingおよびspeaking）を向上させるため、政策文書の作成法およびパブリックコミュニケーションについて理解を深め、実践で活用できるスキルやノウハウを培う。 （オムニバス方式／全10回） （24 上條　由紀子　／９回）　交渉術、パブリックコミュニケーション、文書作成法（政策提言） （34 MASON SHANNON LEE／１回）　サイエンスコミュニケーション	オムニバス
		グローバルヘルスガバナンス特論	（講義科目） 疾病対策・保健政策・保健システム・危機管理に関連する国際的な法的枠組み、国際指針、行動規範を知り、その策定における国家間の議論・合意形成・駆け引き等を進める上で必要なリーダーシップ・スキルについて理解を深める。世界保健総会等の国際場裏での外交術、国際パートナシップ・民間基金・職能団体・市民団体との協働・協調・調整の実務能力を向上させ、多様な状況において適切で有効な政策を実施できる能力を獲得する。 （オムニバス方式／全９回） （２ 平山 謙二　／６回）　危機管理、アウトブレイク、パンデミック、倫理規範、法規制・国際保健規則（IHR） （１ 北 潔　／１回）　大学と企業との連携 （42 國井 修　／１回）　主要アクターとパートナーシップ （48 BT Slingsby ／１回）　グローバルヘルスガバナンス	オムニバス
	実習科目	実務研修	（実習科目） １年次の夏期調整期間を利用して、国際機関・政府機関・NGO・民間企業等で短期の実務研修を行う。公衆衛生を専門とするプロフェショナルとして、派遣先機関が抱える課題のうち、短期間で解決法を示せる課題を学生自ら特定する。１年次の専門科目で身につけた内容を、課題解決に活かす。この実務研修では、限られた時間のなかで一定の成果を挙げることが要求される。この経験を通して、課題設定、調整・交渉、コミュニケーションに関するスキルを磨く。また、実務研修の経験が、２・３年次に実施する博士プロジェクトの派遣先やテーマ設定に活かされることが期待される。	
演習科目		プロジェクト演習	（演習科目） ２年次の後半から３年次にかけて、国際機関・政府機関・NGO・民間企業等に所属し、長期フェローシップを実施する。公衆衛生を専門とするプロフェショナルとして、派遣先機関の戦略計画策定等の業務に従事する。それを通して、調整・交渉能力、保健政策やプログラムの提案、実施能力を高める。プロジェクト開始に当たっては、専門科目の全単位を取得し、資格審査のための筆記試験および、プロジェクト提案書の口頭試験に合格し、長期フェローシップの着手に必要な能力を獲得していることを示す必要がある。プロジェクトを完遂させるには、フェローシップの経験をもとに、公衆衛生の政策と実践に焦点を当てた博士学位論文を執筆・発表し、審査に合格する必要がある。この博士学位論文は原著論文（Original Research Article）としての性格を持つ必要はない。既存の科学的知見を活用・統合し、保健政策課題の特定や分析を通して解決策を提案し、また、解決策を実施する場合はそこから得られた教訓をまとめる文書となる。	

校地校舎等の図面

都道府県内における位置関係に関する図面

長崎大学位置図





❶ 臨海研修所

❷ 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター

❸ 野母崎研究施設

❹ 教育学部附属幼稚園，附属小学校，附属中学校

❺ 教育学部附属特別支援学校

❻ 計画・評価本部，広報戦略本部，
インスティテューショナル・リサーチ推進本部，
ダイバーシティ推進センター，感染症共同研究拠点，
監査室，事務局，多文化社会学部，教育学部，薬学部，
情報データ科学部，工学部，環境科学部，水産学部，
多文化社会学研究科，教育学研究科，
医歯薬学総合研究科（薬学系），工学研究科，
水産・環境科学総合研究科，附属図書館，
附属薬用植物園，保健センター，ICT 基盤センター，
言語教育研究センター，核兵器廃絶研究センター，
留学生教育・支援センター，環境保全センター，
教育開発推進機構，研究開発推進機構，
グローバル連携機構，海洋未来イノベーション機構，
キャリアセンター，障がい学生支援室，
教員免許状更新講習支援室，
先端創薬イノベーションセンター，
福島未来創造支援研究センター

❼ 国際交流会館

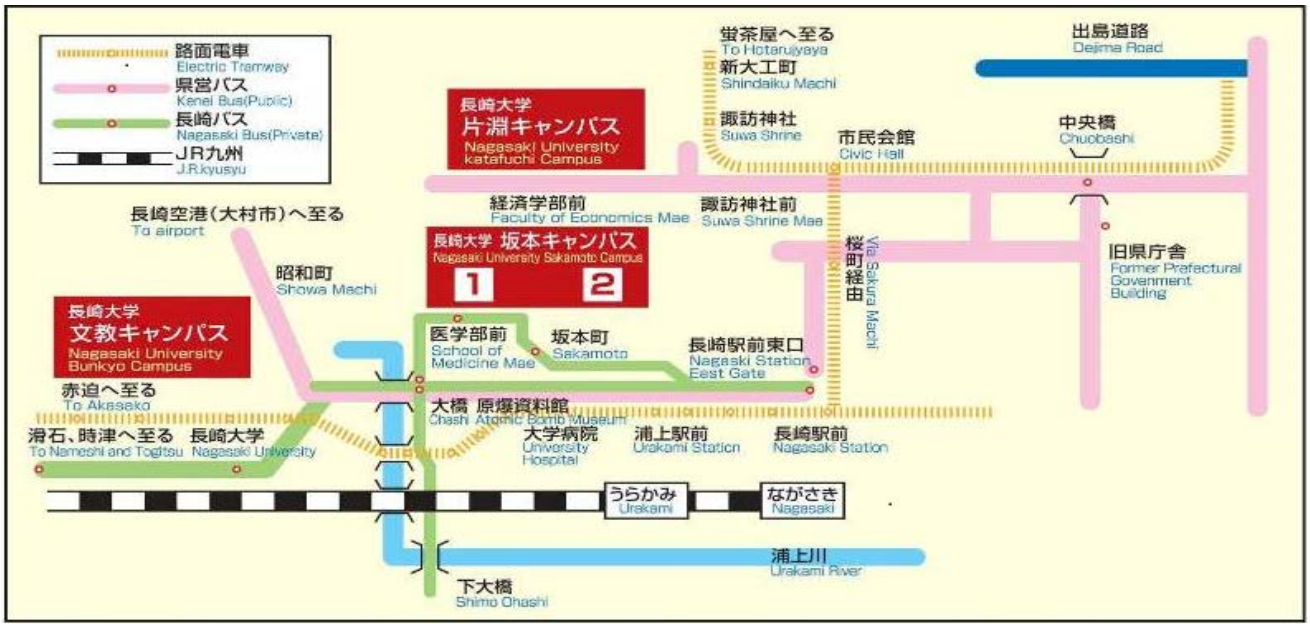
❽ 医学部（医学科），熱帯医学研究所，
原爆後障害医療研究所，医歯薬学総合研究科（医学系），
先導生命科学研究支援センター，附属図書館（医学分館），
熱帯医学・グローバルヘルス研究科，プラネタリーヘルス学環

❾ 病院，歯学部，薬学部
医歯薬学総合研究科（保健学系・歯学系・薬学系），
医学部（保健学科），国際交流会館坂本分館，
原子力災害対策戦略本部，子どもの心の医療・教育センター

❿ 経済学部，経済学研究科，附属図書館（経済学部分館）

⓫ 国際学寮ホルテンシア

最寄り駅からの距離・交通機関が分かる図面



■坂本キャンパス

●JR 長崎駅から

路面電車

「長崎駅前」→(赤迫行き)→「原爆資料館」下車→徒歩

長崎バス

「長崎駅前」→(8番系統下大橋行き(医学部経由))→「医学部前」下車

●JR 浦上駅から

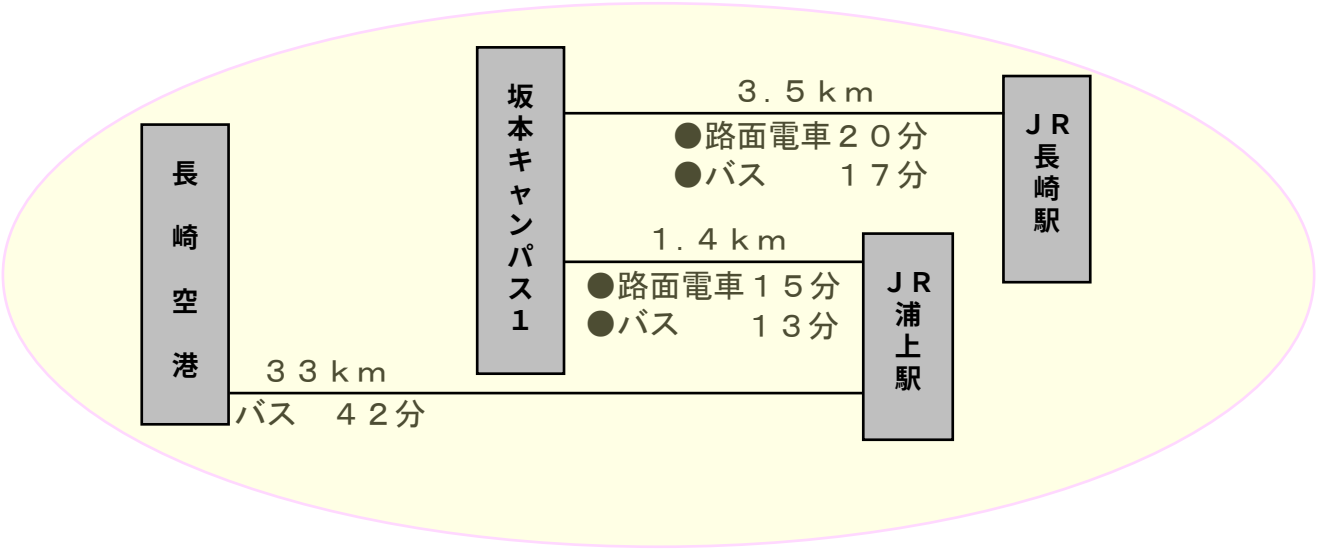
路面電車

「浦上駅前」→(赤迫行き)→「原爆資料館」下車→徒歩

●長崎空港から

県営バス

「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行き)→「浦上駅前」下車→(「JR 浦上駅から」へ)



校舎･運動場等の配置図

坂本キャンパス ①

医学部（医学科）
熱帯医学研究所
原爆後障害医療研究所
熱帯医学・グローバルヘルス研究科
プラネタリーヘルス学環



1. 良順会館
2. ポンペのレリーフ
3. グビロが丘
4. ゲストハウス
5. 生協食堂
6. 被爆した門柱
7. 長崎大学医学ミュージアム
8. 近代医学史料展示室
9. 創立150周年ミュージアム
10. ポンペ会館
11. 原爆被災者慰霊碑
12. けやき通り
13. シーボルト記念碑
14. 原爆復興50周年記念碑
15. 永井千本桜
16. 薬専防空壕跡地の慰霊碑
17. レジデンシー精得館

【坂本キャンパス①】

校 地 面 積 ：９２，１７６㎡
校舎敷地面積：５０，１６１㎡

長崎大学大学院学則（案）

平成１６年４月１日学則第２号
改正　平成１７年９月２２日学則第４号
平成１７年１２月２２日学則第６号
平成１８年３月２２日学則第２号
平成１８年１０月２７日学則第６号
平成１９年３月２２日学則第２号
平成１９年１２月２１日学則第４号
平成１９年１２月２６日学則第５号
平成２０年２月２２日学則第３号
平成２０年１０月２４日学則第４号
平成２１年２月２７日学則第２号
平成２１年７月２４日学則第４号
平成２２年２月２６日学則第２号
平成２２年７月１５日学則第３号
平成２３年２月２４日学則第１号
平成２３年２月２４日学則第２号
平成２４年２月２４日学則第２号
平成２４年９月２１日学則第３号
平成２５年２月２２日学則第１号
平成２６年２月２１日学則第２号
平成２７年３月２７日学則第３号
平成２７年３月２７日学則第４号
平成２８年３月２８日学則第２号
平成２８年５月２７日学則第３号
平成２９年３月２９日学則第２号
平成３０年１月９日学則第２号
平成３０年３月２７日学則第４号
平成３１年２月２２日学則第２号
平成３１年３月２９日学則第４号
令和元年９月２７日学則第１号
令和２年１月２４日学則第２号

令和２年３月２７日学則第４号
令和２年９月２５日学則第６号
令和３年３月２６日学則第２号
令和３年５月２１日学則第３号
令和　年　月　　日学則第　号

目次

第１章　総則（第１条―第７条）
第２章　教育課程等（第７条の２―第１７条の３）
第３章　課程の修了要件及び学位の授与（第１８条―第２２条）
第４章　入学，転学，休学，退学，再入学等（第２３条―第３７条）
第５章　除籍，表彰及び懲戒（第３８条）
第６章　検定料，入学料及び授業料（第３９条―第４１条）
第７章　科目等履修生，研究生，特別聴講学生，特別研究学生，特別の課程及び外国人留学生（第４２条―第４６条）
第８章　教員の免許状授与の所要資格の取得（第４７条）
第９章　国際連携専攻（第４８条―第５８条）
第１０章　雑則（第５９条―第６１条）
附則

第１章　総則

（目的）

第１条　長崎大学大学院（以下「本学大学院」という。）は，国立大学法人長崎大学基本規則（平成１６年規則第１号）第３条に規定する理念に基づき，実践的問題解決能力と政策立案能力を有し国際的問題及び地域の諸課題を解決しうる高度専門職業人並びに豊かな創造的能力を有し先導的知を創生しうる研究者を養成し，もって広く人類に貢献することを目的とする。

２　本学大学院の修業年限，教育課程，教育研究組織その他の学生の修学上必要な事項については，この学則の定めるところによる。

（教育研究上の目的の公表等）

第１条の２　各研究科及び学環は，研究科若しくは専攻又は学環ごとに，人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を研究科規程又は学環規程に定め，公表するものとする。

（課程）

第２条　本学大学院の課程は，修士課程，博士課程及び専門職学位課程（学校教育法（昭

和２２年法律第２６号）第９９条第２項の専門職大学院の課程をいう。以下同じ。）とする。

２　修士課程は，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

３　博士課程は，専攻分野について，研究者として自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

４　専門職学位課程は，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

（研究科及び学環の専攻，課程，収容定員等）

第３条　研究科及び学環の専攻及び課程は，次のとおりとする。

<table>
<tr><th>研究科・学環</th><th>専攻</th><th colspan="2">課程</th></tr>
<tr><td rowspan="2">多文化社会学研究科</td><td rowspan="2">多文化社会学専攻</td><td>前期２年の課程</td><td rowspan="2">博士課程</td></tr>
<tr><td>後期３年の課程</td></tr>
<tr><td>教育学研究科</td><td>教職実践専攻</td><td colspan="2">専門職学位課程</td></tr>
<tr><td rowspan="2">経済学研究科</td><td>経済経営政策専攻</td><td>前期２年の課程</td><td rowspan="2">博士課程</td></tr>
<tr><td>経営意思決定専攻</td><td>後期３年の課程</td></tr>
<tr><td rowspan="3">工学研究科</td><td>総合工学専攻</td><td>前期２年の課程</td><td rowspan="2">博士課程</td></tr>
<tr><td>生産システム工学専攻</td><td>後期３年の課程</td></tr>
<tr><td>グリーンシステム創成科学専攻</td><td colspan="2">博士課程</td></tr>
<tr><td rowspan="3">水産・環境科学総合研究科</td><td>水産学専攻，環境科学専攻</td><td>前期２年の課程</td><td rowspan="2">博士課程</td></tr>
<tr><td>環境海洋資源学専攻</td><td>後期３年の課程</td></tr>
<tr><td>海洋フィールド生命科学専攻</td><td colspan="2">博士課程</td></tr>
<tr><td rowspan="2">医歯薬学総合研究科</td><td>保健学専攻</td><td colspan="2" rowspan="2">修士課程</td></tr>
<tr><td>災害・被ばく医療科学共同専攻</td></tr>
</table>

	医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻，先進予防医学共同専攻	博士課程	
	生命薬科学専攻	前期２年の課程	博士課程
		後期３年の課程	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	前期２年の課程	博士課程
		後期３年の課程	
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	後期３年の課程	
プラネタリーヘルス学環	―	後期３年の課程	博士課程

２　多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科（グリーンシステム創成科学専攻を除く。），水産・環境科学総合研究科（海洋フィールド生命科学専攻を除く。），医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻の博士課程は，前期２年の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期３年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し，博士前期課程は，修士課程として取り扱うものとする。

３　教育学研究科教職実践専攻は，専門職学位課程のうち専門職大学院設置基準（平成１５年文部科学省令第１６号）第２６条に規定する教職大学院の課程とする。

４　医歯薬学総合研究科災害・被ばく医療科学共同専攻は第７条の５に規定する共同教育課程として福島県立医科大学と共同実施する修士課程とし，医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻は第７条の５に規定する共同教育課程として千葉大学及び金沢大学と共同実施する博士課程とする。

５　熱帯医学・グローバルヘルス研究科長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻は，ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院と連携して教育を実施する博士後期課程とする。

６　プラネタリーヘルス学環は，第７条の６に規定する研究科等連係課程実施基本組織として，多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科，水産・環境科学総合研究科，医歯薬学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の緊密な連係及び協力の下，

実施する博士後期課程とする。

７　研究科及び学環の収容定員は，別表第１のとおりとする。

（講座）

第４条　前条第１項に掲げる研究科に，講座等を置くことができる。

２　前項の講座等は，別に定める。

（標準修業年限）

第５条　教育学研究科専門職学位課程の標準修業年限は，２年とする。ただし，教育上の必要があると認められる場合は，学生の履修上の区分に応じ，その標準修業年限は，１年以上２年未満の期間又は２年を超える期間とすることができるものとする。

２　前項の場合において，１年以上２年未満の期間とすることができるのは，主として実務の経験を有する者に対して教育を行う場合であって，かつ，昼間と併せて夜間その他特定の時間又は時期において授業を行う等の適切な方法により教育上支障を生じない場合に限る。

３　医歯薬学総合研究科保健学専攻及び災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程の標準修業年限は２年とする。

４　熱帯医学・グローバルヘルス研究科の博士課程の標準修業年限は５年（同研究科グローバルヘルス専攻の博士前期課程に置く熱帯医学コースを修了し，博士後期課程に進学した者にあっては４年）とし，博士前期課程の熱帯医学コースの標準修業年限は１年，熱帯医学サテライトコース，国際健康開発コース，国際健康開発サテライトコース，ヘルスイノベーションコース及びヘルスイノベーションサテライトコースの標準修業年限は２年とし，博士後期課程の標準修業年限は３年とする。

５　多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科，水産・環境科学総合研究科及び医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻の博士課程の標準修業年限は５年とし，博士前期課程の標準修業年限は２年，博士後期課程の標準修業年限は３年とする。

６　医歯薬学総合研究科医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻及び先進予防医学共同専攻の博士課程の標準修業年限は，４年とする。

７　プラネタリーヘルス学環の標準修業年限は，３年とする。

（入学前の既修得単位等を勘案した在学期間の短縮）

第５条の２　第１５条の３の規定により本学大学院に入学する前に修得した単位を本学大学院において修得したものとみなす場合であって，当該単位の修得により本学大学院の修士課程又は博士課程（博士後期課程を除く。）の教育課程の一部を履修したものと認めるときは，当該単位数，その修得に要した期間その他を勘案して１年を超えない範囲で本学大学院が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし，この場合にお

いても，修士課程（博士前期課程を含む。）については，当該課程に少なくとも１年以上在学するものとする。

２　前項に規定する在学期間の短縮は，修士課程を修了した者が博士課程に入学し，修士課程における在学期間を博士課程での在学期間に含める場合については適用しない。

（在学期間）

第６条　本学大学院における在学期間は，第５条に規定する標準修業年限の２倍を超えることができない。

（学年，学期及び休業日）

第７条　本学大学院の学年，学期及び休業日は，長崎大学学則（平成１６年学則第１号。以下「本学学則」という。）第７条から第９条までの規定を準用する。

第２章　教育課程等

（教育課程の編成方針）

第７条の２　各研究科（教育学研究科を除く。）及び学環は，当該研究科及び専攻並びに学環の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画を策定し，体系的に教育課程を編成するものとする。

２　前項の教育課程の編成に当たっては，各研究科及び学環は，専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

３　教育学研究科は，その教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な授業科目を自ら開設し，体系的に教育課程を編成するものとする。

（博士課程教育リーディングプログラム）

第７条の３　本学大学院に，専門分野の枠を超え俯瞰力と独創力を備え，広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成する教育を行う博士課程教育リーディングプログラムを開設する。

２　前項の博士課程教育リーディングプログラムの名称並びに実施する研究科及び専攻は，次の表のとおりとする。

名称	研究科	専攻
熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム	医歯薬学総合研究科	新興感染症病態制御学系専攻

３　博士課程教育リーディングプログラムに関し，必要な事項は，別に定める。

（卓越大学院プログラム）

第７条の４　本学大学院に，新たな知の創造と活用を主導し，次代を牽引する価値を創造するとともに，社会的課題の解決に挑戦して，社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材を育成する教育を行う博士課程の卓越大学院プログラムを開設する。

２　卓越大学院プログラムに関し必要な事項は，別に定める。

（共同教育課程の編成）

第７条の５　研究科は，教育上の目的を達成するために必要があると認められる場合には，第７条の２第１項の規定にかかわらず，他の大学院が開設する授業科目を，当該研究科の教育課程の一部とみなして，当該研究科及び他の大学院ごとにそれぞれ同一内容の教育課程を編成することができる。

２　前項に規定する教育課程（以下「共同教育課程」という。）を編成する研究科及び他の大学院（以下「構成大学院」という。）は，当該共同教育課程を編成し，及び実施するための協議の場を設けるものとする。

（研究科等連係課程実施基本組織）

第７条の６　横断的な分野に係る教育課程を実施する上で特に必要があると認められる場合であって，教育研究に支障がないと認められる場合には，本学大学院に置かれる２以上の研究科（この条の規定により置かれたものを除く。以下この条において同じ。）との緊密な連係及び協力の下，当該２以上の研究科が有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて横断的な分野に係る教育課程を実施する研究科以外の基本組織を置くことができる。

（教育方法）

第８条　各研究科（教育学研究科を除く。）及び学環における教育は，授業科目の授業及び研究指導により行う。

２　前項の授業については，本学学則第３２条の規定を準用する。

３　教育学研究科における教育は，授業科目の授業により行う。この場合において，教育学研究科は，その目的を達成し得る実践的な教育を行うよう専攻分野に応じ事例研究，現地調査又は双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行うよう配慮しなければならない。

４　前項の授業については，十分な教育効果が得られる専攻分野に関して，当該効果が認められる場合に限り，本学学則第３２条第２項の規定を準用することができる。

第８条の２　前条の授業は，教授，准教授，講師又は助教が担当する。

２　前条の研究指導は，教授が担当するものとする。ただし，特に必要があるときは，大学院設置基準（昭和４９年文部省令第２８号）第９条に掲げる資格を有する准教授，専任の講師又は助教が担当することができる。

（単位の計算方法）

第９条　本学大学院における単位の計算方法については，本学学則第３３条の規定を準用する。

（履修方法等）

第１０条　各研究科及び学環における授業科目の内容及び単位数並びに研究指導の内容並びにこれらの履修方法については，各研究科及び学環において定めるものとする。

（履修科目の選定）

第１１条　履修する授業科目の選定は，指導教授の指示に従うものとする。

（考査及び単位の授与）

第１２条　学生が一の授業科目を履修した場合には，考査を行い，合格した者に対しては，単位を与える。

２　考査は，試験，研究報告その他の方法により行うものとする。

第１３条　授業科目の成績は，A，B，C及びDの評語をもって表し，A，B及びCを合格とし，Dを不合格とする。

２　前項の規定にかかわらず，研究科又は学環が教育上有益と認めるときは，研究科規程又は学環規程の定めるところにより，授業科目の成績を異なる評語で表すことができる。

３　不合格の授業科目については，再試験を行うことがある。

（教育方法の特例）

第１４条　本学大学院の課程において，教育上特別の必要があると認める場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により，教育を行うことができる。

（成績評価基準等の明示等）

第１４条の２　各研究科及び学環は，学生に対して，授業及び研究指導の方法及び内容並びに１年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

２　各研究科及び学環は，学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに，当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第１４条の３　各研究科及び学環は，当該研究科及び学環の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（他の研究科若しくは専攻又は学環における履修等）

第１５条　学長は，第１１条に規定する履修科目の選定に当たって指導教授が教育上必要と認めるときは，所属研究科又は学環の教授会の議を経て，他の研究科若しくは専攻又

は学環の授業科目を指定して，履修させることができる。

２　前項に規定する他の研究科及び学環の授業科目の履修については，あらかじめ当該他研究科及び学環と協議の上，実施するものとする。

３　前２項の規定により履修した授業科目の修得単位は，各研究科又は学環の定めるところにより，第１８条，第１９条又は第２０条に規定する単位とすることができる。

（他の大学院における授業科目の履修等）

第１５条の２　学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると各研究科又は学環において認めるときは，あらかじめ当該他の大学院と協議の上，学生が当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることができる。

２　前項の規定に基づき学生が履修した授業科目について修得した単位は，１５単位（教育学研究科にあっては，修了要件として定める単位数の２分の１）を超えない範囲で本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

３　前２項の規定は，学生が，第１６条の規定により外国の大学院に留学する場合，休学期間中に外国の大学院の授業科目を履修する場合，外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合，外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。ただし，教育学研究科にあっては，外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合については，準用しない。

（入学前の既修得単位の認定）

第１５条の３　学生が本学大学院に入学する前に次の各号の一に該当する単位を有する場合において，教育上有益であると認めるときは，その単位を入学した後の本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(1)　大学院（外国の大学院を含む。）において履修した授業科目について修得した単位

(2)　大学院設置基準第１５条の規定により準用する大学設置基準（昭和３１年文部省令第２８号）第３１条第１項に規定する科目等履修生として修得した単位

２　前項の規定により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，転入学等の場合を除き，本学大学院において修得した単位以外のものについては，１５単位を超えないものとする。この場合において，当該単位数は，前条により本学大学院におい

て修得したものとみなす単位数と合わせて２０単位を超えないものとする。

３　前項の規定にかかわらず，教育学研究科にあっては，第１項の規定により修得したものとみなし，又は与えることのできる単位数は，転入学等の場合を除き，本学大学院において修得した単位以外のものについては，前条第２項及び第３項の規定により本学大学院において修得したものとみなす単位数及び第２０条の２第２項の規定により免除する単位数と合わせて修了要件として定める単位数の２分の１を超えないものとする。

（留学及び長期にわたる教育課程の履修）

第１６条　本学大学院の学生の留学及び長期にわたる教育課程の履修については，本学学則第２４条及び第３９条の規定を準用する。この場合において，第３９条中「第４条に規定する修業年限」とあるのは「標準修業年限」と，同条中「卒業」とあるのは「課程を修了」と読み替えるものとする。

（他の大学院等における研究指導）

第１７条　学長は，所属研究科又は学環の教授会の議を経て教育上有益と認めるときは，他の大学院又は研究所等とあらかじめ協議の上学生が，当該他大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし，修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合には，当該研究指導を受ける期間は，１年を超えないものとする。

２　前項に規定する研究指導が外国において行われる場合は，これを留学として取り扱い，その期間は第１８条，第１９条又は第２０条に規定する在学期間に算入する。

（履修科目の登録の上限）

第１７条の２　教育学研究科は，学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため，学生が１年間又は１学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものとする。

（共同教育課程に係る単位の認定等）

第１７条の３　共同教育課程を編成する研究科は，学生が他の大学院において履修した当該共同教育課程に係る授業科目について修得した単位を，当該研究科における共同教育課程に係る授業科目の履修により修得したものとみなすものとする。

２　共同教育課程を編成する研究科は，学生が他の大学院において受けた当該共同教育課程に係る研究指導を，当該研究科において受けた共同教育課程に係るものとみなすものとする。

第３章　課程の修了要件及び学位の授与

（修士課程及び博士前期課程の修了要件）

第１８条　多文化社会学研究科多文化社会学専攻の博士前期課程の修了要件は，当該課程

に２年以上在学し，３０単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

２　医歯薬学総合研究科保健学専攻及び災害・被ばく医療科学共同専攻の修士課程並びに博士前期課程の修了の要件は，当該課程に２年（２年以外の標準修業年限を定める学生の履修上の区分にあっては，当該標準修業年限）以上在学し，研究科規程に定める単位数以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，当該修士課程の目的に応じ，修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間に関しては，優れた業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。

３　第５条第４項に規定する熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻熱帯医学コースの博士前期課程の修了の要件は，当該課程に１年以上在学し，３０単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，特定の課題についての研究の成果又は修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

４　第５条第４項に規定する熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻の熱帯医学サテライトコース，国際健康開発コース，国際健康開発サテライトコース，ヘルスイノベーションコース及びヘルスイノベーションサテライトコースの博士前期課程の修了の要件は，当該課程に２年以上在学し，３０単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，特定の課題についての研究の成果又は修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

５　共同教育課程である修士課程の修了要件は，第２項に定めるもののほか，それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により１０単位以上を修得することとする。ただし，当該単位数には，第１５条から第１５条の３まで及び第１７条の３の規定により修得した単位，修得したものとみなすことができる単位又はみなすものとする単位を含まないものとする。

第１８条の２　前条第２項の規定にかかわらず，第３条第２項に規定する博士課程の博士前期課程の修了の要件は，当該博士課程の博士前期課程及び博士後期課程を通じて一貫した人材養成上の目的を有する研究科規程に定める学生の履修上の区分において，当該目的を達成するために必要と認められる場合には，前条第２項に規定する修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することに代えて，次に掲げる試験及び審査に合格することとすることができる。

(1)　専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該博士前期課程において修得し，又は涵養すべきものについての試験

(2)　博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該博士前期課程において修得すべきものについての審査

（博士後期課程の修了要件）

第１９条　多文化社会学研究科多文化社会学専攻の博士後期課程の修了要件は，当該課程に３年（専門職大学院設置基準第１８条第１項の法科大学院の課程を修了した者にあっては，２年）以上在学し，１６単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

２　博士後期課程（多文化社会学研究科多文化社会学専攻の博士後期課程を除く。）の修了の要件は，当該課程に３年（専門職大学院設置基準第１８条第１項の法科大学院の課程を修了した者にあっては，２年）以上在学し，工学研究科生産システム工学専攻及び水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻並びにプラネタリーヘルス学環にあっては１５単位以上を，経済学研究科経営意思決定専攻，医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻にあっては１６単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。

３　大学院設置基準第１６条ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者（第１８条第２項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程又は博士前期課程を修了した者を含む。）については，前項ただし書中「１年」とあるのは「３年から当該課程における在学期間（２年を限度とする。）を減じた期間とする。」と読み替えて，同項ただし書の規定を適用する。

４　次の各号の一に該当する者については，第２項ただし書中「１年」とあるのは「３年から当該１年以上２年未満の期間を減じた期間」と読み替えて，同項ただし書の規定を適用する。

(1)　大学院設置基準第３条第３項の規定により標準修業年限を１年以上２年未満とした修士課程（第５条第４項に規定する熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻熱帯医学コースの博士前期課程を含む。）を修了した者

(2)　専門職大学院設置基準第２条第２項の規定により標準修業年限を１年以上２年未満とした専門職学位課程（第５条第１項ただし書の規定により標準修業年限を１年以上２年未満とした教育学研究科教職実践専攻の専門職学位課程を含む。）を修了した者

（博士課程の修了要件）

第２０条　工学研究科グリーンシステム創成科学専攻及び水産・環境科学総合研究科海洋

フィールド生命科学専攻の博士課程の修了の要件は，当該課程に５年以上在学し，４５単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，３年以上在学すれば足りるものとする。

２　医歯薬学総合研究科医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻及び先進予防医学共同専攻の博士課程の修了の要件は，当該課程に４年以上在学し，研究科規程に定める単位数以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格するものとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，３年以上在学すれば足りるものとする。

３　共同教育課程である博士課程の修了の要件は，前項に定めるもののほか，それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により１０単位以上を修得するものとする。ただし，当該単位数には，第１５条から第１５条の３まで及び第１７条の３の規定により修得した単位，修得したものとみなすことができる単位又はみなすものとする単位を含まないものとする。

（教職大学院の課程の修了要件）

第２０条の２　教職大学院の課程の修了の要件は，当該課程に２年（２年以外の標準修業年限を定める学生の履修上の区分にあっては，当該標準修業年限）以上在学し，４５単位以上（高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員に係る実践的な能力を培うことを目的として幼稚園，小学校，中学校，高等学校，中等教育学校及び特別支援学校（以下「小学校等」という。）その他の関係機関で行う実習に係る１０単位以上を含む。）を修得することとする。ただし，研究科において必要と認めるときは，在学期間及び修了要件単位に加え，修了の要件を課すことができる。

２　学長は，教育学研究科教授会の議を経て教育上有益であると認めるときは，教職大学院の課程に入学する前の小学校等の教員としての実務の経験を有する者について，１０単位を超えない範囲で，前項に規定する実習により修得する単位の全部又は一部を免除することができる。

（教職大学院の課程における在学期間の短縮）

第２０条の３　学長は，教育学研究科教授会の議を経て第１５条の３第１項の規定により本学大学院に入学する前に修得した単位（学校教育法第１０２条第１項の規定により入学資格を有した後，修得したものに限る。）を教職大学院の課程において修得したものとみなす場合であって当該単位の修得により本学大学院の教育課程の一部を履修したと認めるときは，当該単位数，その修得に要した期間その他を勘案して当該課程の標準修業年限の２分の１を超えない範囲で本学大学院が定める期間在学したものとみなすこと

ができる。ただし，この場合においても，当該教職大学院の課程に少なくとも１年以上在学するものとする。

（学位の授与）

第２１条　修士課程，博士課程又は専門職学位課程の修了要件を満たした者には，所属研究科又は学環の教授会の議を経て，学長（医歯薬学総合研究科の災害・被ばく医療科学共同専攻及び先進予防医学共同専攻にあっては，各共同専攻の教育課程を構成する大学の長）が課程の修了を認定し，修士若しくは博士の学位又は専門職学位を授与する。

２　前項に定めるもののほか，博士課程（医歯薬学総合研究科の博士課程を除く。）において，第１８条第２項から第４項まで又は第１８条の２に規定する修士課程の修了要件を満たした者には，所属研究科の教授会の議を経て，学長が修士の学位を授与することができる。

第２２条　前条の学位の授与に関し必要な事項については，長崎大学学位規則（平成１６年規則第１１号。以下「学位規則」という。）の定めるところによる。

第４章　入学，転学，休学，退学，再入学等

（入学の時期）

第２３条　学生の入学の時期は，学年の始めとする。ただし，後期の始めに入学させることができる。

（修士課程，博士前期課程及び専門職学位課程の入学資格）

第２４条　修士課程，博士前期課程（第５条第４項に規定する熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻熱帯医学コース及び熱帯医学サテライトコースを除く。）及び専門職学位課程に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　大学を卒業した者

(2)　学校教育法第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者

(3)　外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者

(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

(5)　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ず

るものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号）

(9)　学校教育法第１０２条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって，各研究科において，本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10)　各研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの

２　第５条第４項に規定する熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻熱帯医学コース及び熱帯医学サテライトコースに入学することのできる者は，前項各号のいずれかに該当し，かつ，医師の免許（外国における医師の免許を含む。）取得後２年以上の臨床経験を有する者又はこれに相当する能力を有すると研究科が認めた者とする。

３　第１項の規定にかかわらず，文部科学大臣の定めるところにより，大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，各研究科において，当該研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものを，本学大学院に入学させることができる。

（博士後期課程の入学資格）

第２５条　博士後期課程に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　修士の学位又は専門職学位を有する者

(2)　外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(4)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(5)　国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者

(6)　外国の学校，第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，大学院設置基準第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7)　文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第１１８号）

(8)　各研究科及び学環おいて，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの

（博士課程の入学資格）

第２６条　工学研究科及び水産・環境科学総合研究科の博士課程に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　大学を卒業した者

(2)　学校教育法第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者

(3)　外国において，学校教育における１６年の課程を修了した者

(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

(5)　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号）

(9)　学校教育法第１０２条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって，各研究科において，本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10)　各研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の

学力があると認めた者で，２２歳に達したもの

２　医歯薬学総合研究科医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻及び先進予防医学共同専攻の博士課程に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1)　大学（医学，歯学，修業年限６年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者

(2)　外国において，学校教育における１８年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１８年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者

(4)　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１８年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(5)　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が５年以上である課程（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(6)　文部科学大臣の指定した者（昭和３０年文部省告示第３９号）

(7)　学校教育法第１０２条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって，研究科において，本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(8)　研究科において，個別の入学資格審査により，第１号に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの

３　前２項の規定にかかわらず，文部科学大臣の定めるところにより，大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，各研究科において，当該研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものを，本学大学院に入学させることができる。

（入学志願の手続）

第２７条　入学志願者は，所定の手続により願い出なければならない。

（選抜試験）

第２８条　入学志願者に対しては，長崎大学入学者選抜規則（平成１６年規則第１６号）の定めるところにより，選抜試験を行う。

（合格者の決定）

第２９条　前条の選抜による合格者の決定は，各研究科及び学環の教授会の議を経て，学長が行う。

（入学手続及び入学許可）

第３０条　第２８条に規定する入学者選抜の結果に基づき，合格の通知を受けた者の入学の手続及び入学の許可については，本学学則第１８条及び第１９条の規定を準用する。

（転入学等）

第３１条　次の各号のいずれかに該当する者が，転入学又は転科を願い出たときは，学期の始めに限り，選考の上，許可することがある。

(1)　他の大学院に在学する者又は修了し，若しくは退学した者で転入学を志望するもの

(2)　他の研究科若しくは学環に在学する者又は修了し，若しくは退学した者で転科を志望するもの

(3)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者又は当該課程を修了し，若しくは退学した者（第２４条から第２６条に規定する入学資格を有する者に限る。）で転入学を志望するもの

(4)　国際連合大学の課程に在学する者又は当該課程を修了し，若しくは退学した者で転入学を志望するもの

２　前項により転入学又は転科を許可された者の既に履修した授業科目及び修得した単位並びに在学年数の認定は，所属研究科又は学環の教授会の議を経て，学長が決定する。

３　前２項の規定は，専攻を変更する場合に準用する。

第３２条　前条第１項による転入学願又は転科願は，所属の学長，研究科長又は学環長の紹介状を添えて，志願する研究科長又は学環長に提出するものとする。

第３３条　本学大学院の学生が，他の大学院に転学しようとするときは，指導教授を経て，研究科長又は学環長に転学願を提出するものとする。

２　学長は，所属研究科又は学環の教授会の議を経て転学の事由が適当であると認めたときは，その転学を許可することができる。

３　前２項の規定は，他の研究科又は学環に転科を志望する場合にこれを準用する。

（休学及び復学）

第３４条　休学及び復学に関しては，本学学則第２１条から第２３条までの規定を準用する。

２　休学期間は，通算して，標準修業年限を超えることができない。

（退学）

第３５条　退学に関しては，本学学則第２５条の規定を準用する。

（再入学）

第３６条　再入学に関しては，本学学則第２７条の規定を準用する。ただし，修士課程，博士前期課程及び専門職学位課程の退学者にあっては２年以内に，博士後期課程の退学者にあっては３年以内に，工学研究科グリーンシステム創成科学専攻及び水産・環境科学総合研究科海洋フィールド生命科学専攻の博士課程の退学者にあっては５年以内に，医歯薬学総合研究科医療科学専攻，新興感染症病態制御学系専攻，放射線医療科学専攻及び先進予防医学共同専攻の博士課程の退学者にあっては４年以内に，再入学を願い出た場合に限る。

（進学）

第３７条　本学の大学院修士課程，博士前期課程及び専門職学位課程を修了し，引き続き博士課程（多文化社会学研究科多文化社会学専攻，経済学研究科経営意思決定専攻，工学研究科生産システム工学専攻，水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻，医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻並びにプラネタリーヘルス学環にあっては，博士後期課程）に進学を志願する者については，各研究科規程及び学環規程の定めるところにより，選考の上，進学を許可する。

第５章　除籍，表彰及び懲戒

（除籍，表彰及び懲戒）

第３８条　除籍，表彰及び懲戒に関しては，本学学則第２８条，第４９条及び第５０条の規定を準用する。

第６章　検定料，入学料及び授業料

（検定料等の額及びその徴収方法等）

第３９条　検定料，入学料及び授業料の額並びに徴収方法等は，長崎大学授業料，入学料，検定料及び寄宿料徴収規程（平成１６年規程第９２号）の定めるところによる。

（料金の返還）

第４０条　既納の料金は，返還しない。ただし，次の各号の一に該当する場合は，当該料金の相当額（第２号の場合にあっては後期分の授業料相当額を，第３号の場合にあっては退学した翌月以降の授業料相当額を，第４号の場合にあっては免除された学期分の授

業料相当額をいう。）を返還するものとする。

(1)　入学を許可されるときに前期分又は前期分及び後期分の授業料を納入した者が，入学年度の前年度の３月３１日までに入学を辞退し，授業料の返還を申し出たとき。

(2)　前期分の授業料納入の際に後期分の授業料を併せて納入した者が，後期分の授業料の納入時期前に休学又は退学したとき。

(3)　授業料を納入した研究生が，在学期間の中途で退学し，授業料の返還を申し出たとき。

(4)　前期分又は後期分の授業料を納入した者が，長崎大学卓越した学生に対する授業料免除に関する規程（平成３０年規程第１号）により当該期分の授業料免除を許可されたとき。

第４１条　入学料の免除及び徴収猶予，授業料の納期並びに授業料の免除及び徴収猶予並びに休学，退学，転学等に係る授業料については，本学学則第５３条から第５８条までの規定を準用する。

第７章　科目等履修生，研究生，特別聴講学生，特別研究学生，特別の課程及び外国人留学生

（科目等履修生）

第４２条　本学大学院の学生以外の者で，本学大学院が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目について履修を希望するものがあるときは，選考の上，科目等履修生として入学を許可することがある。

２　科目等履修生に関する規則は，別に定める。

（研究生）

第４３条　本学大学院において特殊の事項について研究を希望する者があるときは，選考の上，研究生として入学を許可することがある。

２　研究生に関する規則は，別に定める。

（特別聴講学生）

第４４条　他の大学院（外国の大学院を含む。）の学生で，本学大学院の特定の授業科目を履修することを希望するものがあるときは，当該他大学院との協議に基づき，特別聴講学生として入学を許可することがある。

２　特別聴講学生に係る検定料及び入学料は，徴収しない。

３　特別聴講学生に係る授業料については，科目等履修生と同様とする。

４　前項の規定にかかわらず，特別聴講学生が学術交流協定等において授業料を徴収しないこととしている外国の大学院の学生又は大学間相互単位互換協定において授業料を徴収しないこととしている大学院の学生であるときは，授業料を徴収しない。

５　既納の授業料は，返還しない。

６　実験，実習に要する実費は，必要に応じ特別聴講学生の負担とする。

（特別研究学生）

第４５条　他の大学院（外国の大学院を含む。）の学生で，本学大学院又は研究所等において研究指導を受けようとするものがあるときは，当該他大学院との協議に基づき，特別研究学生として入学を許可することがある。

２　特別研究学生に係る検定料及び入学料は，徴収しない。

３　特別研究学生に係る授業料については，研究生と同様とする。

４　前項の規定にかかわらず，特別研究学生が学術交流協定等において授業料を徴収しないこととしている外国の大学院の学生又は特別研究学生交流協定等において授業料を徴収しないこととしている大学院の学生であるときは，授業料を徴収しない。

５　既納の授業料は，返還しない。

６　実験，実習に要する実費は，必要に応じ特別研究学生の負担とする。

（特別の課程）

第４５条の２　学長は，本学大学院の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し，これを修了した者に対し，修了の事実を証する証明書を交付することができる。

２　本学大学院の学生が前項に規定する特別の課程を履修することが教育上有益であると認めるときは，当該課程を履修させることができる。

（外国人留学生）

第４６条　外国人留学生として本学大学院に入学を志願する者があるときは，選考の上，入学を許可することがある。

２　外国人留学生に関する規則は，別に定める。

第８章　教員の免許状授与の所要資格の取得

（教員の免許状授与の所要資格の取得）

第４７条　各研究科の専攻において，教育職員免許法（昭和２４年法律第１４７号）及び教育職員免許法施行規則（昭和２９年文部省令第２６号）に定める所要の単位を取得した者は，教員の免許状授与の所要資格を取得することができる。

２　前項の規定により所要資格を取得できる教員の免許状の種類は，別表第２のとおりとする。

第９章　国際連携専攻

（国際連携専攻の設置）

第４８条　研究科は，教育上の目的を達成するために必要があると認められる場合には，外国の大学院と連携して教育研究を実施するための専攻（以下「国際連携専攻」という。）

を置くことができる。

（教育課程の編成）

第４９条　国際連携専攻を置く研究科は，第７条の２第１項の規定にかかわらず，国際連携専攻において連携して教育研究を実施する一以上の外国の大学院（以下「連携外国大学院」という。）が開設する授業科目を当該研究科の教育課程の一部とみなして，当該連携外国大学院と連携した教育課程を編成することができる。

２　国際連携専攻は，前項に規定する教育課程を編成し，及び実施するため，連携外国大学院との協議の場を設けるものとする。

３　国際連携専攻における教育は，授業科目の授業又は研究指導により行う。

４　単位の計算方法，履修方法及び履修科目の選定については，第９条から第１１条までの規定にかかわらず，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

（課程の修了要件）

第５０条　国際連携専攻である博士後期課程の修了要件は，当該課程に３年以上在学し，所定の単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。

（学位の授与）

第５１条　学位の授与については，この学則及び学位規則に定めるもののほか，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

（入学，進学等）

第５２条　国際連携専攻の入学時期は，第２３条を準用する。

第５３条　国際連携専攻の入学資格は，第２４条及び第２５条に定めるもののほか，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

第５４条　国際連携専攻の入学志願の手続，選抜試験，合格者の決定，入学手続及び入学の許可については，第２７条から第３０条までの規定にかかわらず，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

第５５条　本学の大学院修士課程，博士前期課程及び専門職学位課程を修了し，引き続き博士課程国際連携専攻（熱帯医学・グローバルヘルス研究科長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻にあっては，博士後期課程）に進学を志願する者については，連携外国大学院と協議し，選考の上，進学を許可する。

（除籍，表彰及び懲戒）

第５６条　国際連携専攻の学生の除籍，表彰及び懲戒については，第３８条の規定によるもののほか，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

（検定料，入学料及び授業料）

第５７条　国際連携の検定料，入学料及び授業料については，第３９条から第４１条までに定めるもののほか，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

（協議等）

第５８条　国際連携専攻に係る次に掲げる事項については，この学則に定めるもののほか，連携外国大学院と協議の上，別に定める。

(1)　教育組織の編成に関する事項

(2)　学生の在籍の管理及び安全に関する事項

(3)　学生の奨学及び厚生補導に関する事項

(4)　教育研究活動等の状況の評価に関する事項

(5)　その他国際連携専攻に関する事項

第１０章　雑則

（補則）

第５９条　この学則に定めるもののほか，研究科又は学環に関し必要な事項は，研究科長又は学環長が学長の承認を得て，定めることができる。

第６０条　この学則に定めるもののほか，本学大学院の学生に関し必要な事項は，本学学則を準用する。

第６１条　本学学則をこの学則に準用する場合は，「学部」を「研究科又は学環」，「学部長」を「研究科長又は学環長」と，それぞれ読み替えるものとする。

附　則

１　この学則は，平成１６年４月１日から施行する。

２　長崎大学大学院学則（昭和４１年学則第１号）は，廃止する。

３　平成１６年３月３１日現在大学院に在学している者（以下この項において「在学者」という。）及び平成１６年４月１日以後において在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については，旧長崎大学大学院学則は，この学則の施行後も，なおその効力を有する。

附　則（平成１７年９月２２日学則第４号）

この学則は，平成１７年９月２２日から施行し，改正後の長崎大学大学院学則の規定は，平成１７年４月１日から適用する。

附　則（平成１７年１２月２２日学則第６号）

この学則は，平成１７年１２月２２日から施行する。

附　則（平成１８年３月２２日学則第２号）

１　この学則は，平成１８年４月１日から施行する。

２　生産科学研究科及び医歯薬学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１生産科学研究科の項，同表医歯薬学総合研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成１８年度については，次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
生産科学研究科	機械システム工学専攻	３０	５７		
	電気情報工学専攻	５２	１０４		
	環境システム工学専攻	３６	６８		
	物質工学専攻	３８	６５		
	水産学専攻	３７	７９		
	環境共生政策学専攻	８	１６		
	環境保全設計学専攻	１７	３４		
	システム科学専攻			１１	３３
	海洋生産科学専攻			１５	４５
	物質科学専攻			１４	４２
	環境科学専攻			８	２４
	小計	２１８	４２３	４８	１４４
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２		
	保健学専攻	１２	１２		
	医療科学専攻			７７	３０７
	新興感染症病態制御学系専攻			２４	９３
	放射線医療科学専攻			１１	４４
	生命薬科学専攻	５３	１０６	２３	６９

	小計	７７	１３０	１３５	５１３
合計		３４８	６５９	１８６	６６６

附　則（平成１８年１０月２７日学則第６号）

この学則は，平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成１９年３月２２日学則第２号）

この学則は，平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成１９年１２月２１日学則第４号）

この学則は，平成２０年４月１日から施行する。

附　則（平成１９年１２月２６日学則第５号）

この学則は，平成１９年１２月２６日から施行する。

附　則（平成２０年２月２２日学則第３号）

１　この学則は，平成２０年４月１日から施行する。

２　教育学研究科，医歯薬学総合研究科及び国際健康開発研究科の収容定員は，改正後の別表第１の教育学研究科の項，同表医歯薬学総合研究科の項，同表国際健康開発研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２０年度及び平成２１年度については，次のとおりとする。

(1)　平成２０年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
教育学研究科	教科実践専攻	１８	１８				
	教職実践専攻					２０	２０
	小計	１８	１８			２０	２０
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			７７	３０８		
	新興感染症病態制御学系専攻			２４	９６		

	放射線医療科学専攻			１１	４４		
	生命薬科学専攻	５３	１０６	１８	６４		
	小計	７７	１４２	１３０	５１２		
国際健康開発研究科	国際健康開発専攻	１０	１０				
	小計	１０	１０				
合計		３３８	６３６	１８１	６６５	２０	２０

(2)　平成２１年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			７７	３０８		
	新興感染症病態制御学系専攻			２４	９６		
	放射線医療科学専攻			１１	４４		
	生命薬科学専攻	５３	１０６	１８	５９		
	小計	７７	１４２	１３０	５０７		
合計		３３８	６６４	１８１	６６０	２０	４０

３　教育学研究科の学校教育専攻及び教科教育専攻は，改正後の第３条第１項及び別表第１の規定にかかわらず，平成２０年３月３１日に当該専攻に在学する学生が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとし，その収容定員は，次のとおりとする。

専攻	平成２０年度
学校教育専攻	6
教科教育専攻	３２

附　則（平成２０年１０月２４日学則第４号）

この学則は，平成２０年１１月１日から施行する。

附　則（平成２１年２月２７日学則第２号）

１　この学則は，平成２１年４月１日から施行する。

２　医歯薬学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１医歯薬学総合研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２１年度から平成２３年度までについては，次のとおりとする。

(1)　平成２１年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			６２	２９３		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	９２		
	放射線医療科学専攻			８	４１		
	生命薬科学専攻	５３	１０６	１８	５９		
	小計	７７	１４２	１０８	４８５		
合計		３３８	６６４	１５９	６３８	２０	４０

(2)　平成２２年度

研究科	専攻	修士課程及び	博士課程及び	専門職学位課程

		博士前期課程		博士後期課程			
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			６２	２７８		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８８		
	放射線医療科学専攻			８	３８		
	生命薬科学専攻	５３	１０６	１８	５４		
	小計	７７	１４２	１０８	４５８		
合計		３３８	６６４	１５９	６１１	２０	４０

(3)　平成２３年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			６２	２６３		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８４		
	放射線医療科学専攻			８	３５		
	生命薬科学専攻	５３	１０６	１８	５４		

	小計	７７	１４２	１０８	４３６		
合計		３３８	６６４	１５９	５８９	２０	４０

附　則（平成２１年７月２４日学則第４号）

この学則は，平成２１年７月２４日から施行する。

附　則（平成２２年２月２６日学則第２号）

１　この学則は，平成２２年４月１日から施行する。

２　医歯薬学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１医歯薬学総合研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２２年度及び平成２３年度については，次のとおりとする。

(1)　平成２２年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			６２	２７８		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８８		
	放射線医療科学専攻			８	３８		
	生命薬科学専攻	３６	３６	１８	５４		
	小計	６０	７２	１０８	４５８		
合計		３２１	５９４	１５９	６１１	２０	４０

(2)　平成２３年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程	博士課程及び博士後期課程	専門職学位課程

		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	１２	２４				
	医療科学専攻			６２	２６３		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８４		
	放射線医療科学専攻			８	３５		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１８	５４		
	小計	６０	１０８	１０８	４３６		
合計		３２１	６３０	１５９	５８９	２０	４０

３　医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻の博士前期課程は，改正後の第３条第１項及び別表第１の規定にかかわらず，平成２２年３月３１日に当該課程に在学する学生が当該課程に在学しなくなるまでの間，存続するものとし，その収容定員は，次のとおりとする。

専攻	課程	平成２２年度
生命薬科学専攻	博士前期課程	５３

附　則（平成２２年７月１５日学則第３号）

この学則は，平成２２年７月１５日から施行する。

附　則（平成２３年２月２４日学則第１号）

この学則は，平成２３年４月１日から施行する。

附　則（平成２３年２月２４日学則第２号）

１　この学則は，平成２３年４月１日から施行する。

２　工学研究科及び水産・環境科学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１工学研究科，水産・環境科学総合研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２３年度から平成２６年度については，次のとおりとする。

(1)　平成２３年度

研究科	専攻	修士課程及び	博士課程及び	専門職学位課程

		博士前期課程		博士後期課程			
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２００	２００				
	生産システム工学専攻			１０	１０		
	グリーンシステム創成科学専攻			５	５		
	小計	２００	２００	１５	１５		
水産・環境科学総合研究科	水産学系専攻	３５	３５				
	環境共生政策学専攻	８	８				
	環境保全設計学専攻	１７	１７				
	環境海洋資源学専攻			１２	１２		
	海洋フィールド生命科学専攻			５	５		
	小計	６０	６０	１７	１７		
合計		３６３	６７２	１４３	５７３	２０	４０

(2)　平成２４年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２００	４００				
	生産システム工学専攻			１０	２０		
	グリーンシステム創			５	１０		

	成科学専攻						
	小計	２００	４００	１５	３０		
水産・環境科学総合研究科	水産学系専攻	３５	７０				
	環境共生政策学専攻	８	１６				
	環境保全設計学専攻	１７	３４				
	環境海洋資源学専攻			１２	２４		
	海洋フィールド生命科学専攻			５	１０		
	小計	６０	１２０	１７	３４		
合計		３６３	７１４	１４３	５３５	２０	４０

(3)　平成２５年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２００	４００				
	生産システム工学専攻			１０	３０		
	グリーンシステム創成科学専攻			５	１５		
	小計	２００	４００	１５	４５		
水産・環境科学総合研究科	水産学系専攻	３５	７０				
	環境共生政策学専攻	８	１６				
	環境保全設計学専攻	１７	３４				
	環境海洋資源学専攻			１２	３６		

	海洋フィールド生命科学専攻			5	１５		
	小計	６０	１２０	１７	５１		
合計		３６３	７１４	１４３	５１９	２０	４０

(4)　平成２６年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２００	４００				
	生産システム工学専攻			１０	３０		
	グリーンシステム創成科学専攻			5	２０		
	小計	２００	４００	１５	５０		
水産・環境科学総合研究科	水産学系専攻	３５	７０				
	環境共生政策学専攻	8	１６				
	環境保全設計学専攻	１７	３４				
	環境海洋資源学専攻			１２	３６		
	海洋フィールド生命科学専攻			5	２０		
	小計	６０	１２０	１７	５６		
合計		３６３	７１４	１４３	５２９	２０	４０

３　生産科学研究科は，改正後の長崎大学大学院学則の規定にかかわらず，平成２３年３月３１日に当該研究科に在学する者が当該研究科に在学しなくなるまでの間，存続するものとし，なお従前の例による。

４　前項の場合において，別表第１の規定にかかわらず，生産科学研究科の収容定員につ

いては，次のとおりとする。

専攻	課程	平成２３年度	平成２４年度
機械システム工学専攻	博士前期課程	３０	
電気情報工学専攻	博士前期課程	５２	
環境システム工学専攻	博士前期課程	３６	
物質工学専攻	博士前期課程	３８	
水産学専攻	博士前期課程	３７	
環境共生政策学専攻	博士前期課程	８	
環境保全設計学専攻	博士前期課程	１７	
システム科学専攻	博士後期課程	２２	１１
海洋生産科学専攻	博士後期課程	３０	１５
物質科学専攻	博士後期課程	２８	１４
環境科学専攻	博士後期課程	１６	８

附　則（平成２４年２月２４日学則第２号）

１　この学則は，平成２４年４月１日から施行する。

２　医歯薬学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１医歯薬学総合研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２４年度及び平成２５年度については，次のとおりとする。

(1)　平成２４年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	２０	３２				
	医療科学専攻			６２	２４８		

	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学専攻			８	３２		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	４６		
	小計	６８	１１６	１００	４０６		
合計		３７１	７２２	１３５	５２７	２０	４０

(2)　平成２５年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	熱帯医学専攻	１２	１２				
	保健学専攻	２０	４０				
	医療科学専攻			６２	２４８		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学専攻			８	３２		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	３８		
	小計	６８	１２４	１００	３９８		
合計		３７１	７３０	１３５	５０３	２０	４０

３　研究科の収容定員は，改正後の別表第１合計の項の規定にかかわらず，平成２６年度については，次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程	博士課程及び博士後期課程	専門職学位課程

		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
合計		３７１	７３０	１３５	５０５	２０	４０

４　医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻の修士課程は，改正後の長崎大学大学院学則の規定にかかわらず，平成２４年３月３１日に当該修士課程に在学する学生が当該修士課程に在学しなくなるまでの間，存続するものとし，なお従前の例による。ただし，改正前の別表第１の規定は，適用しない。

附　則（平成２４年９月２１日学則第３号）

この学則は，平成２４年９月２１日から施行する。

附　則（平成２５年２月２２日学則第１号）

この学則は，平成２５年４月１日から施行する。

附　則（平成２６年２月２１日学則第２号）

１　この学則は，平成２６年４月１日から施行する。

２　教育学研究科教科実践専攻は，改正後の長崎大学大学院学則の規定にかかわらず，平成２６年３月３１日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとし，その収容定員は，次のとおりとする。

専攻	課程	平成２６年度
教科実践専攻	修士課程	１８

３　教育学研究科の収容定員は，改正後の別表第１教育学研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２６年度については，次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
教育学研究科	教職実践専攻					３８	５８
	小計					３８	５８
合計		３５３	７１２	１３５	５０５	３８	５８

附　則（平成２７年３月２７日学則第３号）

１　この学則は，平成２７年４月１日から施行する。

２　医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻は，改正後の長崎大学大学院学則の規定にかかわら

ず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

3　工学研究科，水産・環境科学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の収容定員は，改正後の別表第１工学研究科，水産・環境科学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２７年度及び平成２８年度については，次のとおりとする。

(1)　平成２７年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２２０	４２０				
	生産システム工学専攻			１５	３５		
	グリーンシステム創成科学専攻			５	２５		
	小計	２２０	４２０	２０	６０		
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	３５	７０				
	環境科学専攻	２５	２５				
	環境海洋資源学専攻			１２	３６		
	海洋フィールド生命科学専攻			５	２５		
	小計	６０	９５	１７	６１		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	２７	２７				
	小計	２７	２７				
合計		３７８	７０９	１４０	５２０	３８	７６

(2)　平成２８年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２２０	４４０				
	生産システム工学専攻			１５	４０		
	グリーンシステム創成科学専攻			５	２５		
	小計	２２０	４４０	２０	６５		
合計		３７８	７４４	１４０	５２５	３８	７６

４　水産・環境科学総合研究科の環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻並びに国際健康開発研究科国際健康開発専攻は，改正後の長崎大学大学院学則の規定にかかわらず，平成２７年３月３１日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとし，その収容定員は，次のとおりとする。

専攻	課程	平成２７年度
環境共生政策学専攻	博士前期課程	８
環境保全設計学専攻	博士前期課程	１７
国際健康開発専攻	修士課程	１０

附　則（平成２７年３月２７日学則第４号）

この学則は，平成２７年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年３月２８日学則第２号）

１　この学則は，平成２８年４月１日から施行する。

２　工学研究科及び医歯薬学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１の工学研究科及び医歯薬学総合研究科の項並びに同表合計の項の規定にかかわらず，平成２８年度から平成３０年度までについては，次のとおりとする。

(1)　平成２８年度

研究科	専攻	修士課程及び	博士課程及び	専門職学位課程

		博士前期課程		博士後期課程			
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
工学研究科	総合工学専攻	２２０	４４０				
	生産システム工学専攻			１５	４０		
	グリーンシステム創成科学専攻			５	２５		
	小計	２２０	４４０	２０	６５		
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	２０	４０				
	災害・被ばく医療科学共同専攻	１０	１０				
	医療科学専攻			６０	２４６		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学専攻			５	２９		
	先進予防医学共同専攻			１０	１０		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	３０		
	小計	６６	１２２	１０５	３９５		
合計		３８８	７５４	１４５	５３５	３８	７６

(2)　平成２９年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学	収容	入学	収容	入学	収容

		定員	定員	定員	定員	定員	定員
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	２０	４０				
	災害・被ばく医療科学共同専攻	１０	２０				
	医療科学専攻			６０	２４４		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学専攻			５	２６		
	先進予防医学共同専攻			１０	２０		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	３０		
	小計	６６	１３２	１０５	４００		
合計		３８８	７６４	１４５	５４０	３８	７６

(3)　平成３０年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	２０	４０				
	災害・被ばく医療科学共同専攻	１０	２０				
	医療科学専攻			６０	２４２		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学			５	２３		

	専攻						
	先進予防医学共同専攻			１０	３０		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	３０		
	小計	６６	１３２	１０５	４０５		
合計		３８８	７６４	１４５	５４５	３８	７６

附　則（平成２８年５月２７日学則第３号）

この学則は，平成２８年５月２７日から施行する。

附　則（平成２９年３月２９日学則第２号）

１　この学則は，平成２９年４月１日から施行する。

２　熱帯医学・グローバルヘルス研究科の収容定員は，改正後の別表第１の熱帯医学・グローバルヘルス研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成２９年度については，次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	３７	５２				
	小計	３７	５２				
合計		３９８	７７４	１４５	５４０	３８	７６

附　則（平成３０年１月９日学則第２号）

この学則は，平成３０年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年３月２７日学則第４号）

１　この学則は，平成３０年４月１日から施行する。

２　多文化社会学研究科，教育学研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の収容定員は，改正後の別表第１の多文化社会学研究科，教育学研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の項並びに同表合計の項の規定にかかわらず，平成３０年度及び平成３１年度については，次のとおりとする。

(1)　平成３０年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
多文化社会学研究科	多文化社会学専攻	１０	１０				
	小計	１０	１０				
教育学研究科	教職実践専攻					２８	６６
	小計					２８	６６
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	３７	６２	５	５		
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			５	５		
	小計	３７	６２	１０	１０		
合計		４０８	７９４	１５５	５５５	２８	６６

(2)　平成３１年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
多文化社会学研究科	多文化社会学専攻	１０	２０				
	小計	１０	２０				

教育学研究科	教職実践専攻					２８	５６
	小計					２８	５６
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	３７	６２	５	１０		
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			５	１０		
	小計	３７	６２	１０	２０		
合計		４０８	７９４	１５５	５７０	２８	５６

附　則（平成３１年２月２２日学則第２号）

１　この学則は，平成３１年２月２２日から施行し，改正後の第３条，第７条の４及び第７条の５の規定は，平成３０年１１月１日から適用する。

２　平成３１年３月３１日現在経済学研究科博士後期課程に在学している者については，改正後の第１９条第１項の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（平成３１年３月２９日学則第４号）

この学則は，平成３１年４月１日から施行する。

附　則（令和元年９月２７日学則第１号）

１　この学則は，令和２年４月１日から施行する。

２　多文化社会学研究科の収容定員は，改正後の別表第１の多文化社会学研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，令和２年度及び令和３年度については，次のとおりとする。

(1)　令和２年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学	収容	入学	収容	入学	収容

		定員	定員	定員	定員	定員	定員
多文化社会学研究科	多文化社会学専攻	１０	２０	３	３		
	小計	１０	２０	３	３		
合計		４０８	８０４	１５８	５８３	２８	５６

(2)　令和３年度

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
多文化社会学研究科	多文化社会学専攻	１０	２０	３	６		
	小計	１０	２０	３	６		
合計		４０８	８０４	１５８	５８６	２８	５６

附　則（令和２年１月２４日学則第２号）

この学則は，令和２年１月２４日から施行する。

附　則（令和２年３月２７日学則第４号）

１　この学則は，令和２年４月１日から施行する。

２　令和２年３月３１日現在多文化社会学研究科に在学している者については，改正後の第１８条第１項の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附　則（令和２年９月２５日学則第６号）

この学則は，令和２年１０月１日から施行する。

附　則（令和３年３月２６日学則第２号）

この学則は，令和３年４月１日から施行する。

附　則（令和３年５月２１日学則第３号）

１　この学則は，令和３年５月２１日から施行し，改正後の長崎大学大学院学則の規定は，令和３年４月１日から適用する。

２　医歯薬学総合研究科の収容定員は，改正後の別表第１の医歯薬学総合研究科の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，令和３年度については，次のとおりとする。

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	３０	５０				
	災害・被ばく医療科学共同専攻	１０	２０				
	医療科学専攻			６０	２４０		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学専攻			５	２０		
	先進予防医学共同専攻			１０	４０		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	３０		
	小計	７６	１４２	１０５	４１０		
合計		４１８	８１４	１５８	５８９	２８	５６

附　則（令和　年　月　日学則第　号）

１　この学則は，令和４年１０月１日から施行する。

２　水産・環境科学総合研究科，熱帯医学・グローバルヘルス研究科及びプラネタリーヘルス学環の収容定員は，改正後の別表第１の水産・環境科学総合研究科，熱帯医学・グローバルヘルス研究科及びプラネタリーヘルス学環の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，令和４年度から令和７年度までは，次のとおりとする。

(1)　令和４年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科	水産学専攻	３５	７０				

学総合研究科	環境科学専攻	２５	５０				
	環境海洋資源学専攻			１２	３６		
	海洋フィールド生命科学専攻				２０		
	小計	６０	１２０	１２	５６		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	３７	６２	１０ （5）	２０ （5）		
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			5	１５		
	小計	３７	６２	１５ （5）	３５ （5）		
プラネタリーヘルス学環	―			5	5		
	小計			5	5		
合計		４１８	８２４	１５８ （5）	５８９ （5）	２８	５６

(2)　令和５年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	３５	７０				
	環境科学専攻	２５	５０				
	環境海洋資源学専攻			１２	３６		
	海洋フィールド生命科学専攻				１５		
	小計	６０	１２０	１２	５１		
熱帯医学・グローバルヘ	グローバルヘルス専攻	３７	６２	１０ （5）	２５ （１０）		

ルス研究科	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			5	15		
	小計	37	62	15 (5)	40 (10)		
プラネタリーヘルス学環	—			5	10		
	小計			5	10		
合計		418	824	158 (5)	589 (10)	28	56

(3)　令和６年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35	70				
	環境科学専攻	25	50				
	環境海洋資源学専攻			12	36		
	海洋フィールド生命科学専攻				10		
	小計	60	120	12	46		
合計		418	824	158 (5)	589 (15)	28	56

(4)　令和７年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35	70				
	環境科学専攻	25	50				
	環境海洋資源学			12	36		

	専攻						
	海洋フィールド生命科学専攻				5		
	小計	６０	１２０	１２	４１		
合計		４１８	８２４	１５８（5）	５８４（１５）	２８	５６

別表第１

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
多文化社会学研究科	多文化社会学専攻	１０	２０	3	9		
	小計	１０	２０	3	9		
教育学研究科	教職実践専攻					２８	５６
	小計					２８	５６
経済学研究科	経済経営政策専攻	１５	３０				
	経営意思決定専攻			3	9		
	小計	１５	３０	3	9		
工学研究科	総合工学専攻	２２０	４４０				
	生産システム工学専攻			１５	４５		
	グリーンシステム創成科学専攻			5	２５		
	小計	２２０	４４０	２０	７０		

水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	３５	７０				
	環境科学専攻	２５	５０				
	環境海洋資源学専攻			１２	３６		
	小計	６０	１２０	１２	３６		
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	３０	６０				
	災害・被ばく医療科学共同専攻	１０	２０				
	医療科学専攻			６０	２４０		
	新興感染症病態制御学系専攻			２０	８０		
	放射線医療科学専攻			５	２０		
	先進予防医学共同専攻			１０	４０		
	生命薬科学専攻	３６	７２	１０	３０		
	小計	７６	１５２	１０５	４１０		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	３７	６２	１０ （５）	３０ （１５）		
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			５	１５		
	小計	３７	６２	１５ （５）	４５ （１５）		
プラネタ	―			５	１５		

リーヘルス学環	小計			5	１５		
合計		４１８	８２４	１５８（5）	５７９（１５）	２８	５６

備考　（　）内の数字は，第３条第６項に規定する連係協力研究科から，プラネタリーヘルス学環に活用する入学定員及び収容定員とし，内数とする。

別表第２

研究科	専攻	教員の免許状の種類（免許教科・領域）	
多文化社会学研究科	多文化社会学専攻（博士前期課程）	高等学校教諭専修免許状	（英語）
教育学研究科	教職実践専攻	幼稚園教諭専修免許状	
		小学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	（国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語）
		高等学校教諭専修免許状	（国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，書道，保健体育，家庭，情報，工業，英語）
		特別支援学校教諭専修免許状	（知的障害者，肢体不自由者，病弱者）
経済学研究科	経済経営政策専攻	高等学校教諭専修免許状	（商業）
工学研究科	総合工学専攻	高等学校教諭専修免許状	（工業）
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	高等学校教諭専修免許状	（水産）

長崎大学大学院学則（案）　変更事項を記載した書類

１．変更事由

本学大学院に，多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科，水産・環境科学総合研究科，医歯薬学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の緊密な連係及び協力の下，当該研究科が有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて横断的な分野に係る教育課程を実施する研究科等連係課程実施基本組織として，プラネタリーヘルス学環を設置するため，一部字句の整備を含め所要の改正を行うもの。

２．主な変更内容

①　第３条第１項

本学大学院に置く組織に，プラネタリーヘルス学環を加える。

②　第３条第６項

プラネタリーヘルス学環は研究科等連係課程実施基本組織として，多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科，水産・環境科学総合研究科，医歯薬学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の緊密な連係及び協力の下，実施する博士後期課程とすることを定める。

③　第５条第７項

プラネタリーヘルス学環の標準修業年限を定める。

④　第７条の６

横断的な分野に係る教育課程を実施する上で特に必要があると認められる場合であって，教育研究に支障がないと認められる場合には，本学大学院に置かれる２以上の研究科との緊密な連係及び協力の下，当該２以上の研究科が有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて横断的な分野に係る教育課程を実施する研究科以外の基本組織を置くことができることを定める。

⑤　第１９条第２項

プラネタリーヘルス学環の修了要件を追加する。

⑥　別表第１

熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）の入学定員及び収容定員のうち，プラネタリーヘルス学環の入学定員及び収容定員とする定員数を定める。

３．変更時期

令和４年１０月１日

長崎大学大学院学則の一部改正について

改正理由

本学大学院に，多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科，水産・環境科学総合研究科，医歯薬学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の緊密な連係及び協力の下，当該研究科が有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて横断的な分野に係る教育課程を実施する研究科等連係課程実施基本組織として，プラネタリーヘルス学環を設置するため，一部字句の整備を含め所要の改正を行うものである。

令和　年　月　日
学則第　　号
制定権者　長崎大学長　河野　　茂

長崎大学大学院学則の一部を改正する学則（案）

長崎大学大学院学則（平成１６年学則第２号）の一部を，次の新旧対照表のように改正する。

新	旧
第１章　総則	第１章　同左
（目的）	
第１条　長崎大学大学院（以下「本学大学院」という。）は，国立大学法人長崎大学基本規則（平成１６年規則第１号）第３条に規定する理念に基づき，実践的問題解決能力と政策立案能力を有し国際的問題及び地域の諸課題を解決しうる高度専門職業人並びに豊かな創造的能力を有し先導的知を創生しうる研究者を養成し，もって広く人類に貢献することを目的とする。	第１条　同左
２　本学大学院の修業年限，教育課程，教育研究組織その他の学生の修学上必要な事項については，この学則の定めるところによる。	
（教育研究上の目的の公表等）	（教育研究上の目的の公表等）
第１条の２　各研究科及び学環は，研究科若しくは専攻又は学環ごとに，人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を研究科規程又は学環規程に定め，公表するものとする。	第１条の２　各研究科は，研究科又は専攻ごとに，人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を研究科規程に定め，公表するものとする。
第２条　略	第２条　同左

（研究科及び学環の専攻，課程，収容定員等）

第３条　研究科及び学環の専攻及び課程は，次のとおりとする。

研究科・学環	専攻	課程	
〃 略 〃	〃 略 〃	〃 略 〃	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	略	略	博士課程
		略	
	長崎大学－ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	後期３年の課程	
プラネタリーヘルス学環	―	後期３年の課程	博士課程

２～５　略

６　プラネタリーヘルス学環は，第７条の６に規定する研究科等連係課程実施基本組織として，多文化社会学研究科，経済学研究科，工学研究科，水産・環境科学総合研究科，医歯薬学総合研究科及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科の緊密な連係及び協力の下，実施する博士後期課程とする。

７　研究科及び学環の収容定員は，別表第１のとおりとする。

第４条　略

（標準修業年限）

第５条　教育学研究科専門職学位課程の標準修業年限は，２年とする。ただ

（研究科，専攻，課程及び収容定員）

第３条　研究科の専攻及び課程は，次のとおりとする。

研究科	専攻	課程	
〃 同左 〃	〃 同左 〃	〃 同左 〃	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	同左	同左	同左
		同左	
	同左	同左	

２～５　同左

６　研究科の収容定員は，別表第１のとおりとする。

第４条　同左

（標準修業年限）

第５条　同左

し，教育上の必要があると認められる場合は，学生の履修上の区分に応じ，その標準修業年限は，１年以上２年未満の期間又は２年を超える期間とすることができるものとする。	
２～６　略	２～６　同左
７　プラネタリーヘルス学環の標準修業年限は，３年とする。	
第５条の２～第７条　略	第５条の２～第７条　同左
第２章　教育課程等	第２章　同左
（教育課程の編成方針）	（教育課程の編成方針）
第７条の２　各研究科（教育学研究科を除く。）及び学環は，当該研究科及び専攻並びに学環の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画を策定し，体系的に教育課程を編成するものとする。	第７条の２　各研究科（教育学研究科を除く。）は，当該研究科及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画を策定し，体系的に教育課程を編成するものとする。
２　前項の教育課程の編成に当たっては，各研究科及び学環は，専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮しなければならない。	２　前項の教育課程の編成に当たっては，各研究科は，専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに，当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮しなければならない。
３　略	３　同左
第７条の３～第７条の５　略	第７条の３～第７条の５　同左
（研究科等連係課程実施基本組織）	
第７条の６　横断的な分野に係る教育課程を実施する上で特に必要があると認められる場合であって，教育研究に支障がないと認められる場合には，本学大学院に置かれる２以上の研究科（この条の規定により置かれたものを除く。以下この条において同じ。）との緊密な連係及び協力の下，当該２以上の研究科が有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて横断的な分野に係る教育課程を実施する研究科以外の基本組織を置くことができる。	
（教育方法）	（教育方法）
第８条　各研究科（教育学研究科を除く。）及び学環における教育は，授業	第８条　各研究科（教育学研究科を除く。）における教育は，授業科目の授

科目の授業及び研究指導により行う。	業及び研究指導により行う。
２～４　略	２～４　同左
第８条の２及び第９条　略	第８条の２及び第９条　同左
（履修方法等）	（履修方法等）
第１０条　各研究科及び学環における授業科目の内容及び単位数並びに研究指導の内容並びにこれらの履修方法については，各研究科及び学環において定めるものとする。	第１０条　各研究科における授業科目の内容及び単位数並びに研究指導の内容並びにこれらの履修方法については，各研究科において定めるものとする。
第１１条及び第１２条　略	第１１条及び第１２条　同左
（考査及び単位の授与）	（考査及び単位の授与）
第１３条　授業科目の成績は，Ａ，Ｂ，Ｃ及びＤの評語をもって表し，Ａ，Ｂ及びＣを合格とし，Ｄを不合格とする。	第１３条　同左
２　前項の規定にかかわらず，研究科又は学環が教育上有益と認めるときは，研究科規程又は学環規程の定めるところにより，授業科目の成績を異なる評語で表すことができる。	２　前項の規定にかかわらず，研究科が教育上有益と認めるときは，研究科規程の定めるところにより，授業科目の成績を異なる評語で表すことができる。
３　略	３　同左
第１４条　略	第１４条　同左
（成績評価基準等の明示等）	（成績評価基準等の明示等）
第１４条の２　各研究科及び学環は，学生に対して，授業及び研究指導の方法及び内容並びに１年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。	第１４条の２　各研究科は，学生に対して，授業及び研究指導の方法及び内容並びに１年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。
２　各研究科及び学環は，学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに，当該基準にしたがって適切に行うものとする。	２　各研究科は，学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに，当該基準にしたがって適切に行うものとする。
（教育内容等の改善のための組織的な研修等）	（教育内容等の改善のための組織的な研修等）
第１４条の３　各研究科及び学環は，当該研究科及び学環の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施す	第１４条の３　各研究科は，当該研究科の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

るものとする。	
（他の研究科若しくは専攻又は学環における履修等）	（他の研究科等における履修等）
第１５条　学長は，第１１条に規定する履修科目の選定に当たって指導教授が教育上必要と認めるときは，所属研究科又は学環の教授会の議を経て，他の研究科若しくは専攻又は学環の授業科目を指定して，履修させることができる。	第１５条　学長は，第１１条に規定する履修科目の選定に当たって指導教授が教育上必要と認めるときは，所属研究科の教授会の議を経て，他の専攻又は研究科の授業科目を指定して，履修させることができる。
２　前項に規定する他の研究科及び学環の授業科目の履修については，あらかじめ当該他研究科及び学環と協議の上，実施するものとする。	２　前項に規定する他の研究科の授業科目の履修については，あらかじめ当該他研究科と協議の上，実施するものとする。
３　前２項の規定により履修した授業科目の修得単位は，各研究科又は学環の定めるところにより，第１８条，第１９条又は第２０条に規定する単位とすることができる。	３　前２項の規定により履修した授業科目の修得単位は，各研究科の定めるところにより，第１８条，第１９条又は第２０条に規定する単位とすることができる。
（他の大学院における授業科目の履修等）	（他の大学院における授業科目の履修等）
第１５条の２　学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると各研究科又は学環において認めるときは，あらかじめ当該他の大学院と協議の上，学生が当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることができる。	第１５条の２　学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると各研究科において認めるときは，あらかじめ当該他の大学院と協議の上，学生が当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることができる。
２及び３　略	２及び３　同左
第１５条の３及び第１６条　略	第１５条の３及び第１６条　同左
（他の大学院等における研究指導）	（他の大学院等における研究指導）
第１７条　学長は，所属研究科又は学環の教授会の議を経て教育上有益と認めるときは，他の大学院又は研究所等とあらかじめ協議の上学生が，当該他大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし，修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合には，当該研究指導を受ける期間は，１年を超えないものとする。	第１７条　学長は，所属研究科の教授会の議を経て教育上有益と認めるときは，他の大学院又は研究所等とあらかじめ協議の上学生が，当該他大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし，修士課程及び博士前期課程の学生について認める場合には，当該研究指導を受ける期間は，１年を超えないものとする。
２　略	２　同左
第１７条の２及び第１７条の３　略	第１７条の２及び第１７条の３　同左
第３章　課程の修了要件及び学位の授与	第３章　同左
第１８条及び第１８条の２　略	第１８条及び第１８条の２　同左

（博士後期課程の修了要件） 第１９条　多文化社会学研究科多文化社会学専攻の博士後期課程の修了要件は，当該課程に３年（専門職大学院設置基準第１８条第１項の法科大学院の課程を修了した者にあっては，２年）以上在学し，１６単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。	（博士後期課程の修了要件） 第１９条　同左
２　博士後期課程（多文化社会学研究科多文化社会学専攻の博士後期課程を除く。）の修了の要件は，当該課程に３年（専門職大学院設置基準第１８条第１項の法科大学院の課程を修了した者にあっては，２年）以上在学し，工学研究科生産システム工学専攻及び水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻並びにプラネタリーヘルス学環にあっては１５単位以上を，経済学研究科経営意思決定専攻，医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻にあっては１６単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。	２　博士後期課程（多文化社会学研究科多文化社会学専攻の博士後期課程を除く。）の修了の要件は，当該課程に３年（専門職大学院設置基準第１８条第１項の法科大学院の課程を修了した者にあっては，２年）以上在学し，工学研究科生産システム工学専攻及び水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻にあっては１５単位以上を，経済学研究科経営意思決定専攻，医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻にあっては１６単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。
３及び４　略	３及び４　同左
第２０条～第２０条の３　略	第２０条～第２０条の３　同左
（学位の授与） 第２１条　修士課程，博士課程又は専門職学位課程の修了要件を満たした者には，所属研究科又は学環の教授会の議を経て，学長（医歯薬学総合研究科の災害・被ばく医療科学共同専攻及び先進予防医学共同専攻にあっては，各共同専攻の教育課程を構成する大学の長）が課程の修了を認定し，修士若しくは博士の学位又は専門職学位を授与する。	（学位の授与） 第２１条　修士課程，博士課程又は専門職学位課程の修了要件を満たした者には，所属研究科教授会の議を経て，学長（医歯薬学総合研究科の災害・被ばく医療科学共同専攻及び先進予防医学共同専攻にあっては，各共同専攻の教育課程を構成する大学の長）が課程の修了を認定し，修士若しくは博士の学位又は専門職学位を授与する。
２　前項に定めるもののほか，博士課程（医歯薬学総合研究科の博士課程を除く。）において，第１８条第２項から第４項まで又は第１８条の２に規定する修士課程の修了要件を満たした者には，所属研究科の教授会の議を経て，学長が修士の学位を授与することができる。	２　前項に定めるもののほか，博士課程（医歯薬学総合研究科の博士課程を除く。）において，第１８条第２項から第４項まで又は第１８条の２に規定する修士課程の修了要件を満たした者には，所属研究科教授会の議を経て，学長が修士の学位を授与することができる。

第２２条　略	第２２条　同左
第４章　入学，転学，休学，退学，再入学等	第４章　同左
第２３条及び第２４条　略	第２３条及び第２４条　同左
（博士後期課程の入学資格）	（博士後期課程の入学資格）
第２５条　博士後期課程に入学することのできる者は，次の各号のいずれかに該当する者とする。	第２５条　同左
(1)～(7)　略	(1)～(7)　同左
(8)　各研究科及び学環において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの	(8)　各研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの
第２６条～第２８条　略	第２６条～第２８条　同左
（合格者の決定）	（合格者の決定）
第２９条　前条の選抜による合格者の決定は，各研究科及び学環の教授会の議を経て，学長が行う。	第２９条　前条の選抜による合格者の決定は，各研究科教授会の議を経て，学長が行う。
第３０条　略	第３０条　同左
（転入学等）	（転入学等）
第３１条　次の各号のいずれかに該当する者が，転入学又は転科を願い出たときは，学期の始めに限り，選考の上，許可することがある。	第３１条　同左
(1)　他の大学院に在学する者又は修了し，若しくは退学した者で転入学を志望するもの	(1)　同左
(2)　他の研究科若しくは学環に在学する者又は修了し，若しくは退学した者で転科を志望するもの	(2)　他の研究科に在学する者又は修了し，若しくは退学した者で転科を志望するもの
(3)及び(4)　略	(3)及び(4)　同左
２　前項により転入学又は転科を許可された者の既に履修した授業科目及び修得した単位並びに在学年数の認定は，所属研究科又は学環の教授会の議を経て，学長が決定する。	２　前項により転入学又は転科を許可された者の既に履修した授業科目及び修得した単位並びに在学年数の認定は，所属研究科の教授会の議を経て，学長が決定する。
３　略	３　同左

第３２条　前条第１項による転入学願又は転科願は，所属の学長，研究科長又は学環長の紹介状を添えて，志願する研究科長又は学環長に提出するものとする。	第３２条　前条第１項による転入学願又は転科願は，所属の学長又は研究科長の紹介状を添えて，志願する研究科長に提出するものとする。
第３３条　本学大学院の学生が，他の大学院に転学しようとするときは，指導教授を経て，研究科長又は学環長に転学願を提出するものとする。	第３３条　本学大学院の学生が，他の大学院に転学しようとするときは，指導教授を経て，研究科長に転学願を提出するものとする。
２　学長は，所属研究科又は学環の教授会の議を経て転学の事由が適当であると認めたときは，その転学を許可することができる。	２　学長は，所属研究科の教授会の議を経て転学の事由が適当であると認めたときは，その転学を許可することができる。
３　前２項の規定は，他の研究科又は学環に転科を志望する場合にこれを準用する。	３　前２項の規定は，他の研究科に転科を志望する場合にこれを準用する。
第３４条～第３６条　略	第３４条～第３６条　同左
（進学）	（進学）
第３７条　本学の大学院修士課程，博士前期課程及び専門職学位課程を修了し，引き続き博士課程（多文化社会学研究科多文化社会学専攻，経済学研究科経営意思決定専攻，工学研究科生産システム工学専攻，水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻，医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻並びにプラネタリーヘルス学環にあっては，博士後期課程）に進学を志願する者については，各研究科規程及び学環規程の定めるところにより，選考の上，進学を許可する。	第３７条　本学の大学院修士課程，博士前期課程及び専門職学位課程を修了し，引き続き博士課程（多文化社会学研究科多文化社会学専攻，経済学研究科経営意思決定専攻，工学研究科生産システム工学専攻，水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻，医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻及び熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻にあっては，博士後期課程）に進学を志願する者については，各研究科規程の定めるところにより，選考の上，進学を許可する。
第５章～第９章　略	第５章～第９章　同左
第１０章　雑則	第１０章　同左
（補則）	（補則）
第５９条　この学則に定めるもののほか，研究科又は学環に関し必要な事項は，研究科長又は学環長が学長の承認を得て，定めることができる。	第５９条　この学則に定めるもののほか，研究科に関し必要な事項は，研究科長が学長の承認を得て，定めることができる。
第６０条　この学則に定めるもののほか，本学大学院の学生に関し必要な事項は，本学学則を準用する。	第６０条　同左
第６１条　本学学則をこの学則に準用する場合は，「学部」を「研究科又は学環」，「学部長」を「研究科長又は学環長」と，それぞれ読み替えるも	第６１条　本学学則をこの学則に準用する場合は，「学部」を「研究科」，「学部長」を「研究科長」と，それぞれ読み替えるものとする。

のとする。

附　則

1　この学則は，令和４年１０月１日から施行する。

2　水産・環境科学総合研究科，熱帯医学・グローバルヘルス研究科及びプラネタリーヘルス学環の収容定員は，改正後の別表第１の水産・環境科学総合研究科，熱帯医学・グローバルヘルス研究科及びプラネタリーヘルス学環の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，令和４年度から令和７年度までは，次のとおりとする。

(1)　令和４年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35	70				
	環境科学専攻	25	50				
	環境海洋資源学専攻			12	36		
	海洋フィールド生命科学専攻				20		
	小計	60	120	12	56		
熱帯医学・グロ	グローバルヘルス専攻	37	62	10 (5)	20 (5)		

ーバルヘルス研究科	長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			5	15		
	小計	37	62	15 (5)	35 (5)		
プラネタリーヘルス学環	―			5	5		
	小計			5	5		
合計		418	824	158 (5)	589 (5)	28	56

(2)　令和５年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35	70				
	環境科学専攻	25	50				
	環境海洋資源学専攻			12	36		

	海洋フィールド生命科学専攻				15		
	小計	60	120	12	51		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	37	62	10 (5)	25 (10)		
	長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			5	15		
	小計	37	62	15 (5)	40 (10)		
プラネタリーヘルス学環	―			5	10		
	小計			5	10		
合計		418	824	158 (5)	589 (10)	28	56

(3)　令和６年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学	収容	入学	収容	入学	収容

		定員	定員	定員	定員	定員	定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35	70				
	環境科学専攻	25	50				
	環境海洋資源学専攻			12	36		
	海洋フィールド生命科学専攻				10		
	小計	60	120	12	46		
合計		418	824	158 (5)	589 (15)	28	56

(4)　令和７年度

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
水産・環境科学総合研究科	水産学専攻	35	70				
	環境科学専攻	25	50				
	環境海洋資源学専攻			12	36		

	海洋フィールド生命科学専攻				5		
	小計	60	120	12	41		
合計		418	824	158 (5)	584 (15)	28	56

別表第１

研究科・学環	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
〜 略 〜	〜 略 〜	〜 略 〜	〜 略 〜	〜 略 〜	〜 略 〜	〜 略 〜	〜 略 〜
医歯薬学総合研究科	保健学専攻	30	60				
	災害・被ばく医療科学共同専攻	10	20				
	医療科学専攻			60	240		
	新興感染症病態制御学系専攻			20	80		

別表第１

研究科	専攻	修士課程及び博士前期課程		博士課程及び博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
〜 同左 〜	〜 同左 〜	〜 同左 〜	〜 同左 〜	〜 同左 〜	〜 同左 〜	〜 同左 〜	〜 同左 〜
同左	同左	同左	同左				
	同左	同左	同左				
	同左			同左	同左		
	同左			同左	同左		

	放射線医療科学専攻			5	20		
	先進予防医学共同専攻			10	40		
	生命薬科学専攻	36	72	10	30		
	小計	76	152	105	410		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	37	62	10 (5)	30 (15)		
	長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻			5	15		
	小計	37	62	15 (5)	45 (15)		
プラネタリーヘルス学環	―			5	15		
	小計			5	15		
合計		418	824	158 (5)	579 (15)	28	56

備考　（　）内の数字は，第３条第６項に規定する連係協力研究科から，

	同左			同左	同左		
	同左			同左	同左		
	同左	同左	同左	同左	同左		
	小計	同左	同左	同左	同左		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	グローバルヘルス専攻	37	62	5	15		
	同左			同左	同左		
	小計	37	62	10	30		
合計		418	824	153	564	28	56

プラネタリーヘルス学環に活用する入学定員及び収容定員とし，内数とする。	
別表第２　略	別表第２　同左

長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環教授会規程（案）

（趣旨）

第１条　この規程は，長崎大学教授会規則（平成１６年規則第８号）第１１条の規定に基づき，長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環教授会（以下「教授会」という。）の組織，運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第２条　教授会は，次に掲げる者をもって組織する。

(1)　プラネタリーヘルス学環（以下「本学環」という。）の教授，准教授，専任の講師及び助教を命じられている教員

(2)　本学環の教授を命じられている国立大学法人長崎大学の理事で教授会が認めた者

２　教授会には，生命医科学域・研究所事務部長又は生命医科学域・研究所事務部研究所等支援課長を出席させるものとする。

（審議事項等）

第３条　教授会は，学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。ただし，前条第１項第２号に掲げる者は，教授会が認める事項に限り，審議に加えることができる。

(1)　学生の入学，課程の修了及び学位の授与に関する事項

(2)　その他本学環に係る教育研究に関する重要事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定める事項

２　教授会は，前項に規定するもののほか，学長及び学環長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し，及び学長等の求めに応じ，意見を述べることができる。

（議長）

第４条　学環長は，教授会の議長となる。

２　議長は，教授会を主宰する。

３　議長に事故があるときは，あらかじめ議長が指名する副学環長がその職務を代行する。

（開催）

第５条　教授会は，原則として，毎月１回以上開催する。ただし，議長が必要と認めるとき又は構成員の５人以上の者からの要求があるときは，臨時に開催することができる。

（定足数）

第６条　教授会は，構成員（次に掲げる者を除く。）の２分の１以上が出席しなければ，議事を開き，議決することができない。

(1)　休職中の者

(2)　出勤停止者又は停職者

(3)　長期病気療養中の者

(4)　育児休業中の者

(5)　海外渡航中の者

(6)　国内出張中の者

(7)　内地研究員として派遣されている者

(8)　長崎大学教育研究プロジェクト拠点規則（平成１７年規則第４６号）別表に掲げるプロジェクト拠点に勤務を命じられた者

（議決）

第７条　教授会の議事は，出席した構成員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。ただし，学位の授与に関する事項に係る議決は，長崎大学学位規則（平成１６年規則第１１号）第１２条第２項の定めるところによる。

（書面議決）

第８条　教授会に出席できない構成員は，予め通知された事項について，書面による議決を行うことができる。この場合において，当該構成員は教授会に出席したものとみなす。

（意見の聴取）

第９条　議長が必要と認めたときは，教授会に構成員以外の者を出席させ，意見を聴取することができる。

（関係職員の出席）

第１０条　議長は，必要に応じ，関係職員を教授会に出席させることができる。

（代議員会の設置）

第１１条　長崎大学教授会規則第９条第１項の規定に基づき，教授会に代議員会を置く。

（代議員会への審議の委任）

第１２条　教授会は，学環運営の円滑化に資するため，第３条に規定する審議事項のうち次に掲げる事項について代議員会にその審議を委ね，その議決をもって，教授会の議決とする。

(1)　入試の実施に関する事項

(2)　学生の休学，復学，留学及び退学に関する事項

(3)　研究生，科目等履修生等に関する事項

(4)　外国人留学生に関する事項

(5)　既修得単位の認定に関する事項

(6)　学生の研究指導に関する事項

(7)　学生の表彰に関する事項

(8)　学生の奨学金に関する事項

(9)　非常勤講師の授業担当に関する事項

(10)　学術交流協定及び学生交流覚書の締結等に関する事項

(11)　博士論文の受理審査に関する事項

(12)　学位審査委員の選出に関する事項

(13)　その他学環長がつかさどる教育研究に関する事項

（代議員会の組織）

第１３条　代議員会は，教授会構成員のうち，次に掲げる者をもって組織する。

(1)　学環長

(2)　副学環長

(3)　本学環に置かれる常置委員会の委員長

(4)　各連係協力研究科から選出された本学環の教授，准教授，専任の講師又は助教を命じられている教員　各１人

(5)　その他学環長が必要と認めた者

（審議結果の報告）

第１４条　代議員会は，第１２条各号に掲げる事項の審議結果を教授会に報告しなければならない。

（再審議）

第１５条　第１２条の規定にかかわらず，教授会は，必要があると認めるときは，第１２条各号に掲げる事項について再審議を行い，議決することができる。

（代議員会の議事手続，運営等）

第１６条　代議員会の議事手続，運営等に関し必要な事項は，教授会の議を経て，別に定める。

（委員会）

第１７条　教授会に，必要に応じ，委員会を置くことができる。

２　前項の委員会に関し必要な事項は，別に定める。

（議事要録）

第１８条　学環長は，議事要録を作成し，構成員に通知するとともに保管するものとする。

（事務）

第１９条　教授会の事務は，生命医科学域・研究所事務部研究所等支援課において処理する。

（補則）

第２０条　この規程に定めるもののほか，教授会の運営の細部に関し必要な事項は，別に定めることができる。

附　則

この規程は，令和４年１０月１日から施行する。

長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環規程（案）

（趣旨）

第１条　この規程は，長崎大学大学院学則（平成１６年学則第２号。以下「学則」という。）及び長崎大学学位規則（平成１６年規則第１１号。以下「学位規則」という。）に定めるもののほか，長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環（以下「学環」という。）の教育方法，課程の修了要件等の教育課程に関し必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第２条　学環は，学際的な教育・研究を通して，人間社会と地球・生態系の共存を主要な課題とするプラネタリーヘルスの実現に貢献できる人材の養成を目的とする。

（課程及びプログラム）

第３条　本学環に置く課程及びプログラムは，次のとおりとする。

課程	プログラム
博士後期課程	Ｄｏｃｔｏｒ　ｏｆ　Ｐｕｂｌｉｃ　Ｈｅａｌｔｈ　プログラム

２　Ｄｏｃｔｏｒ　ｏｆ　Ｐｕｂｌｉｃ　Ｈｅａｌｔｈプログラムは，プラネタリーヘルスの中核となる地球規模での公衆衛生に関わる科学，政策及び実践を橋渡しできるプロフェッショナル人材の養成を目的とする。

（入学の時期）

第４条　学生の入学の時期は，学期の始めとする。

（教育方法）

第５条　学環の教育は，授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）により行う。

２　プラネタリーヘルス学環教授会（以下「教授会」という。）は，授業科目の履修指導及び研究指導を行うため，学生ごとに指導教員（学則第８条の２第２項に規定する教員をいう。以下同じ。）を定める。

（授業科目，単位数，履修年次等）

第６条　博士後期課程における授業科目，単位数及び履修年次は，別表第１のとおりとする。

２　前項に定めるもののほか，教授会が必要と認めたときは，臨時に授業科目を開設することがある。

（履修方法等）

第７条　博士後期課程の学生は，別表第１に規定する授業科目のうちから，別表第２に定

めるところにより，１５単位を修得しなければならない。

２　学生は，履修する授業科目の選定に当たっては，指導教員の指導を受けなければならない。

３　学生は，学位論文の作成に当たっては，必要な研究指導を受けなければならない。

（履修科目の登録）

第８条　学生は，履修しようとする授業科目を，指定の期日までに登録しなければならない。

（考査及び単位の授与）

第９条　授業科目を履修した学生に対しては，試験，研究報告等による考査を行う。

２　成績評価の基準及び評語については，次のとおりとする。

判定	成績評価	評語	成績評価基準
合格	１００～９０点	ＡＡ	Ａよりも優れている
	８９～８０点	Ａ	授業科目の到達目標以上に高度な内容を身に付けており，授業で身に付けるべき内容を十分に習得している
	７９～７０点	Ｂ	Ｃよりも優れているがＡに満たない場合
	６９～６０点	Ｃ	授業科目の到達目標を満たしており，授業で身に付けるべき最低限の内容を習得している
不合格	５９点以下	Ｄ	授業科目の到達目標を満たしていない

３　考査に合格した授業科目については，所定の単位を与える。

（追試験及び再試験）

第１０条　忌引，病気，交通機関の事故等やむを得ない理由のため，試験を受けることができなかった学生が証明書を添え追試験願を提出した場合は，追試験を実施することがある。

２　不合格となった授業科目については，再試験を実施することがある。

（教育方法の特例）

第１１条　教育上特別の必要があると認められる学生については，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うものとする。

（他の研究科及び大学院における履修等）

第１２条　学則第１５条及び第１５条の２の規定により学生が他の研究科及び大学院において履修した授業科目及び修得した単位は，１５単位を限度として，本学環において履修した授業科目及び修得した単位とみなすことができる。

（入学前の既修得単位の認定）

第１３条　学則第１５条の３の規定により学生が入学前に履修した授業科目の修得単位は，１５単位を限度として，本学環において修得した単位とみなすことができる。この場合において，当該単位数は，前条により本学環において修得したものとみなす単位数と合わせて２０単位を超えないものとする。

（他の大学院等における研究指導）

第１４条　学則第１７条の規定により，学生が他の大学院又は研究所等（外国の大学院等を含む。）において，必要な研究指導を受けることを認めることがある。

（転入学，再入学等）

第１５条　学則第３１条第１項及び第３６条の規定により，転入学，転学環又は再入学を願い出た者の選考は，教授会において審議し，学長が行う。

２　前項の選考方法については，別に定める。

（進学）

第１６条　学則第３７条の規定により，博士後期課程に進学を志願する者の選考は，教授会において審議し，学長が行う。

２　前項の選考方法については，別に定める。

（長期履修）

第１７条　学則第１６条の規定により，学生が修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修すること（以下「長期履修」という。）を希望する場合は，これを認めることがある。

２　前項の長期履修に関し必要な事項は，別に定める。

（学位論文の提出）

第１８条　学生は，学位論文の審査を受けようとするときは，指導教員の承認を得て，学位規則による所定の書類を，教授会が指定した期日までに学環長へ提出しなければならない。

（最終試験）

第１９条　博士後期課程の最終試験は，第７条第１項に規定する単位を修得し，かつ，学位論文を提出した者について行う。

（課程修了の要件）

第２０条　博士後期課程の修了の要件は，当該課程に３年以上在学し，第７条第１項に規定する履修すべき授業科目の単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。

（学位の授与）

第２１条　博士後期課程を修了した者には，学位規則の定めるところにより，博士の学位を授与する。

（科目等履修生）

第２２条　学環の学生以外の者で，学環が開設する授業科目のうち１又は複数の授業科目について履修を希望する者があるときは，教授会において審議し，学長が選考の上，科目等履修生として入学を許可することがある。

（研究生）

第２３条　学環において特殊の事項について研究を希望する者があるときは，教授会において審議し，学長が選考の上，研究生として入学を許可することがある。

（特別聴講学生及び特別研究学生）

第２４条　学則第４４条及び第４５条に定める特別聴講学生及び特別研究学生の入学の時期は，学期の始めとする。ただし，特別研究学生については，特別の事情があるときは，この限りでない。

（外国人留学生）

第２５条　学則第４６条及び長崎大学外国人留学生規則（平成１６年規則第２０号）に定めるもののほか，外国人留学生に関し必要な事項は，別に定めることができる。

（補則）

第２６条　この規程に定めるもののほか，この規程の実施に関し必要な事項は，別に定めることができる。

附　則

この規程は，令和４年１０月１日から施行する。

別表第１

博士後期課程の授業科目，単位数及び履修年次

区分		授業科目	単位数		履修年次	備考
			必修	選択		
専門科目	プラネタリーヘルス	プラネタリーヘルス特論	2		1	
	政策とシステム	政策過程特論	1		1	
		実装科学特論	1		1	
		保健システム特論	1		2	
	データと分析	政策分析法特論	1		2	
	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	1		1	
		渉外マネジメント特論	1		1	

		グローバルヘルスガバナンス特論	1		1	
	実習科目	実務研修	2		1	
演習科目		プロジェクト演習	4		2・3	
計			15			

別表第2

博士後期課程の履修方法

区分	最低単位修得数		
	必修	選択	計
専門科目	11		11
演習科目	4		4
計	15		15

長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環（博士後期課程）

設置の趣旨等を記載した書類

目　　次

１　設置の趣旨及び必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２　研究科等連係課程実施基本組織の名称及び学位の名称・・・・・・・・・・・７

３　教育課程の編成の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

４　教育方法，履修指導，研究指導の方法及び修了要件・・・・・・・・・・・１３

５　多様なメディアを高度に利用した授業の履修・・・・・・・・・・・・・・・１７

６　入学者選抜の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

７　教員組織の編成の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

８　施設・設備等の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

９　社会人を対象としたサテライトキャンパスでの一部教育の実施・・・・・・２６

10　管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

11　自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

12　情報の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

13　教員の資質の維持向上の方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

１　設置の趣旨及び必要性　［資料１］：概要

（１）設置の趣旨

江戸時代以来の世界に開かれた幕府直轄の港町という地勢を活かし，長崎大学は 1857 年開設の医学伝習所及び 1905 年開設の長崎高等商業専門学校を精神的な柱として，医学界，政治経済界に日本のトップリーダーを輩出してきた。

世界との交流の窓口としての歴史は，オランダ医学のみならず自然科学や社会経済学など欧米からの先進的な情報や人材の導入を促進した。1942 年開設の熱帯医学研究所は戦後の風土病撲滅に貢献したが，60 年代からの日本経済の世界展開に伴いその対象をアジアアフリカ地域の感染症対策へと拡げた。その結果，WHO 熱帯性ウイルス研究協力センターに指定され，2003 年の SARS コロナウイルス感染症流行時も専門家派遣や，診断技術開発でその真価を発揮した。

その後長崎大学は，熱帯医学研究所，医歯薬学総合研究科及び 2015 年開設された熱帯医学・グローバルヘルス研究科（以下「TMGH 研究科」という）を中心に，日本のみならず世界のグローバル感染症教育研究拠点として，21 世紀 COE プログラム，グローバル COE プログラム，リーディング大学院プログラム，卓越大学院プログラムと次々と国家的なプロジェクトを獲得し実績を上げることで，より強力な教育研究基盤を整備してきた。

とりわけ，グローバルヘルス分野における人材育成をめざし 2015 年に 3 つの学位（修士）を授与する博士前期課程（熱帯医学，公衆衛生学，医科学）を開校した TMGH 研究科は，全ての講義，研究指導及び生活指導等が英語化され，多数の有為な人材を世界に送り出している。2018 年には特筆すべき教育プログラムとしてロンドン大学衛生・熱帯医学大学院とのジョイントディグリー専攻が博士後期課程として開校され，高い競争率（志願倍率 7～8 倍）となっている。

上記のようなこれまでの実績を背景に，長崎大学は，グローバルヘルスをより大きな視点からとらえたプラネタリーヘルスを次期中期計画の全学目標として掲げる予定としており，人類を含めた生物の生存を脅かす種々の問題（温暖化，気候変動，大気汚染，化学物質，自然破壊，海洋汚染，水資源枯渇，移民難民，貧困，飢餓，教育格差など）を地球そのものの健康リスクとして総合的かつ学際的にとらえ，それらの解決をめざした学術研究及び人材育成に全学をあげて取り組むことを宣言した。

本学の提唱するプラネタリーヘルスの中心的な柱として，今回ヒトの健康リスク管理を地球規模課題としてとらえ，実際の公衆衛生（医療・保健）政策として提案し実行できる実務専門家の学位である Doctor of Public Health【博士（公衆衛生学)】(以下「DrPH」という）を授与する「プラネタリーヘルス学環（以下「学環」という。)」の設置を提案する。学環名としたプラネタリーヘルスは上述したように人類を含む地球上の生命の保全すべてを包含するものと定義されている（Lancet commission の Planetary Health の考え方＊)，本学環ではプラネタリーヘルスというより高い視座からグローバルな公衆衛生対策

を提案できる能力を涵養するプログラムを用意することで，すでに新型コロナウイルスパンデミックの初期対応の混乱の中でその必要性が指摘された，科学的なエビデンスを政策に反映させ実施できる高度職業専門人（ヘルスポリシーメイキング プロフェッショナル）の育成をめざす。

＊参考：Lancet commission の Planetary Health の考え方：プラネタリーヘルス問題の解決には，医療・保健以外に，環境・エネルギー，農業・食糧，都市計画・土地利用，経済・社会制度などといった広範な領域の政策が必要とされる。

（２）設置の必要性

人口爆発や経済産業活動の無分別な暴走などを背景に地球全体に拡大する環境問題は，人類のみならず，あらゆる生命に危機的状況をもたらしつつある。いわゆるプラネタリーヘルスとしてとらえられている上記の問題は，人類が引き起こしたものであり，それを解決し地球上の生命を守ることは人類が責任をもって取り組むべき喫緊の課題である。しかしその原因は人類のあらゆる活動に起因しており，非常に複雑で現在までのところ長期的な視野に立った次世代のための有効で根本的な改善策は提示されていない。

現実には危機的な状況を示す客観的なエビデンスが蓄積されてきており，プラネタリーヘルスから発する気候変動などの個々の問題に適応しながらヒトを含む生命の健康を守るための対策を地球レベル，国家レベル，地域レベルで考え，具体的なリスク管理のための政策として実施していくことが重要な課題であり，このようなアプローチがひいては生命全体を救うことにつながると考えている。2015 年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs)」や 2016 年「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」にて提示された「国際的に脅威となる感染症対策の強化に関する基本計画」などはヒトの健康危機管理体制の強化という意味合いを強く含んでいる。今後想定される健康危機を最小限にとどめられるような政策の策定と実行がこれから益々強く求められるものと予想される。最近では，「保健分野の ODA のあり方を考える特別委員会（委員長：塩崎恭久 衆議院議員)」が 2020 年 11 月に公表した提言書「ポスト・コロナのわが国の国際保健外交：求められる ODA 政策などのパラダイムシフト（http://www.jcie.or.jp/japan/wp/wp-content/uploads/2020/11/Japan-DAH-Commission_recommendations_final_j.pdf)」をまとめ，自然及び社会環境の変化に応える革新的人材の育成強化に力を入れるよう提言している。そこでは，多様な専門性と職務経験を持つ専門職人材が求められており，この領域のリーダーとなる人材を中長期的に育成する仕組みを作ることが急務であるとしている。

新型コロナウイルス感染症の流行は，野生動物のウイルス由来であり，もともとヒトの森林開発や農地開発と関連したものと考えられるが，世界の状況を見れば，同様の新興感染症は今後もますます増加することが予想される。薬剤耐性細菌感染症（AMR）も，有効な対策がとられないままに様々な耐性菌が蔓延してきている。また，感染症に限らず，大

気汚染，水不足，気候変動，化学物質汚染，貧困・飢餓，教育の不均衡，移民難民などに起因する健康問題も現在進行形で進んでいる。このような危機的な状況をできるだけ早期に科学の言葉で理解し，適切な対応策を考察し，政策という言葉で迅速に対応し，強い意志をもって実践できる実務家が，世界機関，グローバル企業，各国政府機関，NPO など様々な領域で求められている。プラネタリーヘルスに強い素養を持った公衆衛生学の実務専門家がこれからの地球の健康を支えるのにぜひとも必要である。

（３）長崎大学に設置する意義

長崎大学は伝統的に感染症教育研究に強みを有しており，医歯薬学総合研究科（新興感染症病態制御学専攻：リーディング大学院），熱帯医学研究所，TMGH 研究科（グローバルヘルス卓越大学院プログラム），BSL-4 を設置する予定の感染症共同研究拠点という世界的にもトップレベルの教育研究グループが存在し，様々な研究分野に教員が配置され，活発な教育が展開されている。本学環では，上記の感染症分野に加え，保健政策の策定実行評価に必要な学際的な教育スタッフとして以下の学内の全ての研究科，附置研究所及び現段階で大学院課程を有していない１学部（担当教員として）が参加することとなっており，本学環の運営及び教育はまさに全学により教育・研究が展開されることとなる。

平和教育や宗教文化の多様性を担当する多文化社会学研究科，学校保健やコミュニティー教育を担当する教育学研究科，医療経済や援助経済学，経営戦略を担当する経済学研究科，グリーン政策や都市計画を担当する工学研究科，水環境や栄養を担当する水産・環境科学総合研究科，と幅広い分野を専門とする５研究科が参画する。また，チェルノブイリ，福島でのリスク管理を担当する原爆後障害医療研究所，学士課程であるが，ビッグデータ解析やデジタル社会，AI 技術を担当する情報データ科学部及び産学連携に関するノウハウを提供するアントレプレナーシップセンターも参画する。**全学においてヒトの健康にフォーカスしたプラネタリーヘルスに関する学術リソースを学環という形で一つのコースに集約できる大学はほかに例を見ない**と思われる。

（４）養成する人材像・学生に修得させる能力

アドミッション・ポリシーにも明記するが，本学環に入学を許される者は，すでに修士号（公衆衛生学を主とする）を取得し，加えて関連する実務を４年以上経験していること，あるいはそれと同等の経歴を有するものとなっている。現在欧米で標準化されてきている DrPH はそのような経歴を有し，今後さらなる高度専門職を目指す人間にとって非常に重要な学位となりつつある。

本学環が育成する人材は，この DrPH の国際標準に合致した能力（コンピテンシー）がいかなるものであるかを理解した上で，必要な知識，技術，人間性を駆使しエビデンスに基づく政策策定・実施を行い，プラネタリーヘルスの理想の下，全ての人が心身共に健康に暮らせる社会への変革を達成できる人材である。現在ではこのような保健医療公衆衛生

に関する知識や技術は世界規模で発展しており，グローカルという言葉に象徴されるように，グローバルな問題をいかに地域の自分達の活動に落とし込むかという政策手法が一般化してきており，国際情報をいち早く理解し，関係者とのコミュニケーションを加速させる能力を身に着けるという国際スタンダードな教育を展開するため，教育カリキュラムは全て英語で実施し，学生に国際基準に準拠する以下の能力を修得させることとしている。

１．職業意識と倫理性　　２．批判的分析　　３．地域・文化交流
４．コミュニケーション　５．運営管理　　６．リーダーシップ　　７．アドボカシー

（５）修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

修了要件

必要な単位を修得し，政策提案等をテーマとして博士論文（プロジェクト論文）を作成して最終試験に合格することを要件とする。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学環の学位（DrPH）は，グローバルヘルス領域における高度専門職業人として，エビデンスに基づく問題解決策を提言し，強いリーダーシップにより対策を実行し，結果を客観的に評価し，世界の公衆衛生の向上に貢献できる人材に授与されることとし，以下の能力を有した者に授与することとしている。

１.保健政策の立案・実行・評価計画を作成することができる。
２.保健政策の関係者（ステークホールダー）を組織することができる。
３.保健政策の運営に必要な事項を説明することができる。
４.過去，現在，将来の保健政策についてその背景，目的，運営方法，ビジョンを説明できる。

（６）修了後の進路や人材需要の見通し

入学時に実務経験を有しており，既に保健政策関連の進路についてある一定の見通しを持って３年間のフルタイムの就学を行うことを前提としているので，基本的には本人の希望するキャリアパスに沿った進路を想定している。このことは，２年次後半からの実務研修・フェローシップ等の研修先選定にも関連しており，研修先と進路が一致することもあり得る。想定している進路については以下のとおりである。

● 本邦政府系機関
（厚生労働省，内閣官房，外務省，国立国際医療研究センター，国立保健医療科学院，外務省，国際協力機構等）
● 国際機関，国際パートナーシップ機関
（世界保健機関 WHO,国連児童基金 UNICEF，国連人口基金 UNFPA，世界エイズ結核マラリア対策基金 GFATM，GAVI アライアンス等）

● 非政府機関，民間財団，企業，シンクタンク
（日本国際交流センター，日本財団，セイブザチルドレン Save the Children，ビル&メリンダ・ゲイツ財団，ウェルカムトラスト，製薬企業，その他製造業・サービス企業等）

各機関のウェブサイトにおいて，多くの公募が出されているが，その中には本学環が育成する人材に有利に働く業種が含まれている。新型コロナ関連も含め今後需要がさらに増加することが予想される。

（7）組織として研究対象とする中心的な学問分野

［資料２］：プラネタリーヘルス学環の構成について

本学環の教育及び研究対象の主体は，熱帯医学及び国際保健学を中心とした公衆衛生学である。これは，長い伝統と実績を有する熱帯医学研究所を基盤に，新興感染症病態制御学を基礎としたリーディング大学院及びグローバルヘルスを中心とした卓越大学院プログラムを担う教員陣を専任教員として配置することによるものである。

しかし，本学環が対象とする課題は，ヒトの健康とそれに起因する地球規模の課題までを含む広範なものとなる。そのため，これを支える副次的な学問分野として，疫学，衛生学，統計学，医療経済学，社会学，政策学，文化人類学，宗教学，平和学，倫理学，感染症学，人類学，遺伝学，法学，経営学，教育学，政治学，環境学，農学，水産学，海洋学，システム工学，情報データ科学，言語学等を専門とする教員が関連分野として参画し，さらに学外から，気候・気象学，（動植物）生態学，都市工学，農学（とりわけ農業気象）等の専門家にも協力を得ることとなっている。

想定する学位論文プロジェクトの例として以下のようなものが挙げられる。

１．新興感染症の早期アラートシステム：これまでのパンデミックに関するエビデンスを基に兆候を感知し重大性を予測し有効な警報を発するための政策を提案　（感染症学，疫学，衛生学，生態学，医療経済学，社会学，政策学）
２．自然災害（地震，水害，旱魃，山火事，火山噴火）に適応するための平時の保健衛生システム整備に係る「災害による健康リスク評価と対応策」政策提案（感染症学，疫学，衛生学，環境学，農学，水産学，システム工学，情報データ科学）
３．移民難民（ミャンマー，北朝鮮，中東，中南米）の移動による保健衛生問題への適応対策（感染症学，疫学，衛生学，医療経済学，社会学，政策学，教育学，政治学，文化人類学，宗教学，平和学，倫理学，法学）
４．動物性食品の消費拡大による健康被害及び資源（水や土地）の浪費を軽減するための政策の提言（疫学，医療経済学，政策学，文化人類学，経営学，環境学，気候・気象学，（動植物）生態学，農学（とりわけ農業気象），水産学）

上記のいずれにおいても，現状分析，対象となる疾病，因果推論，新たな介入法，予想される障害や問題点，政策の正当性妥当性等をまとめ，政策（実施戦略）論文とする。

２　研究科等連係課程実施基本組織及び学位の名称

（１）研究科等連係課程実施基本組織の名称

本研究科等連係課程実施基本組織の名称及び英語名称は，次のとおりとする。

日本語名称：プラネタリーヘルス学環
英 語 名 称：Interfaculty Initiative in Planetary Health

「地球の健康」を意味するプラネタリーヘルスは，20 世紀以後の人口爆発やグローバルな経済活動による自然破壊などを元凶として，温暖化や異常気象等の変化が生じ，地球全体の生態系の恒常性をも破壊していることに警鐘を鳴らす新たな概念であり，新興感染症をはじめ，現在のあるいは将来の様々な問題解決には地球生態系レベルでの理解とアプローチが必要であることを示唆している。

「プラネタリーヘルス」という用語については，権威ある学術誌「Lancet」及び 2020.8.13 に出版された「Planetary Health」（ISBN-10 ： 1610919661）等にも取り上げられており，世界的に支持されている SDGs と整合性のある学問領域として，既に十分に認知されている。最近ではロンドン大学衛生・熱帯医学大学院でも Center for Climate Change and Planetary Health が開設され，WHO の Collaborating Center となっている。

さらに，本学においては，パブリックヘルス（公衆衛生学），グローバルヘルス，プラネタリーヘルスを，以下に示すとおり位置付けている。

- パブリックヘルス（公衆衛生学）は，ヒトの健康問題を集団として把握し，その原因を解明し，適切な対応策を提案し，社会全体の健康改善をめざす学問領域。
- グローバルヘルスは，公衆衛生課題のうち，グローバルレベルでの理解や対応が必要な課題に焦点を当てた学問領域。
- プラネタリーヘルスは，ヒトの健康を包含する概念であり，ヒトと地球との健全かつ持続的な共存をはかる新しい学問領域。

以上のことから，本学環においては，本学の強みである「公衆衛生学を基盤としたグローバルヘルス領域における教育，研究能力」を活かし，社会から求められる人材（本学環が養成する人材像：科学的エビデンスを政策に紐付けることができる人材）を養成することを教育目標とする中において，現在の地球規模のヒトの健康課題は，従来の公衆衛生学を基盤としたグローバルヘルスという概念で捉えるだけではなく「プラネタリーヘルス」という，より大きな視座から理解する必要がある。加えて，この新たな視座を持った教育体制を形成するためには，公衆衛生学を軸足としたグローバルヘルスの枠を越えた教員，学内の部局及び学外の関連機関の参画と協力が必要であり，かつそのことを組織名と

して明確に学生及び一般に提示する必要性があることからも，「プラネタリーヘルス学環」という名称が適切であると考える。

学環名と学位名との関連については，前頁でプラネタリーヘルス，グローバルヘルス及び公衆衛生学の関係について説明したとおりであり，学環名については，公衆衛生学及びグローバルヘルスを包含する「プラネタリーヘルス」とするが，学位名については，ディプロマ・ポリシーに記した「公衆衛生学を軸足としたグローバルヘルス領域の実務専門家」を国内外で明確に保証する Doctor of Public Health （DrPH)，博士（公衆衛生学）とすることとしている。

また，本学は第３期中期目標の重要事項として「世界的グローバルヘルス教育研究拠点」になることを掲げ，その達成に向けてロンドン大学とのジョイントディグリー専攻及び卓越大学院プログラム （グローバルヘルスプログラム）を展開してきた。

第４期においては，ヒトの健康を「プラネタリーヘルス（地球の健康)」という新たに提案されている地球環境や生態系まで含めた地球規模課題に含まれるものとして捉え，これまでに培ったグローバルヘルス領域の研究教育をさらに発展させることを目標とする予定となっている。

「プラネタリーヘルス学環」は，この目標実現に向けた重要な取組として設置を進めており，中長期的な大学の方向性を明確にするという戦略的な観点からも，当該名称を希望するものである。

（２）学位の名称

本学環において授与する学位名及び英語学位名は，次のとおりとする。

博士（公衆衛生学）　　Doctor of Public Health

DrPH という学位名称は，公衆衛生学の政策作成及び実施に関する高度職業専門人に与えられる博士号として欧米及びアフリカ諸国で広く認められ，日本国内でも聖路加国際大学，帝京大学，京都大学に博士後期課程として設置されており，その国際通用性は高い。

また，グローバルな視座をもって日本あるいはアジアで授与される学位であることは地勢的に更なる付加価値を付与できる可能性が大きいと考えられる。

和名については，DrPH は博士（公衆衛生学）とされることが一般的であり先行する大学の名称も当該名称としていることから，国内での通用性も高いと考えられ，学生にとってもニーズが高い学位名称であると判断した。

なお，本学は熱帯医学・グローバルヘルス研究科において，博士（グローバルヘルス）という学位を授与しているが，これは本学環で養成する実践的高度専門職業人ではなく，アカデミアのリーダーを養成する教育課程であることから，当該学位との差別化を図ることも考慮したものである。

３　教育課程の編成の考え方及び特色

（１）教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

プラネタリーヘルス学環は，地球環境とのバランスを考慮しつつ人々の健康増進に資する高い政策能力及び職業意識を持ったグローバルヘルス・リーダーを養成することを目指している。前述したDrPHの７つのコンピテンシーを育み，保健政策立案や実行，評価に必要な知識やスキルを修得できるように，教育課程を体系的に編成した。

本学環では，全ての授業を英語で開講し，グローバル人材の育成に最適な環境を提供する。長崎大学内の多様な教員を組織横断的に配置し，従来の公衆衛生教育の枠に留まらない幅広い知識や専門性を身につけることができるようにした。

教育課程は，専門科目及び演習科目から成る。専門科目は少人数制の講義となり，プラネタリーヘルスに着目した公衆衛生学分野のリーダーとなるのに必要な知識やスキルを教員とのディスカッションを通して学ぶこととする。

演習科目は，専門科目で得た知識やスキルを実地に活かす機会となり，実社会における公衆衛生課題の解決に取り組み，その経験を博士プロジェクト論文としてまとめることで，研究と政策，実践を橋渡しする能力を向上させる。学習成果は，取得単位数の確認，資格審査筆記試験，博士プロジェクト論文の審査により評価する。

入学時期は10月とし，国際機関における就職等を踏まえ，クォーター制（四半期制）のアカデミックカレンダーで運用する。

以上の教育課程編成の観点から，以下のカリキュラム・ポリシーを設定している。

【カリキュラム・ポリシー】

グローバルヘルス領域の政策立案や計画の実行,評価に必要な知識やスキルを修得する。

１.プラネタリーヘルスの概要の理解

１）人類の健康と文明，地球自然環境の関連性についての知識

２）プラネタリーヘルスが保健政策に与える示唆の理解

２.保健政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得

１）政策過程や実装科学の理論的な理解

２）保健システムの分析と提言導出能力

３）政策立案・評価に使われるデータ分析法の理解

３.リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得

１）組織マネジメント能力

２）交渉・コミュニケーション能力

３）グローバルヘルスガバナンスに関する知識

４．プロジェクト演習

１）保健政策に関わるプロジェクトを提案し，実行する能力

２）博士論文を執筆する能力

５．学修の到達度は、レポート及び筆記試験、論文の質やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて評価する。

（２）教育課程及び科目区分の編成　［資料３］：カリキュラムマップ

１）専門科目（必修）

専門科目は，次の５つの科目区分から構成される。専門科目では，十分な学生の自習と事前に出される課題の理解を前提に，アクティブラーニングを基本とした１単位の科目を多く配置した。トピックが多岐にわたる「プラネタリーヘルス特論」及び「実務研修」を２単位として配置した。

i. プラネタリーヘルス・・・「プラネタリーヘルス特論（２単位)」では，プラネタリーヘルスの概要を理解するため，社会学，経済学，政治学，工学，環境学，文化人類学といった様々な学問分野の教員がオムニバス方式で授業をする。人類の健康と地球環境は密接に関わっており，人類の活動がどのように地球環境を変化させ，その環境変化がどのように人の健康に影響しているか，またそれに適応して健康被害を最小限に抑えるにはどのような方策が必要なのかを理解することがますます重要になっている。本科目では，プラネタリーヘルスによる包括的なアプローチの基本概念を習得するともに，様々なこれまでのあるいはこれからの問題に適応していくための保健政策・プログラムへの運用を探索する。本科目を通し，学生はプラネタリーヘルスに関する学際的な理解力と考察力を習得し，持続的な健康ならびに開発を可能とするマルチセクトラルプログラム案件の策定に向けた素地を養うこととなる。

ii. 政策とシステム・・・３科目からなり，保健政策と保健システムに関する主要な概念枠組みを学び，その応用力を養うことを目指す。「政策過程特論（１単位)」では，政策過程・サイクルについての深い洞察力を養い，政策変化が起きる理由を説明する能力を身につける。本科目では，公共政策学の知見や主要理論を応用し，保健政策が作られるプロセスや，そのプロセスに影響を与える要因を理解することを目指す。同時に，事例研究が拠って立つ因果推論の方法論についても理解を深め，政策研究が蓄積してきた科学的知見をより深く理解するための能力を向上させる。「実装科学特論（１単位)」では，政策実装（implementation）を中心テーマとし，主要概念や問題点，その解決法を理解することを目指す。本科目では，近年，「実装科学」として成立しつつある学問分野に立脚し，保健システムの複雑性，政治経済等との相互関連性，文脈依存性を理解した上で，保健政策の実装化を検証する能力を涵養する。具体的には，政策と実施の乖離を検証し，その対応策を立案，実施する能力，政策実践を取り巻く文脈性の理解に基づき政策実践プロセスを検証する知識とスキル，問題解決の刷新的アプローチを考案，

実施，評価する知識・スキルを習得する。「保健システム特論（１単位)」では，グローバルヘルスのリーダーとして，保健システムが抱える問題を特定し，解決できる能力を養う。本科目では，保健システムの問題点を分析し，システム改善のためのオプションを理解し，実現可能な提案を導く能力を習得する。

iii. データと分析・・・「政策分析法特論（１単位)」において，政策の立案や評価に使われる分析法を理解する。科学的エビデンスに基づいた政策決定を促すには，エビデンスの創出に使われるデータや分析法について一定の理解をしておく必要がある。本科目では，集団レベルの健康課題を発見し，政策案のアセスメントや比較，既存政策の評価に使われる数理的な手法を概観する。具体的には，メタ解析，ビッグデータ解析，医療技術評価，モデリング，介入研究効果予測といった分析アプローチを取り上げ，それぞれのアプローチにおいて，どのようにデータが収集，分析され，政策立案に活かされているかについて，グローバルヘルス分野のリーダーとして必要な素養を身につける。

iv. リーダーシップとマネジメント・・・３科目から構成され，組織の経営や渉外に関するスキルを習得する。「組織マネジメント特論（１単位)」では，組織のマネジメント及び戦略策定に関わる知識・技術・スキルを習得する。本講義では，組織経営と事業戦略，財務マネジメント，チームマネジメント，イノベーションとアントレプレナーシップに関する基本的理論と実務について知識・技術・スキルの向上を目指す。「渉外マネジメント特論（１単位)」では，組織や事業の渉外に関わる知識・技術・スキルを習得する。交渉の基本理論，国際交渉や組織間交渉等の実際，各種文書作成の仕方，パブリックコミュニケーション等について理解を深め，実践で活用できるスキルを培う。「グローバルヘルスガバナンス特論（１単位)」では，疾病対策・保健政策・保健システム・危機管理に関連する国際的な法的枠組み，国際指針，行動規範を知り，その策定における国家間の議論・合意形成・駆け引き等を進める上で必要なリーダーシップ・スキルについて理解を深める。世界保健総会等の国際場裏での外交術，国際パートナーシップ・民間基金・職能団体・市民団体との協働・協調・調整の実務能力を向上させ，多様な状況において適切で有効な政策を実施できる能力を獲得する。

v. 実習科目・・・「実務研修（２単位)」では，１年次の夏期調整期間を利用して，国際機関・政府機関・NGO・民間企業等で短期の実務研修を行う。公衆衛生を専門とするプロフェショナルとして，派遣先機関が抱える課題のうち，短期間で解決法を示せる課題を学生自ら特定する。１年次の専門科目で身につけた内容を，課題解決に活かす。この実務研修では，限られた時間のなかで一定の成果を挙げることが要求される。この経験を通して，課題設定，調整・交渉，コミュニケーションに関するスキルを磨く。また，実務研修の経験が，２・３年次に実施する

プロジェクト演習の派遣先やテーマ設定に活かされることが期待される。

２）演習科目（必修）

「プロジェクト演習（４単位)」は，本教育課程の中心的な存在であり，学習成果を実地に活かし，そこから経験的に学ぶ場である。一般的な博士教育課程の研究指導に相当する位置づけであるが，DrPH の主旨に鑑み，指導内容や評価方法はユニークなものとなる。この科目ではまず，２年次の後半から３年次にかけて，学生が国際機関・政府機関・NGO・民間企業等に所属し，長期フェローシップ等の実務研修を実施する。公衆衛生を専門とするプロフェショナルとして，派遣先機関の戦略計画策定等の業務に従事する。それを通して，調整・交渉能力，保健政策やプログラムの提案，実施能力を高める。プロジェクト開始に当たっては，専門科目の全単位を取得し，資格審査のための筆記試験及びプロジェクト提案書の口頭試験に合格し，長期フェローシップの着手に必要な能力を獲得していることを示す必要がある。プロジェクトを完遂させるには，フェローシップの経験をもとに，公衆衛生の政策と実践に焦点を当てた博士学位論文を執筆・発表し，審査に合格する必要がある。この博士学位論文は原著論文（Original Research Article）としての性格を持つ必要はない。既存の科学的知見を活用・統合し，保健政策課題の特定や分析を通して解決策を提案し，また，解決策を実施する場合はそこから得られた教訓をまとめる文書となる（指導や評価の体制については，後述する)。

３）フォローアップ科目（必要に応じて）

本学環では，公衆衛生以外の分野からの学生も積極的に受け入れるため，入学時点で本学環の専門科目を理解するための基礎知識にバラツキが生じている可能性がある。よって，必要に応じ，TMGH 研究科の博士前期課程で開講している科目（「疫学Ⅰ・統計学Ⅰ」，「保健システム・政策Ⅰ」，「量的調査法」，「質的調査法」，「医療経済学」）をフォローアップ科目として履修させる（単位認定なし)。

これらの専門科目，演習科目，フォローアップ科目は，保健政策に関わる上で必要となる学術的な知識や実践的なスキルを学び，かつ，実地で活かせるように構成されている。いずれも DrPH 学習者にとっては必須の知識やスキルであるため，フォローアップ科目以外はすべて必修科目としている。履修順序の決定に当たっては，上に示したフォローアップ科目の履修を前提条件として必要としない科目（「プラネタリーヘルス特論」，「組織マネジメント特論」，「渉外マネジメント特論」）を１年次前半に配置し，その他の科目を１年次後半及び２年次前半に配置した。２年次後半から３年次はプロジェクト演習の準備及び実施に当てられる。

４　教育方法，履修指導，研究指導の方法及び修了要件

（１）教育課程及び教育方法・研究指導方法［資料４］：履修モデル
［資料５］：研究指導の流れについて
［資料６］：修了までのスケジュール

１）１年次から２年次前半までの講義受講

アクティブラーニングを基本とするため，通常の形式の教員からの一方的な講義は原則として実施しない。小グループでのプレゼンや討論を中心とし，担当する科目責任者の教員及び１－２コマずつオムニバスで担当する専門的な分野の教員（複数の場合もあり）で討論をリードする。担当する教員は一週間前に課題（対象とする論文や著書）を通知し，担当する学生が当日プレゼンを行い，その内容について批判的な討論を行う。その際，別の学生が記録係を務め，次回の初めにその概要を報告する。プレゼンは複数で行うこともある。

「プラネタリーヘルス特論」及び実習・演習科目を除き，１科目は１単位で８－11コマを隔週で配置し，十分な準備と復習ができるように自習時間の配慮を行う。また各講義はZOOM及び本学が保有する講義録画配信システムにより録画し，病欠などの際のバックアップとして聴講可能とする。

２年次の第２クォーター終了時に博士研究資格審査のためQualifying Writing Examinationを実施し，プロジェクト演習により博士論文の研究を実施するのに必要な知識があるかを確認する。当該試験は各科目の単位認定試験ではないため，不合格となった場合も，引き続きプロジェクト提案書等の準備にとりかかるが，足りなかった知識については，上述した講義録画配信システム等を用いて，自学自習により必要なレベルまで到達させ，再試験を実施することとする。

１年次の始めに，２年次前半までの講義の履修状況を確認・サポートするための教員１名を履修指導教員（アカデミック・アドバイザー）として，各学生に配置する。履修指導教員は，その時点での学生の研究テーマを踏まえ，学生と学生が指導を希望する教員との協議・相談により決定する（履修指導教員の変更は可能）。履修指導教員は，主として補完科目の履修の必要性を判断し，実務研修やプロジェクト演習における派遣先及びテーマ設定の相談及び指導を実施する。

２）実務研修（２単位）

１年次の夏季調整期間に実務研修を実施する。この研修によって２年次後半に始まるプロジェクト演習の概要を固めることが望ましい。研修成果は報告書として履修指導教員に提出するとともに，学環全体での報告会を実施する。実務研修の経験を活用し，２年次後半から始まるプロジェクト演習の派遣先，テーマ，指導チームを決定することとなる。

３）プロジェクト演習（４単位）

当該科目は，本教育課程の中核をなす演習科目であり，前述の履修指導教員（アカデミック・アドバイザー）に代えて，研究テーマ及び実務研修先を踏まえて研究指導教員（リサーチ・アドバイザー）を配置し，さらに必要に応じて実務研修先機関の職員を実務指導教員等として委嘱し，研究指導教員と実務指導教員等による「実践的研究指導チーム」を構築して指導にあたる。

具体的な流れとしては，２年次の第２クォーター終了時までに，研究指導教員を決定する。ただし，前述のアカデミック・アドバイザーを，そのまま研究指導教員とすることも可能とする。

研究指導教員の主な役割は，実務研修及び研究の進捗状況を確認し，学生に適宜指導することである。

また，本学環の博士論文は，科学的知見を活用・統合し，保健政策課題の特定や分析を通して解決策を提案するという，これまでの博士課程にない実践型の論文となるため，研究指導教員に加え，実務研修先機関の職員も必要に応じて，実務指導教員等として参画し，「実践的研究指導チーム」を構築して指導にあたることとしている。さらに，政策提案のスキルについては，学外の著名な教員による指導も適宜実施することとしている。

学生は，主に研究指導教員からの指導により，２年次の第３クォーターまでにプロジェクト提案書を作成し，実務研修受入機関及び研究テーマを決定する。学生が入学前に所属していた組織をプロジェクトの受入機関とすることは認めるが，研究テーマは保健政策の立案，決定，実施，評価に関するものである必要があり，入学前に従事していた業務の単なる延長となることは認めない。プロジェクト提案書作成後は，口頭発表会を実施し，審査（Qualifying Oral Examination）を受ける。

この審査に合格した後，受入機関での実務研修を実施する。当該期間中，学生は「実践的研究指導チーム」に対して，最低３回の進捗確認ミーティングを実施しなければならない。ミーティングで確認した進捗状況を報告書とし，研究指導教員の署名を得た上で，学環長に提出する。

学生は，プロジェクト演習の最終成果物として，博士論文をまとめ，受入機関及び学環長に提出する。博士論文の形式や内容は，プロジェクトの性質により異なるものの，主たるオーディエンスを受入機関とし，受入機関の政策，戦略，実践を前進させ，改善するための提言を含むことを基本とする。

４）遠隔での受講

本学環においては，就業しながらの社会人大学院生の受入は想定しておらず，全学生がリアルタイムで講義を受講することを想定している。ただし，国立研究開発

法人国立国際医療研究センター(以下「NCGM」という）内に設置している長崎大学東京サテライトキャンパス（以下「NCGM サテライト」という）においても学生を受け入れることを想定（フルタイムで講義を受講できる場合は社会人であっても可）しているため，東京在住の学生の場合，ZOOM によるライブでの参加が可能である。NCGM サテライトには常駐の教員 2 人を配置しており，常駐教員は，講義等に加え，履修指導，スクーリング時の質疑応答，テレビ会議システムによるリアルタイム講義中のフォローアップ，実習補助等の修学支援も行う。

（２）修了要件及び博士論文・最終試験の審査基準

本学環の修了要件は，３年以上在学し，必修科目 15 単位を取得して，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することとしている。

博士論文の審査基準及び最終試験の審査基準は次のとおりであり，ディプロマ・ポリシーとともに本学のホームページで公表する。

＜博士論文の審査基準＞

論文作成に必要な参考資料，関係機関への渉外書類，予算書，財源の証明，各種法令関連の資料，タイムライン，事前調査，中間報告，中間評価，最終評価計画，実施にあたっての注意事項，危機管理計画など守秘義務を守りつつ学位審査委員会での審査を公開あるいは非公開で行い，政策を思いついた経緯，発想の独自性，政策としての完成度，実行可能性，予算の妥当性，運営方法の妥当性，評価方法の妥当性，期待される効果の大きさや社会への貢献度などを総合的に判断する。

＜最終試験の審査基準＞

修了要件である単位数を取得し，博士論文の審査に合格した者に DrPH：博士（公衆衛生学）を授与する。

（３）学位論文審査体制及び博士論文の公表

① 学位論文審査及び最終試験の審査体制

論文審査については，本学環の論文は受入機関への提案型の論文となり，審査前に受入機関先での発表会を行うことを想定しているため，３年次の第３クォーターを目途に，受入機関を対象にした発表会を行う。この発表をもとに，受入機関がプロジェクトについて評価レポートを作成し，研究指導教員及び論文審査員（主査１名，副査２名以上）に提出する。学生は３年次の第４クォーターに論文を学環長に提出し，論文審査員が実施する最終口頭試験（Final Oral Examination）を受ける。論文審査員は，受入機関から提出された評価レポート，博士論文及び最終口頭試験の結果を踏まえて，８−９月に学位審査を実施する。

論文審査員には，専任教員に加え，実務研修先機関に所属する者又は外部の有識者（政策立案実務経験者又は政策研究を専門とする者）を入れるものとし，博士論文の内容とそれについての理解及び関連専門領域についての知識及び公衆衛生学分野における保健政策課題に資する内容であるかをディプロマ・ポリシーの観点から口頭又は筆答で審査する。

論文審査員は，博士論文審査及び最終試験の結果を教授会へ報告する。教授会は，報告された審査結果を踏まえ，課程修了の可否及び論文審査の合否について議決し，その結果を学長に報告する。学長は，教授会の報告を受け，学生の博士後期課程の修了を認定し，博士（公衆衛生学）の学位を授与する。

② 博士論文の公表

博士論文の要旨と審査結果は，学位授与後 3 月以内にホームページ上で公表する。博士論文の全文については，原則，学位授与後１年以内に公開するが，内容によっては公表を留保することがある。学位授与後３年を経過したものについては，原則として本学のアーカイヴス NAOSITE（長崎大学 学術研究成果リポジトリ）に掲載する。ただし，プロジェクト受入先との契約により秘密主義が課せられている場合は，その限りではない。

以上のように，学位論文審査の厳格性及び透明性を確保している。

（６）研究の倫理審査体制

［資料７］←「長崎大学研究倫理規程」

［資料８］←「長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科倫理委員会規程」

論文の性格から，倫理審査の必要性はないものと思われるが，万が一，必要になった場合は，プラネタリーヘルス学環の倫理審査は，熱帯医学・グローバルヘルス研究科倫理審査委員会において，弁護士等外部評価者も含めて実施する。文部科学省，厚生労働省，日本学術振興会及び各学術学会の倫理指針に従って，英文で作成された研究計画書とそれに関連した書類を審査する。さらに，海外での研究の場合は，必要に応じて，現地での受入れ機関が設定する研究審査委員会，倫理委員会等の承諾を得るものとする。

倫理審査委員会において，倫理に違反していると判断した場合には，直ちに研究を中止するとともに，被害を調査し，適切に対処する。海外で発生した場合は，すぐに帰国させ，事後策を検討する。

５　多様なメディアを高度に利用した授業の履修

本学は，平成 29 年 4 月に NCGM 内に NCGM サテライトを設置しており，テレビ会議システム等を活用した講義を実施している。

プラネタリーヘルス学環においては，就業しながらの社会人大学院生の受入は想定しておらず，全学生がリアルタイムで講義を受講することを想定している。ただし，NCGM サテライトでも学生を受け入れることを想定（フルタイムで講義を受講できる場合は社会人であっても可）しているため，上述したテレビ会議システム及び本学が導入している主体的学習促進支援システム(LACS ： Learning Assessment & Communication System)を活用して，講義，研究指導における双方向の教育環境を提供する。

NCGM サテライトには，講義室，教職員居室，学生自習室等を整備しており，常駐の教員 2 人を配置している。常駐教員は，講義等に加え，履修指導，スクーリング時の質疑応答，テレビ会議システムによるリアルタイム講義中のフォローアップ，実習補助等の修学支援も行う。

また，本学は NCGM と連携大学院に関する協定・覚書を締結しており，NCGM 内の会議室，セミナー室，図書館の共用が可能となっている。

多様なメディアを高度に利用した授業の実施については，本学学則に，以下のとおり規定されている。

＜長崎大学学則（抜粋）＞

第 32 条第 2 項　前項の授業は，文部科学大臣が定めるところにより，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

＜長崎大学大学院学則（抜粋）＞

第 8 条第 4 項　前項の授業については，十分な教育効果が得られる専攻分野に関して，当該効果が認められる場合に限り，本学学則第 32 条第 2 項の規定を準用することができる。

６　入学者選抜の概要

（１）入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

プラネタリーヘルス学環においては，以下のアドミッション・ポリシーを定める。

１．　修士（公衆衛生学）あるいは，それと同等以上の学位号保有者

２．　４年以上の関連分野における実務経験（公共・民間部門を問わない)。

※開発途上国における業務経験があることが望ましい。

３．　英語による授業科目の受講や研究指導を受けるに必要な英語力を有していること、その他に習得した言語能力を有する場合は別途評価する。

これらに加え，本学環では change agent として保健政策の形成や実践を前進させることに強い意欲及び明確なビジョンを持つ候補者を歓迎する。とくに，入学以前の経験を踏まえ，本プログラムにおいて主体的に学習し，その成果をキャリア形成に有効に活かせる候補者が望ましい。

（２）選抜方法

①　出願資格（以下のいずれかに該当する者）

１）４年以上の実務経験があり，修士（公衆衛生学）：Master of Public Health の学位を有する者

２）４年以上の実務経験があり，１）以外の修士の学位を有する者

３）１）又は２）と同等以上の能力があると本学環が判断した者

②　募集人員

５名（一般入試）

③　選抜区分

＜一般入試＞

関連分野における４年以上の実務経験がある者で，修士の学位を有する者，又はそれと同等以上の能力があると本学環が判断した者を対象として実施する。

出願にかかる要件については，外国人留学生についても，一般と同等とすることから特に外国人留学生に特化した入試は実施しない。また，本学環の講義，研究指導及びその他全ての手続は英語で実施することから，外国人留学生に日本語能力は求めないこととする。

④　入学者選抜方法

入学選抜は，面接，外国語検定試験，書類審査の成績により総合的に判定する。

面接では，提出された書類に基づき，Personal Statement を中心として受験者に学務遂行への関心・意欲及び具体的な将来のキャリア設計等に対する質疑応答を行う。

また，外国語検定試験については，英語による授業科目の受講や研究指導を受けるに必要な英語力を有していることを確認し評価する。その他に，修得した言語能力を有する場合は，別途評価する。

7　教員組織の編成の考え方及び特色

（1）教員組織の編成と基本的考え方

［資料９］：長崎大学職員就業規則

［資料 10］：長崎大学有期雇用職員就業規則

本学は，教員組織として，以下のとおり「学域」を置いている。学域は，機動的かつ戦略的な教員編成及び予算編成を展開するとともに，学部及び研究科の教育研究改革並びに部局横断的な教育研究を推進することにより，学部及び研究科のミッションを達成すること並びに教育研究の高度化，学際化及び活性化に資することを目的としており，その目的を達成するために，次の表の左欄に掲げる学域は，主としてそれぞれ同表の右欄に掲げる学部及び研究科の教員編成，予算編成，教育研究改革等を行う。

学域	学部及び研究科
人文社会科学域	多文化社会学部　教育学部　経済学部 多文化社会学研究科　教育学研究科　経済学研究科
総合生産科学域	情報データ科学部　工学部　環境科学部　水産学部 工学研究科　水産・環境科学総合研究科
生命医科学域	医学部　歯学部　薬学部 医歯薬学総合研究科　熱帯医学・グローバルヘルス研究科

プラネタリーヘルス学環の教員組織は，人文社会科学域（多文化社会学系，経済学系），総合生産科学域（工学系，環境科学系，水産系），生命医科学域（医学系，熱帯医学・グローバルヘルス系）の所属教員の参画により編成する。

人文社会科学域の教員は，政策分析に必要となる，数理的な手法を使用した政策の効率性及び官民協調による均衡ある経済開発や，国際紛争等にかかる宗教問題，健康課題における文化人類学的アプローチ，関連分野の人材育成法を教授する。

総合生産科学域の教員は，ビッグデータ解析やメタ解析等のスキル，気候変動や環境問題と健康課題の関連性，IT・情報活用の知識等を教授する。

生命医科学域の教員は，保健システム・政策の評価に関する知識，プロジェクトマネジメント，健康の社会的決定要因，放射線リスク管理・リスクコミュニケーション等を教授する。

また，本学環に参画する専任教員は，他学部・他研究科の専任教員も兼務していることから，学環長，学域長，学部長，研究科長間で情報共有を行い，既設学部・研究科の授業担当・担当時間数の見直しを行い，教員に過度の負担が生じないよう調整を行う。

（２）教員の年齢構成

本学環の専任教員 41 名のうち，教授は 24 名，准教授は 14 名，助教は 3 名である。専任教員の年齢構成については，完成年度の 3 月 31 日時点で，30～39 歳が 1 名，40～49 歳が 13 名，50～59 歳が 12 名，60～65 歳が 10 名，66 歳以上（定年退職後の有期雇用教員）が 8 名となっており，教育研究水準の維持向上及び活性化にふさわしい構成となっている。なお，定年等により退職した場合は，新たな教員を補充する予定としている。

８　施設，設備等の整備計画

（１）校地，運動場の整備計画

プラネタリーヘルス学環の教育・研究を支える校地は，本学の坂本キャンパスである。坂本キャンパスには医学部，歯学部，医歯薬学総合研究科，熱帯医学・グローバルヘルス研究科，熱帯医学研究所，原爆後障害医療研究所，大学病院が設置され，本学の医療系分野の教育・研究における中心的なキャンパスである。坂本キャンパスには附属図書館（医学分館）を置いており，売店・食堂等の福利厚生施設も充実しているため，本学環が新設されても，既存の学部・研究科と共用できるだけの十分な施設が備えられている。

運動場については，坂本キャンパス内に設置されているグラウンド（約 20,166 ㎡），体育館（2,082 ㎡）を主に使用する。このほか，坂本キャンパスには，テニスコート，弓道場，武道場等が整備されている。

学生が休息するスペースとして，学生会館内に共同談話室，食堂，喫茶室等を備えている。

（２）校舎等施設の整備計画

本学環では，講義室として学生を収容できる大セミナー室（収容人数 80 人程度）を 1 室，応用科目等の受講に使用できる中セミナー室（収容人数 40 人程度）を 2 室，小セミナー室（収容人数 20 名程度）を 3 室，少人数によるディスカッション形式の講義も実施できるよう，10 名規模のディスカッションルーム 3 室を整備する等，特色あるカリキュラムに対応できる講義室を整備している。

教員の研究室においても，教員団としてのまとまりを生み出しうる配置となっており，かつ，各セミナー室及び学生自習用のスタディールーム（収容人数 50 名程度），リフレッシュルーム等と隣接させて教員と学生のコミュニケーションの機会を円滑に提供できるものとなっている。

本学環の斬新かつ特色ある教育を展開するための施設・設備は，以下のとおり。

① 講義室，演習室

・大セミナー室（80 名規模）1 室
・中セミナー室（40 名規模）2 室
・小セミナー室（20 名規模）3 室
・ディスカッションルーム（10 名規模）3 室

② スタディールーム

学生の自習室としてのスタディールームを整備する。当該スペースは，机，椅子を約 50 組置けるスペースを有し，本学環収容定員の自習室として十分な余裕を有する。

③ 教員研究室

本学環を担当する教員は，教員1名につき1室を整備しており，講義室及び学生自習室，リフレッシュルーム等と隣接させて教員と学生のコミュニケーションを円滑に行えるものとなっている。

また，短期・中期招聘の外国人教員についても，専用スペースを確保している。

④ インターネット環境

学生が利用するセミナー室，スタディールーム及びディスカッションルーム等は，全て学内無線LANアクセスポイントが整備されており，個人のPCからも学内外の情報へのアクセスが可能となっている。

（3） 図書等の資料

本学の全蔵書（附属図書館登録分）は，図書約1,029,000冊，学術雑誌約25,000タイトル，視聴覚資料約6,650点を数え，そのうち図書については，文教キャンパスの中央図書館に約595,000冊，坂本キャンパスの医学分館に約157,000冊，片淵キャンパスの経済学部分館に約277,000冊を所蔵している。また，本学の図書館では，約30種のデータベースや約14,200タイトルの電子ジャーナルを提供しており，大半のデータベースや電子ジャーナルは，学生を含め本学の構成員は，学外からのアクセスも可能となっている。現在，約14,000タイトルの電子ブックも，今後，さらに拡充する予定である。

本学では，長年にわたる図書資料の体系的な収集整備により，本学環の教育研究領域である公衆衛生学，医歯薬学，熱帯医学，経済学，社会学，環境科学，工学，水産学に関係する図書・学術雑誌類が充実している。

また，本学未所蔵の資料については，図書館間相互貸借システムを用いて，他大学図書館等に現物貸借及び文献複写の提供依頼を行うことで，蔵書整備を補完している。さらには，国内のみならず海外の大学図書館等とも相互協力を果たしながら，学術資料を迅速に提供する環境を整えている。

（4）図書館の整備

文教キャンパスの附属図書館（中央図書館）は，平成24年度に耐震補強及び改修を行い，平成25年4月に新規開館した。次いで，坂本キャンパスの医学分館は，平成25年度に耐震補強を含む改修及び書庫増築工事を行い，平成26年5月に新規開館した。これら2館の改修に当たっては，本学の教育改革に即した自学自習環境の整備とアクティブラーニング支援の強化を目的として，それぞれ次のとおりとなっている。なお，本学環は，坂本キャンパスに設置され，主に医学分館を利活用する。

① 中央図書館（文教キャンパス）

平成 24 年度に耐震補強及び改修を行い，平成 25 年 4 月に新規開館した。改修に当たっては，本学の教育改革に即した自学自習環境の整備とアクティブラーニング支援の強化を目的として，次の機能を設計に盛り込んだ。

・床面積（総面積約 6,281 ㎡）は，改修前と同様であるが，事務スペースの転用等により利用者スペースを拡張し，閲覧席数を 648 席から 815 席に増加させた。
・ラーニングコモンズのコンセプトを導入し，館内を①グループワーク（討議・協同学習の場），②パーソナルワーク（PC や書籍他各種媒体を駆使した個人学習の場），③サイレント（静粛・思索の場）にゾーニングし，多様な学習形態に対応した。
〔※ラーニングコモンズ：複数の学生の自学自習及びディスカッションの場〕
・テラス（オープンデッキ）やラウンジを配して，利用環境の快適性と利便性にも配慮した。
・学生発表会，セミナー，講演会等に利用できる開放的な多目的ルームと，貴重資料や教員，学生の活動成果等を展示するギャラリーを設置した。
・バリアフリーに配慮して，エントランスを 2 階から 1 階に移すとともに，利用者用エレベーターを新設した。
・1 階と 2 階にインターネット接続可能な PC を約 40 台配置している。また，全フロアに無線 LAN アクセスポイントを整備し，個人の PC からも学内外の情報へのアクセスが可能となっている。
・図書収容能力（約 580,000 冊）は改修前と同様であるが，資料保存に適切な温湿度管理のため，書庫の空調設備と外壁の断熱性能を強化した。また，貴重書庫には専用の閲覧室を併設した。
・ソフトウェア面での教育研究支援ツールとして，平成 25 年度よりディスカバリーサービス（複数の学術情報データベースを統合検索するツール）を導入した。

② 医学分館（坂本キャンパス）

・書庫の増築により床面積が 530 ㎡増加し，総面積が 2,650 ㎡となった。これに伴い，書庫の収容冊数が 84,000 冊から 167,000 冊となり，書庫から溢れて利用者スペースを圧迫し，また，箱詰により利用困難となっていた資料は適切に書庫に配架され，効率的な利用が可能となった。
・利用者スペース設置の書架等を移動することにより，閲覧席数は 237 席から 304 席に増加され，特に，2 階閲覧室には，仕切りのある閲覧ブースや窓際の個人用閲覧席等，個人学習に適した座席を集中的に配置している。
・書庫の増築により床面積が 530 ㎡増加し，総面積が 2,650 ㎡となった。書庫の収容冊数は 84,000 冊から 167,000 冊となり，利用者スペース設置の書架等を移動することにより，閲覧席数は 237 席から 304 席に増加した。特に，2 階閲覧室には，仕切りの

ある閲覧ブースや窓際の個人用閲覧席等，個人学習に適した座席を集中的に配置している。

・1 階には，アクティブラーニングに対応するため，ラーニングコモンズを設置しており，グループ学習室の他，セミナー室やパソコン室等を整備し，学生同士のディスカッションを含む多様で創造的な学習・研究活動を支援する環境が整っている。

・学内無線 LAN の整備により全フロアでパソコンの利用を可能とし，学生のパソコン必携化に対応している。

・飲食可能なリフレッシュコーナー等を配して，利用環境の快適性と利便性を高め，長時間滞在による学習や研究を可能にしている。

・貴重資料の展示室と保存用書庫を整備し，日本の西洋医学史及び医学教育史の研究と紹介に重要な，かつ，本学の歴史的史料について適切な保存と展示を行っている。

・バリアフリーに配慮して，2 階の利用者スペースや貴重資料展示室にアクセスしやすい利用者用エレベーターを整備している。

・新規の設備等を取り入れる一方，古い書架や什器等も修理して長く使用することにより，環境問題に配慮したものとなっている。

・ソフトウェア面での教育研究支援ツールとして，平成 25 年度よりディスカバリーサービス（複数の学術情報データベースを統合検索するツール）を導入しており，平成 26 年度より新たにパスファインダー（授業資料ガイド）を導入した。

９　社会人を対象としたサテライトキャンパスでの一部教育の実施

本学は，平成 29 年 4 月に NCGM 内に NCGM サテライトを設置しており，テレビ会議システム等を活用した講義を実施している。

プラネタリーヘルス学環おいては，就業しながらの社会人大学院生の受入は想定しておらず，全学生がリアルタイムで講義を受講することを想定している。ただし，NCGM サテライトでも学生を受け入れることを想定（フルタイムで講義を受講できる場合は社会人であっても可）しているため，上述したテレビ会議システム及び本学が導入している主体的学習促進支援システム(LACS ： Learning Assessment & Communication System)を活用して，講義，研究指導における双方向の教育環境を提供する。

NCGM サテライトには，講義室，教職員居室，学生自習室等を整備しており，常駐の教員 2 人を配置している。常駐教員は，講義等に加え，履修指導，スクーリング時の質疑応答，テレビ会議システムによるリアルタイム講義中のフォローアップ，実習補助等の修学支援も行う。

また，本学は NCGM と連携大学院に関する協定・覚書を締結しており，NCGM 内の会議室，セミナー室，図書館の共用が可能となっている。

本学環による NCGM サテライトでの学生受入れは年間１名程度を想定しており，当該施設の収容可能学生数は最大 20 人程度であり，現在，当施設を利用中の TMGH 研究科の社会人学生と共用しても，十分な施設・設備が整えられている。

10　管理運営

（1）学長主導のガバナンス体制

本学は，先進的な教育課程を実現するとともに，世界をリードしている新興感染症研究，被ばく医療研究を始めとする卓越した研究拠点の構築を目標に，学長のリーダーシップに基づく部局ガバナンスを実現することを目指している。

プラネタリーヘルス学環においても，学長及び学環長による学環ガバナンスを実現する。よって，学長が指名する学環長がイニシアティブを十分に発揮できる学環ガバナンスを実現することにより，迅速かつ効果的な運営が可能となる体制を構築する。

（2）組織

① 運営会議及び教授会

本学環の教育・研究，管理及び運営は，運営会議及び教授会が行う。

運営会議は，学環長（議長）及び学長が指名する理事を中心に，学環長指名の副学環長，常置委員会委員長等により組織され，学環ガバナンスの中核となる。運営会議においては，学環の運営方針等を審議すると共に，学域会議の求めに対して人事及び予算方針等を答申する。

教授会の審議事項は，教学事項に限定し，研究科等連係課程実施基本組織を構成する各研究科教授会と連携して，教育の質を担保する。

教授会は，学環長及び教授会に認められた者により組織され，原則として毎月１回開催する。

② 常置委員会

本学環の日常的な業務を円滑に処理するため，総務委員会，教務委員会，入試委員会，広報委員会，国際交流委員会等の常置委員会を置く。

（3）事務組織

本学環の事務処理は，連係協力研究科の事務職員と協力しながら，生命医科学域・研究所事務部において行う。学生の対応を行う学務系の事務職員は，英語が堪能な者等を多く配置しており，全て英語で実施される授業科目のサポートや，留学生の受入れについても万全の体制を整えている。

（4）管理運営

本学環の学環長は，学長が選考し，任命する。

学環長のイニシアティブによる学環ガバナンスを円滑に行うため，学環長の業務を補佐・支援する学環長指名の副学環長２名を置く。

また，本学環に参画する専任教員は，他学部・他研究科の専任教員も兼務していることから，学環長，学域長，学部長，研究科長間で情報共有を行い，既設学部・研究科の授業担当・担当時間数の見直しを行い，教員に過度の負担が生じないよう調整を行う。

11　自己点検･評価

（１）全学的実施体制

本学の組織評価については，国立大学法人長崎大学基本規則第 31 条の規定に基づき「計画・評価本部」を置き実施することを定め，計画・評価本部規則において任務，組織等を定めている。

計画・評価本部は，中期目標・中期計画・年度計画の案の作成はもとより，国立大学法人評価委員会が行う本学の評価（以下「法人評価」という）及び大学機関別認証評価（以下「認証評価」という）への対応に関する業務を行うことを任務とする。同本部は，学長を本部長として，理事，副学長，事務局長及び事務局の各部長から構成される組織であり，幅広い評価項目，基準・観点等に対応できる実施体制を実現している。さらに，評価等の業務を行うに当たっては，必要に応じ，全学委員会，事務局各課等を活用できるようになっている。本学は，月 2 回程度計画・評価本部会議を開催し，学長のリーダーシップの下，機動性のある組織運営を行っている。

（２）実施方法，結果の活用，公表及び評価項目等

本学では，法人化後，法人評価[第一期／H16～21，第二期／H22～27]及び認証評価[H26 年度受審]について，それぞれの評価基準等により本学における点検及び評価に関する規則（以下「点検・評価に関する規則」という）第 3 条に基づき，自己点検・評価を実施してきた。

評価結果については，計画・評価本部会議において報告し，改善点等については学長から担当の理事又は副学長に対し指示するとともに，改善報告を求めることにより，教育研究の水準及び質の向上に努めている。さらに，評価結果は本学の公式ホームページで公表するとともに，同本部のホームページにおいてもこれまでに実施した全ての評価の結果を併せて公表している。部局等では組織評価として，点検・評価に関する規則第 5 条に基づき，自ら定める評価基準等により，自己点検・評価を実施する他，第三者評価又は外部評価を行うことを定めている。

また，教員の個人評価については，教育，研究，外部資金，国際化，社会貢献，大学運営の 6 分野（附属病院所属教員については，診療を加えた 7 分野）について，全学共通の評価指標を定め，分野ごとに教員の活動状況を可視化して，各教員に通知する取組を平成 29 年度より開始した。令和元年度からは分野ごとの可視化の結果を給与の決定に利用することとし，それぞれの分野での活動状況が給与に反映される仕組みを取り入れた。

プラネタリーヘルス学環の組織評価については，評価委員会を中心に自己点検・評価を行うとともに，外部委員から成る外部評価委員会による外部評価を行う。それらの評価結果は報告書及び本学環のホームページで公表する。

12　情報の公表

（1）大学としての情報の公表

本学では，大学のホームページを設けており，大学の理念と中期目標や中期計画等の大学が目指している方向性を発信するとともに，カリキュラム，シラバス，学則等の各種規程や定員，学生数，教員数等の大学の基本情報を公開している。具体的な公表項目の内容等と公開しているホームページアドレスは以下のとおりである。

①　大学の教育研究上の目的に関すること。
②　3つのポリシー（ディプロマ，カリキュラム，アドミッション）に関すること
③　教育研究上の基本組織に関すること。
④　教員組織及び教員数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること。
⑤　入学者に関する受入方針及び入学者の数，収容定員及び在学する学生の数，卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること。
⑥　授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。
⑦　学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること。
⑧　校地，校舎等の施設及びその他の学生の教育研究環境に関すること。
⑨　授業料，入学料その他の大学が徴収する費用に関すること。
⑩　大学が行う学生の修学，進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること。
⑪　取得できる教員免許状等の教職課程に関すること。

(①～⑪：http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/disclosure/education/index.html)

⑫　その他

(a)長崎大学規則集
(http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/guidance/rule/index.html)

(b)設置計画書・設置計画履行状況報告書等
(http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/disclosure/legal/index.html)

(c)評価及び監査に関する資料
(http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/disclosure/legal/index.html)

（2）プラネタリーヘルス学環としての情報提供

本学環の教育研究活動は，大学及び学環のホームページに掲載する。また，上記の自己点検・評価報告書や，外部評価による評価結果を公開（長崎大学計画・評価本部ホームページ URL:http://www.hpe.nagasaki-u.ac.jp/）する。さらに，本学環の広報パンフレットを作成し，カリキュラム上の特色や教育研究活動等に関する情報を公開する。また，文部科学省への設置報告の内容については，ホームページに掲載する。

13　教員の資質の維持向上の方策

（1）長崎大学の取組

① 全学教務委員会大学院専門部会（委員長及び部会長は教学担当理事）の下，教育改革の現状の把握，改革内容の検討，改革方針の確立等の教育改革を不断に進めていく体制を整えている。

また，学内共同の教育・学生支援組織の一つとして，教学担当理事がセンター長を務める大学教育イノベーションセンターが設置され，全学教務委員会のシンクタンクとしての役割を果たしている。同センターには，教育改善・学修支援部門，教学 IR 部門が置かれ，教育改善部門は授業評価の在り方を研究するとともに，評価・FD 教育改善専門部会（部会長は教学担当理事）と緊密な連携を図りながら授業内容の改善に資する全学 FD の企画・立案に当たっている。

② FD に出席した教員には修了証を与える等，教職員の意識変革を促し主体的に教育改革に取り組む体制も整えており，FD への出席状況を教員評価の評価項目の 1 つにしている部局もある。

③ 学生の学修改善，授業担当教員の授業改善，大学全体の教育改善に役立てることを目的に，「授業アンケート」（平成 28 年度までは「学生による授業評価」の名称）を実施しており，集計結果は学内に公開している。

④ 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため，大学職員に必要な知識・技能の習得を目的として，放送大学利用職員研修や英語研修等の SD を実施している。

（2）プラネタリーヘルス学環の取組

本学環における授業内容の改善を含む教育改革は，学環長のイニシアティブによるガバナンスの下，学環の常置委員会である教務委員会の主導により，不断に推進する。

本学環の基本理念及びディプロマ・ポリシーに基づき有為な人材を社会に提供するために，教員の資質を向上させるとともに不断にカリキュラムを改善する。

具体的には，学生による授業評価を定期的に行い，評価結果を活用し，教育内容の質的向上や双方向的な教育方法の推進等の教育改善を図る。また，教員の資質向上のために，ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院等海外の連携する大学院との教員や教材の交流・交換等を活発に行い教員のレベルやカリキュラム内容の向上に努める等の FD を実施する。

長崎大学　プラネタリーヘルス学環（研究科等連係課程実施基本組織）　設置概要 ①

基本構想

組織名称 連係協力研究科 （多文化社会学研究科，経済学研究科 工学研究科，水産・環境科学総合研究科 医歯薬学総合研究科 熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	長崎大学　プラネタリーヘルス学環　：　Interfaculty Initiative in Planetary Health　博士後期課程 「地球の健康」を意味するプラネタリーヘルスは，20世紀以後の人口爆発やグローバルな経済活動による自然破壊などを元凶として，温暖化や異常気象等の変化が生じ，地球全体の生態系の恒常性をも破壊していることに警鐘を鳴らす新たな概念であり，新興感染症をはじめ，現在のあるいは将来の様々な問題解決には地球生態系レベルでの理解とアプローチが必要であることを示唆している。本学環は，この地球規模の課題に社会学，経済学，工学，環境学，医学，データサイエンスなどのそれぞれの専門家が学問領域を超えて取り組み，俯瞰力と実行力を備えた実務家リーダーを養成する全学的組織である。
学位名称	博士（公衆衛生学）　：　Doctor of Public Health 【 学位の分野　：　保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）】 Doctor of Public Health（DrPH）は公衆衛生関連の政策立案及び実施に関する高度職業専門人に与えられる博士号として欧米では広く認められており国際通用性は高い。和名の分野については，DrPHは博士（公衆衛生学）とされることが一般的であり，先行する国内大学の名称も当該名称としていること及び国内での通用性から，学生，一般への理解も高いと考えられることから「公衆衛生学」とする。

基礎情報	開設時期	入学定員	入学時期	修業年限
	令和4年10月	5名	10月	3年間

設置の趣旨・社会的必要性の関連性

社会的背景からの必要性

新型コロナウイルスパンデミックや福島第一原子力発電所事故は，緊急性が高い状況であるほど，科学的エビデンスや専門的な考えに基づき最適な政策を速やかに立案し実施することが困難であることを露呈した。

既存の社会制度や法，経済活動，人権等が政策の実施実現の障害となることから，人々の行動変容を促すことも容易ではない。こうした状況下においては，対立する利害や異なる価値観を調整しなければ，科学的に正しい政策の実施は不可能である。

差し迫る地球規模の課題の解決においては，政策立案に関わる実務家に対し，非常に高い専門性とあらゆることを俯瞰的に理解できる高度な能力が求められるようになってきている。また，政策の有効性をシミュレーションし，データを収集して有効性を評価するなど科学的アプローチも求められ，それらを人々へ説明する能力も必要である。さらには，新たな情報テクノロジーに対する知見とその活用能力も求められている。

社会的必要性

設置の趣旨と社会的必要性がマッチ

熱帯感染症やグローバルヘルス分野での**卓越した研究と教育実績もつ他に比肩のない長崎大学**は、学長のリーダーシップのもと、**新たにプラネタリーヘルスへの貢献を大学の目標**として掲げ、**地球規模の課題に学問領域を超えて全学的に取り組む**。

本学環では地球規模の課題を俯瞰し、科学的エビデンスを政策に紐付け、政策立案、政策決定、政策実行に貢献できる実務家リーダーを養成する**博士レベルの高度実務専門家育成課程**を創設する。

設置の趣旨

設置の趣旨

世界の熱帯感染症問題に貢献し続ける熱帯医学研究所，新興感染症病態制御学を対象とした医歯薬学総合研究科リーディング大学院，グローバルヘルスを対象とした，熱帯医学・グローバルヘルス研究科，卓越大学院プログラム（グローバルヘルスプログラム），世界トップレベルのロンドン大学・衛生熱帯医学大学院とのジョイントディグリー専攻等，長い伝統と卓越した実績を基盤にした他に比肩のない教育・研究基盤を持つ長崎大学が，世界的な喫緊の課題となる博士レベルの高度実務専門家（科学的エビデンスを政策に紐付ける人材）を育成する。

長崎大学　プラネタリーヘルス学環（研究科等連係課程実施基本組織）　設置概要 ②

入口から出口までの流れ・修了後の進路イメージ

求める人材（入口）

４年以上の実務経験がある，MPH取得者及びその他修士号取得者又はそれらと同等の能力があると大学が判断した者【国際機関，NGO/NPO，公官庁（文科省，厚労省，外務省等）企業の実務担当者　等

教育課程の概要①

国際的な基準（7つのコンピテンシー）に即した，長崎大学特有の教育を展開

1.職業意識と倫理性　5.運営管理
2.批判的分析　6.リーダーシップ
3.地域・文化交流　7.アドボカシー
4.コミュニケーション

教育課程の概要②

ユニークな開講科目

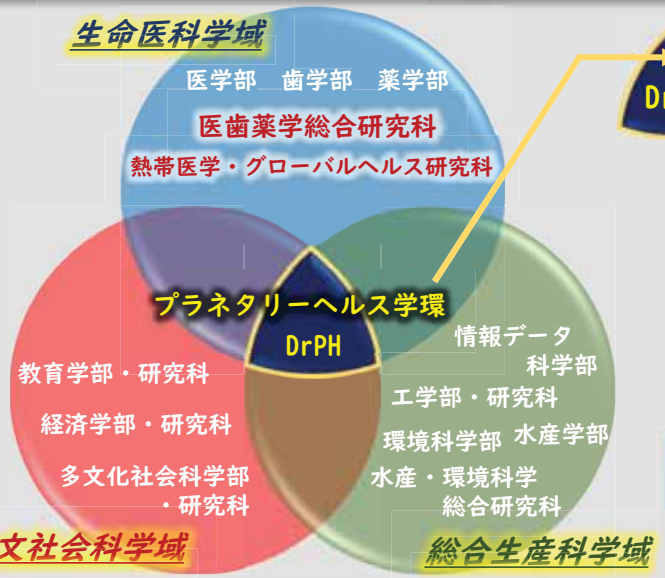
政策過程特論，実装科学特論
保健システム特論等，政策分析法特論
組織マネジメント特論
渉外マネジメント特論
グローバルヘルスガバナンス特論
プラネタリーヘルス特論

養成する人材（出口）

科学的エビデンスを政策に紐づけることができる博士レベルの実践的高度専門職業人

国際機関，NGO/NPOの上級職，公官庁（文科省，厚労省，外務省等）における政策担当，企業の高度専門職員　等

教員組織のイメージ



プラネタリーヘルス学環

DrPH

本学は，教員組織を「生命医科学域」「人文社会科学域」「総合生産科学域」の３学域に大括り化し，機動的かつ戦略的な教員編成及び予算編成を展開するとともに，学部及び研究科の教育研究改革並びに部局横断的な教育研究を推進することにより，学部及び研究科のミッションを達成すること並びに教育研究の高度化，学際化及び活性化に資することを目指している。

プラネタリーヘルス学環は，まさにこの体制を活用し，社会及び時代のニーズにマッチした先進的な学位プログラムを構築するものである。

加えて，本学環は本学の卓越大学院プログラムを構成する一つの組織として位置付けることにより，学内部局の連携に加え，以下に示す世界レベルの機関との連携により教育プログラムを構築するものである。

全国共同利用・共同研究拠点

熱帯医学研究所
原爆後障害医療研究所
新興感染症制御研究拠点

世界トップレベルの海外機関

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院

国内機関

北海道大学，帯広畜産大学
東京大学，国立国際医療研究センター
国際協力機構，国立感染症研究所
国立環境研究所，シスメックス

ニーズ調査

● ニーズ調査（アンケート結果）

対　　象	回答数
学部学生	1,133名
大学院生	418名
社会人・企業	121名
合　　計	1,672名

学部学生の回答

学部学生へのアンケートによると，90%以上の学生が，本学環が育成する人材の必要性は高いと回答しており，さらに将来的に本学環に進学して学位を取得したいと答えた者が38名いることから，長期的にも高いニーズがあることが判明した。

大学院生の回答

大学院生へのアンケートによると，90%以上の学生が，本学環が育成する人材の必要性は高いと回答しており，さらに本学環に進学して学位を取得したいと答えた者が28名いることから，近い将来入学する学生からも高いニーズがあることが判明した。

社会人・企業の回答

社会人・企業へのアンケートによると，社会人から本学環に入学したいと回答した者が101名おり入口として高いニーズがあることが判明した。また，企業アンケートにおいては，関連するグローバル企業42社に実施したところ37社から本学環が養成する人材を雇用したいとの回答があり，出口としても十分なニーズがあることが判明した。

アンケート結果より，本学環が育成する人材は，長期的にも学生を確保することが可能なニーズがあり，また社会的にも必要とされる人材であることから，修了後の社会的人材需要にも問題がないことが判明した。

長崎大学　プラネタリーヘルス学環の構成について

【連係課程構成組織】
熱帯医学，国際保健を基礎とした“グローバルヘルスヘルス”を教育・研究の中核分野とするが，対応する課題は地球規模課題となるため，人文社会系及び理工学系の力の糾合して学環を構成。



経済学研究科
工学研究科
多文化社会科学研究科
水産・環境科学総合研究科
プラネタリーヘルス学環（連係課程構成組織）
熱帯医学・グローバルヘルス研究科
医歯薬学総合研究科

【協力部局】
長い伝統と世界レベルの実績を持つ熱帯医学研究所を中心として，多様な分野の学内組織からの支援体制。



プラネタリーヘルス学環（協力部局）
FFGアントレプレナーシップセンター
情報データ科学部
原爆後障害医療研究所
熱帯医学研究所
教育学研究科
シスメックス株式会社
帯広畜産大学
国立環境研究所
北海道大学
プラネタリーヘルス学環（連携機関）
東京大学
国際協力機構（JICA）
国立感染症研究所（NIID）
ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（LSHTM）
国立国際医療研究センター（NCGM）



【連携機関】
ロンドン大学（ジョイントディグリー専攻）
NCGM及びNIID（共に連携大学院）
卓越大学院プログラム（東大，北大，帯広大，シスメックス）
及び連携協定等（JICA，環境研）により強固な連携を構築している国内外の世界レベルのパブリックヘルス教育・研究機関等からの支援体制。

長崎大学　プラネタリーヘルス学環　カリキュラムマップ

想定される入　口

1）４年以上の実務経験がある，修士（公衆衛生学）：Master of Public Healthの学位を有する者
2）４年以上の実務経験がある，１）以外の修士の学位を有する者
3）１）又は２）と同等以上の能力があると本学環が判断した者
【国際機関，NGO/NPO，公官庁（厚労省，外務省等），国立国際医療研究センター（NCGM）国際協力機構（JICA）企業の実務担当者　等】

	1Q（10-12月）	2Q（1-2月）	春期調整期間（3月）	3Q（4-5月）	4Q（6-8月）	夏期調整期間（9月）
Year 1	プラネタリーヘルス特論（２単位） 組織マネジメント特論（１単位） 疫学Ⅰ・統計学Ⅰ	涉外マネジメント特論（１単位） 保健システム・政策Ⅰ 量的調査法 質的調査法		実装科学特論（１単位） グローバルヘルスガバナンス特論（１単位）	政策過程特論（１単位） 医療経済学	実務研修（２単位）
Year 2	保健システム特論（１単位）	政策分析法特論（１単位）	筆記試験 Qualifying Writing Exam	プロジェクト提案書作成 口頭試験 Qualifying Oral Exam	プロジェクト演習（４単位） 実務研修・フェローシップ	
Year 3	プロジェクト演習（４単位） 実務研修・フェローシップ				論文審査 最終口頭試験 Final Oral Exam	

【科目区分】
- プラネタリーヘルス
- 政策とシステム
- データと分析
- リーダーシップとマネジメント
- 実習・演習
- フォローアップ科目

※フォローアップ科目は既存の修士レベルの科目を対象とし，単位認定しない。

※原則として講義は全て英語で実施。またテレビ会議システムを用いて，遠隔での受講も可能。

想定される出　口

○本邦政府系機関（厚生労働省，内閣官房，外務省，国立国際医療研究センター，国立保健医療科学院
外務省，国際協力機構等）
○国際機関，国際パートナーシップ機関（世界保健機関WHO,国連児童基金UNICEF，国連人口基金UNFPA,
界エイズ結核マラリア対策基金GFATM，GAVIアライアンス等）
○非政府機関，民間財団，企業，シンクタンク（日本国際交流センター，日本財団，セイブザチルドレン
ビル&メリンダ・ゲイツ財団，ウェルカムトラスト，製薬企業，その他製造業・サービス企業　等）

長崎大学　プラネタリーヘルス学環　履修モデル

for Planetary Health
nagasaki university

【出口】想定される就職先

○本邦政府系機関（厚生労働省，内閣官房，外務省，国立国際医療研究センター，国立保健医療科学院，外務省，国際協力機構等）
○国際機関，国際パートナーシップ機関（世界保健機関WHO,国連児童基金UNICEF，国連人口基金UNFPA,世界エイズ結核マラリア対策基金GFATM，GAVIアライアンス等）
○非政府機関，民間財団，企業，シンクタンク（日本国際交流センター，日本財団，セイブザチルドレン，ビル&メリンダ・ゲイツ財団，ウェルカムトラスト，製薬企業，その他製造業・サービス企業　等）

【科目群】実習・演習

実践・フェローシップに基づくプロジェクト研究とその結果の博士論文への取り纏め。グローバルヘルス分野におけるプロフェッショナルとして，科学的エビデンスを政策やプログラムの実務に解釈・反映・実施・評価できる能力を修得する。

- 実務研修（２単位）
- プロジェクト演習（４単位）

【科目群】政策とシステム	● 政策過程特論（１単位） ● 実装科学特論（１単位） ● 保健システム特論（１単位）	● 政策過程特論（１単位） ● 実装科学特論（１単位） ● 保健システム特論（１単位）
【科目群】データと分析	● 政策分析法特論（１単位）	● 政策分析法特論（１単位）
【科目群】リーダーシップとマネジメント	● 組織マネジメント特論（１単位） ● 渉外マネジメント特論（１単位） ● GHガバナンス特論（１単位）	● 組織マネジメント特論（１単位） ● 渉外マネジメント特論（１単位） ● GHガバナンス特論（１単位）
【科目群】プラネタリーヘルス	● プラネタリーヘルス特論（２単位）	● プラネタリーヘルス特論（２単位）
フォローアップ科目（単位認定しない）	● 疫学I　・統計学I ● 保健システム・政策I ● 量的調査法 ● 質的調査法 ● 医療経済学	

【入口】４年以上の保健医療分野での実務経験を有する者
かつ　公衆衛生学以外の修士号取得者

【例I】国際NGOにて保健医療・コミュニティ開発事業の実施ならびにマネジメントに計6年の職務経験を有する社会学修士号取得者

【例2】民間食品会社にて国際展開やCSRを担当部署にて開発途上国を対象にしたPPP事業の実施の5年の職務経験を有する経営学修士号取得者

【入口】４年以上の保健医療分野での実務経験を有する者
かつ　公衆衛生学修士号取得者

【例I】世界保健機関WHOでの職務経験3年と厚生労働省での5年の職務経験を有する公衆衛生学修士号取得者

【例2】国際協力機構JICAプロジェクトでの専門家職務経験4年とチーフアドバイザー3年の職務経験を有する公衆衛生学修士号取得者

【博士後期課程における教育研究の特色】

■職業意識と倫理性　公衆衛生分野のプロフェッショナリズムの涵養
■批判的分析　論理的かつエヴィデンスに基づく客観的な政策分析能力
■地域文化交流　多様な価値観と文化を尊重しシナジーを醸成する能力
■コミュニケーション　ヘルスリテラシー・チームビルディングのための退陣能力
■運営管理　責務と権限を明確にし政策の進捗と評価を適切に実施する能力
■リーダシップ　組織を目標達成に向けての指揮する能力
■アドボカシー　科学的根拠に基づく交渉・外交術・合意形成の技術・能力

7つのコンピテンシー開発に資するカリキュラム

【長崎大学　全学の総力を結集したプログラムとカリキュラム】

連係協力研究科
■熱帯医学・グローバルヘルス研究科
■医歯薬学総合研究科
■多文化社会学研究科
■経済学研究科
■工学研究科
■水産・環境科学総合研究科

協力部局
■熱帯医学研究所
■原爆後障害医療研究所
■教育学研究科
■情報データ科学部

新学環主導による全研究科が参画するカリキュラム

長崎大学　プラネタリーヘルス学環　研究指導の流れについて

「プロジェクト演習」は，フェローシップ等の長期実務研修を実施する中において，保健政策課題の特定や分析を通して解決策を研究するという，本教育課程の中心的な存在となるため，以下のとおりユニークかつ実践的な研究指導体制及び論文審査体制により実施する。

1年次



○ 履修指導教員（アカデミック・アドバイザー）の決定



・履修指導教員は，学生のバックグラウンドに沿って，補完科目等の履修指導を実施

・研究テーマ及び実務研修機関等にかかる相談，指導

1-2年次



○ 研究指導教員（リサーチ・アドバイザー）の決定



・研究テーマに沿って，研究指導教員を決定

・1年次終了時（夏期調整期間）に実施される実務研修により，研究テーマ及びフェローシップ等の研修先及び内容を調整

・研究指導教員は，研究計画書（プロジェクト提案書）の作成を指導し，履修指導教員と共に，Qualifying Examination合格に向けた指導を実施

2-3年次

○ 研究指導チームの構築
○ プロジェクト演習の実施
○ 長期実務研修（フェローシップ等）の実施





・学生は，国際機関，公官庁及び企業等において，長期実務研修（フェローシップ等）の実務研修を実施する中で，政策課題や政策提言に繋がる研究を実施

・研究指導教員に，必要に応じて学生の研修先に所属する者を実務家教員等として加え，「研究指導チーム」を構成し，教育，研究及び実務が一体となった実践的研究指導を展開

・プロジェクト演習により，既存の科学的知見を活用・統合し，保健政策課題の特定や分析を通して解決策を提案し，また，解決策を実施する場合はそこから得られた教訓を論文としてまとめるための指導を実施

・論文審査は，主査1名，副査2名以上の計3名以上で審査する。その審査員の中には，実務研修先機関に所属する者，政策立案等の実務経験又は政策立案にかかる研究を専門とする者1名以上を含めることを原則とする

〈指導教員の流れ〉

きめ細かい履修指導等により，計画的に３年間の研究スケジュールを策定

研究テーマに沿って，最適な研究指導教員を配置し，履修指導教員と協力して手厚い指導を展開

実践的研究指導チーム

実務指導教員による指導

研究指導教員による指導

履修指導教員による指導

アカデミアのみならず，実務家教員等も指導に参画し，教育，研究及び実務が一体となった，博士レベルの高度専門職業人としての指導を展開

長崎大学　プラネタリーヘルス学環　修了までのスケジュール表

for Planetary Health, nagasaki university

Year 0

教授会は入学選抜試験を実施し学長に報告。その後，入学候補者は教員と面談し，指導教員の内諾を得る（入学前の2～9月）

	1Q-2Q（10月-2月）	春期調整期間（3月）	3Q-4Q（4月-8月）	夏期調整期間（9月）
Year 1				
学生	講義受講 10月-12月 履修指導教員は学生の履修状況を確認しつつ，学生と協議の上，実務研修先や研究テーマを検討する。	1Q-2Qの復習期間	講義受講 6月-8月 実務研修について検討し教授会に報告	外部機関において実務研修を実施。指導教員に報告書を提出。 9月 実務研修報告会
履修指導教員		適宜指導	適宜指導	報告書により進捗を管理
教授会	教授会は，研究テーマと研究指導チームのマッチングを精査し決定する		実務研修先を確認し必要に応じて指示	
Year 2				
学生	講義受講	Qualifying Writing Exam	Qualifying Oral Exam 4月-6月 Proposal Writing作成	6月～ プロジェクト演習（実務研修等）
履修・研究指導教員	Proposal Writing作成に向けた指導を実施する 10月-8月 履修指導教員と相談の上，研究テーマに沿った研究指導教員を決定。決定後，履修指導教員及び研究指導教員によりQEや博士研究について指導を実施	3月 Qualifying Writing Exam（博士研究資格審査）の実施	5月 Qualifying Oral Exam（博士研究資格審査）の実施	研究指導教員に「実務指導教員」を新たに加え，実践的研究指導チームを構築
教授会				適宜，指導教員が進捗を報告し，教授会で確認する
Year 3				
学生	～5月 プロジェクト演習（実務研修等）		6月 博士プロジェクト論文の提出	7月-8月 実務研修先等を対象とした発表会を実施
研究・実務指導教員	実践的研究指導チームによる指導 定期的に実務研修等のレポートを提出させ，進捗を管理する		6月 論文審査員を選定し教授会に報告	7月-9月 論文審査及び最終試験を実施し，修了判定する
教授会	適宜，指導教員が進捗を報告し，教授会で確認する		6月 論文審査員を決定	修了判定結果を学長に報告

○長崎大学研究倫理規程

平成３０年９月２１日
規程第４４号
改正　平成３１年３月２９日規程第１８号
令和２年６月３０日規程第３４号

（目的）

第１条　この規程は，長崎大学研究者行動規範（平成２１年２月３日制定）に定める倫理規範に基づき，長崎大学（以下「本学」という。）の学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的として，本学において研究に従事するすべての研究者が遵守すべき事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この規程において「研究」とは，科学及び文化の諸領域における専門的，学際的及び総合的に行う個人研究，学内外の諸機関等と行う共同研究，プロジェクトによる研究等をいう。

２　この規程において「研究者」とは，教員，学生その他の本学において研究活動に従事するすべての者をいう。

３　この規程において「部局等」とは，国立大学法人長崎大学基本規則（平成１６年規則第１号）第３１条の２から第３１条の５までに規定する本部等，同基本規則第３３条から第３５条まで及び第３８条から第４０条の１１までに規定する教育研究組織並びに同基本規則第４６条に規定する学域をいう。

（研究者の基本的責任）

第３条　研究者は，国際的に認められた規範，規約，条約等，国内の法令，告示，指針等及び学内規則等を遵守しなければならない。

２　研究者は，生命の尊厳及び個人の尊厳を重んじ，基本的人権を尊重しなければならない。

３　研究者は，科学の自立性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し，研究者自らの自覚に基づいた高い倫理規範の下に良心と信念に従って，誠実に行動しなければならない。

４　研究者は，異なる分野の研究を尊重するとともに，他の国・地域等の研究活動における文化，慣習，価値観等の理解に努めなければならない。

５　研究者は，学内外の研究者と共同で研究を行うに際しては，当該研究者が相互に独立した対等の研究者として誠意を持って接し，互いの学問的立場を尊重しなければならない。

（研究活動における不正行為の防止）

第４条　研究者は，あらゆる研究活動において，研究活動上の不正行為やその他の不適切な行為を行ってはならず，また，他者による不正行為の防止に努めなければならない。

２　研究者は，研究費の適切な使用に努めるとともに，法令，学内規則等その他当該研究費の使用ルールを遵守しなければならない。

（試料，情報，データ等の収集及び管理）

第５条　研究者は，科学的かつ一般的に妥当な方法及び手段により，研究のための試料，情報，データ等をその目的に適した必要な範囲において収集しなければならない。

２　研究者は，当該研究のために収集又は作成した情報，データ等の関連する研究記録を法令，学内規則等に基づき適切に保管管理し，事後の検証が行えるよう管理しなければならない。

（インフォームド・コンセント）

第６条　研究者は，人の行動，環境，心身等に関する個人情報，データ等の提供を受けて研究を行う場合は，提供者に対してその目的，収集方法等について分かりやすく説明し，提供者の明確な同意を得なければならない。

（研究対象等の保護）

第７条　研究者は，研究への協力者の人格，人権を尊重し，福利に配慮しなければならない。

２　研究者は，動物等に対しては，法令，学内規則等に基づき，真摯な態度でこれを取り扱わなければならない。

（研究成果等の公表）

第８条　研究者は，研究成果の公表に際して，データ及び論拠の学問的信頼性の確保に十分に留意するとともに，公正かつ適切な引用を行わなければならない。

２　研究者は，前項の公表に際して，オーサーシップ及び既発表の関連データの利用，著作権等について，研究分野，学会，学術誌等に固有の慣行又はルールを十分に尊重しなければならない。

（個人情報の保護）

第９条　研究者は，研究の過程で収集した他人の個人情報の保護に努め，法令，学内規則等に基づき適正に取り扱わなければならない。

（利益相反への適切な対応）

第１０条　研究者は，自らの研究活動に当たり，利益相反が発生しないよう，法令，学内規則等を遵守し，本学の社会的信用及び名誉を保持しなければならない。

（部局等の長の責務）

第１１条　部局等の長は，この規程を当該部局等内に周知徹底し，研究倫理に係る意識を高め，研究活動及び研究費の適切な管理等について必要な措置を講じなければならない。

２　部局等の長は，この規程の目的を達成し，かつ，適切な運用を図るため，その諮問機関として，倫理審査委員会を設置するものとする。

３　前項の規定にかかわらず，部局等（各学部，各研究科，各附置研究所，病院及び各学域を除く。）の長は，当該部局等に倫理審査委員会を設置することが困難な場合には，他の部局等に設置された倫理審査委員会に審査を依頼することができるものとする。

４　第２項の規定にかかわらず，人を対象とする医学系研究については，長崎大学における人を対象とする医学系研究に関する規則（平成２７年規則第２４号）の規定に基づき設置する委員会において処理するものとする。

附　則

この規程は，平成３０年１０月１日から施行する。

附　則（平成３１年３月２９日規程第１８号）

この規程は，平成３１年４月１日から施行する。

附　則（令和２年６月３０日規程第３４号）

この規程は，令和２年７月１日から施行する。

○長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科倫理委員会規程

平成２７年４月１日
熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第６号
改正　平成３０年６月２７日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第２号
平成３１年４月２６日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第３号
令和元年７月３０日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第２号
令和元年９月３０日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第４号
令和２年３月６日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第１号
令和３年６月３０日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第３号

（目的）

第１条　この規程は，長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科（以下「本研究科」という。）の職員及び学生（以下「研究責任者」という。）が国内及び国外において行う国際保健学及び関連分野の研究並びに関連活動（以下「研究等」という。）について，ヘルシンキ宣言（最新の修正を含む。）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号。以下「倫理指針」という。）の趣旨に沿った十分な倫理的配慮を図り，あわせて研究等に携わる者の倫理意識を高めることを目的とする。

（他の法令との関係）

第１条の２　この規程に定めのない事項については，倫理指針その他関係法令の定めるところによる。

（設置）

第２条　本研究科に第１条の目的を達成するため，長崎大学における人を対象とする生命科学・医学系研究に関する規則（平成２７年規則第２４号）第１０条の規定に基づき，長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科倫理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（職務）

第３条　委員会は，研究等に係る実施計画及びその成果の出版又は公表予定の内容に関し，研究責任者の求めに応じ，倫理的及び科学的観点から審査し，研究責任者に対して文書又は電磁的方法により意見を述べるものとする。この場合において，特に次に掲げる観点に留意するものとする。

(1)　社会的及び学術的な意義を有する研究を実施すること。

(2)　研究分野の特性に応じた科学的合理性を確保すること。

(3)　研究により得られる利益及び研究対象者への負担その他の不利益を比較考量すること。

(4)　研究対象者への事前の十分な説明を行うとともに，自由な意思に基づく同意を得ること。

(5)　社会的に弱い立場にある者への特別な配慮をすること。

(6)　研究に利用する個人情報等を適切に管理すること。

(7)　研究の質及び透明性を確保すること。

(8)　その他委員会が必要と認める事項

2　前項に定めるもののほか，委員会は，国際保健の倫理及び医の倫理に関する重要事項を調査審議する。

3　委員会は，第１項の規定により審査を行った研究について，倫理的及び科学的観点から必要な調査を行い，研究責任者に対して，研究計画書の変更，研究の中止その他当該研究に関し必要な意見を述べるものとする。

4　委員会は，第１項の規定により審査を行った研究のうち，侵襲（軽微な侵襲を除く。）を伴う研究であって介入を行うものについて，当該研究の実施の適正性及び研究結果の信頼性を確保するために必要な調査を行い，研究責任者に対して，研究計画書の変更，研究の中止その他当該研究に関し必要な意見を述べるものとする。

（組織）

第４条　委員会は，次に掲げる委員をもって組織する。

(1)　本研究科の教授又は准教授から選出された者　４人

(2)　倫理学・法律学の専門家等人文・社会科学の有識者　若干人

(3)　研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者　若干人

(4)　その他長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科長（以下「研究科長」という。）が必要と認めた者

2　委員のうち，本研究科の職員である者については研究科長が命じ，本研究科の職員でない者については研究科長が委嘱する。

3　委員会は，複数人の長崎大学に所属しない者（以下「学外者」という。）を含め，かつ，男女両性により構成しなければならない。

（任期）

第５条　委員の任期は，２年とする。ただし，再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は，前任者の残任期間とする。

（委員長）

第６条　委員会に委員長及び副委員長を置き，委員会の承認を経て研究科長が指名する。

２　委員長は，会議を招集し，その議長となる。

３　委員長に事故等があるときは，副委員長がその職務を代行する。

（議事）

第７条　委員会は，次に掲げる全ての要件を満たさなければ，議事を開くことができない。

(1)　第４条第１項第２号及び第３号の委員がそれぞれ１人以上出席していること。

(2)　複数人の学外者が出席していること。

(3)　男女両性の委員が出席していること。

(4)　出席者が５人以上いること。

２　審査の判定は，出席した委員全員の意見の一致をもって決定するよう努めなければならない。ただし，委員会において議論を尽くしても，出席委員全員の意見が一致しないときは，出席委員の大多数の意見をもって委員会の結論とすることができる。

３　研究責任者及び研究分担者である委員は，審議及び判定に加わることができない。

４　委員会は，研究責任者又は研究分担者を委員会に出席させ，申請内容等について説明を求めることができる。

５　委員会が必要と認めたときは，委員会に委員以外の者を出席させ，意見を聴くことができる。

（学生の研究等に関する研究責任者）

第８条　学生の研究等に関する研究責任者は当該学生とし，指導教員は研究分担者として当該学生とともに研究等の実施に関する責任を負う。

（審査の申請及び判定の通知）

第９条　審査を受けようとする研究責任者は，別に定める倫理審査申請書に必要事項を記入の上，委員会に申請しなければならない。

２　委員会は，前項の申請を受理したときは，その判定を行い，判定結果を別に定める倫理審査結果通知書により研究責任者に通知するものとする。

３　研究責任者は，委員会から申請内容について説明の要求があった場合には，口頭若しくは文書により説明し，又は資料を提出しなければならない。

（予備審査）

第１０条　委員は，委員長の求めに応じ，研究計画書の妥当性に関する審査（以下「予備審

査」という。）を行うことができる。

２　委員長は，予備審査の結果を集約し，委員に文書により報告する。

（事前審査）

第１１条　委員は，委員長の求めに応じ，委員会における審査の前に倫理的及び科学的観点から研究計画書の審査（以下「事前審査」という。）を行い，判定に関する意見を述べることができる。

２　委員長は，事前審査の結果を集約し，委員に文書により報告する。

（迅速審査等）

第１２条　委員会は，次に掲げるいずれかに該当する審査について，委員長が指名する委員による審査（以下「迅速審査」という。）を行い，意見を述べることができる。この場合において，迅速審査の結果は委員会の意見として取り扱うものとする。

(1)　他の研究機関と共同して実施される研究であって，既に当該研究の全体について共同研究機関において倫理審査委員会の審査を受け，その実施について適当である旨の意見を得ている場合の審査

(2)　研究計画書の軽微な変更に関する審査

(3)　侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものに関する審査

(4)　軽微な侵襲を伴う研究であって介入を行わないものに関する審査

２　委員会の委員長は，迅速審査の結果を集約し，委員会の委員に文書により報告する。

３　迅速審査の妥当性に疑義が生じた場合は，委員会において審査を行うこととする。

４　第１項第２号のうち，次の各号のいずれかに該当するものについては，委員会の事務に従事する者が申請を受理し，当該各号に掲げる事項に該当することを確認することをもって委員会の承認があったものとみなすことができる。

(1)　研究者の職名変更

(2)　研究者の氏名の変更であって，研究者の変更を伴わないもの

(3)　その他委員会が指定したもの

５　前項の規定により受理を行った倫理委員会の事務に従事する者は，委員会のすべての委員に審査結果を報告しなければならない。

（経過報告）

第１３条　委員会が必要と認めたときは，研究等が実施の途中であっても，当該研究等について経過報告を求めることができる。

２　研究責任者は，毎年１２月末日までに，試料・情報の保管及び廃棄について，別に定め

る試料・情報保管・廃棄報告書により委員会に報告しなければならない。

３　研究責任者が前項の報告を実施できない場合は，指導教員又は試料・情報の管理責任者が当該報告を行わなければならない。

（実施計画の変更）

第１４条　研究責任者が実施計画を変更しようとするときは，倫理審査申請書により委員会に申請しなければならない。

２　委員会は，前項の研究計画の変更について，倫理的観点及び科学的観点から必要な調査を行い，当該研究に対し必要な意見を述べるものとする。

（研究等の終了又は中止の報告）

第１５条　研究責任者は，研究等を終了し，又は中止したときは，別に定める研究終了・中止報告書を委員会に提出しなければならない。

２　前項の報告書を提出する際は，試料・情報の保管及び廃棄の計画を併せて提出しなくてはならない。

３　研究の終了後又は中止後に継続して試料・情報を保管する際には，研究責任者は第１３条第２項に準じ，委員会に報告を行わなくてはならない。

（委員会の審査記録）

第１６条　委員会の審査概要，研究計画，判定結果等は生命医科学域・研究所事務部研究所等支援課が保管する。

２　委員会の審査概要は，生命医科学域・研究所事務部研究所等支援課が作成し，判定結果及び倫理委員名簿と併せて保管する。

３　委員長が特に必要と認めた場合は，研究責任者の同意を得て，研究計画を公開することができる。ただし，公開によって研究対象者等の人権，研究にかかる独創性又は特許権その他の知的財産の保護に支障が生じる恐れがある部分は，非公開とすることができる。

（守秘義務）

第１７条　委員は，審査を行う上で知り得た研究対象者等に関する情報を法令，裁判所の命令等正当な理由なしに漏らしてはならない。また，委員を退いた後も同様とする。

（運営に関する規程等の公開）

第１８条　研究科長は，委員会の組織及び運営に関する規程並びに委員名簿を倫理審査委員会報告システム（以下「システム」という。）において公表しなければならない。

２　研究科長は，年１回以上，委員会の開催状況及び審査の概要について，システムにおいて公表しなければならない。ただし，審査の概要のうち，研究対象者若しくはその代諾者

等（以下「研究対象者等」という。）及びその関係者の人権又は研究責任者及びその関係者の権利利益の保護のため非公開とすることが必要な内容として委員会が判断したものについては，この限りでない。

３　前項に規定するもののほか，研究等の審査に係る書類の公開に関しては，長崎大学情報公開取扱規程（平成１６年規程第２７号）の定めるところによる。

（病原体等を使用する実験等の取扱い）

第１９条　生物学的目的で病原体等を使用する実験及び組換えDNA実験の取扱いについては，それぞれ長崎大学生物災害等防止安全管理規則（平成１６年規則第４２号）及び長崎大学組換えDNA実験安全管理規則（平成１６年規則第４３号）の定めるところによる。

（教育・研修）

第２０条　研究科長は，研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を本研究科の研究責任者が受けることを確保するための措置を講じ，かつ，自らもこれらの教育・研修を受けなければならない。

２　研究責任者は，研究の実施に先立ち，研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を受け，かつ，研究期間中も適宜継続して教育・研修を受けなければならない。

３　委員は，審査及び関連する業務に先立ち，倫理的観点及び科学的観点からの審査等に必要な知識を習得するための教育・研修を受け，かつ，その後も適宜継続して教育・研修を受けなければならない。

（事務）

第２１条　委員会の事務は，生命医科学域・研究所事務部研究所等支援課において処理する。

（規程の改廃）

第２２条　この規程の改廃は，委員会及び長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科運営会議の議を経て行う。

（補則）

第２３条　この規程に定めるもののほか，委員会の運営等に関し必要な事項は，委員会が別に定めることができる。

附　則

１　この規程は，平成２７年４月１日から施行する。

２　この規程の施行後最初に命じられ又は委嘱される委員の任期は，第５条第１項の規定にかかわらず，平成２９年３月３１日までとする。

附　則（平成３０年６月２７日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第２号）

この規程は，平成３０年７月１日から施行する。

附　則（平成３１年４月２６日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第３号）

この規程は，令和元年５月１日から施行する。

附　則（令和元年７月３０日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第２号）

１　この規程は，令和元年８月１日から施行する。

２　この規程の施行後最初に命じられ又は委嘱される委員の任期は,改正後の第５条第１項の規定にかかわらず，令和３年３月３１日までとする。

附　則（令和元年９月３０日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第４号）

この規程は，令和元年１０月１日から施行する。

附　則（令和２年３月６日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第１号）

この規程は，令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和３年６月３０日熱帯医学・グローバルヘルス研究科規程第３号）

この規程は，令和３年６月３０日から施行する。

○長崎大学職員就業規則

平成１６年４月１日
規則第４４号
改正　平成１７年３月３１日規則第１６号
平成１８年３月２４日規則第１０号
平成１９年３月３０日規則第１８号
平成２０年１月１８日規則第１号
平成２０年３月２４日規則第１３号
平成２１年１月２３日規則第１号
平成２１年１１月２７日規則第３０号
平成２２年１月２２日規則第１号
平成２２年３月３１日規則第２２号
平成２４年３月２９日規則第１７号
平成２５年３月２６日規則第５号
平成２５年３月２６日規則第６号
平成２５年３月２６日規則第１５号
平成２６年３月２８日規則第６号
平成２７年２月３日規則第２号
平成２７年３月２７日規則第１５号
平成２８年３月３１日規則第２３号
平成２９年３月３１日規則第１４号
令和元年６月２５日規則第５号
令和２年４月１日規則第１７号
令和３年３月１７日規則第１２号

目次

第１章　総則（第１条―第５条）
第２章　人事
第１節　採用（第６条―第９条）
第２節　昇任及び降任（第１０条・第１１条）
第３節　異動（第１２条・第１３条）
第４節　休職及び派遣（第１４条―第１８条の２）

第５節　退職及び解雇（第１９条―第２８条）
第３章　給与（第２９条）
第４章　服務（第３０条―第３７条の２）
第５章　勤務時間，休日，休暇，休業等（第３８条―第３９条の４）
第６章　職員研修（第４０条）
第７章　賞罰（第４１条―第４４条）
第８章　安全衛生（第４５条）
第９章　旅費（第４６条）
第１０章　福利・厚生（第４７条・第４７条の２）
第１１章　災害補償（第４８条・第４９条）
第１２章　退職手当（第５０条）
附則

第１章　総則

（趣旨）

第１条　この規則は，労働基準法（昭和２２年法律第４９号。以下「労基法」という。）第８９条の規定に基づき，長崎大学（以下「本学」という。）に勤務する職員の就業に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この規則において，次の各号に掲げる用語の意義は，当該各号に定めるところによる。

(1)　職員　本学に勤務する船員を除くすべての者をいう。

(2)　教育職員　本学の教授，准教授，講師（常時勤務する者に限る。以下同じ。），助教，助手，校長，園長，教頭，主幹教諭，教諭，養護教諭，栄養教諭，特命教授，特命准教授，特命講師及び特命助教の職にある者をいう。

(3)　外国人研究員　本学における学術研究の推進を図ることを目的として，熱帯医学研究所及び原爆後障害医療研究所において共同研究等に参画させるため，本学が招へいし，契約により研究員として雇用する外国人をいう。

(4)　フルタイマー　本学に勤務する常時勤務を要しない職員のうち，１週間の勤務時間が３８時間４５分又は３１時間で，かつ，１日の勤務時間が７時間４５分と定められている者をいう。

(5)　パートタイマー　本学に勤務する常時勤務を要しない職員のうち，１週間の勤務時

間が３０時間を超えない範囲内で定められている者をいう。

（適用範囲）

第３条　この規則の規定は，本学の職員（次項に規定する職員を除く。）に適用する。

２　第６条第２項の規定により期間を定めて雇用される職員，労働契約法（平成１９年法律第１２８号）第１８条第１項に規定する期間の定めのない労働契約により雇用される職員，第２２条の規定により再雇用される職員，外国人研究員，フルタイマー及びパートタイマーの就業については，別に定める。

（他の法令との関係）

第４条　この規則に定めのない事項については，労基法，労働契約法その他関係法令及び諸規程の定めるところによる。

（本学等の責務）

第５条　本学及び職員は，それぞれの立場でこの規則を遵守しなければならない。

第２章　人事

第１節　採用

（採用の方法等）

第６条　職員の採用は，選考によるものとする。

２　学長は，前項により職員を採用するに当たって本学の教育研究上又は管理運営上必要と認める場合は，労基法第１４条の規定に基づき，労働契約により期間を定めて雇用することができる。

（労働条件の明示）

第７条　学長は，職員の採用に際しては，採用をしようとする者に対し，あらかじめ次に掲げる事項を記載した文書を交付しなければならない。

(1)　労働契約の期間に関する事項

(2)　期間の定めのある労働契約を更新する場合の基準に関する事項

(3)　就業の場所及び従事する業務に関する事項

(4)　始業及び終業の時刻，所定労働時間を超える労働の有無，休憩時間，休日並びに休暇に関する事項

(5)　給与に関する事項

(6)　退職に関する事項

（採用時の提出書類）

第８条　職員に採用された者は，次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

(1)　履歴書

(2)　資格に関する証明

(3)　その他学長が必要と認める書類

２　前項の提出書類の記載事項に変更が生じたときは,速やかに書面で学長に届け出なければならない。

（試用期間）

第９条　新たに採用した職員には，採用の日から６月（附属学校の教諭に採用した場合にあっては，１年）の試用期間を設ける。ただし，国，都道府県その他関係団体の職員から引き続き本学の職員となった者で学長が適当と認めるときは，当該期間を短縮し，又は設けないことがある。

２　試用期間中に職員として不適格と学長が認めるときは，解雇することがある。

３　試用期間は，勤続年数に通算する。

第２節　昇任及び降任

（昇任の方法）

第１０条　職員の昇任は，選考によるものとする。

２　前項の選考は，その職員の勤務成績等に基づいて行う。

（降任）

第１１条　学長は，職員が次の各号の一に該当する場合においては，長崎大学人事委員会規則（平成１６年規則第３６号）に定める人事委員会（以下「人事委員会」という。）の審議を経た後，職員の意に反して，これを降任することができる。

(1)　勤務実績がよくない場合

(2)　心身の故障のため，職務の遂行に支障があり，又はこれに堪えない場合

(3)　その他職員として必要な適性を欠く場合

２　教授，准教授，講師（常時勤務する者に限る。），助教及び助手（以下「大学教員」という。）については，人事委員会の審議を経た後，国立大学法人長崎大学基本規則（平成１６年規則第１号）第２８条に規定する教育研究評議会（以下「教育研究評議会」という。）の審議を経なければならない。

第３節　異動

（人事異動）

第１２条　職員は，業務上の都合により配置換，兼務又は出向を命ぜられることがある。ただし，大学教員は，教育研究評議会の審議を経なければ，その意に反して配置換又は出向

を命ぜられることはない。

２　前項に規定する異動を命ぜられた職員は，正当な理由がない限り拒むことができない。

（赴任）

第１３条　赴任の命令を受けた職員は，その辞令を受けた日から，住居移転を伴わない赴任にあっては即日，住居移転を伴う赴任にあっては７日以内に赴任しなければならない。ただし，やむを得ない理由により定められた期間内に新任地に赴任できないことについて，新任地の上司の承認を得たときは，この限りでない。

第４節　休職及び派遣

（休職）

第１４条　学長は，職員が次の各号の一に該当する場合においては，これを休職にすることができる。

(1)　心身の故障のため，長期の休養を要する場合

(2)　刑事事件に関し起訴された場合

(3)　学校，研究所，病院その他学長が認める公共的施設において，その職員の職務に関連があると認められる学術に関する事項の調査，研究若しくは指導に従事し，又は学長が認める国際事情の調査等の業務に従事する場合

(4)　科学技術に関する国及び独立行政法人と共同して行われる研究又は国若しくは独立行政法人の委託を受けて行われる研究に係る業務であって，その職員の職務に関連があると認められるものに，前号に掲げる施設又は学長が当該研究に関し指定する施設において従事する場合

(5)　研究成果活用企業の役員（監査役を除く。），顧問又は評議員（以下「役員等」という。）の職を兼ねる場合において，主として当該役員等の職務に従事する必要があり，大学の職務に従事することができない場合

(6)　労働組合業務に専従する場合

(7)　水難，火災その他の災害により，生死不明又は所在不明となった場合

(8)　その他特別の事由により休職にすることが適当と学長が認める場合

２　試用期間中の職員については，前項の規定を適用しない。

（休職の期間）

第１５条　前条第１項第１号の規定による休職の期間は，休養を要する程度に応じ，第３号及び第５号並びに第７号及び第８号の規定による休職の期間は，必要に応じ，いずれも３年を超えない範囲内において，それぞれ個々の場合について，人事委員会の審議を経た後，

学長が定める。この休職の期間が３年に満たない場合においては，休職にした日から引き続き３年を超えない範囲内において，人事委員会の審議を経た後，これを更新することができる。ただし，前条第１項第１号の規定による休職の期間又はこれを更新する期間を定める場合は，当該休職にされる職員の同意があるときは，人事委員会の審議を省略するものとする。

２　前項の規定にかかわらず，校長，園長，教頭，主幹教諭，教諭，養護教諭，栄養教諭及び附属学校に勤務する事務職員が結核性疾患のため長期の休養を要する場合の休職の期間は，２年とする。ただし，学長が特に必要があると認めるときは，その休職の期間を３年まで延長することができる。

３　第１項の規定の適用については，前条第１項第１号の規定による休職にされた職員が，復職をした日から１年に達する日までの間に，同一の傷病又はその傷病に起因する傷病により再度の休職にされたときは，当該再度の休職の期間は，復職前の休職の期間に引き続いているものとみなす。

４　前条第１項第２号の規定による休職の期間は，その事件が裁判所に係属する間とする。

５　前条第１項第４号及び第６号の規定による休職の期間は，必要に応じ，５年を超えない範囲内において，学長が定める。この休職の期間が５年に満たない場合においては，前条第１項第６号の規定による休職の期間を除き，休職にした日から引き続き５年を超えない範囲内において，これを更新することができる。

６　前条第１項第３号及び第５号の規定による休職の期間が引き続き３年に達する際，学長が特に必要があると認めるときは，２年を超えない範囲内において，休職の期間を更新することができる。この更新した休職の期間が２年に満たない場合においては，学長は，必要に応じ，その期間の初日から起算して２年を超えない範囲内において，再度これを更新することができる。

７　前条第１項第４号の規定による休職及び前項の規定に基づく前条第１項第５号の規定による休職の期間が引き続き５年に達する際，学長が特に必要があると認めるときは，必要と認める期間これを更新することができる。

（休職に関する説明書の交付）

第１６条　職員を休職にする場合には，事由を記載した説明書を交付して行うものとする。ただし，職員から同意書の提出があった場合には，この限りでない。

（復職）

第１７条　学長は，第１５条に規定する休職の期間を満了するまでに休職事由が消滅したと

認めるときは，復職を命じる。ただし，第１４条第１項第１号の規定による休職については，休職の期間を満了するまでに職員が復職を願い出て，産業医が休職事由が消滅したと認める場合に限り，復職を命じる。

２　前項の場合において，学長は，原則として，休職前の職場に復帰させる。ただし，心身の条件等を考慮し，他の職場に復帰させることがある。

（休職中の身分及び給与）

第１８条　休職者は，職員としての身分を保有するが，職務に従事しない。

２　休職者は，その休職の期間中，長崎大学職員給与規程（平成１６年規程第４７号）で別段の定めをしない限り，何らの給与も支給されない。

（派遣）

第１８条の２　学長は，国際協力等の目的でわが国が加盟している国際機関，外国政府の機関等からの要請に応じ，これらの機関の業務に従事させるため，職員を５年を超えない範囲内において，派遣することができる。ただし，学長が必要と認めるときは，５年を超えることができる。

２　前項の規定により派遣された職員は，その派遣期間中，職員としての身分を保有するが，職務に従事しない。

第５節　退職及び解雇

（退職）

第１９条　職員は，次の各号の一に該当するときは，退職とし，職員としての身分を失う。

(1)　辞職を願い出て，学長から承認されたとき。

(2)　定年に達したとき。

(3)　期間を定めて雇用された場合において，その期間が満了したとき。

(4)　休職期間が満了し，休職事由がなお消滅しないとき。

(5)　死亡したとき。

(6)　公職選挙法（昭和２５年法律第１００号）第３条に規定する公職の候補者となったとき。

（辞職）

第２０条　職員が辞職しようとするときは，辞職を予定する日の３０日前までに，学長に文書をもって願い出なければならない。

２　職員は，辞職願を提出した場合にあっても，退職するまでは，従来の職務に従事しなければならない。

（定年による退職）

第２１条　職員の定年は，年齢６０年とする。ただし，次の各号に掲げる職員の定年は，当該各号に定める年齢とする。

(1)　大学教員　年齢６５年

(2)　守衛，作業員及び消毒夫　年齢６３年

２　職員は，定年に達したときは，定年に達した日以後における最初の３月３１日に退職する。

（定年退職者の再雇用）

第２２条　学長は，前条の規定により退職した者（大学教員を除く。）については，１年を超えない範囲内で任期を定め，再雇用することができる。ただし，その者が再雇用しようとする職に係る定年に達していないとき又は次条若しくは第２４条第１項に規定する解雇事由に該当するときは，この限りでない。

（当然解雇）

第２３条　学長は，職員が禁錮以上の刑に処せられた場合においては，これを解雇する。

（その他の解雇）

第２４条　学長は，職員が次の各号の一に該当する場合においては，人事委員会の審議を経た後，これを解雇することができる。

(1)　勤務実績が著しくよくない場合

(2)　心身の故障のため，職務の遂行に著しく支障があり，又はこれに堪えない場合

(3)　その他職員として必要な適性を欠く場合

(4)　事業活動の縮小により剰員を生じ，配置換等が不可能な場合

(5)　天災事変その他やむを得ない事由により本学の事業継続が不可能となった場合

２　大学教員にあっては，前項第５号に該当する場合を除き，人事委員会の審議を経た後，教育研究評議会の審議を経なければならない。

（解雇制限）

第２５条　第２３条及び前条第１項第１号から第４号までの各号の一に該当する場合にあっても，次の各号の一に該当する期間は，解雇しない。ただし，第１号の場合において，療養開始後３年を経過しても負傷又は疾病がなおらず，労働者災害補償保険法（昭和２２年法律第５０号。以下「労災法」という。）第１８条の規定による傷病補償年金を受ける場合は，この限りでない。

(1)　業務上負傷し，又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後３０日間

(2)　産前産後の女性の職員が長崎大学職員の勤務時間，休日，休暇等に関する規程（平成１６年規程第４２号)第２６条第６号及び第７号の規定による休暇を取得している期間及びその後３０日間

２　学長は,前条第１項第１号から第４号までの各号の一に該当する者を解雇しようとする場合にあっても，その解雇が客観的に合理的な理由を欠き，社会通念上相当であると認められない場合は，これを解雇してはならない。

（解雇予告）

第２６条　学長は，第２３条及び第２４条の規定により職員を解雇する場合は，少なくとも３０日前に本人に予告をするか，又は平均賃金の３０日分以上の解雇予告手当を支払う。ただし，試用期間中の職員（１４日を超えて引き続き雇用された者を除く。）を解雇する場合又は所轄労働基準監督署の認定を受けた場合は，この限りでない。

（退職者の守秘義務）

第２７条　退職者（解雇された者を含む。以下同じ。）は，在職中に知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

（退職証明書）

第２８条　学長は,退職者が退職証明書の交付を請求した場合は,遅滞なくこれを交付する。

２　前項の証明書に記載する事項は，次のとおりとする。

(1)　雇用期間

(2)　業務の種類

(3)　その事業における地位

(4)　給与

(5)　退職の事由（解雇の場合は，その理由）

３　前項の証明書には，退職者が請求した事項のみを記載するものとする。

第３章　給与

（給与）

第２９条　職員の給与の決定，計算，支払方法等については，長崎大学職員給与規程（平成１６年規程第４７号）の定めるところによる。

２　前項の規定にかかわらず,職員でその給与を年俸制とする者の給与の決定，支給等は別に定める。

第４章　服務

（誠実義務）

第３０条　職員は，学長の指示命令を守り，職務上の責任を自覚し，誠実かつ公正に職務を遂行するよう努めなければならない。

２　職員は，本学の産学連携活動等において利益相反及び責務相反の行為を行ってはならない。

（職務専念義務）

第３１条　職員は，この規則又は関係法令の定める場合を除いては，その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い，本学がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。

（職務専念義務の免除期間）

第３２条　職員は，次の各号の一に該当する期間，職務専念義務を免除される。

(1)　勤務時間内にレクリエーションに参加することを承認された期間

(2)　勤務時間内に組合交渉に参加することを承認された期間

(3)　雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（昭和４７年法律第１１３号。以下「均等法」という。）第１２条の規定に基づき，勤務時間内に健康診査を受けることを承認された期間

(4)　均等法第１３条の規定に基づき，通勤緩和により勤務しないことを承認された期間

(5)　勤務時間内に総合的な健康診査を受けることを承認された期間

(6)　その他特別の事由により職務専念義務を免除することが適当と学長が認める期間

（職場規律）

第３３条　職員は，上司の職務上の指示に従い，職場の秩序を保持し，互いに協力してその職務を遂行しなければならない。

（遵守事項）

第３４条　職員は，次の事項を守らなければならない。

(1)　職務の内外を問わず，本学の信用を傷つけ，又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

(2)　職務上知ることのできた秘密又は個人情報を他に漏らしてはならない。

(3)　常に公私の別を明らかにし，その職務や地位を私的利用のために用いてはならない。

(4)　本学の敷地及び施設内（以下「本学内」という。）で，喧騒行為その他の秩序又は風紀を乱す行為をしてはならない。

(5)　学長の許可なく，本学内で，職務に関係のない放送，宣伝，集会又は文書画の配布，回覧若しくは掲示の行為等（電子媒体及び情報機器を用いて行う行為を含み，労働組合

法（昭和２４年法律第１７４号）により正当な行為として認められるものを除く。）をしてはならない。

(6)　学長の許可なく，本学内で営利を目的とする金品の貸借，物品の売買等を行ってはならない。

（職員の倫理）

第３５条　職員が遵守すべき職務に係る倫理原則及び倫理の保持を図るために必要な事項については，長崎大学職員倫理規程（平成１６年規程第４６号）の定めるところによる。

（ハラスメントの防止に関する責務）

第３６条　職員は,学長の定める指針及び長崎大学におけるハラスメントの防止等に関する規則（平成１６年規則第３７号）に従い，ハラスメントをしてはならない。

（兼業の制限）

第３７条　職員は，学長の許可を受けた場合でなければ，事業を営み，又は他の業務に従事してはならない。

２　職員の兼業の許可手続等については,長崎大学職員兼業規程(平成１６年規程第４５号)の定めるところによる。

（出張）

第３７条の２　職員は，業務上必要がある場合は，出張を命ぜられることがある。

２　前項の出張を命ぜられた職員は，当該出張を終えたときは，所定の様式により，速やかに当該出張を命じた者に届け出なければならない。

第５章　勤務時間，休日，休暇，休業等

（勤務時間等）

第３８条　職員の勤務時間，休日，休暇等については，長崎大学職員の勤務時間，休日，休暇等に関する規程（平成１６年規程第４２号）の定めるところによる。

（育児休業）

第３９条　職員のうち３歳に満たない子の養育を必要とする者は,学長に申し出て育児休業の適用を受けることができる。

２　育児休業期間が終了したときは，当該育児休業に係る職員は，育児休業前の職に復帰するものとする。

３　育児休業をしている職員は，職員としての身分を保有するが，職務に従事しない。

４　育児休業をしている期間については，給与を支給しない。

５　育児休業の対象者，手続等については，長崎大学職員の育児休業等に関する規程（平成

１６年規程第４３号）の定めるところによる。

（自己啓発等休業）

第３９条の２　学長は,職員としての在職期間が２年以上である職員が大学等における修学,学術に関する調査若しくは研究又は国際貢献活動のための休業（以下「自己啓発等休業」という。）を請求した場合において業務の運営に支障がないと認めるときは，３年を超えない範囲内の期間に限り,当該職員が自己啓発等休業をすることを承認することができる。

２　前項の職員には,自己啓発等休業から職務復帰後５年以上本学に在職することが見込まれない者は含まない。

３　自己啓発等休業をしている職員は,職員としての身分を保有するが,職務に従事しない。

４　自己啓発等休業をしている期間については，給与を支給しない。

（大学院修学休業）

第３９条の３　学長は，教育学部附属学校の主幹教諭，教諭，養護教諭及び栄養教諭が大学院の課程等に在学してその課程を履修するための休業（以下「大学院修学休業」という。）を請求した場合において業務の運営に支障がないと認めるときは,３年を超えない範囲内の期間に限り，当該職員が大学院修学休業をすることを承認することができる。

２　大学院修学休業をしている職員は,職員としての身分を保有するが,職務に従事しない。

３　大学院修学休業をしている期間については，給与を支給しない。

（配偶者同行休業）

第３９条の４　学長は，職員（試用期間中の者を除く。）が外国で勤務等をする配偶者と生活を共にすることを可能とする休業（以下「配偶者同行休業」という。）を請求した場合において,業務の運営に支障がないと認めるときは,３年を超えない範囲内の期間に限り,当該職員が配偶者同行休業をすることを承認することができる。

２　配偶者同行休業をしている職員は,職員としての身分を保有するが,職務に従事しない。

３　配偶者同行休業をしている期間については，給与を支給しない。

第６章　職員研修

（職員研修）

第４０条　職員は，業務上必要がある場合は，研修を命ぜられることがある。

２　職員は，本務に支障のない場合において，学長の承認を受けて，勤務場所を離れて研修を行うことができる。

第７章　賞罰

（表彰）

第４１条　学長は，職員が次の各号の一に該当する場合においては，これを表彰する。

(1)　永年にわたり本学等に勤務し，かつ，その勤務成績が良好な場合

(2)　本学の名誉を高める行為又は職員の模範となる善行を行った場合

(3)　その他学長が必要と認める場合

２　前項の規定による表彰については，長崎大学表彰規程（平成１６年規程第５０号）の定めるところによる。

（懲戒）

第４２条　職員の懲戒処分については，長崎大学職員懲戒規程（平成１６年規程第４４号）の定めるところによる。

（訓告等）

第４３条　前条の懲戒処分のほか，服務を厳正にし，規律を保持する必要があるときは，訓告又は厳重注意を行う。

（損害賠償）

第４４条　職員が故意又は重大な過失により本学に損害を与えた場合は,前２条に規定する懲戒処分又は訓告等を行うほか，その損害の全部又は一部を賠償させるものとする。

第８章　安全衛生

（安全衛生管理）

第４５条　職員は，安全，衛生及び健康確保について，労働安全衛生法（昭和４７年法律第５７号）その他関係法令のほか，学長の指示を守るとともに，本学が行う安全，衛生及び健康確保に関する措置に協力しなければならない。

２　学長は，職員の健康増進及び危険防止のために必要な措置をとらなければならない。

３　職員の安全衛生管理に関する具体的措置については，長崎大学安全衛生管理規則（平成１６年規則第３８号）の定めるところによる。

第９章　旅費

（旅費）

第４６条　職員が出張又は赴任を命ぜられた場合の旅費については，長崎大学旅費規程（平成２４年規程第６号）の定めるところによる。

第１０章　福利・厚生

（宿舎利用基準）

第４７条　職員の宿舎の利用については，長崎大学職員宿舎管理規程（平成１６年規程第８８号）の定めるところによる。

（保育園利用基準）

第４７条の２　職員の保育園の利用については，長崎大学文教おもやい保育園規程（平成２９年規程第２号）及び長崎大学病院あじさい保育園規程（平成２１年病院規程第１８号）の定めるところによる。

第１１章　災害補償

（業務上の災害補償）

第４８条　職員の業務上の災害補償については，労災法及び長崎大学職員災害補償規程（平成１６年規程第１４９号）の定めるところによる。

（通勤途上の災害補償）

第４９条　職員の通勤途上における災害補償については，労災法及び長崎大学職員災害補償規程（平成１６年規程第１４９号）の定めるところによる。

第１２章　退職手当

（退職手当）

第５０条　職員の退職手当については，長崎大学職員退職手当規程（平成１６年規程第４８号）の定めるところによる。

附　則

この規則は，平成１６年４月１日から施行する。

附　則（平成１７年３月３１日規則第１６号）

この規則は，平成１７年４月１日から施行する。

附　則（平成１８年３月２４日規則第１０号）

この規則は，平成１８年４月１日から施行する。

附　則（平成１９年３月３０日規則第１８号）抄

１　この規則は，平成１９年４月１日から施行する。

附　則（平成２０年１月１８日規則第１号）

この規則は，平成２０年１月１８日から施行する。

附　則（平成２０年３月２４日規則第１３号）

この規則は，平成２０年３月２４日から施行する。ただし，第２条第５号及び第３条第２項の改正規定は，平成２０年４月１日から施行する。

附　則（平成２１年１月２３日規則第１号）

この規則は，平成２１年２月１日から施行する。

附　則（平成２１年１１月２７日規則第３０号）

この規則は，平成２１年１２月１日から施行する。

附　則（平成２２年１月２２日規則第１号）

この規則は，平成２２年１月２２日から施行する。

附　則（平成２２年３月３１日規則第２２号）

この規則は，平成２２年４月１日から施行する。

附　則（平成２４年３月２９日規則第１７号）抄

１　この規則は，平成２４年４月１日から施行する。

２　この規則の施行前に長崎大学職員就業規則第１４条第１項第１号の規定に該当するものとしてなされた休職の期間の取扱いについては，なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２６日規則第５号）抄

１　この規則は，平成２５年４月１日から施行する。

附　則（平成２５年３月２６日規則第６号）

この規則は，平成２５年４月１日から施行する。

附　則（平成２５年３月２６日規則第１５号）抄

１　この規則は，平成２５年４月１日から施行する。

附　則（平成２６年３月２８日規則第６号）

この規則は，平成２６年４月１日から施行する。

附　則（平成２７年２月３日規則第２号）

この規則は，平成２７年２月３日から施行する。

附　則（平成２７年３月２７日規則第１５号）

この規則は，平成２７年４月１日から施行する。

附　則（平成２８年３月３１日規則第２３号）

この規則は，平成２８年４月１日から施行する。

附　則（平成２９年３月３１日規則第１４号）

この規則は，平成２９年４月１日から施行する。

附　則（令和元年６月２５日規則第５号）

この規則は，令和元年７月１日から施行する。

附　則（令和２年４月１日規則第１７号）

この規則は，令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和３年３月１７日規則第１２号）

この規則は，令和３年４月１日から施行する。

○長崎大学有期雇用職員就業規則

平成１７年３月３１日
規則第２１号
改正　平成１８年３月２４日規則第１２号
平成２０年３月２７日規則第１９号
平成２１年９月２５日規則第２７号
平成２３年３月２９日規則第１８号
平成２５年３月２６日規則第９号
平成２６年３月２８日規則第９号
平成３０年３月３０日規則第１７号
令和元年１２月９日規則第３０号
令和２年４月１日規則第１７号

目次

第１章　総則（第１条・第２条）
第２章　人事（第３条―第１４条）
第３章　給与（第１５条）
第４章　雑則（第１６条―第１８条）
附則

第１章　総則

（趣旨）

第１条　この規則は，長崎大学職員就業規則（平成１６年規則第４４号。以下「職員就業規則」という。）第３条第２項の規定に基づき，職員就業規則第６条第２項の規定により長崎大学（以下「本学」という。）に期間を定めて雇用される職員（以下「有期雇用職員」という。）の就業に関し必要な事項を定めるものとする。

２　この規則に定めのない事項については，労働基準法（昭和２２年法律第４９号。以下「労基法」という。），労働契約法（平成１９年法律第１２８号。以下「労働契約法」という。），科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律（平成２０年法律第６３号）その他関係法令及び諸規程の定めるところによる。

（本学等の責務）

第２条　本学及び有期雇用職員は，それぞれの立場でこの規則を遵守しなければならない。

第２章　人事

（採用の方法）

第３条　有期雇用職員の採用は，選考によるものとする。

（労働契約の期間等）

第４条　労働契約の期間は，労基法第１４条の規定に基づき，５年の範囲内で個々の有期雇用職員ごとに定める。

２　労働契約は，更新することができる。ただし，第１１条及び第１２条に規定する場合のほか，その業務を必要としなくなったときは，労働契約を更新しない。

３　前２項に定めるもののほか，職員就業規則第２１条第１項に規定する定年年齢に相当する年齢に達した者については，当該日以降に到来する最初の３月３１日を超えて，労働契約を締結し，又は更新することができない。ただし，学長が特に必要と認めた場合は，この限りでない。

（労働条件の明示）

第５条　学長は，有期雇用職員の採用に際しては，採用をしようとする者に対し，あらかじめ次に掲げる事項を記載した文書を交付しなければならない。

(1)　労働契約の期間に関する事項

(2)　期間の定めのある労働契約を更新する場合の基準に関する事項

(3)　就業の場所及び従事する業務に関する事項

(4)　始業及び終業の時刻，所定労働時間を超える労働の有無，休憩時間，休日並びに休暇に関する事項

(5)　給与に関する事項

(6)　退職に関する事項

（採用時の提出書類）

第６条　有期雇用職員に採用された者は，次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。

(1)　履歴書

(2)　資格に関する証明

(3)　その他学長が必要と認める書類

２　前項の提出書類の記載事項に変更が生じたときは，速やかに書面で学長に届け出なければならない。

（試用期間）

第７条　新たに採用した有期雇用職員には，採用の日から６月の試用期間を設ける。ただし，学長が適当と認めるときは，当該期間を短縮し，又は設けないことがある。

２　試用期間中に有期雇用職員として不適格と学長が認めるときは，解雇することがある。

３　試用期間は，勤続年数に通算する。

（赴任）

第８条　赴任の命令を受けた有期雇用職員は，その辞令を受けた日から，住居移転を伴わない赴任にあっては即日，住居移転を伴う赴任にあっては７日以内に赴任しなければならない。ただし，やむを得ない理由により定められた期間内に新任地に赴任できないことについて，新任地の上司の承認を得たときは，この限りでない。

（退職）

第９条　有期雇用職員は，次の各号の一に該当するときは，退職とし，有期雇用職員としての身分を失う。

(1)　労働契約の期間が満了したとき。

(2)　退職を願い出て，学長から承認されたとき。

(3)　休職期間が満了し，休職事由がなお消滅しないとき。

(4)　死亡したとき。

(5)　公職選挙法（昭和２５年法律第１００号）第３条に規定する公職の候補者となったとき。

（退職手続）

第１０条　有期雇用職員は，自己の都合により退職しようとするときは，退職を予定する日の３０日前までに，学長に文書をもって願い出なければならない。

２　有期雇用職員は，退職願を提出した場合にあっても，退職するまでは，従来の職務に従事しなければならない。

（当然解雇）

第１１条　学長は，有期雇用職員が禁錮以上の刑に処せられた場合においては，これを解雇する。

（その他の解雇）

第１２条　学長は，有期雇用職員が次の各号の一に該当する場合においては，人事委員会の審議を経た後，これを解雇することができる。

(1)　勤務実績が著しくよくない場合

(2)　心身の故障のため，職務の遂行に著しく支障があり，又はこれに堪えない場合

(3)　その他職員として必要な適性を欠く場合

(4)　事業活動の縮小により剰員を生じ，配置換等が不可能な場合

(5)　天災事変その他やむを得ない事由により本学の事業継続が不可能となった場合

(6)　外部資金の受入終了，プロジェクト事業等の業務完了等のため，業務を終了せざるを得ない場合

（解雇制限）

第１３条　第１１条並びに前条第１号から第４号まで及び第６号の各号の一に該当する場合にあっても，次の各号の一に該当する期間は，解雇しない。ただし，第１号の場合において，療養開始後３年を経過しても負傷又は疾病がなおらず，労働者災害補償保険法（昭和２２年法律第５０号。以下「労災法」という。）第１８条の規定による傷病補償年金を受ける場合は，この限りでない。

(1)　業務上負傷し，又は疾病にかかり療養のために休業する期間及びその後３０日間

(2)　産前産後の女性の有期雇用職員が長崎大学職員の勤務時間，休日，休暇等に関する規程（平成１６年規程第４２号）第２６条第６号及び第７号の規定による休暇を取得している期間及びその後３０日間

２　学長は，前条第１号から第４号まで及び第６号の各号の一に該当する者を解雇しようとする場合にあっても，その解雇が客観的に合理的な理由を欠き，社会通念上相当であると認められないときは，これを解雇してはならない。

（解雇予告）

第１４条　学長は，第１１条及び第１２条の規定により有期雇用職員を解雇する場合は，少なくとも３０日前に本人に予告をするか，又は平均賃金の３０日分以上の解雇予告手当を支払う。ただし，試用期間中の有期雇用職員（１４日を超えて引き続き雇用された者を除く。）を解雇する場合又は所轄労働基準監督署の認定を受けた場合は，この限りでない。

第３章　給与

（給与）

第１５条　有期雇用職員の給与の決定，計算，支払方法等（次項において「給与決定等」という。）については，長崎大学職員給与規程（平成１６年規程第４７号。次項において「給与規程」という。）の定めるところによる。

２　有期雇用職員の給与決定等について職務内容等を考慮し給与規程の規定によることができないと認められる場合には，前項の規定にかかわらず，学長が認めるところにより，その者の給与決定等をすることができる。

第４章　雑則

（職員就業規則の規定の準用）

第１６条　職員就業規則第１４条から第１８条まで，第２７条，第２８条及び第３０条から第４９条までの規定（第４１条第１項第１号の規定を除く。）は，有期雇用職員について準用する。

２　職員就業規則第５０条の規定は，有期雇用職員のうち次に掲げる者（年俸制対象者その他の前条第２項の規定により給与が決定される者で当該給与に退職手当相当額が含まれるものを除く。）について準用する。

(1)　長崎大学における教育職員のテニュア・トラック制に関する規程（平成２１年規程第４３号）に定めるテニュア・トラック教員

(2)　長崎大学病院診療助教取扱規程（平成２１年規程第４５号）に定める診療助教

３　職員就業規則第１８条の２の規定は，有期雇用職員のうち学長が別に定める者について準用する。

（無期労働契約の締結の申込み）

第１７条　労働契約法第１８条第１項に規定する期間の定めのない労働契約の締結の申込みは，労働契約の期間の満了日の３０日前までに行うものとする。

（補則）

第１８条　この規則に定めるもののほか，必要な事項については，別に定める。

附　則

この規則は，平成１７年４月１日から施行する。

附　則（平成１８年３月２４日規則第１２号）

この規則は，平成１８年４月１日から施行する。

附　則（平成２０年３月２７日規則第１９号）

この規則は，平成２０年３月２７日から施行する。

附　則（平成２１年９月２５日規則第２７号）

この規則は，平成２１年９月２５日から施行する。

附　則（平成２３年３月２９日規則第１８号）

この規則は，平成２３年３月２９日から施行する。

附　則（平成２５年３月２６日規則第９号）

１　この規則は，平成２５年４月１日から施行する。

２　この規則の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において現に締結している有期労働契約の契約期間が施行日の前日以後に満了する有期雇用職員については，改正後の第４条第２項ただし書の規定にかかわらず，当該満了日の翌日を同項の当初の採用日とみな

して同項の規定を適用する。

附　則（平成２６年３月２８日規則第９号）

この規則は，平成２６年４月１日から施行する。

附　則（平成３０年３月３０日規則第１７号）

この規則は，平成３０年４月１日から施行する。

附　則（令和元年１２月９日規則第３０号）

この規則は，令和元年１２月９日から施行する。

附　則（令和２年４月１日規則第１７号）

この規則は，令和２年４月１日から施行する。

長崎大学大学院プラネタリーヘルス学環（博士後期課程）

学生の確保の見通し等を記載した書類

目　　次

１　学生確保の見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
（１）アンケート調査に基づく分析・・・・・・・・・・・・・・・・・3
① 学生・大学院生を対象としたアンケート結果について・・・・3
② 社会人を対象としたアンケート結果について・・・・・・・・7
③ 学生・社会人を対象としたアンケート結果まとめ・・・・・・7
（２）その他学生確保に繋がる要因・・・・・・・・・・・・・・・・8
（３）学生確保に向けた具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・・9
① 具体的な取り組み状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
② 上記①による効果，反応・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

２　社会的な人材需要の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
（１）アンケート調査に基づく分析・・・・・・・・・・・・・・・・12
（２）その他社会的な人材需要が見込める要因・・・・・・・・・・12

○別添「説明資料」
進学検討者の実受験率を１割と仮定することについて・・・・13
○別添「コメント集」
本学環の設置に関するコメント（学生・社会人）・・・・・・・14
本学環の設置に関するコメント（企業）・・・・・・・・・・・15
○別添「アンケート様式：例」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
○別添「アンケート調査結果：グラフ」・・・・・・・・・・・・・・21

１　学生確保の見通し

長崎大学プラネタリーヘルス学環（以下「本学環」という。）は，長崎大学が次期中期計画の全学的な目標としてプラネタリーヘルスの実現を掲げる中で，その中心的な柱として，ヒトの健康を地球規模課題としてとらえ，その対策を実際の政策として提案し実行できる実務専門家の学位である Doctor of Public Health【博士（公衆衛生学)】（以下「DrPH」という。）を授与することを目的に設置するものである。

人口爆発や産業経済活動の無分別な暴走などを背景に地球全体に拡大する環境問題は，人類のみならず，あらゆる生命に危機的状況をもたらしつつある。こうした状況をできるだけ早期に科学の言葉で理解し，適切な対応策を考察し，政策という言葉で迅速に対応し，強い意志をもって実践できる実務家が，世界機関，グローバル企業，各国政府機関，NPO など様々な領域で求められている。

本学環博士後期課程では，上述の状況を踏まえ，DrPH の基準に合致した能力（コンピテンシー）がいかなるものであるかを理解したうえで，必要な知識，技術，人間性を駆使してエビデンスに基づく政策の策定実施を行い，プラネタリーヘルスの理想のもと，全ての人が心身ともに健康に暮らしていける社会への変革を達成できる人材を養成する高いレベルの教育を実施していくものである。

そこで，具体的な学生確保の見通しを把握するため，学部学生，大学院生及び社会人への Web アンケート調査を実施したところ，表 1 のとおり，1,672 名からの回答が得られた。

＜アンケート回答数＞　　表 1

対象	回答数
学部学生	1,133 名
大学院生	418 名
社会人	121 名
合計	1,672 名

＜入学定員＞ 5 名

（1）アンケート調査に基づく分析

アンケート回答者総数 1,672 名のうち，本学環博士後期課程が設置された場合，表 2 のとおり，「ぜひ進学したい」と回答した者が 68 名，「進学を検討したい」と回答した者が 99 名であった。現在学部学生として在籍中の学生は，即実際の受験者にはなり得ないが，将来的な進学希望者としての推測は可能と考える。

表 2

対象	ぜひ進学したい	進学を検討する
学部学生	13 名	25 名
大学院生	15 名	13 名
社会人	40 名	61 名
合計	68 名	99 名

① 学生・大学院生を対象としたアンケート結果について

学部学生及び大学院生で，本学環博士後期課程へ「ぜひ進学したい」と回答した 28 名（別添「アンケート調査：グラフ」図 5 及び図 11 参照）を博士後期課程への進学が可能となる年次順に並び替えを行い，分析した。

表 3 のとおり，本学環博士後期課程の設置予定である 2022 年は 11 名，2023 年は 4 名，2024 年は 3 名，2026 年は 2 名，2027 年は 8 名が「ぜひ進学したい」と希望していることが分かる。

進学先について明確なビジョンを持つ 2022 年度に進学可能な大学院生と，自身の学生生活が新型コロナウイルスの影響を大きく受けている学部課程 1・2 年生が本学環への進学に高い関心を示しており，中長期的に進学希望者が見込まれることがわかる。

＜「ぜひ進学したい」と回答した 28 名について＞

表 3

年次	回答人数	進学可能な年次
博士･博士後期課程 4 年次生	2 名	2022
博士･博士後期課程 3 年次生	0 名	2022
博士･博士後期課程 2 年次生	3 名	2022
博士･博士後期課程 1 年次生	5 名	2022
修士･博士前期課程 2 年次生	1 名	2022
修士･博士前期課程 1 年次生	4 名	2023
学部課程 6 年生	0 名	2022
学部課程 5 年生	0 名	2023
学部課程 4 年生	3 名	2024
学部課程 3 年生	0 名	2025
学部課程 2 年生	2 名	2026
学部課程 1 年生	8 名	2027
合計	28 名	－

進学可能な年次	**進学希望者人数**
2022	**11 名**
2023	**4 名**
2024	**3 名**
2025	**0 名**
2026	**2 名**
2027	**8 名**
合計	**28 名**

学部学生及び大学院生で，本学環博士後期課程へ「進学を検討したい」と回答した 38 名（別添「アンケート調査：グラフ」図 5 及び図 11 参照）を博士後期課程への進学が可能となる年次順に並び替えを行い，分析した。

表 4 のとおり，本学環博士後期課程設置予定である 2022 年は 13 名，2023 年は 3 名，2024 年は 2 名，2025 年は 2 名，2026 年は 6 名，2027 年は 12 名が進学を検討したいと回答していることが分かる。

また，文部科学省 学校基本調査の調査結果より，博士前期課程修了後，博士後期課程等へ進学する割合が約 1 割であることから，本調査で「進学を検討したい」と回答した者が実際に本学環博士後期課程への進学を志願する割合を 1 割と仮定することとした。（別添「説明資料」参照）

その結果，「進学を検討したい」と回答した者の中から，今後 6 年間で 3 名の進学希望者が見込まれることが分かる。

＜「進学を検討したい」と回答した 38 名について＞

表 4

年次	回答人数	進学可能な年次
博士･博士後期課程 4 年次生	0 名	2022
博士･博士後期課程 3 年次生	2 名	2022
博士･博士後期課程 2 年次生	0 名	2022
博士･博士後期課程 1 年次生	3 名	2022
修士･博士前期課程 2 年次生	6 名	2022
修士･博士前期課程 1 年次生	2 名	2023
学部課程 6 年生	2 名	2022
学部課程 5 年生	1 名	2023
学部課程 4 年生	2 名	2024
学部課程 3 年生	2 名	2025
学部課程 2 年生	6 名	2026
学部課程 1 年生	12 名	2027
合計	38 名	－

進学可能な年次	進学検討者人数①	**進学希望者人数（①×0.1）**
2022	13 名	**1 名**
2023	3 名	**0 名**
2024	2 名	**0 名**
2025	2 名	**0 名**
2026	6 名	**1 名**
2027	12 名	**1 名**
合計	38 名	**3 名**

学部学生，大学院生の「ぜひ進学したい」と回答した者の実数及び「進学を検討したい」と回答した者から算定した人数について，進学希望者数をまとめると，表 5 のとおりとなる。

表 5

進学可能な年次	「ぜひ進学したい」	「進学を検討したい」×0.1	**進学希望者人数合計**
2022	11 名	1 名	**12 名**
2023	4 名	0 名	**4 名**
2024	3 名	0 名	**3 名**
2025	0 名	0 名	**0 名**
2026	2 名	1 名	**3 名**
2027	8 名	1 名	**9 名**
合計	28 名	3 名	**31 名**

② 社会人を対象としたアンケート結果について

社会人で，本学環博士後期課程へ「ぜひ入学・進学したい」「入学・進学を検討したい」と回答した者は，それぞれ 40 名，61 名であった。社会人の本学環博士後期課程への高い関心が伺える結果となった。「入学・進学を検討したい」と回答した者において，実際に本学環博士後期課程への進学を志願する者の割合を 1 割と仮定すると，6 名が志願するものと考える。（別添「説明資料」参照）

表 6 のとおり，「ぜひ入学・進学したい」と回答した 40 名に，上記 6 名を加算した合計 46 名が本学環博士後期課程への進学を志願するものと考える。

社会人の場合，大学在学生と異なり，志願する時期は個々人の状況によるものが大きく，実際の志願を行うタイミングの予測が困難であるため，①学生･大学院生を対象としたアンケートと同様に，今後 6 年間で志願するものと仮定し，6 年で割った人数（7 名）を毎年の進学希望者数として算定した。

表 6

「ぜひ進学したい」	「進学を検討したい」 ×0.1	進学希望者人数 合計
40 名	6 名	46 名

※46÷6≒7.67　今後 6 年に渡り，毎年 7 名程度の進学希望者があるものと推測する。

③ 学生・社会人を対象としたアンケート結果まとめ

学部学生及び大学院生並びに社会人を対象としたアンケート結果から，今後 6 年に渡る志願者数は，表 7 のとおりとなった。募集定員が 5 名であることから，定員を超過する志願者が見込まれることが分かる。

加えて，海外からの進学希望者も十分に想定できるため，表 7 の合計欄を上回る志願者数になるものと判断できる。

表 7

進学可能な年次	学生・ 大学院生	社会人	**合計**
2022	12 名	7 名	**19 名**
2023	4 名	7 名	**11 名**
2024	3 名	7 名	**10 名**
2025	0 名	7 名	**7 名**
2026	3 名	7 名	**10 名**
2027	9 名	7 名	**16 名**
合計	31 名	42 名	**73 名**

（２）その他学生確保に繋がる要因

本学環博士後期課程では，授業を全て英語で実施する。また，国内外の著名な研究者や教員等をプラネタリーヘルス特論講師およびアドバイザリーボードメンバーとして招聘することにより，世界最高水準の博士レベルの教育研究指導を実施することから，外国人留学生の志願者を期待することが出来ると考えられる。

また，社会人を対象としたアンケート結果から，「都内あるいはオンラインベースで受講可能であれば，学位を取得したい」，「もしこの博士課程が設置されるのであれば，リモートでの参加も可能にしてほしい」等の意見があり，長崎大学東京サテライトキャンパス（NCGM サテライト）を利用することで更なる需要が期待できる。（別添「コメント集」参照）

新型コロナウイルス感染拡大によるパンデミック等の状況から，政策の策定と実行を進めることのできる人材がこれから益々強く求められることを背景に，本学環に対するニーズは継続していくものと考えられ，更なる学生確保のための取組を展開してくことにより，本学環博士後期課程を維持していくに足る十分な志願者を長期的かつ安定的に確保することが可能であると判断する。

（３）学生確保に向けた具体的な取組

① 具体的な取組状況

本学環博士後期課程の設置計画が具体化した時点から，学生確保のため，国内外において下記のような取組を行ってきた。

ア）関連機関への周知及び照会
- ・国立国際医療研究センター（NCGM）
- ・国際協力機構（JICA）

イ）関連学会への周知及び照会
- ・一般社団法人　日本熱帯医学会
- ・一般社団法人　日本感染症学会
- ・日本ウイルス学会
- ・日本細菌学会
- ・日本寄生虫学会
- ・日本ワクチン学会
- ・日本アフリカ学会
- ・日本衛生動物学会

ウ）熱帯医学・グローバルヘルス研究科進学説明会開催の際の周知及び照会

エ）本学海外教育研究拠点（ケニア，ベトナム）における周知及び照会

オ）熱帯医学研修課程における周知及び照会

② 上記①による効果，反応

上記①に示したように，種々の学生確保のための取組を行っている。また，本学環と親和性の高い熱帯医学・グローバルヘルス研究科における進学説明会及びその後の志願状況を分析すると，表 8 のとおり，説明会参加者数と次年度志願者数がほぼ同等の数字であり，進学説明会が効果的であることを裏付けている。本学環においても同様に，受験を検討する者に対して充実した内容の説明会を実施することで，効果的な学生確保が可能であると判断する。

＜熱帯医学・グローバルヘルス研究科進学説明会参加者と出願状況＞

表 8

区　分		2016	2017	2018	2019	2020
説明会参加者数		53 名	108 名	81 名	85 名	66 名
次年度志願者数		51 名	74 名	84 名	86 名	※72 名
説明会参加者出身地域	北海道	2 名	7 名	2 名	2 名	0 名
	東　北	1 名	6 名	6 名	3 名	3 名
	関　東	34 名	67 名	46 名	52 名	33 名
	中　部	3 名	1 名	7 名	7 名	6 名
	関　西	7 名	14 名	11 名	8 名	15 名
	中　国	1 名	2 名	1 名	1 名	1 名
	四　国	0 名	1 名	1 名	0 名	0 名
	九州･沖縄	5 名	8 名	5 名	12 名	8 名
	海　外	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名
	地域不明	0 名	1 名	2 名	0 名	0 名

※令和 3 年 4 月 19 日現在の志願者数。

２　社会的な人材需要の見通し

新型コロナウイルスパンデミックや福島第一原子力発電所事故は，緊急性が高い状況であるほど，科学的エビデンスや専門的な考えに基づいて最適な政策を速やかに立案し実施することが困難であることを露呈した。

既存の社会の制度や法，経済活動，人権等が政策の実施実現の障害となりうるうえ，人々の行動変容を促すことも容易ではない。こうした状況下においては，対立する利害や異なる価値観を調整しなければ，科学的に正しい政策の実施は不可能である。

差し迫る地球規模の課題の解決においては，政策立案に関わる実務家に対し，非常に高い専門性とあらゆることを俯瞰的に理解できる高度な能力が求められるようになってきている。また，政策の有効性をシミュレーションし，データを収集して有効性を評価するなど科学的アプローチも求められ，それらを人々へ説明する能力も必要である。さらには，新たな情報テクノロジーに対する知見とその活用能力も求められている。

そこで本学環博士後期課程では，高度専門職業人として，エビデンスに基づく問題解決策を提言し，強いリーダーシップにより対策を実行し，結果を客観的に評価し，世界の公衆衛生の向上に貢献できる人材を養成するため，以下の能力を授与することとしている。

１.保健政策の立案・実行・評価計画を作成することができる。
２.保健政策の関係者（ステークホールダー）を組織することができる，
３.保健政策の運営に必要な事項を説明することができる。
４.過去，現在，将来の保健政策についてその背景，目的，運営方法，ビジョンを説明できる。

現在，保健政策を担う機関，企業等では，このような博士レベルの人材が求められており，修了後の進路や社会での人材需要が十分にあると考えられる。

また，就職先は国内に留まらず，全世界が対象となるものと考えられる。本学環博士後期課程では，国際機関，NGO/NPO の上級職，公官庁における政策担当，企業の高度専門職員等の出口を想定しており，修了生の社会的なニーズは，今後ますます高まっていくものと思われる。

そこで，具体的な人材需要の見通しを把握するため，企業を対象に Web アンケート調査を実施し，表 9 のとおり回答を得た。

＜本学が育成を目指す人材（DrPH）の採用について＞　　表 9

回答企業数	積極的に採用したい	回答割合
42 社	37 社	88.1%

（１）アンケート調査に基づく分析

アンケートで回答を得られた 42 件のうち，「本学が育成を目指す人材（DrPH）を積極的に採用したい」と回答した企業等は，37 社（88.1%）であった。本学環博士後期課程の定員が 5 名であることから，十分な需要があることが分かる。

（２）その他社会的な人材需要が見込める要因

①の企業を対象としたアンケート結果に加え，外務省地球規模課題審議官より，「長崎大学が設置を進めている公衆衛生博士号（DrPH）プログラムは，日本や世界のために極めて重要であると考えている」とコメントがあり，本学環の社会的なニーズの高さを裏付けている。

また，2015 年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」や 2016 年「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」にて提示された「国際的に脅威となる感染症対策の強化に関する基本計画」などはヒトの健康危機管理体制の強化という意味合いを強く含んでおり，今後想定される健康危機を最小限にとどめられるような政策の策定と実行がこれから益々強く求められるものと予想される。さらに，最近では，「保健分野の ODA のあり方を考える特別委員会（委員長：塩崎恭久 衆議院議員）」が 2020 年 11 月に公表した提言書「ポスト・コロナのわが国の国際保健外交：求められる ODA 政策などのパラダイムシフト」において、グローバルヘルスの変化に応える革新的人材の育成強化に力を入れるように求めている。そこでは、多様な専門性と職務経験を持つグローバルヘルス人材を求めており、適性のある優秀な人材を中長期的に育成する仕組みを検討することを提言している。こうした状況から，本学環博士後期課程で育成し，輩出する人材は，今後も社会的需要が継続し，更に向上していくものと考える。

なお，本学環博士後期課程では，連携協力研究科のみならず，国内外の研究機関との連携強化によって，より質の高い人材を育成し，輩出し続けていくことを計画しており，今後も増加する社会的需要にも対応していくこととしている。

また，本学環博士後期課程の授与する学位 Doctor of Public Health は，公衆衛生関連の政策立案及び実施に関する高度職業専門人に与えられる博士号として欧米では広く認められており国際通用性が高い。本学環博士後期課程は，全ての講義・指導を英語で実施することから，就職先は，国内に留まらず，今回アンケート調査を実施していない世界の企業等にもあると考える。さらに，本学環博士後期課程では，留学生を受け入れる可能性が高く，当該留学生は，自国の保健省等の就職も考えられ，本学環の社会的ニーズは高いと判断することができる。

別添「説明資料」

進学検討者の実受験率を１割と仮定することについて

【１】令和２年度

区　　分	人数
令和２年３月　大学院博士前期課程修了者数	73, 813

73,813 名のうち，大学院等への進学者数は「7, 238 名」（修了者の 9. 8%）

【２】令和元年度

区　　分	人数
平成 31 年３月　大学院博士前期課程修了者数	73,169

73,169 名のうち，大学院等への進学者数は「6,981 名」（修了者の 9. 5%）

【３】平成 30 年度

区　　分	人数
平成 30 年３月　大学院博士前期課程修了者数	71,446

71, 446 名のうち，大学院等への進学者数は「6,923 名」（修了者の 9. 7%）

＜文部科学省 学校基本調査より抜粋＞

【１】～【３】のとおり，平成 30 年度～令和２年度の各年度における博士前期課程修了者の大学院等へ進学率は，修了者数の約１割であることが分かる。

アンケート調査において，大学院進学希望者で「プラネタリーヘルス学環博士後期課程への進学を検討したい」と回答した者が，実際に進学を志願する割合について，上記調査結果を基に「1 割」と仮定するものとする。

別添「コメント集」

本学環の設置に関するコメント（学生・社会人）

・私は海外で業務従事する医療従事者ですが，医療の専門性はあるけれども，経済的な分析や情報処理能力，ポリティカルな事象など，包括的に物事を考えアウトプットできる能力が必要であると日々感じています。同様に，貴学が目指すように地球規模の様々な健康問題を包括的にとらえ，解決していく力を持つ人材は今後重要だと思います。
・高度な専門知識と技術を有する実務家の博士人材育成を目指される本プログラムは素晴らしいと思います。小職は水衛生の専門領域を高めつつ，現場で実務を積めるような博士プログラムを日本国内の大学で模索したことがありますが，魅力的なプログラムは見つからず英国で Ph.D.を取得しました。英国には国際・国連機関と共同の Ph.D.研究プログラムが充実していたため，自身もアフリカの数か国で Ph.D.プログラムの研究を国連と共同で進めることができました。実務家の博士人材を育成されるということであれば，こういった機会も提供されることがひいては現場で科学的な根拠に基づいた政策・活動につなげるための能力向上に寄与すると考えます。
・DrPH の育成プログラムが，都内あるいはオンラインベースで受講可能であれば，ぜひこちらで学位を取得したいです。
・遠隔，サテライトで学べるようなシステムを作ってください。
・オンラインコンテンツがあると，場所や時間に縛られずに専門外の情報を得ることができるので，そういうものがあると嬉しいです。
・もしこの博士課程が設置されるのであれば，リモートでの参加も可能にしてほしいです。それであれば，世界中どこにいても継続できるので。よろしくお願いします。
・様々な国から教員を招聘する，または海外在住講師のオンライン講義を開催してほしい。
・このコロナ禍で公衆衛生の大切さを再認識しました。ぜひ、貴学で学びたいです。
・医療現場で働く者です。まさにこういった人材の育成が、今求められていると思います。

本学環の設置に関するコメント（企業）

・地球レベルの視野を持つ公衆衛生実務家育成の必要性は，かつてないほど高まっていると思います。時宜を得た取り組みと思います。
・DrPH は世界的に見ても限られた大学しか出していないので，いまそのコースを設置することは有意義だと思います。
・保健医療の視点を持ち，地球環境の保全をベースに環境の健康，動物の健康，人の健康を考える分野は，今後とても重要になると感じています。
・先進国・途上国の垣根を越えて政策提言し，企業と協働できる人材が必要と考えます。貴大学の取り組みに期待しております。
・Planetary Health という人間と環境両方に重きを置いた包括的なテーマを扱うことに賛同します。社会科学・自然科学双方の視点で，政策や市民とのコミュニケーションを通して効果的に働きかけることができる実務家の育成は，コロナ後もとても大切だと感じます。
・現場での実践力（リーダーシップやマネジメント，チームビルディング，コミュニケーションなど）の育成が今後ますます重要だと思います。
・科学的事実に基づく政策提案の基礎能力を持った人材を育成してほしい。
・国際機関で活躍できる日本人実務家の育成に期待します。
・グローバル公衆衛生についての知見をさらに深めて頂き，国内外でのリーダーシップを発揮できる人材養成を期待しています。
・自然科学（例えば，生物学）・応用科学（例えば，医学・保健学）・社会科学（例えば，経済学・政治学）・人文科学（例えば，哲学，倫理学）的な教養をカバーすることで，現実の問題に立ち向かえる人材の養成をお願いします。
・感染症対策人材（特に疫学，公衆衛生分野）の育成推進，研究結果をプロジェクトに反映させる努力，企業と NPO/NGO を繋げるイノベーティブな役割等を期待しています。
・日本の公衆衛生関連の講座であまり語られない（専門家がいない？）が，人権やジェンダー，ガバナンスなど国際保健の実務で必要な知識をきちんと理解できる人材を育成してほしい。
・国際的な実務を想定するのであれば，公衆衛生でも，政治的文脈（マクロな国際政治及びミクロな現地政治）も理解するための講義が大切であると思います。
・すばらしい試みだと思います。医師会の疾病管理に左右されることなく，エビデンスを常に追求する姿勢をもてるような人材育成に努めてください。
・COVID19 のような世界的パンデミック時にリーダー役割のできる人材を育成してほしい。

別添「アンケート様式：例」

長崎大学が設置予定の、公衆衛生・熱帯感染症対策人材（実務家）の育成に関するアンケートについて

長崎大学では、以下の説明文にあるとおり、令和4年10月に公衆衛生・熱帯感染症対策人材の育成に資する教育プログラムを構築することとしております。ついては、当該プログラムの構築にあたり、学生、教育関係者及び一般の皆様の関心度及び人材育成への期待・要望等についてアンケートを実施しております。

お忙しいところ申し訳ありませんが、説明文を一読の上、以下のアンケートにお答えください。

【 説 明 文 】

○ 設置の趣旨

21世紀を迎えた私たちの地球は、気候変動、環境汚染、新型コロナウイルス感染症に代表される未知の感染症や疾患との闘いに加え、放射線被害、人口問題、食糧問題、格差、ジェンダー、宗教や文化の対立等の多くの地球規模課題を抱えています。
このような状況下において、長崎大学は地球の健康、すなわち「プラネタリーヘルス」の実現という目標を掲げ、地球規模の課題解決に資する人材の育成及び課題解決に向けた研究教育を推進しています。

これまで、本領域の高等教育プログラムとしては、学術研究の博士人材（PhD）育成が主に行われてきましたが、学術研究の成果を保健政策や実践に紐づけることができる、高度な専門知識と技術を有する実務家の博士人材（Doctor of Public Health）の養成は十分とは言えませんでした。
この一例として、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対する危機管理体制の世界的な混乱が挙げられます。各国政府や地方自治体のみならず、WHOを始めとする国際機関においても、その行動指針の策定プロセスには混乱が生じており、科学的エビデンスを解析し政策の策定や実践に効果的につなぐことができる人材が決定的に不足していることが露呈しました。

今回、本学においては、科学的エビデンスを適切に理解し、実効力のある政策を策定し実践に移すことができる国際レベルの人材を育成し、世界的な公衆衛生の向上を図ること目的とした教育プログラムを設置します。

○ 基本情報（予定）

課　　程：博士後期課程（3年間）
学　　位：和名　博士（グローバル公衆衛生学）　英名　Doctor of Public Health
組 織 名：プラネタリーヘルス学環
使用言語：英語による教育
開設時期：令和4年10月

*必須

1. 職種等についてお聞かせください。 *

1つだけマークしてください。

- ◯ 学生　質問 2 にスキップします
- ◯ 営業　質問 3 にスキップします
- ◯ 一般事務　質問 3 にスキップします
- ◯ ＳＥ・プログラマー　質問 3 にスキップします
- ◯ 販売業　質問 3 にスキップします
- ◯ 教育関係　質問 3 にスキップします
- ◯ 研究関係　質問 3 にスキップします
- ◯ 製造業　質問 3 にスキップします
- ◯ 建築関係　質問 3 にスキップします
- ◯ 医療・医薬品関係　質問 3 にスキップします
- ◯ 弁護士・税理士・会計士・司法書士等　質問 3 にスキップします
- ◯ その他: _____

学生

2. 「学生」と答えた方にお聞きします。現在の課程・年次等をお聞かせください。 *

1つだけマークしてください。

- ◯ 高校生
- ◯ 大学１年生
- ◯ 大学２年生
- ◯ 大学3年生
- ◯ 大学4年生
- ◯ 大学5年生
- ◯ 大学6年生
- ◯ 大学院修士・博士前期課程1年生
- ◯ 大学院修士・博士前期課程2年生
- ◯ 大学院博士後期・博士課程1年生
- ◯ 大学院博士後期・博士課程2年生
- ◯ 大学院博士後期・博士課程3年生
- ◯ 博士課程4年生

質問4にスキップします

学生以外

3. 「学生」と答えた方以外に質問です。職業経験年数をお聞かせください。 *

1つだけマークしてください。

- ◯ 3年未満
- ◯ 3年以上5年未満
- ◯ 5年以上10年未満
- ◯ 10年以上

質問4にスキップします

共通

4. 皆様にお聞きします。冒頭の説明文において、長崎大学が育成を目指す人材（DrPH）について説明しましたが、このような人材は必要と思われますか。 *

1つだけマークしてください。

- ◯ 思う
- ◯ 思わない
- ◯ どちらでもない

5. 皆様にお聞きします。現在、大学院への入学、進学又は学びなおしをお考えですか。 *

1つだけマークしてください。

- ◯ 修士・博士前期課程で検討している　質問7にスキップします
- ◯ 博士・博士後期課程で検討している　質問6にスキップします
- ◯ 希望していない　質問7にスキップします

博士・博士後期課程で検討している方

6. 博士・博士後期課程で検討している、と回答した方にお聞きします。冒頭の説明文でご案内した、長崎大学が育成を目指す人材（DrPH）の育成プログラムが設置された場合、同プログラムで学位を取得したいと思いますか。 *

1つだけマークしてください。

- ◯ 思う
- ◯ 思わない
- ◯ 将来的に検討したい

その他

7. 企業・団体・法人の方にお聞きします。冒頭の説明文でご案内した，長崎大学が育成を目指す人材（DrPH）を積極的に採用したいと思いますか。

1つだけマークしてください。

- ◯ 思う
- ◯ 思わない
- ◯ どちらでもない

8. 長崎大学にご意見、ご要望がありましたらお書きください。例：○○に関する講義やセミナーを開催してほしい。○○のような人材を育成してほしい。○○の研究を推進してほしい　等

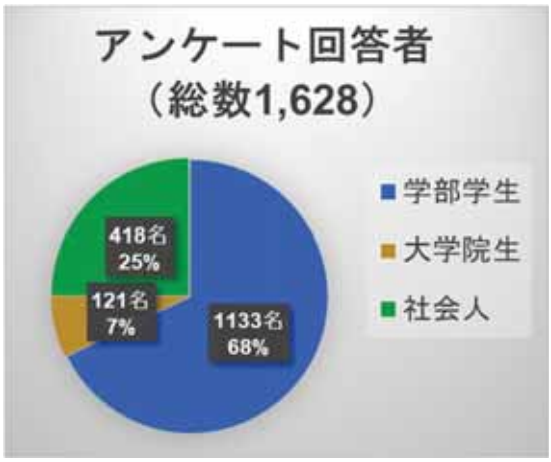
このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

別添「アンケート調査結果：グラフ」

■アンケート調査回答者の概要

（図１）

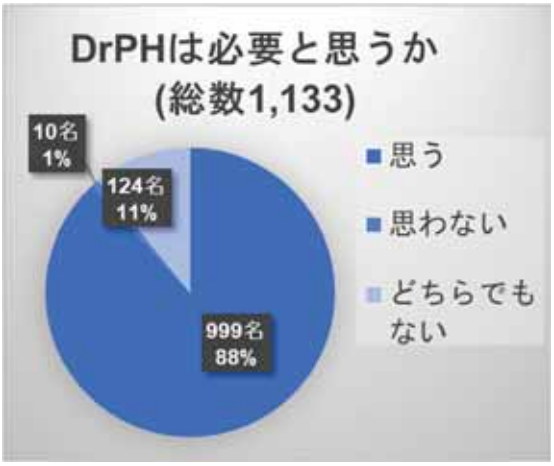


■学部学生：アンケート調査結果

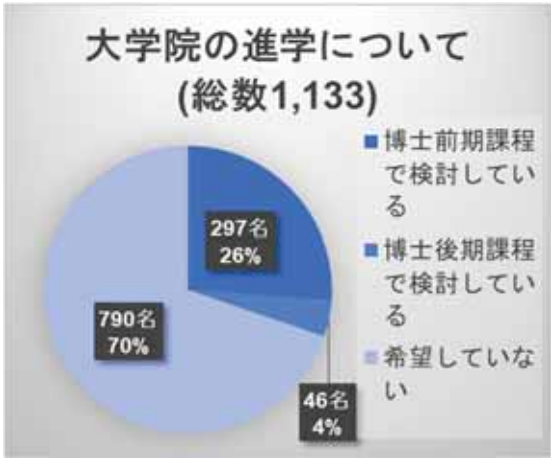
（図２）



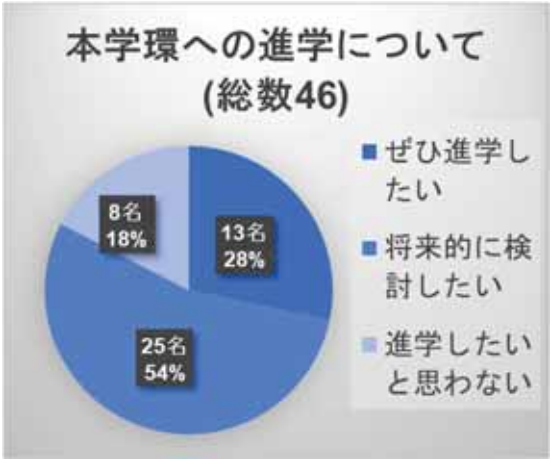
（図３）



（図４）

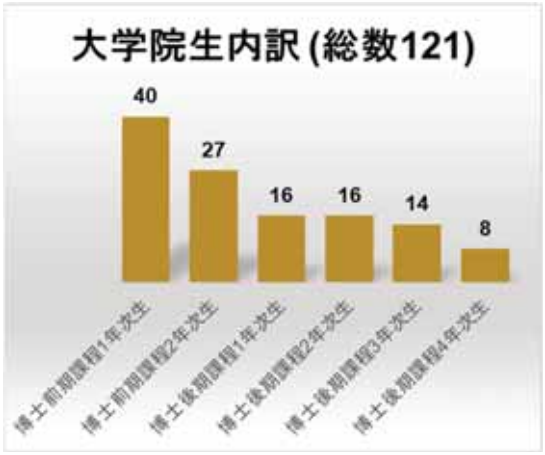


（図５）



■大学院学生：アンケート調査結果

（図６）



（図７）



（図８）



（図９）

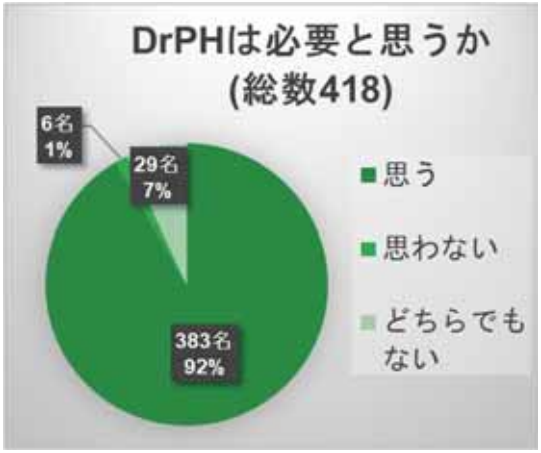


■社会人：アンケート調査結果

（図１０）



（図１１）



（図１２）



（図１３）



■企業：アンケート調査結果

（図１４）



別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
―	学長	コウノ　シゲル 河野　　茂 ＜平成29年10月1日＞		医学博士		長崎大学学長 （平成29.10～令和5.9）

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	キタ　キヨシ 北　潔 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・グローバルヘルスガバナンス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
2	専	教授	ヒラヤマ　ケンジ 平山　謙二 ＜令和4年10月＞		医学博士		・グローバルヘルスガバナンス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.7 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
3	専	教授	カミヤ　ヤスヒコ 神谷　保彦 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・実装科学特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.4 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
4	専	教授	アイガ　ヒロツグ 相賀　裕嗣 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・保健システム特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	2 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
5	専	教授	ワタナベ　チホ 渡辺　知保 ＜令和4年10月＞		保健学博士		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
6	専	教授	アオヤギ　キヨシ 青柳　潔 ＜令和4年10月＞		医学博士		・実務研修 ・プロジェクト演習	1 2-3	2 4	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
7	専	教授	オオニシ　マユミ 大西　眞由美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・実務研修 ・プロジェクト演習	1 2-3	2 4	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
8	専	教授	アリヨシ　コウヤ 有吉　紅也 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・実務研修 ・プロジェクト演習	1 2-3	2 4	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成17年3月)	5日
9	専	教授	カネコ　サトシ 金子　聰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・実務研修 ・プロジェクト演習	1 2-3	2 4	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成17年10月)	5日
10	専	教授	ミナカワ　ノボル 皆川　昇 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (生態学) (米国)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成17年9月)	5日
11	専	教授	ヤマモト　タロウ 山本　太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学) 博士 (国際保健学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成19年10月)	5日
12	専	教授	タカムラ　ノボル 高村　昇 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成20年4月)	5日
13	専	教授	マツダ　ナオキ 松田　尚樹 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成26年10月)	5日
14	専	教授	モジ　カスヒコ 門司　和彦 ＜令和4年10月＞		保健学 博士		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
15	専	教授	タキザワ　カツヒコ 滝澤　克彦 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (令和2年2月)	5日
16	専	教授	マルヤマ　ユキヒロ 丸山　幸宏 ＜令和4年10月＞		博士 (数理学)		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	2 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
17	専	教授	フカウラ　アツユキ 深浦　厚之 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
18	専	教授	オオミネ　キヨシ 大嶺　聖 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
19	専	教授	サカクラ　ヨシタカ 阪倉　良孝 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
20	専	教授	ウエキ　マサオ 植木　優夫 ＜令和4年10月＞		博士 (環境学)		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	2 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日
21	専	教授	モチダ　ケイイチ 持田　恵一 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年4月)	5日
22	専	教授	ヨシダ　フミヒコ 吉田　文彦 ＜令和4年10月＞		国際公共政策博士		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　核兵器廃絶研究センター 教授 (平成28年12月)	5日
23	専	教授	アオキ　ツネノリ 青木　恒憲 ＜令和4年10月＞		Master of Public Health (公衆衛生学) (白国)		・実務研修 ・プロジェクト演習	1 2-3	2 4	1 1	長崎大学　グローバル連携機構 教授 (令和2年4月)	5日
24	専	教授	カミジョウ　ユキコ 上條　由紀子 ＜令和4年10月＞		修士 (工学)		・渉外マネジメント特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.9 2 4	1 1 1	長崎大学　研究開発推進機構 ＦＦＧアントレプレナーシップセンター 教授 (令和元年10月)	5日
25	専	准教授	マツイ　ミツアキ 松井　三明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・組織マネジメント特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.5 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
26	専	准教授	グエン　フイ　ティエン NGUYEN HUY TIEN ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	2 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
27	専	准教授	マルコ　リベラーニ MARCO LIVERRANI ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (社会学) (英国)		・政策過程特論 ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	1 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
28	専	准教授	ナリタ　マキコ 成田　真樹子 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
29	専	准教授	カワムラ　アリノリ 河村　有教 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (令和2年4月)	5日
30	専	准教授	ギュルベヤズ アブドゥルラッハマン GUELBEYAZ ABDURRAHMAN ＜令和4年10月＞		博士 (人間科学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
31	専	准教授	コマツ　サトル 小松　悟 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
32	専	准教授	コンペル　ラドミール COMPEL　RADOMIR ＜令和4年10月＞		博士 (国際経済法学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
33	専	准教授	ホソダ　ナオミ 細田　尚美 ＜令和4年10月＞		博士 (地域研究)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
34	専	准教授	メイソン シャネン リー MASON SHANNON LEE ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (応用言語学) (豪州国)		・渉外マネジメント特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
35	専	准教授	フジオカ　タカヒロ 藤岡　貴浩 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (環境工学) (豪州国)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
36	専	准教授	ニシカワ　タカフミ 西川　貴文 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
37	専	准教授	ササキ　ケンジ 佐々木　謙二 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
38	専	准教授	ソク　サニー 昔　宣希 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
39	専	助教	ヨシオカ　コウタ 吉岡　浩太 ＜令和4年10月＞		Doctor of Public Health (公衆衛生学) (米国)		・保健システム特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	2 1 2-3	0.8 2 4	1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和元年10月)	5日
40	専	助教	サトウ　ミホ 佐藤　美穂 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・実装科学特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
41	専	助教	サークセス　セポソ　テソロ XERXES SEPOSO TESORO ＜令和4年10月＞		博士 (ヒューマン・ケア)		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
42	兼任	講師	クニイ　オサム 國井　修 ＜令和4年10月＞		医学博士		・グローバルヘルスガバナンス特論※	1	0.1	1	グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金） 戦略・投資・効果局長 (平成25年3月)	－
43	兼任	講師	ジョン　エドモンズ JOHN EDMUNDS ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (疫学) (英国)		・政策分析法特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	2 1 2-3	0.2 2 4	1 1 1	ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 教授 (平成20年10月)	－
44	兼任	講師	ハシヅメ　マサヒロ 橋爪　真弘 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	東京大学 教授 (令和元年10月)	－
45	兼任	講師	ヤマシタ　ジュンジ 山下　淳司 ＜令和4年10月＞		修士 (経営学)		・組織マネジメント特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.5 2 4	1 1 1	十八親和銀行地域振興部 (令和3年10月)	－
46	兼任	講師	カミヤ　ユウスケ 神谷　祐介 ＜令和4年10月＞		博士 (国際公共政策)		・実務研修 ・プロジェクト演習	1 2-3	2 4	1 1	龍谷大学 准教授 (平成26年4月)	－
47	兼任	講師	ジャッド　ワルソン JUDD WALSON ＜令和4年10月＞		Master of Public Health (公衆衛生学) (米国)		・実装科学特論※	1	0.4	1	ワシントン大学 教授 (平成30年10月)	－
48	兼任	講師	ビーティー　スリングスビー BT Slingsby ＜令和4年10月＞		Doctor of Medicine (医学) (米国)		・グローバルヘルスガバナンス特論※	1	0.1	1	Catalys Pacific LLC (令和元年6月)	－
49	兼任	講師	クリス　ウン　フック　シェン CHRIS NG FOOK SHENG ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・プラネタリーヘルス特論※ ・実務研修 ・プロジェクト演習	1 1 2-3	0.1 2 4	1 1 1	東京大学 医学系研究科 准教授 (令和3年10月)	－

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	スズキ　タツジロウ 鈴木　達治郎 ＜令和4年10月＞		工学博士		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　核兵器廃絶研究センター 教授 (平成26年4月)	5日
2	専	教授	ヨシダ　フミヒコ 吉田　文彦 ＜令和4年10月＞		国際公共政策博士		・多文化社会学特論Ⅱ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1② 1通 2通 3通	0.4 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　核兵器廃絶研究センター 教授 (平成28年12月)	5日
3	専	教授	モリカワ　ユウジ 森川　裕二 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・多文化社会学特論Ⅱ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1② 1通 2通 3通	0.4 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
4	専	教授	ヨウ　ギョウアン 楊　暁安 ＜令和4年10月＞		文学博士 (中国)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　言語教育研究センター 教授 (平成24年4月)	5日
5	専	教授	ワン　ウェイ 王　維 ＜令和4年10月＞		博士 (文学) (中国)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1① 1通 2通 3通	0.3 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
6	専	教授	イダ　ヨウコ 井田　洋子 ＜令和4年10月＞		法学修士		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
7	専	教授	ニシハラ　トシアキ 西原　俊明 ＜令和4年10月＞		博士 (言語学)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1① 1通 2通 3通	0.3 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　言語教育研究センター 教授 (平成24年4月)	5日
8	専	教授	ハヤナギ　カズノリ 葉柳　和則 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1① 1通 2通 3通	0.3 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
9	専	教授	ノガミ　タケノリ 野上　建紀 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
10	専	教授	マエダ（ヨネザワ）　ケイコ 前田（米澤）桂子 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
11	専	教授	スズキ　アキヨシ 鈴木　章能 ＜令和4年10月＞		博士 (英文学)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1① 1通 2通 3通	0.3 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
12	専	教授	ヨシダ　ユリ 吉田　ゆり ＜令和4年10月＞		博士 (現代社会学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
13	専	教授	サイツ　ユミコ 才津　祐美子 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (令和2年2月)	5日
14	専	教授	ヨシダ　フミヒコ 木村　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1① 1通 2通 3通	0.3 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
15	専	教授	ハリカイ　アヤ 針貝　綾 ＜令和4年10月＞		博士 (芸術学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
16	専	教授	タキザワ　カツヒコ 滝澤　克彦 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1① 1通 2通 3通	0.3 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (令和2年2月)	5日
17	専	准教授	ギュルベヤズ アブドゥルラッハマン GUELBEYAZ ABDURRAHMAN ＜令和4年10月＞		博士 (人間科学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	専	准教授	ホソダ　ナオミ 細田　尚美 ＜令和4年10月＞		博士 (地域研究)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
19	専	准教授	オオヒラ　テルヒサ 大平　晃久 ＜令和4年10月＞		博士 (人間・環境学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
20	専	准教授	サイハンジュナ 賽漢卓娜 ＜令和4年10月＞		博士 (教育学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
21	専	准教授	カトローニ　ピノ CUTRONE PINO ＜令和4年10月＞		Ph.D.(Applied Linguistics) (英国)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
22	専	准教授	ミナミ　マコト 南　誠 (梁　雪江) ＜令和4年10月＞		博士 (人間・環境学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
23	専	准教授	コンペル　ラドミール COMPEL　RADOMIR ＜令和4年10月＞		博士 (国際経済法学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
24	専	准教授	ナカジマ　ユリ 中島　ゆり ＜令和4年10月＞		Ph.D (Educational Culture､Policy and Society) (米国)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人教育開発推進機構 准教授 (令和2年7月)	5日
25	専	准教授	キラ　フミアキ 吉良　史明 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
26	専	准教授	タニガワ　シンイチ 谷川　晋一 ＜令和4年10月＞		博士 (言語学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
27	専	准教授	コマツ　サトル 小松　悟 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・多文化社会学特論Ⅰ※ ・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1② 1通 2通 3通	0.4 4 4 4	1 1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
28	専	准教授	ハラダ　ソウイチロウ 原田　走一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
29	専	准教授	モリ　モトナオ 森　元斎 ＜令和4年10月＞		博士 (人間科学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
30	専	准教授	ハタナカ　タイジ 畑中　大路 ＜令和4年10月＞		博士 (教育学)		・研究演習Ⅰ ・研究演習Ⅱ ・研究指導	1通 2通 3通	4 4 4	1 1 1	長崎大学 人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
31	兼任	講師	シュトウ　トシカズ 首藤　明和 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・多文化社会学特論Ⅰ※	1①	0.3	1	中央大学 文学部 教授 (令和2年4月)	－
32	兼任	講師	ハザマ　イツヒロ 波佐間　逸博 ＜令和4年10月＞		博士 (地域研究)		・多文化社会学特論Ⅰ※	1①	0.3	1	東洋大学 社会学部 教授 (令和3年4月)	－
33	兼任	講師	アズマ　フミヒコ 東　史彦 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・多文化社会学特論Ⅱ※	1②	0.4	1	上智大学 法学部 准教授 (令和3年4月)	－
34	兼任	講師	ミハラ（ヨシノ）　レイコ 見原（吉野）礼子 ＜令和4年10月＞		博士 (社会学)		・多文化社会学特論Ⅱ※	1②	0.4	1	同志社大学 グローバル地域文化学部 准教授 (令和3年4月)	－

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※経済学研究科 経営意思決定専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	シキミ　マサヨ 式見　雅代 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・金融システム特論※ ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	1 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
2	専	教授	シシクラ　マナブ 宍倉　学 ＜令和4年10月＞		博士 (商学)		・公共経済学特論 ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	2 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
3	専	教授	スサイ　マサユキ 須齋　正幸 ＜令和4年10月＞		商学修士		・国際金融特論 ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	2 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
4	専	教授	フカウラ　アツユキ 深浦　厚之 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・金融システム特論※ ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	1 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
5	専	教授	フクザワ　カツヒコ 福澤　勝彦 ＜令和4年10月＞		経済学修士		・労働経済学特論※	1・2・3後	1	1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
6	専	教授	モリヤス　ヒロシ 森保　洋 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・決定分析特論※ ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	0.7 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
7	専	教授	オカダ　ヒロマサ 岡田　裕正 ＜令和4年10月＞		経済学修士		・財務会計特論※ ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	1 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
8	専	教授	ジョ　ヨウ 徐　陽 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・財務会計特論※ ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	1 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
9	専	教授	ニシムラ　ノブヒコ 西村　宣彦 ＜令和4年10月＞		博士 (経営学)		・経営情報分析特論	1・2・3前	2	1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
10	専	教授	ハヤシ　トオル 林　徹 ＜令和4年10月＞		経営学修士		・トップマネジメント特論 ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	2 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
11	専	教授	マルヤマ　ユキヒロ 丸山　幸宏 ＜令和4年10月＞		博士 (数理学)		・数理計画法特論 ・テーマサーベイ ・リサーチ演習 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前	2 4 6 6	1 1 1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
12	専	教授	ムラヤマ　ヨウスケ 村山　洋介 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・ビジネス法特論※	1・2・3後	0.7	1	長崎大学　人文社会科学域 教授 (平成31年4月)	5日
13	専	准教授	オオガク　ミチコ 大角　道子 ＜令和4年10月＞		博士 (社会経済)		・ゲーム理論特論※	1・2・3前	0.7	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
14	専	准教授	カミゾノ　ケンジ 神薗　健次 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (数学) (米国)		・決定分析特論※	1・2・3前	0.7	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
15	専	准教授	シマダ　アキラ 島田　章 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・労働経済学特論※	1・2・3後	1	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
16	専	准教授	ナリタ　マキコ 成田　真樹子 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・現代世界経済特論	1・2・3後	2	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
17	専	准教授	フジタ　タイスケ 藤田　泰昌 ＜令和4年10月＞		博士 (国際関係論)		・国際関係論特論	1・2・3後	2	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
18	専	准教授	マツキ　ユウスケ 松木　佑介 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (経済学) (米国)		・ゲーム理論特論※	1・2・3前	0.7	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※経済学研究科 経営意思決定専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
19	専	准教授	ミナミモリ　シゲタ 南森　茂太 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・経済・経営史特論	1・2・3前	2	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
20	専	准教授	ヨシザワ　ヤスノリ 吉沢　裕典 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・ゲーム理論特論※	1・2・3前	0.6	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
21	専	准教授	イバタ　ヨウヘイ 井畑　陽平 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・ビジネス法特論※	1・2・3後	0.7	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
22	専	准教授	ウツノミヤ　ユズル 宇都宮　譲 ＜令和4年10月＞		博士 (経営学)		・人的資源管理特論	1・2・3後	2	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
23	専	准教授	チョウ　ショウナン 張　笑男 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・ビジネス法特論※	1・2・3後	0.6	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
24	専	准教授	ツルサキ　カズヨシ 津留崎　和義 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・決定分析特論※	1・2・3前	0.6	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
25	専	准教授	チノ　アツシ 千野　厚 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (経営学) (米国)		・企業ファイナンス特論	1・2・3後	2	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 （平成31年4月）	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	アベ　タカシ 阿部　貴志 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・電気―機械エネルギー変換特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
2	専	教授	イシヅカ　ヨウイチ 石塚　洋一 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・アナログ集積回路特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年10月)	5日
3	専	教授	イタヤマ　トモアキ 板山　朋聡 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・環境プロセス工学特論 ・国際水処理工学特論	1後 1後 1・2・3前 1・2・3前	1 1 2 2	1 1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
4	専	教授	ウマコシ　ケイスケ 馬越　啓介 ＜令和4年10月＞		理学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・応用錯体化学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
5	専	教授	エナミ　ヤスフミ 榎波　康文 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (光科学) (米国)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・光エレクトロニクス特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日
6	専	教授	オオミネ　キヨシ 大嶺　聖 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・地圏環境工学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
7	専	教授	オクマツ　トシヒロ 奥松　俊博 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・土木遠隔計測学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年4月)	5日
8	専	教授	カナヤ　イチロウ 金谷　一朗 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・応用画像工学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日
9	専	教授	キヤス　センヤ 喜安　千弥 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・マルチメディア応用特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日
10	専	教授	コバヤシ　トオル 小林　透 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・映像情報処理特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日
11	専	教授	サカグチ　ダイサク 坂口　大作 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・熱流体光計測学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
12	専	教授	シバタ　ユウイチロウ 柴田　裕一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・再構成可能システム特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日
13	専	教授	ジャン　イジンシ 蒋　宇静 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・地盤解析工学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
14	専	教授	タナカ　トシユキ 田中　俊幸 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・応用電磁波工学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年8月)	5日
15	専	教授	タナベ　シュウジ 田邉　秀二 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・界面物性学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
16	専	教授	チョン　ビョンドク 全　炳徳 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究	1後 1後	1 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
17	専	教授	ナカハラ　ヒロユキ 中原　浩之 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・複合構造学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
18	専	教授	ナカムラ　ショウゾウ 中村　聖三 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別講義※ ・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・鋼構造維持管理学	1前 1後 1後 1・2・3後	0.2 1 1 2	1 1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
19	専	教授	ハタケヤマ　トモミツ 畠山　智充 ＜令和4年10月＞		農学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・生物分子機能学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
20	専	教授	ハヤシ　ヒデチト 林　秀千人 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・流体音響学	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
21	専	教授	マツダ　ヒロシ 松田　浩 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・構造物解析学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
22	専	教授	マツナガ　ショウイチ 松永　昭一 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・ソフトウェア科学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （令和2年4月）	5日
23	専	教授	ムラカミ　ヒロト 村上　裕人 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・先端高分子科学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （令和3年4月）	5日
24	専	教授	モモキ　サトル 桃木　悟 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・熱物質移動特論 ・熱物質変換基礎学	1後 1後 1・2・3後 1・2・3前	1 1 2 2	1 1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
25	専	教授	ヤスタケ　アツコ 安武　敦子 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・持続的居住計画論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
26	専	教授	ヤマグチ　トモヒコ 山口　朝彦 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・多成分系熱力学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （令和3年4月）	5日
27	専	教授	ヤマモト　イクオ 山本　郁夫 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・ロボティクス特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学　海洋未来イノベーション機構 教授 （平成28年4月）	5日
28	専	教授	ヨシタケ　ユタカ 吉武　裕 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・不安定振動学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
29	専	准教授	アライ　ケンイチ 荒井　研一 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究	1後 1後	1 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
30	専	准教授	イチフジ　ユウ 一藤　裕 ＜令和4年10月＞		博士 （情報科学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究	1後 1後	1 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
31	専	准教授	イトウ　ソウヘイ 伊藤　宗平 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究	1後 1後	1 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
32	専	准教授	ウリタ　コウキ 瓜田　幸幾 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・先端構造分析化学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 （令和元年5月）	5日
33	専	准教授	ウンノ　ヒデアキ 海野　英昭 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・生体機能物質化学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 （令和2年9月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
34	専	准教授	オウギヤ　ヤスヒコ 扇谷　保彦 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・伝動システム学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
35	専	准教授	オクムラ　テツヤ 奥村　哲也 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・トライボ損傷評価学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
36	専	准教授	オノデラ　ゲン 小野寺　玄 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・天然物合成化学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
37	専	准教授	カマダ　カイ 鎌田　海 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・無機複合物性学	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
38	専	准教授	ゲンジョウ　カホリ 源城　かほり ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・建築環境計画論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
39	専	准教授	コヤマ　アツヒロ 小山　敦弘 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・応用材料強度学Ⅰ	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
40	専	准教授	コンドウ　シンイチロウ 近藤　慎一郎 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・固体物理学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
41	専	准教授	サカイ　トモヤ 酒井　智弥 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・情報処理システム特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（令和2年4月）	5日
42	専	准教授	サクダ　エリ 作田　絵里 ＜令和4年10月＞		博士（理学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・先端分光計測特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
43	専	准教授	ササキ　ケンジ 佐々木　謙二 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・コンクリート材料学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
44	専	准教授	スギモト　サトシ 杉本　知史 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・地盤防災工学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
45	専	准教授	スズキ　イクミ 鈴木　郁美 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・データマイニング応用特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（令和2年4月）	5日
46	専	准教授	スズキ　セイジ 鈴木　誠二 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・水環境制御特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
47	専	准教授	セト　シンタ 瀬戸　心太 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・環境設計学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
48	専	准教授	ゼン　クオビン 鄭　国斌 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・ナノ無機材料学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
49	専	准教授	セトザキ　ノリオ 瀬戸崎　典夫 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究	1後 1後	1 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（令和2年4月）	5日
50	専	准教授	タカセ　トオル 高瀬　徹 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・応用材料強度学Ⅱ	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
51	専	准教授	タナカ　シュウジ 田中　修司 ＜令和4年10月＞		理学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・生体機能構造論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
52	専	准教授	タナカ　ヨシユキ 田中　良幸 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・人間機械システム工学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
53	専	准教授	ナガイ　ヒロト 永井　弘人 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・空力弾性学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（令和2年4月）	5日
54	専	准教授	ニシカワ　タカフミ 西川　貴文 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・構造振動学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
55	専	准教授	ハラサワ　リュウイチ 原澤　隆一 ＜令和4年10月＞		博士（理学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・通信応用代数学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（令和2年4月）	5日
56	専	准教授	ヒョウドウ　タケオ 兵頭　健生 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・セラミックス物性化学	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
57	専	准教授	フクダ　ツトム 福田　勉 ＜令和4年10月＞		博士（理学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究	1後 1後	1 1	1 1	長崎大学 環境保全センター 准教授（令和2年6月）	5日
58	専	准教授	フジオカ　タカヒロ 藤岡　貴浩 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy（環境工学）（豪州国）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・高度膜分離技術論 ・水再生技術特論 ・水処理設備計画特論 ・国際機関共同研究 ・水質モニタリング演習	1後 1後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3後	1 1 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
59	専	准教授	フジシマ　トモユキ 藤島　友之 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・電磁エネルギー放射・伝送特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
60	専	准教授	フジムラ　マコト 藤村　誠 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・画像応用システム特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（令和2年4月）	5日
61	専	准教授	フジモト　タカフミ 藤本　孝文 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・応用アンテナ工学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
62	専	准教授	マツダ　ヨシノブ 松田　良信 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・プラズマ機能科学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
63	専	准教授	マルタ　ヒデノリ 丸田　英徳 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・パワー電子回路特論 ・エネルギーエレクトロニクス特論 ・非線形回路・システム特論	1後 1後 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3後	1 1 2 2 2	1 1 1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
64	専	准教授	モリヤマ　トシフミ 森山　敏文 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・電磁界解析特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
65	専	准教授	モリヤマ　マサオ 森山　雅雄 ＜令和4年10月＞		学術博士		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・社会基盤計画特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
66	専	准教授	ヤナイ　タケシ 柳井　武志 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・マグネティクス特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
67	専	准教授	ヤマグチ　コウヘイ 山口　浩平 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・維持管理システム学特論	1後 1後 1・2・3前	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
68	専	准教授	ヤマダ　ヒロトシ 山田　博俊 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・界面機能科学特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
69	専	准教授	ヨコイ　ユウイチ 横井　裕一 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別演習 ・生産システム工学特別研究 ・電気駆動システム設計特論	1後 1後 1・2・3後	1 1 2	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
70	兼担	教授	キムラ　マサナリ 木村　正成 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・物質変換触媒化学	1・2・3後	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
71	兼担	教授	サイモト　アキヒデ 才本　明秀 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・破壊解析学	1・2・3前	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
72	兼担	教授	サガラ　タカマサ 相樂　隆正 ＜令和4年10月＞		工学博士		・生産システム工学特別講義※ ・工場実習 ・分子組織科学特論	1前 1・2・3通 1・2・3後	0.3 1 2	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
73	兼担	教授	シミズ　ヤスヒロ 清水　康博 ＜令和4年10月＞		工学博士		・機能材料科学特論	1・2・3前	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
74	兼担	教授	タダ　アキヒデ 夛田　彰秀 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・環境水理学特論	1・2・3後	2	1	長崎大学　留学生教育・支援センター 教授（令和3年4月）	5日
75	兼担	教授	ナカタニ　ヒサユキ 中谷　久之 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・高次構造材料学特論	1・2・3前	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
76	兼担	教授	ナカノ　マサキ 中野　正基 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・生産システム工学特別講義※ ・マグネティクス応用特論	1前 1・2・3後	0.3 2	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
77	兼担	教授	モリムラ　タカオ 森村　隆夫 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・材料組織物性学	1・2・3後	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授（令和3年10月）	5日
78	兼担	教授	ヤザワ　タカノリ 矢澤　孝哲 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・超精密加工・計測学特論	1・2・3後	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授（平成31年4月）	5日
79	兼担	准教授	アリカワ　ヤスヒロ 有川　康弘 ＜令和4年10月＞		博士（理学）		・無機変換化学特論	1・2・3前	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
80	兼担	准教授	オオガイ　タケシ 大貝　猛 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・金属物理学特論	1・2・3後	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
81	兼担	准教授	ハマサキ　シンイチ 浜崎　真一 ＜令和4年10月＞		博士（工学）		・電力変換システム制御特論	1・2・3後	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日
82	兼担	助教	バン　チェン BUN　CHAN ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy（化学）（ニュージーランド）		・研究英語コミュニケーション講座 ・スーパーコンピューテーション特論	1・2・3③ 1・2・3④	1 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授（平成31年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
83	兼任	講師	カナザキ　セイゴウ 金崎　成剛 ＜令和4年10月＞		学士		・生産システム工学特別講義※	1前	0.1	1	三菱重工業株式会社 エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 SPMI事業部 ボイラ技術部ボイラ計画課 主席プロジェクト統括 (令和3年10月)	5日
84	兼任	講師	ストウ　タカユキ 須藤　隆之 ＜令和4年10月＞		学士		・生産システム工学特別講義※	1前	0.1	1	三菱重工業株式会社 エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 SPMI事業部 ボイラ技術部 次長 (令和3年10月)	5日
85	兼任	講師	ヤマシタ　タカヒコ 山下　敬彦 ＜令和4年10月＞		工学博士		・電気エネルギーシステム特論	1・2・3前	2	1	放送大学長崎学習センター 所長 (令和3年9月)	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	アマノ　マサオ 天野　雅男 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・水族情報学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
2	専	教授	アラカワ　オサム 荒川　修 ＜令和4年10月＞		農学博士		・水産衛生化学 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
3	専	教授	イシバシ　フミト 石橋　郁人 ＜令和4年10月＞		農学博士		・生理活性物質化学特論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
4	専	教授	イノウエ　テツシ 井上　徹志 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・共生微生物学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
5	専	教授	オサトミ　キヨシ 長富　潔 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・海洋生物工学特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
6	専	教授	カメダ　カズヒコ 亀田　和彦 ＜令和4年10月＞		水産学博士		・水産経営管理学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
7	専	教授	カワベ　リョウ 河邊　玲 ＜令和4年10月＞		博士 (水産科学)		・海洋生物流体力学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　海洋未来イノベーション機構 教授 (平成28年4月)	5日
8	専	教授	キヨタ　マサシ 清田　雅史 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・海洋システム解析学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
9	専	教授	クワノ　カズヨシ 桑野　和可 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・海洋植物資源学Ⅰ ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
10	専	教授	サカクラ　ヨシタカ 阪倉　良孝 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・水圏生物環境学特論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
11	専	教授	サトイト　シリル　グレン　ペレズ SATUITO CYRIL GLENN PEREZ ＜令和4年10月＞		学術博士		・海洋生物汚損対策特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
12	専	教授	シミズ　ケンイチ 清水　健一 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・海洋測位学 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年10月)	5日
13	専	教授	スガ　コウシロウ 菅　向志郎 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・水族病理学 ・インターンシップ ・特別講義 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3通 1・2・3前 1・2・3後	2 1 1 1	1 1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和元年7月)	5日
14	専	教授	スズキ　トシカズ 鈴木　利一 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・海洋浮遊生物学 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
15	専	教授	ソヤノ　キヨシ 征矢野　清 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・水族内分泌学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　海洋未来イノベーション機構 教授 (平成28年4月)	5日
16	専	教授	タカタニ　トモヒロ 高谷　智裕 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・水族毒性学 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
17	専	教授	タケダ　シゲノブ 武田　重信 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・海洋生態システム論 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	専	教授	タニヤマ　シゲト 谷山　茂人 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・海洋生物栄養学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年8月)	5日
19	専	教授	ニシハラ グレゴリー　ナオキ NISHIHARA Gregory Naoki ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・海洋植物資源学Ⅱ ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　海洋未来イノベーション機構 教授 (令和2年10月)	5日
20	専	教授	ハギワラ　アツシ 萩原　篤志 ＜令和4年10月＞		農学博士		・栽培漁業論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
21	専	教授	マツシタ　ヨシキ 松下　吉樹 ＜令和4年10月＞		水産学博士		・漁船漁法工学 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
22	専	教授	ヤマグチ　アツコ 山口　敦子 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・魚類生態学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
23	専	教授	ヤマグチ　ケンイチ 山口　健一 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・高分子機能生化学特論 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和2年8月)	5日
24	専	教授	ヤマモト　ナオトシ 山本　尚俊 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・水産資源社会学 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
25	専	教授	ワダ　ミノル 和田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・海洋微生物生態学 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
26	専	教授	アサクラ　ヒロシ 朝倉　宏 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・地域環境計測学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年10月)	5日
27	専	教授	イグチ　ケイイチロウ 井口　恵一朗 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・保全生態学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
28	専	教授	ウマコシ　コウドウ 馬越　孝道 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・地震・火山学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
29	専	教授	オカダ　ジロウ 岡田　二郎 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・環境生理学特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
30	専	教授	カタヤマ　ケンスケ 片山　健介 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・地域計画学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年10月)	5日
31	専	教授	カワモト　カズアキ 河本　和明 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・大気環境学特論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	1 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
32	専	教授	ゴトウ　セイコ 五島　聖子 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・環境計画学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
33	専	教授	タカオ　ユウジ 高尾　雄二 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・微量環境分析化学特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
34	専	教授	トダ　キヨシ 戸田　清 ＜令和4年10月＞		博士 (社会学)		・共生持続社会学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
35	専	教授	ナガエ　マサキ 長江　真樹 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・生殖生理学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
36	専	教授	ナカガワ　ケイ 中川　啓 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・環境地下水学特論 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	1 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
37	専	教授	ナカヤマ　ヒデキ 仲山　英樹 ＜令和4年10月＞		博士 (バイオサイエンス)		・環境化学特論 ・特別演習 ・学外実習	1・2・3③ 1・2・3後 1・2・3前	2 1 1	1 1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
38	専	教授	ニシヤマ　マサヤ 西山　雅也 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・環境生物化学特論 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
39	専	教授	ムトウ　テツジ 武藤　鉄司 ＜令和4年10月＞		理学博士		・堆積岩地球環境解析学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
40	専	教授	ヤマグチ　ノリユキ 山口　典之 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・動物生態学特論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (令和3年9月)	5日
41	専	教授	ヤマシタ　キミヒロ 山下　樹三裕 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・環境毒性学特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
42	専	教授	ワタナベ　タカシ 渡邊　貴史 ＜令和4年10月＞		博士 (社会工学)		・地域環境政策学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学　総合生産科学域 教授 (平成31年4月)	5日
43	専	准教授	イチカワ　ヒサシ 市川　寿 ＜令和4年10月＞		水産学博士		・応用生体分子機能論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
44	専	准教授	カワバタ　ユウキ 河端　雄毅 ＜令和4年10月＞		博士 (情報学)		・特別演習	1・2・3後	1	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
45	専	准教授	キム　ヒジン 金　禧珍 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・海洋生物環境学 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
46	専	准教授	コヤマ　タカシ 小山　喬 ＜令和4年10月＞		博士 (海洋科学)		・海洋生物生体防御論 ・特別講義 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3後	2 0.3 1	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (令和2年8月)	5日
47	専	准教授	コンドウ　ヨシコ 近藤　能子 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・特別演習	1・2・3後	1	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
48	専	准教授	タキカワ　テツタロウ 滝川　哲太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・海洋環境流体力学 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
49	専	准教授	タケウチ　セイジ 竹内　清治 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・沿岸底生生態学 ・特別講義 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3前 1・2・3後	2 0.3 1	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
50	専	准教授	タケガキ　タケシ 竹垣　毅 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・水産無脊椎動物学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
51	専	准教授	ハマダ　ユキ 濱田　友貴 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・水産食品化学 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
52	専	准教授	ヒラサカ　カツヤ 平坂　勝也 ＜令和4年10月＞		博士 (栄養学)		・生体関連物質化学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 海洋未来イノベーション機構 准教授 (平成29年10月)	5日
53	専	准教授	ヒロセ　ミユキ 広瀬　美由紀 ＜令和4年10月＞		博士 (水産科学)		・漁業生産システム設計学 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
54	専	准教授	ヤギ　ミツハル 八木　光晴 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・漁船船型学特論 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
55	専	准教授	ヤギシタ　ナオキ 柳下　直己 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・深海生物環境学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
56	専	准教授	ヤマダ　アキノリ 山田　明徳 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・分子細胞生物学 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
57	専	准教授	ヨシダ　アサミ 吉田　朝美 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・生体高分子化学 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
58	専	准教授	タケシタ　サトシ 竹下　哲史 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・生物機能生化学 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 研究開発推進機構 准教授 (平成30年7月)	5日
59	専	准教授	イイマ　マサフミ 飯間　雅文 ＜令和4年10月＞		理学博士		・植物生態学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
60	専	准教授	オオタ　タカヒロ 太田　貴大 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・森林環境学特論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
61	専	准教授	カガブ　マコト 利部　慎 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・環境地下水学特論 ・特別講義 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3前 1・2・3後	1 0.3 1	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (令和元年10月)	5日
62	専	准教授	クロダ　サトル 黒田　暁 ＜令和4年10月＞		博士 (文学)		・地域社会学特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
63	専	准教授	シゲトミ　ヨウスケ 重富　陽介 ＜令和4年10月＞		博士 (エネルギー科学)		・環境政策学特論 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
64	専	准教授	シラカワ　セイジ 白川　誠司 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・グリーンケミストリー特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
65	専	准教授	ソク　サニー 昔　宣希 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・環境マネジメント学特論 ・特別講義 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3前 1・2・3後	2 0.3 1	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
66	専	准教授	セキ　ヨウコ 関　陽子 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・環境哲学特論 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
67	専	准教授	タケシタ　タカユキ 竹下　貴之 ＜令和4年10月＞		博士 (科学)		・エネルギー資源学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
68	専	准教授	トミヅカ　アキラ 冨塚　明 ＜令和4年10月＞		博士 (環境科学)		・環境物理学特論 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
69	専	准教授	トモザワ　ユウキ 友澤　悠季 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・人間生活環境学特論 ・特別演習	1・2・3③ 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
70	専	准教授	ハマサキ　ヒロノリ 濱崎　宏則 ＜令和4年10月＞		博士 (政策科学)		・国際環境政策学特論 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
71	専	准教授	ナカヤマ　トモキ 中山　智喜 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・大気環境学特論 ・特別演習	1・2・3② 1・2・3後	1 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
72	専	准教授	ハットリ　ミツル 服部　充 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・陸域生物環境学特論 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (令和元年10月)	5日
73	専	准教授	フカミ　サトシ 深見　聡 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・環境観光学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
74	専	准教授	ホンジョウ　モエ 本庄　萌 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・環境法学特論 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
75	専	准教授	ヤマグチ　マサヒロ 山口　真弘 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・微量環境分析化学特論 ・特別講義 ・特別演習	1・2・3④ 1・2・3前 1・2・3後	2 0.3 1	1 1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
76	専	准教授	ヤマモト　ユウキ 山本　裕基 ＜令和4年10月＞		博士 (経済学)		・環境経済学特論 ・特別演習	1・2・3前 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
77	専	准教授	ヨシダ　マモル 吉田　護 ＜令和4年10月＞		博士 (情報学)		・環境リスク政策学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
78	専	准教授	ワダチ　ヨウコ 和達　容子 ＜令和4年10月＞		博士 (法学)		・特別演習	1・2・3後	1	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
79	専	助教	ウエノ　ミキノリ 上野　幹憲 ＜令和4年10月＞		博士 (水産学)		・細胞機能生化学 ・特別演習	1・2・3後 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 助教 (令和3年7月)	5日
80	専	助教	ムラタ　リョウスケ 村田　良介 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・特別演習	1・2・3後	－	－	長崎大学 海洋未来イノベーション機構 助教 (平成29年5月)	5日
81	専	助教	タカス　ヒロユキ 高巣　裕之 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・保全生態学特論 ・特別演習	1・2・3① 1・2・3後	2 1	1 1	長崎大学 総合生産科学域 助教 (平成31年4月)	5日
82	兼任	連携教授	クロタ　ヒロユキ 黒田　啓行 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・水産資源動態学	1・2・3後	2	1	国立研究開発法人水産研究・教育機構　水産資源研究所　水産資源研究センター　浮魚資源部浮魚第4グループ グループ長 (令和2年7月)	5日
83	兼任	連携准教授	クリハラ　タケオ 栗原　健夫 ＜令和4年10月＞		農学博士		・水産統計学	1・2・3後	2	1	国立研究開発法人水産研究・教育機構　水産技術研究所 主幹研究員 (令和2年7月)	5日
84	兼任	連携准教授	スズキ　ゴウ 鈴木　豪 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・サンゴ礁生態系保全学	1・2・3後	2	1	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 主任研究員 (令和2年7月)	5日
85	兼任	連携准教授	タカハシ　モトミツ 高橋　素光 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・海洋資源生物学	1・2・3後	2	1	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 主幹研究員 (令和2年7月)	5日
86	兼任	連携准教授	ナナミ　アツシ 名波　敦 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・亜熱帯海洋動物分布生態学	1・2・3後	2	1	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 主任研究員 (令和2年7月)	5日
87	兼任	連携准教授	ハセガワ　トオル 長谷川　徹 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・生元素循環学	1・2・3後	2	1	国立研究開発法人水産研究・教育機構　水産資源研究所 主幹研究員 (令和2年7月)	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	ツルモト　トシユキ 弦本　敏行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・肉眼解剖学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
2	専	教授	オオバ　シンスケ 大庭　伸介 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・分子細胞生物学 ・硬組織疾患特論 ・移植・再生医療学特論 ・細胞生物学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2③ 1・2② 1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 1 1 1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和元年5月）	5日
3	専	教授	イノウエ　ツヨシ 井上　剛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内臓機能生理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年5月）	5日
4	専	教授	イトウ　タカシ 伊藤　敬 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生化学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
5	専	教授	ナカムラ　ワタル 中村　渉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・加齢口腔生理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
6	専	教授	アルガ　ジュン 有賀　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・医科薬理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
7	専	教授	ツクバ　タカユキ 筑波　隆幸 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・硬組織疾患特論 ・歯科薬理学演習 ・小児歯科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2② 1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
8	専	教授	フクオカ　ジュンヤ 福岡　順也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・病理診断科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
9	専	教授	シモカワ　イサオ 下川　功 ＜令和4年10月＞		医学博士		・基礎病理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和元年10月）	5日
10	専	教授	イケダ　ヒロアキ 池田　裕明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端医療科学特論(基礎編) ・腫瘍医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2② 1・2通 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 1 1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
11	専	教授	ワタナベ　イクヤ 渡邊　郁哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・生体材料科学 ・生体材料学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
12	専	教授	イトウ　コウセイ 伊藤　公成 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・分子硬組織生物学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
13	専	教授	サトウ　イズミ 佐藤　泉美 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年3月)	5日
14	専	教授	マスタニ　ミツコ 益谷　美都子 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・分子標的医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和元年10月)	5日
15	専	教授	イケマツ　カズヤ 池松　和哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命倫理学 ・法医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
16	専	教授	オオサワ　カズタカ 大沢　一貴 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・比較動物医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年6月)	5日
17	専	教授	カドワキ　トモコ 門脇　知子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・フロンティア口腔科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年3月)	5日
18	専	教授	サイトウ　トシユキ 齋藤　俊行 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔保健学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
19	専	教授	キタオカ　タカシ 北岡　隆 ＜令和4年10月＞		医学博士		・眼科・視覚科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学）	1・2④ 1・2① 3・4①	2 2 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
20	専	教授	クマイ　ヨシヒコ 熊井　良彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和2年1月)	5日
21	専	教授	マツオ　タカユキ 松尾　孝之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
22	専	教授	ハラ　テツヤ 原　哲也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・麻酔集中治療医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
23	専	教授	エイシ　キヨユキ 江石　清行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・心臓血管外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
24	専	教授	サカイ　ヒデキ 酒井　英樹 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・泌尿器科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
25	専	教授	エグチ　ススム 江口　晋 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・移植・再生医療学特論 ・移植・消化器外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
26	専	教授	カネタカ　ケンゴ 金高　賢悟 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命医療科学トピックス ・移植・消化器外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年1月）	5日
27	専	教授	ミウラ　キヨノリ 三浦　清徳 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・産科婦人科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（妊婦・授乳婦）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3前	2 2 2 2 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年4月）	5日
28	専	教授	オサキ　マコト 尾崎　誠 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・整形外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
29	専	教授	タナカ　カツミ 田中　克己 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・形成再建外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
30	専	教授	オザワ　ヒロキ 小澤　寛樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・精神神経科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
31	専	教授	ムロタ　ヒロユキ 室田　浩之 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・皮膚病態学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成30年5月）	5日
32	専	教授	マエムラ　コウジ 前村　浩二 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・循環器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
33	専	教授	ナカオ　カズヒコ 中尾　一彦 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・消化器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2通 1・2通	2 2 2 2 2 4 4 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
34	専	教授	ムカエ　ヒロシ 迎　寛 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・呼吸器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
35	専	教授	ヤナギハラ　カツノリ 栁原　克紀 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・臨床微生物学特論 ・感染疫学特論 ・病態解析・診断学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（感染制御）	1・2④ 1・2③ 1・2③ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3後	1 1 1 2 2 2 2 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
36	専	教授	モリウチ　ヒロユキ 森内　浩幸 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・小児科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（妊婦・授乳婦）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3前	2 2 2 2 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
37	専	教授	ウエタニ　マサタカ 上谷　雅孝 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・放射線診断治療学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
38	専	教授	アシザワ　カズト 芦澤　和人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学特論Ⅰ（総論） ・集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療） ・集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん） ・集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療） ・集学的がん治療学実習 ・在宅・地域医療実習 ・離島・僻地病院実習 ・臨床腫瘍学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2前 1・2後 1・2前 1・2後 1・2通 1・2通 1・2通 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 1 1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
39	専	教授	アユセ　タカオ 鮎瀬　卓郎 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・歯科麻酔学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2通 1・2通	2 2 2 2 2 4 4 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
40	専	教授	ヨシダ　ノリアキ 吉田　教明 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	2・3② 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
41	専	教授	ヨシムラ　アツトシ 吉村　篤利 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・硬組織疾患特論 ・歯周歯内治療学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③	2 1 2 2 2	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成30年4月）	5日
42	専	教授	サワセ　タカシ 澤瀬　隆 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
43	専	教授	ムラタ　ヒロシ 村田　比呂司 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習 ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2③ 2・3② 3・4①	1 2 2 2 4	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
44	専	教授	ウメダ　マサヒロ 梅田　正博 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・口腔腫瘍治療学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
45	専	教授	アサヒナ　イズミ 朝比奈　泉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・移植・再生医療学特論 ・顎口腔再生外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
46	専	教授	スミ　ミサ 角　美佐 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔診断・情報科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年12月）	5日
47	専	教授	ツカモト　カズヒロ 塚元　和弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・がん専門薬剤師養成実習B ・先端薬物治療学特論 ・薬物治療学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（糖尿病） ・専門薬剤師養成実習（精神科）	1・2通 1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3通 2・3通	8 1 2 2 2 2 2 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年10月）	5日
48	専	教授	カワカミ　シゲル 川上　茂 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・先端臨床試験特論 ・医薬品情報学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（感染制御）	1・2③ 1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3後	1 1 2 2 2 2 4 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
49	専	教授	ニシダ　コウヨウ 西田　孝洋 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・がん専門薬剤師養成実習A ・先端臨床薬学特論 ・薬剤学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2通 1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	8 1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
50	専	教授	ナカシマ　ミキロウ 中嶋　幹郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・実践薬学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（妊婦・授乳婦） ・コーディネーター養成実習	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3前 2・3前	2 2 2 2 2 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
51	専	教授	エトウ　ヒロミ 江藤　宏美 ＜令和4年10月＞		博士 (看護学)		・看護学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
52	専	教授	ホンダ　スミヒサ 本田　純久 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生物統計学 ・看護学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2③ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
53	専	教授	サワイ　テルミツ 澤井　照光 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・看護学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
54	専	教授	クロダ　ヒロミ 黒田　裕美 ＜令和4年10月＞		博士 (看護学)		・看護学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年9月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
55	専	教授	イシマツ　ユウジ 石松　祐二 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・看護学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
56	専	教授	マツウラ　エミ 松浦　江美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年3月）	5日
57	専	教授	オキタ　ミノル 沖田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・理学療法学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2通 1・2通	2 2 2 2 2 4 4 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
58	専	教授	オリグチ　トモキ 折口　智樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・看護・リハビリテーション科学特論 ・理学療法学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
59	専	教授	コウゾ　リョウ 神津　玲 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・理学療法学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
60	専	教授	イワナガ　リョウイチロウ 岩永　竜一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・作業療法学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
61	専	教授	タナカ　ゴロウ 田中　悟郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・作業療法学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
62	専	教授	イマムラ　アキラ 今村　明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年10月）	5日
63	専	教授	オオニシ　マユミ 大西　眞由美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
64	専	教授	ヒガシ　トシオ 東　登志夫 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・保健科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
65	専	教授	コセキ　ヒロノブ 小関　弘展 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
66	専	教授	サトウ　カツヤ 佐藤　克也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
67	専	教授	ヒラノ　ユウコ 平野　裕子 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
68	専	教授	タナカ　ヨシマサ 田中　義正 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端創薬学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　先端創薬イノベーションセンター 教授 （令和元年9月）	5日
69	専	教授	ツジノ　アキラ 辻野　彰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 教授 （平成26年8月）	5日
70	専	教授	ニシノ　トモヤ 西野　友哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腎臓内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 教授 （平成26年8月）	5日
71	専	教授	タサキ　オサム 田崎　修 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・救命救急医療学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 教授 （平成23年6月）	5日
72	専	教授	ヒグチ　オサム 樋口　理 ＜令和4年10月＞		理学博士		・神経免疫学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎川棚医療センター 臨床研究部 免疫・ゲノム医化学研究室長 （平成23年4月）	5日
73	専	教授	ミネ　タカシ 峯　孝志 ＜令和4年10月＞		医学博士		・課題研究Ⅰ（医療科学）	1・2①	2	1	長崎みなとメディカルセンター市民病院 臨床腫瘍科主任診療部長・がん診療統括センター長 （平成25年4月）	5日
74	専	教授	イチカワ　タツキ 市川　辰樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・地域包括ケア学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・地域包括ケア特論 ・地域包括ケア演習	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2後 1・2後	2 2 2 2 2 4 4 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎みなとメディカルセンター市民病院 副院長・消化器内科主任診療部長 （平成31年4月）	5日
75	専	教授	コンドウ　タダシ 近藤　格 ＜令和4年10月＞		医学博士		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野長 （平成26年8月）	5日
76	専	教授	ゴトウ　コウイチ 後藤　功一 ＜令和4年10月＞		医学博士		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 国立がん研究センター東病院 呼吸器内科長 （平成26年4月）	5日
77	専	教授	イガキ　ヒロシ 井垣　浩 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	国立がん研究センター中央病院 放射線治療科長 （令和3年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
78	専	准教授	シバタ　ヤスアキ 柴田　恭明 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・分子細胞生物学 ・組織細胞生物学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2③ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
79	専	准教授	オヤマダ　ジョウイチ 小山田　常一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎顔面解剖学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年10月）	5日
80	専	准教授	ミヤザキ　トシヒロ 宮崎　敏博 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	2・3② 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
81	専	准教授	スミタ　ヨシノリ 住田　吉慶 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・生体材料科学 ・移植・再生医療学特論 ・顎口腔再生外科学演習 ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2① 1・2④ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 1 1 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
82	専	准教授	フジタ　ワカコ 藤田　和歌子 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医科薬理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
83	専	准教授	モリ　リョウイチ 森　亮一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
84	専	准教授	ムラオカ　ダイスケ 村岡　大輔 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・腫瘍医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年4月）	5日
85	専	准教授	フジタ　シュウイチ 藤田　修一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔病理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
86	専	准教授	アベ　シゲアキ 阿部　薫明 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生体材料科学	1・2①	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年5月）	5日
87	専	准教授	サトウ　ケイコ 佐藤　啓子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年9月）	5日
88	専	准教授	ソウトメ　サキコ 五月女　さき子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔保健学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年2月）	5日
89	専	准教授	ヨシダ　ハルオ 吉田　晴郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
90	専	准教授	イズモ　ツヨシ 出雲　剛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
91	専	准教授	ムラタ　ヒロアキ 村田　寛明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・麻酔集中治療医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
92	専	准教授	ミウラ　タカシ 三浦　崇 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年6月）	5日
93	専	准教授	ミヤタ　ヤスヨシ 宮田　康好 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
94	専	准教授	ツチヤ　トモシ 土谷　智史 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・腫瘍外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・臨床先端医療機器実習	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2通	1 2 2 2 2 2 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
95	専	准教授	マツモト　ケイタロウ 松本　桂太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・腫瘍外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習 ・学外連携セミナー	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2通 1・2通 1・2通	1 2 2 2 2 2 4 4 3 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年11月）	5日
96	専	准教授	ヒダカ　マサアキ 日高　匡章 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・移植・消化器外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
97	専	准教授	キタジマ　ミチオ 北島　道夫 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年10月）	5日
98	専	准教授	トミタ　マサト 富田　雅人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
99	専	准教授	タケナカ　モトイ 竹中　基 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
100	専	准教授	カワノ　ヒロアキ 河野　浩章 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
101	専	准教授	ミヤアキ　ヒサミツ 宮明　寿光 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
102	専	准教授	オバセ　ヤスシ 尾長谷　靖 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
103	専	准教授	ダテキ　スミト 伊達木　澄人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
104	専	准教授	スエヨシ　エイジュン 末吉　英純 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・放射線診断治療学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年11月）	5日
105	専	准教授	クラタ　シンジ 倉田　眞治 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科麻酔学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
106	専	准教授	ホトケザカ　ヒトシ 佛坂　斉祉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・歯科矯正学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③	2 2 2 2	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
107	専	准教授	タノウエ　ナオミ 田上　直美 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
108	専	准教授	ヤマダ　シヅカ 山田　志津香 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 3・4① 3・4③	2 4 4	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
109	専	准教授	クロシマ　シンイチロウ 黒嶋　伸一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習 ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2④ 3・4① 3・4③	1 2 4 4	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年5月）	5日
110	専	准教授	タイラ　ヨウスケ 平　曜輔 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
111	専	准教授	シマダ　アキコ 島田　明子 ＜令和4年10月＞		PhD (Medicine) （デンマーク）		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
112	専	准教授	カワサキ　ゴロウ 川崎　五郎 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	3・4① 3・4③	4 4	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
113	専	准教授	オオバ　セイゴ 大場　誠悟 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎口腔再生外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年11月）	5日
114	専	准教授	タカギ　ユキノリ 高木　幸則 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔診断・情報科学演習 ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2④ 2・3② 2・3④	2 2 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
115	専	准教授	ヒラヤマ　タツロウ 平山　達朗 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年9月）	5日
116	専	准教授	ムカイ　ヒデフミ 向井　英史 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・医薬品情報学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2③ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年6月）	5日
117	専	准教授	フモト　シンタロウ 麓　伸太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・先端臨床薬学特論 ・薬剤学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
118	専	准教授	オオヤマ　カナメ 大山　要 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・実践薬学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
119	専	准教授	サカモト　ジュンヤ 坂本　淳哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・理学療法学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
120	専	准教授	タナカ　タカコ 田中　貴子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和2年4月)	5日
121	専	准教授	ムラタ　ジュン 村田　潤 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
122	専	准教授	キシノ　タツヤ 木住野　達也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・ゲノム機能解析学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年10月)	5日
123	専	准教授	コバヤシ　マサカズ 古林　正和 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・予防医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　保健センター 准教授 (令和3年4月)	5日
124	専	准教授	カワサキ　コウジ 川崎　浩二 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・地域保健・福祉連携学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・コーディネーター養成実習	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3前	2 2 2 2 2 4 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 准教授 (平成21年4月)	5日
125	専	准教授	コダマ　ユキノブ 兒玉　幸修 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・臨床薬物動態学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2③ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 准教授 (平成30年7月)	5日
126	専	准教授	フクドメ　タカヤス 福留　隆泰 ＜令和4年10月＞		医学博士		・脳神経病態学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎川棚医療センター 脳神経内科 臨床研究部長 (平成30年4月)	5日
127	専	准教授	ハラグチ　マサシ 原口　正史 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎みなとメディカルセンター市民病院 副院長 (平成31年4月)	5日
128	専	准教授	イワサ　サトル 岩佐　悟 ＜令和4年10月＞		医学博士		・包括的腫瘍学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立がん研究センター中央病院 医員 (平成27年4月)	5日
129	専	准教授	ワタナベ　ケイスケ 渡邊　慶介 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野 主任研究員 (令和2年11月)	5日
130	専	講師	サイキ　カズノブ 佐伯　和信 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・肉眼解剖学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
131	専	講師	ムライ　キヨヒト 村井　清人 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・肉眼解剖学演習 ・組織細胞生物学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年6月）	5日
132	専	講師	マツモト　ゲン 松本　弦 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・組織細胞生物学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
133	専	講師	ツジ　ユキオミ 辻　幸臣 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内臓機能生理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
134	専	講師	ヨネダ　ミツヒロ 米田　光宏 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生化学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年10月）	5日
135	専	講師	ハヤシ　ヒロコ 林　洋子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
136	専	講師	オオイシ　アキオ 大石　明生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	2・3② 3・4③	2 4	1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和2年4月）	5日
137	専	講師	アダチ　トモヒコ 足立　智彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成31年4月）	5日
138	専	講師	モリモト　ヨシロウ 森本　芳郎 ＜令和4年10月＞		学士		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年1月）	5日
139	専	講師	イケダ　サトシ 池田　聡司 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
140	専	講師	サカモト　ノリホ 坂本　憲穂 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
141	専	講師	サカモト　ケイ 坂本　啓 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年4月）	5日
142	専	助教	エンドウ　ダイスケ 遠藤　大輔 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・肉眼解剖学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
143	専	助教	マツナガ　ハヤト 松永　隼人 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医科薬理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
144	専	助教	サカイ　エイコ 坂井　詠子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科薬理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
145	専	助教	カタセ　ナオキ 片瀬　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔病理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
146	専	助教	ナガノ　ケンイチ 永野　健一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成30年8月）	5日
147	専	助教	バラネザハド　アリレザ バラネザハド　有礼左 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （令和元年7月）	5日
148	専	助教	オノデラ　タカエ 小野寺　貴恵 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・分子標的医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （令和2年1月）	5日
149	専	助教	ウメハラ　タカヒロ 梅原　敬弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・法医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
150	専	助教	チバ　コウ 千葉　恒 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
151	専	助教	モリウチ　マサコ 森内　昌子 ＜令和4年10月＞		PhD (米国)		・小児科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
152	専	助教	モリタ　ユキコ 森田　幸子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
153	専	助教	コウドウ　ヨシオ 近藤　好夫 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
154	専	助教	イ　タカシ 井　隆司 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎口腔再生外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 3・4① 3・4③	2 2 2 4 4	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
155	専	助教	カタヤマ　イクオ 片山　郁夫 ＜令和4年10月＞		学士		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
156	専	助教	ミヤモト　ヒロタカ 宮元　敬天 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
157	兼担	教授	ヤマヨシ　アサコ 山吉　麻子 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・生命医療科学トピックス ・生体分子解析学	1・2④ 1・2④	2 1	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成30年3月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
158	兼担	教授	ナカシマ　マサヒロ 中島　正洋 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・腫瘍・診断病理学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
159	兼担	教授	マエダ　タカヒロ 前田　隆浩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・総合診療学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
160	兼担	教授	イワタ　ノブヒサ 岩田　修永 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・ゲノム科学 ・先端機器実習 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2② 1・2④	1 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
161	兼担	教授	ユイ　カツユキ 由井　克之 ＜令和4年10月＞		医学博士		・免疫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
162	兼担	教授	タカムラ　ノボル 高村　昇 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・先端臨床試験特論 ・国際保健医療福祉学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成20年4月）	5日
163	兼担	教授	アリヨシ　コウヤ 有吉　紅也 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・国際・熱帯医学	1・2②	1	1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成17年3月）	5日
164	兼担	教授	ヨシウラ　コウイチロウ 吉浦　孝一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
165	兼担	教授	コモリ　トシヒサ 小守　壽文 ＜令和4年10月＞		医学博士		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年4月）	5日
166	兼担	教授	イシハラ　ジュン 石原　淳 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
167	兼担	教授	タナカ　タカシ 田中　隆 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
168	兼担	教授	タナカ　マサカズ 田中　正一 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
169	兼担	教授	オノムラ　オサム 尾野村　治 ＜令和4年10月＞		工学博士		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
170	兼担	教授	クロダ　ナオタカ 黒田　直敬 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・生体分子解析学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
171	兼担	教授	トリバ　アキラ 鳥羽　陽 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・生体分子解析学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
172	兼担	教授	ヤマモト　ヒロシ 山本　弘史 ＜令和4年10月＞		修士 (薬学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端臨床試験特論	1・2② 1・2②	1 1	1 1	長崎大学　病院 教授 （平成26年7月）	5日
173	兼担	教授	シノハラ　カズユキ 篠原　一之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
174	兼担	教授	アオヤギ　キヨシ 青柳　潔 ＜令和4年10月＞		医学博士		・公衆衛生学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
175	兼担	教授	ナガタ　ヤスヒロ 永田　康浩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・地域医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年8月）	5日
176	兼担	教授	カワカミ　アツシ 川上　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
177	兼担	教授	ナガヤマ　ユウジ 永山　雄二 ＜令和4年10月＞		医学博士		・分子医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
178	兼担	教授	ヤマモト　イクオ 山本　郁夫 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・ロボティクス特論	1・2前	2	1	長崎大学　海洋未来イノベーション機構 教授 （平成28年4月）	5日
179	兼担	教授	ヤザワ　タカノリ 矢澤　孝哲 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・超精密加工・計測学特論	1・2後	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
180	兼担	教授	コバヤシ　トオル 小林　透 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・映像情報処理特論	1・2前	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （令和2年4月）	5日
181	兼担	教授	ムラカミ　ヒロト 村上　裕人 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・先端高分子科学特論	1・2後	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （令和3年4月）	5日
182	兼担	教授	シミズ　ヤスヒロ 清水　康博 ＜令和4年10月＞		工学博士		・先進センシング科学特論	1・2③	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
183	兼担	教授	ナカタニ　ヒサユキ 中谷　久之 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・先端高分子材料学特論	1・2④	2	1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （平成31年4月）	5日
184	兼担	准教授	マキ　トシヒデ 真木　俊英 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　研究開発推進機構 准教授 （平成30年7月）	5日
185	兼担	准教授	キシカワ　ナオヤ 岸川　直哉 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
186	兼担	准教授	マツモト　タケヒロ 松本　武浩 ＜令和4年10月＞		学士		・医療情報学 ・医療情報学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
187	兼担	准教授	タニムラ　ススム 谷村　進 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・分子細胞生物学	1・2③	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
188	兼担	准教授	シロタニ　ケイロウ 城谷　圭朗 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・ゲノム科学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
189	兼担	准教授	フクダ　ハヤト 福田　隼 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年1月）	5日
190	兼担	准教授	クリヤマ　マサミ 栗山　正巳 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
191	兼担	准教授	ノナカ　タカシ 野中　隆 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・腫瘍外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2通 1・2通	1 2 2 2 2 2 4 4 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 准教授 （令和2年11月）	5日
192	兼担	准教授	モチヅキ　ヤスシ 望月　保志 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論	1・2①	1	1	長崎大学　病院 准教授 （平成29年4月）	5日
193	兼担	准教授	フクダ　ミノル 福田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学実習 ・臨床腫瘍学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2通 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 准教授 （平成26年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
194	兼担	准教授	アビル　ノリオ 阿比留　教生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内分泌・代謝内科学演習 ・リウマチ・膠原病内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学） ・専門薬剤師養成実習（糖尿病）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3通	2 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
195	兼担	准教授	サエンコ　ウラジミール SAENKO VLADIMIR ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (生物学) (ロシア連邦)		・放射線災害医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (平成25年4月)	5日
196	兼担	准教授	ムタ　クミコ 牟田　久美子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腎臓内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 准教授 (令和3年6月)	5日
197	兼担	准教授	セキノ　モトヒロ 関野　元裕 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 准教授 (令和2年4月)	5日
198	兼担	准教授	ナカハタ　ヤスカズ 中畑　泰和 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
199	兼担	准教授	アリマ　カズヒコ 有馬　和彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・公衆衛生学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
200	兼担	准教授	タマイ　マミ 玉井　慎美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成30年4月)	5日
201	兼担	准教授	ヤマナシ　ヒロトモ 山梨　啓友 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・総合診療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年11月)	5日
202	兼担	准教授	ナカミチ　セイコ 中道　聖子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・総合診療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　保健センター 准教授 (令和3年10月)	5日
203	兼担	准教授	ミズカミ　シュウサク 水上　修作 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・論文研究Ⅰ	3・4①	4	1	長崎大学　熱帯医学研究所 准教授 (平成31年4月)	5日
204	兼担	准教授	コヤマ　アツヒロ 小山　敦弘 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・応用材料強度学Ⅰ	1・2前	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
205	兼担	准教授	ヨコイ　ユウイチ 横井　裕一 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・電気駆動システム設計特論	1・2後	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
206	兼担	准教授	フジムラ　マコト 藤村　誠 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・画像応用システム特論	1・2前	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (令和2年4月)	5日
207	兼担	准教授	カマダ　カイ 鎌田　海 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・無機複合物性学	1・2前	2	1	長崎大学 総合生産科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
208	兼担	講師	キノシタ　アキラ 木下　晃 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 講師 (平成25年4月)	5日
209	兼担	講師	ハセガワ　ヒロオ 長谷川　寛雄 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 講師 (平成23年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
210	兼担	講師	マツモト　メグミ 松本　恵 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・臨床先端医療機器実習	1・2④ 1・2通	1 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (令和3年4月)	5日
211	兼担	講師	アライ　ジュンイチ 荒井　淳一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 (令和3年4月)	5日
212	兼担	講師	ツイキ　エイコ 築城　英子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・眼科・視覚科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学）	1・2④ 1・2① 3・4①	2 2 4	1 1 1	長崎大学　病院 講師 (平成28年10月)	5日
213	兼担	講師	キタオカ　キョウコ 北岡　杏子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 講師 (令和元年6月)	5日
214	兼担	講師	オオバ　コウジロウ 大庭　康司郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 講師 (平成27年4月)	5日
215	兼担	講師	トリス　テツロウ 鳥巣　哲朗 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科補綴学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 2・3④	2 2 2	1 1 1	長崎大学　病院 講師 (平成21年4月)	5日
216	兼担	講師	イトウ　シンイチロウ 伊藤　信一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・消化器外科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 講師 (平成29年4月)	5日
217	兼担	講師	ヤマモト　カズコ 山本　和子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染制御学実習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (令和3年9月)	5日
218	兼担	講師	タナカ　タケシ 田中　健之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染制御学実習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (平成27年4月)	5日
219	兼担	講師	カワシリ　シンヤ 川尻　真也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・地域医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
220	兼担	講師	イチノセ　クニヒロ 一瀬　邦弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
221	兼担	講師	イワモト　ナオキ 岩本　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (令和3年4月)	5日
222	兼担	講師	オオツボ　リヨウタ 大坪　竜太 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習	1・2通 1・2通	3 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (令和2年12月)	5日
223	兼担	講師	コガ　ヨシユキ 古賀　義之 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	3・4① 3・4③	4 4	1 1	長崎大学　病院 講師 (平成21年4月)	5日
224	兼担	講師	ヤナギグチ　カジロウ 柳口　嘉治郎 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	2・3② 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (平成21年4月)	5日
225	兼担	講師	ヤナモト　ソウイチ 柳本　惣市 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	2・3② 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (平成21年4月)	5日
226	兼担	講師	ウエマツ　マサフミ 上松　聖典 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2③ 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (平成26年9月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
227	兼担	講師	オダツ　テツロウ 尾立　哲郎 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学）	1・2① 1・2③	2 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (平成30年5月)	5日
228	兼担	講師	ヨシダ　ケイイチ 吉田　圭一 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	2・3② 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　病院 講師 (平成21年4月)	5日
229	兼担	助教	モリイシ　タケシ 森石　武史 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・硬組織疾患特論 ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2② 2・3② 2・3④	1 2 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
230	兼担	助教	コサイ　コウスケ 小佐井　康介 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 助教 (平成24年4月)	5日
231	兼担	助教	トモシゲ　コウイチ 朝重　耕一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・臨床先端医療機器特論 ・臨床先端医療機器実習 ・学外連携セミナー	1・2④ 1・2通 1・2通 1・2通	1 3 2 2	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年9月)	5日
232	兼担	助教	ホンダ　タクヤ 本田　琢也 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論（臨床編） ・臨床腫瘍学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 助教 (平成23年4月)	5日
233	兼担	助教	イシイ　コウジ 石井　浩二 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学実習	1・2④ 1・2通	1 2	1 1	長崎大学　病院 助教 (平成25年4月)	5日
234	兼担	助教	ホンダ　コウイチ 本多　功一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・在宅・地域医療実習 ・離島・僻地病院実習 ・臨床腫瘍学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2通 1・2通 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 1 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 助教 (平成30年4月)	5日
235	兼担	助教	サトウ　シュンタロウ 佐藤　俊太朗 ＜令和4年10月＞		博士 (医学バイオ統計学)		・先端臨床試験特論	1・2②	1	1	長崎大学　病院 助教 (平成26年3月)	5日
236	兼担	助教	ホソガヤ　ナオキ 細萱　直希 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・先端臨床試験特論	1・2②	1	1	長崎大学　病院 助教 (平成30年7月)	5日
237	兼担	助教	タカムラ　ケイコ 高村　敬子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・肉眼解剖学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成31年1月)	5日
238	兼担	助教	ニシ　ケイタ 西　啓太 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・顎顔面解剖学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年4月)	5日
239	兼担	助教	ナカガワ　タケヤ 中川　武弥 ＜令和4年10月＞		学士		・生化学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 助教 (平成29年4月)	5日
240	兼担	助教	ヤスイ　キヨシ 安井　潔 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・腫瘍医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
241	兼担	助教	ミズタ　サトシ 水田　賢志 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
242	兼担	助教	オオタキ　ヒロキ 大滝　大樹 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
243	兼担	助教	イマミチ　ショウジ 今道　祥二 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・分子標的医学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和2年4月)	5日
244	兼担	助教	オダ　ヨシアキ 織田　善晃 ＜令和4年10月＞		博士 (生命科学)		・加齢口腔生理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年10月)	5日
245	兼担	助教	ハタヤマ　ミノル 畑山　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・医科薬理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
246	兼担	助教	ヤマグチ　ユウ 山口　優 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科薬理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年4月)	5日
247	兼担	助教	パク　センジュン 朴　盛浚 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
248	兼担	助教	イワナガ　アキラ 岩永　聰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年6月)	5日
249	兼担	助教	ヤマグチ　ヒロユキ 山口　博之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
250	兼担	助教	ハシモト　クニオ 橋本　邦生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・小児科学演習 ・課題研究Ⅰ（医療科学） ・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅰ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学） ・論文研究Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
251	兼担	助教	トリゴエ　ケンタ 鳥越　健太 ＜令和4年10月＞		学士		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 助教 (令和元年8月)	5日
252	兼担	助教	ナカガキ　タケヒロ 中垣　岳大 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染分子解析学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
253	兼担	助教	テラシマ　ヒロユキ 寺島　浩行 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・病原細菌学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和3年2月)	5日
254	兼担	助教	ヒヨシ　ヒロタカ 日吉　大貴 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・病原細菌学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年9月)	5日
255	兼担	助教	ヤハタ　カズヒデ 矢幡　一英 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・病原原虫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成19年11月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
256	兼担	助教	ナカムラ　リサ 中村　梨沙 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・熱帯寄生虫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成25年2月）	5日
257	兼担	助教	ホシ　トモノリ 星　友矩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・熱帯医学情報学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成30年5月）	5日
258	兼担	助教	イトウ　ヒロム 伊東　啓 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・熱帯寄生虫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成30年10月）	5日
259	兼担	助教	ヨシカワ　ロクスケ 吉川　禄助 ＜令和4年10月＞		博士 (人間・環境学)		・新興ウイルス感染症学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （令和2年8月）	5日
260	兼担	助教	サクライ　ヤステル 櫻井　康晃 ＜令和4年10月＞		博士 (生命科学)		・新興ウイルス感染症学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （令和2年8月）	5日
261	兼担	助教	タルミ　ワタル 樽見　航 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
262	兼担	助教	アオヤマ　シンヤ 青山　晋也 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成31年4月）	5日
263	兼担	助教	コガ　トモヒロ 古賀　智裕 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
264	兼担	助教	タウラ　ヤスアキ 田浦　康明 ＜令和4年10月＞		学士		・臨床先端医療機器実習	1・2通	2	1	長崎大学　病院 助教 （平成25年5月）	5日
265	兼担	助教	トミナガ　テツロウ 富永　哲郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・臨床先端医療機器実習 ・学外連携セミナー	1・2通 1・2通	2 2	1 1	長崎大学　病院 助教 （平成31年4月）	5日
266	兼担	助教	クサノ　マオ 草野　真央 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅱ（医療科学） ・特別実習Ⅱ（医療科学）	1・2③ 2・3④	2 2	1 1	長崎大学　病院 助教 （平21年4月）	5日
267	兼担	助教	マエカワ　ユキ 前川　有紀 ＜令和4年10月＞		学士		・特別実習Ⅰ（医療科学） ・論文研究Ⅱ（医療科学）	2・3② 3・4③	2 4	1 1	長崎大学　病院 助教 （平27年8月）	5日
268	兼担	助手	タヤマ　タツユキ 田山　達之 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④	1	1	長崎大学　病院 助教 （令和3年4月）	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	ニシダ　ノリユキ 西田　教行 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・感染分子解析学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後	2 2 2 2 2 4 4 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
2	専	教授	イズミカワ　コウイチ 泉川　公一 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・先端医療科学特論(臨床編) ・臨床感染症学演習 ・臨床感染症学実習 ・感染制御学実習 ・短期海外臨床研修 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2通 1・2④ 1・2③ 1・2② 3・4② 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後	1 2 2 1 1 2 2 2 2 4 4 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
3	専	教授	ナイトウ　マリコ 内藤　真理子 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・ゲノム科学 ・硬組織疾患特論 ・口腔病原微生物学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 3・4① 3・4③	1 1 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年4月）	5日
4	専	教授	モリタ　コウイチ 森田　公一 ＜令和4年10月＞		医学博士		・国際・熱帯医学 ・熱帯ウイルス病学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・感染症危機管理学 ・グローバルリーダー演習Ⅰ ・グローバルリーダー演習Ⅱ ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2後 2・3後 2・3後 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 1 1 1 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成13年10月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
5	専	教授	ヤスダ　ジロウ 安田　二朗 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・国際・熱帯医学 ・新興ウイルス感染症学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・ウイルス学特論 ・感染症危機管理学 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1後 1・2後 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 1 1 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　感染症共同研究拠点 教授 （平成29年4月）	5日
6	専	教授	コダマ　トシオ 児玉　年央 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・国際・熱帯医学 ・先端新興感染症病態制御学特論 ・病原細菌学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・ウイルス学特論 ・感染症危機管理学 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2通 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1後 1・2後 1・2前 1・2後	1 1 2 2 2 2 2 4 4 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （令和2年3月）	5日
7	専	教授	カネコ　オサム 金子　修 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・国際・熱帯医学 ・病原原虫学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・生物医科学実習 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成19年10月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
8	専	教授	ハマノ　シンジロウ 濱野　真二郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・国際・熱帯医学 ・熱帯寄生虫学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・寄生虫学特論 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 1 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成21年5月）	5日
9	専	教授	カネコ　サトシ 金子　聰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・国際・熱帯医学 ・熱帯医学情報学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・疫学統計学特論	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1後	1 2 2 2 2 2 4 4 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成28年7月）	5日
10	専	教授	ヤマモト　タロウ 山本　太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学) 博士 (国際保健学)		・国際・熱帯医学 ・国際保健学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・海外研修 ・文化人類学 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 2・3後 1・2後 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 2 1 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成19年10月）	5日
11	専	教授	ミナカワ　ノボル 皆川　昇 ＜令和4年10月＞		PhD (理学) (米国)		・国際・熱帯医学 ・病害動物学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・病害動物学特論 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 1 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成20年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
12	専	教授	モリモト　コウノスケ 森本　浩之輔 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命倫理学 ・臨床熱帯医学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （令和2年11月）	5日
13	専	教授	ヨシダ　レイミント 吉田　レイミント ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・国際・熱帯医学 ・熱帯小児感染症学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・グラント申請演習 ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	1 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成28年5月）	5日
14	専	教授	ハセベ　フトシ 長谷部　太 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・熱帯微生物学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・感染症危機管理学	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2後	2 2 2 2 2 4 4 1	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成28年11月）	5日
15	専	教授	ナンポ　アスカ 南保　明日香 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・ウイルス感染制御学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　感染症共同研究拠点 教授 （平成31年3月）	5日
16	専	教授	ヨシイ　ケンタロウ 好井　健太朗 ＜令和4年10月＞		博士 （獣医学）		・ウイルス生態学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　感染症共同研究拠点 教授 （令和2年1月）	5日
17	専	教授	ヤツハシ　ヒロシ 八橋　弘 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・ウイルス肝炎治療学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎医療センター 消化器内科（肝臓） 臨床研究センター 治療研究部長 （平成30年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	専	教授	ナカムラ　ミノル 中村　稔 ＜令和4年10月＞		医学博士		・先端医療学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎医療センター 非常勤医師 （平成30年4月）	5日
19	専	教授	クロキ　タモツ 黒木　保 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・機能形態学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎医療センター 外科 臨床研究センター長 （平成31年4月）	5日
20	専	教授	イトウ　マサヒロ 伊東　正博 ＜令和4年10月＞		医学博士		・臨床病理学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎医療センター 病理診断科 病理医 （平成30年4月）	5日
21	専	教授	ミタライ　サトシ 御手洗　聡 ＜令和4年10月＞		医学博士		・基礎抗酸菌症学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸菌部長 （平成29年10月）	5日
22	専	教授	ケイチョウ　ナオト 慶長　直人 ＜令和4年10月＞		医学博士		・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2① 1・2③ 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 4 4	1 1 1 1 1	公益財団法人結核予防会結核研究所 副所長 （平成25年3月）	5日
23	専	教授	シライシ　ユウジ 白石　裕治 ＜令和4年10月＞		医学博士		・臨床抗酸菌症学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	公益財団法人結核予防会複十字病院 呼吸器センター長 （平成21年6月）	5日
24	専	教授	キムラ　ヒロシ 木村　弘 ＜令和4年10月＞		医学博士		・臨床抗酸菌症学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	公益財団法人結核予防会複十字病院 呼吸不全管理センター長 （令和2年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
25	専	教授	センジュウ　ヒデアキ 千住　秀明 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・臨床抗酸菌症学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 3・4① 3・4③	2 2 2 4 4	1 1 1 1 1	公益財団法人結核予防会結核研究所呼吸ケアリハビリセンター付部長（平成27年4月）	5日
26	専	准教授	イノウエ　シンイチ 井上　信一 ＜令和4年10月＞		博士（理学）		・免疫学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域准教授（平成30年9月）	5日
27	専	准教授	タカゾノ　タカヒロ 高園　貴弘 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・臨床感染症学演習 ・臨床感染症学実習 ・感染制御学実習 ・短期海外臨床研修 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2③ 1・2② 3・4② 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	2 2 1 1 2 2 2 2 4 4 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域准教授（令和3年6月）	5日
28	専	准教授	ショウジ　ミキオ 庄子　幹郎 ＜令和4年10月＞		博士（歯学）		・ゲノム科学 ・硬組織疾患特 ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2② 2・3② 2・3④	1 1 2 2	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域准教授（令和元年5月）	5日
29	専	准教授	カワダ　ヒトシ 川田　均 ＜令和4年10月＞		農学博士		・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所准教授（平成21年1月）	5日
30	専	准教授	クボ　ヨシナオ 久保　嘉直 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2前 1・2後	2 2	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所准教授（令和元年8月）	5日
31	専	准教授	ウラタ　シュウゾウ 浦田　秀造 ＜令和4年10月＞		博士（薬学）		・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　感染症共同研究拠点准教授（令和2年1月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
32	専	准教授	コモリ　アツマサ 小森　敦正 ＜令和4年10月＞		医学博士		・先端医療学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	国立病院機構長崎医療センター 内視鏡センター 医長 （平成30年4月）	5日
33	専	准教授	オオカド　アキヒロ 大角　晃弘 ＜令和4年10月＞		博士（医学）		・基礎抗酸菌症学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	公益財団法人結核予防会結核研究所 臨床・疫学部長 （平成29年10月）	5日
34	専	講師	タシロ　マサト 田代　将人 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・臨床感染症学演習 ・臨床感染症学実習 ・感染制御学実習 ・短期海外臨床研修 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2③ 1・2② 3・4② 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 1 1 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年6月）	5日
35	兼担	教授	ツルモト　トシユキ 弦本　敏行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
36	兼担	教授	オオバ　シンスケ 大庭　伸介 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命医療科学トピックス ・分子細胞生物学 ・硬組織疾患特論 ・移植・再生医療学特論 ・細胞生物学演習	1・2④ 1・2③ 1・2② 1・2① 1・2④	2 1 1 1 2	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和元年5月）	5日
37	兼担	教授	イノウエ　ツヨシ 井上　剛 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・内臓機能生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年5月）	5日
38	兼担	教授	イトウ　タカシ 伊藤　敬 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生化学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
39	兼担	教授	ナカムラ　ワタル 中村　渉 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・加齢口腔生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
40	兼担	教授	アルガ　ジュン 有賀　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
41	兼担	教授	ツクバ　タカユキ 筑波　隆幸 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・硬組織疾患特論 ・歯科薬理学演習 ・小児歯科学演習	1・2② 1・2④ 1・2④	1 2 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
42	兼担	教授	フクオカ　ジュンヤ 福岡　順也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・病理診断科学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
43	兼担	教授	シモカワ　イサオ 下川　功 ＜令和4年10月＞		医学博士		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和元年10月）	5日
44	兼担	教授	イケダ　ヒロアキ 池田　裕明 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命医療科学トピックス ・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端医療科学特論(基礎編) ・腫瘍医学演習	1・2④ 1・2② 1・2通 1・2④	2 1 1 2	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
45	兼担	教授	ワタナベ　イクヤ 渡邊　郁哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・生体材料科学 ・生体材料学演習	1・2④ 1・2① 1・2④	2 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
46	兼担	教授	イトウ　コウセイ 伊藤　公成 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・分子硬組織生物学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
47	兼担	教授	マスタニ　ミツコ 益谷　美都子 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・分子標的医学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和元年10月）	5日
48	兼担	教授	イケマツ　カズヤ 池松　和哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命倫理学 ・法医学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
49	兼担	教授	オオサワ　カズタカ 大沢　一貴 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・比較動物医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年6月）	5日
50	兼担	教授	カドワキ　トモコ 門脇　知子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・フロンティア口腔科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年3月）	5日
51	兼担	教授	サイトウ　トシユキ 齋藤　俊行 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔保健学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
52	兼担	教授	キタオカ　タカシ 北岡　隆 ＜令和4年10月＞		医学博士		・眼科・視覚科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
53	兼担	教授	クマイ　ヨシヒコ 熊井　良彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年1月）	5日
54	兼担	教授	マツオ　タカユキ 松尾　孝之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
55	兼担	教授	ハラ　テツヤ 原　哲也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・麻酔集中治療医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
56	兼担	教授	エイシ　キヨユキ 江石　清行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・心臓血管外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
57	兼担	教授	サカイ　ヒデキ 酒井　英樹 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
58	兼担	教授	エグチ　ススム 江口　晋 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・移植・消化器外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
59	兼担	教授	カネタカ　ケンゴ 金高　賢悟 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・移植・消化器外科学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年1月）	5日
60	兼担	教授	ミウラ　キヨノリ 三浦　清徳 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・産科婦人科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年4月）	5日
61	兼担	教授	オサキ　マコト 尾崎　誠 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
62	兼担	教授	タナカ　カツミ 田中　克己 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・形成再建外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
63	兼担	教授	オザワ　ヒロキ 小澤　寛樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・精神神経科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
64	兼担	教授	ムロタ　ヒロユキ 室田　浩之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成30年5月）	5日
65	兼担	教授	マエムラ　コウジ 前村　浩二 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
66	兼担	教授	ナカオ　カズヒコ 中尾　一彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・消化器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
67	兼担	教授	ムカエ　ヒロシ 迎　寛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
68	兼担	教授	ヤナギハラ　カツノリ 柳原　克紀 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・臨床微生物学特論 ・感染疫学特論 ・病態解析・診断学演習 ・細菌学特論	1・2④ 1・2③ 1・2③ 1・2④ 1後	1 1 1 2 1	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
69	兼担	教授	モリウチ　ヒロユキ 森内　浩幸 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・小児科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
70	兼担	教授	ウエタニ　マサタカ 上谷　雅孝 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・放射線診断治療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
71	兼担	教授	アシザワ　カズト 芦澤　和人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学特論Ⅰ（総論） ・集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療） ・集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん） ・集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療） ・集学的がん治療学実習 ・在宅・地域医療実習 ・離島・僻地病院実習 ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2前 1・2後 1・2前 1・2後 1・2通 1・2通 1・2通 1・2④	1 1 1 1 1 2 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
72	兼担	教授	アユセ　タカオ 鮎瀬　卓郎 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・歯科麻酔学演習	1・2④ 1・2通 1・2通	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
73	兼担	教授	ヨシムラ　アツトシ 吉村　篤利 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・硬組織疾患特論 ・歯周歯内治療学演習	1・2④ 1・2② 1・2④	2 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成30年4月）	5日
74	兼担	教授	サワセ　タカシ 澤瀬　隆 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
75	兼担	教授	ムラタ　ヒロシ 村田　比呂司 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
76	兼担	教授	ウメダ　マサヒロ 梅田　正博 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・口腔腫瘍治療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
77	兼担	教授	アサヒナ　イズミ 朝比奈　泉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・移植・再生医療学特論 ・顎口腔再生外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
78	兼担	教授	スミ　ミサ 角　美佐 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔診断・情報科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年12月）	5日
79	兼担	教授	ツカモト　カズヒロ 塚元　和弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・がん専門薬剤師養成実習B ・先端薬物治療学特論 ・薬物治療学演習	1・2通 1・2④ 1・2④	8 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年10月）	5日
80	兼担	教授	カワカミ　シゲル 川上　茂 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・先端臨床試験特論 ・医薬品情報学演習	1・2③ 1・2② 1・2④	1 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
81	兼担	教授	ニシダ　コウヨウ 西田　孝洋 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・がん専門薬剤師養成実習A ・先端臨床薬学特論 ・薬剤学演習	1・2通 1・2④ 1・2④	8 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
82	兼担	教授	ナカシマ　ミキロウ 中嶋　幹郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・実践薬学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
83	兼担	教授	エトウ　ヒロミ 江藤　宏美 ＜令和4年10月＞		博士 (看護学)		・看護学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
84	兼担	教授	ホンダ　スミヒサ 本田　純久 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生物統計学 ・看護学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
85	兼担	教授	サワイ　テルミツ 澤井　照光 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・看護学演習	1・2① 1・2④ 1・2①	1 2 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
86	兼担	教授	クロダ　ヒロミ 黒田　裕美 ＜令和4年10月＞		博士 (看護学)		・看護学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年9月）	5日
87	兼担	教授	イシマツ　ユウジ 石松　祐二 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・看護学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
88	兼担	教授	オキタ　ミノル 沖田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・理学療法学演習	1・2④ 1・2通 1・2通	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
89	兼担	教授	オリグチ　トモキ 折口　智樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・看護・リハビリテーション科学特論 ・理学療法学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
90	兼担	教授	コウヅ　リョウ 神津　玲 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・理学療法学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
91	兼担	教授	イワナガ　リョウイチロウ 岩永　竜一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・作業療法学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
92	兼担	教授	タナカ　ゴロウ 田中　悟郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・作業療法学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
93	兼担	教授	オオニシ　マユミ 大西　眞由美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
94	兼担	教授	ヒガシ　トシオ 東　登志夫 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・保健科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
95	兼担	教授	コセキ　ヒロノブ 小関　弘展 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
96	兼担	教授	サトウ　カツヤ 佐藤　克也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
97	兼担	教授	タナカ　ヨシマサ 田中　義正 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端創薬学演習 ・感染創薬学特論	1・2② 1・2④ 1・2前	1 2 1	1 1 1	長崎大学　先端創薬イノベーションセンター 教授 （令和元年9月）	5日
98	兼担	教授	ツジノ　アキラ 辻野　彰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 教授 （平成26年8月）	5日
99	兼担	教授	ニシノ　トモヤ 西野　友哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 教授 （平成26年8月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
100	兼担	教授	タサキ　オサム 田崎　修 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・救命救急医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 教授 （平成23年6月）	5日
101	兼担	教授	ヒグチ　オサム 樋口　理 ＜令和4年10月＞		理学博士		・神経免疫学演習	1・2④	2	1	国立病院機構長崎川棚医療センター 臨床研究部 免疫・ゲノム医化学研究室長 （平成23年4月）	5日
102	兼担	教授	イチカワ　タツキ 市川　辰樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・地域包括ケア学演習	1・2④	2	1	長崎みなとメディカルセンター市民病院 副院長・消化器内科主任診療部長 （平成31年4月）	5日
103	兼担	教授	ヤマヨシ　アサコ 山吉　麻子 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・生命医療科学トピックス ・生体分子解析学	1・2④ 1・2④	2 1	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成30年3月）	5日
104	兼担	教授	ナカシマ　マサヒロ 中島　正洋 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・腫瘍・診断病理学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
105	兼担	教授	マエダ　タカヒロ 前田　隆浩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・総合診療学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
106	兼担	教授	イワタ　ノブヒサ 岩田　修永 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・ゲノム科学 ・先端機器実習 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2② 1・2④	1 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
107	兼担	教授	ユイ　カツユキ 由井　克之 ＜令和4年10月＞		医学博士		・免疫学演習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
108	兼担	教授	タカムラ　ノボル 高村　昇 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・先端臨床試験特論 ・国際保健医療福祉学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成20年4月）	5日
109	兼担	教授	アリヨシ　コウヤ 有吉　紅也 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・国際・熱帯医学	1・2②	1	1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成17年3月）	5日
110	兼担	教授	ヨシウラ　コウイチロウ 吉浦　孝一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
111	兼担	教授	コモリ　トシヒサ 小守　壽文 ＜令和4年10月＞		医学博士		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成31年4月）	5日
112	兼担	教授	イシハラ　ジュン 石原　淳 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
113	兼担	教授	タナカ　タカシ 田中　隆 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
114	兼担	教授	タナカ　マサカズ 田中　正一 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
115	兼担	教授	オノムラ　オサム 尾野村　治 ＜令和4年10月＞		工学博士		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
116	兼担	教授	クロダ　ナオタカ 黒田　直敬 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・生体分子解析学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
117	兼担	教授	トリバ　アキラ 鳥羽　陽 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・生体分子解析学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
118	兼担	教授	ヤマモト　ヒロシ 山本　弘史 ＜令和4年10月＞		修士 （薬学）		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端臨床試験特論	1・2② 1・2②	1 1	1 1	長崎大学　病院 教授 （平成26年7月）	5日
119	兼担	教授	シノハラ　カズユキ 篠原　一之 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
120	兼担	教授	アオヤギ　キヨシ 青柳　潔 ＜令和4年10月＞		医学博士		・公衆衛生学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
121	兼担	教授	ナガタ　ヤスヒロ 永田　康浩 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・地域医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年8月）	5日
122	兼担	教授	カワカミ　アツシ 川上　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
123	兼担	教授	ナガヤマ　ユウジ 永山　雄二 ＜令和4年10月＞		医学博士		・分子医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
124	兼担	教授	オクムラ　ジュンコ 奥村　順子 ＜令和4年10月＞		博士 （保健学）		・感染症危機管理学	1・2後	1	1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成29年4月）	5日
125	兼担	教授	モジ　カスヒコ 門司　和彦 ＜令和4年10月＞		保健学 博士		・文化人類学	1・2後	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
126	兼担	教授	スサイ　マサユキ 須齋　正幸 ＜令和4年10月＞		商学修士		・国際経済学 ・国際法学	1・2後 1・2後	1 1	1 1	長崎大学　人文社会科学域 教授 （平成31年4月）	5日
127	兼担	教授	ニシハラ　トシアキ 西原　俊明 ＜令和4年10月＞		博士 （言語学）		・コミュニケーションスキル演習Ⅰ ・コミュニケーションスキル演習Ⅱ	1・2後 1・2前	1 1	1 1	長崎大学　言語教育研究センター 教授 （平成24年4月）	5日
128	兼担	准教授	シバタ　ヤスアキ 柴田　恭明 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・分子細胞生物学 ・組織細胞生物学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
129	兼担	准教授	オヤマダ　ジョウイチ 小山田　常一 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・顎顔面解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年10月）	5日
130	兼担	准教授	スミタ　ヨシノリ 住田　吉慶 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命医療科学トピックス ・生体材料科学	1・2④ 1・2①	2 1	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
131	兼担	准教授	フジタ　ワカコ 藤田　和歌子 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
132	兼担	准教授	モリ　リョウイチ 森　亮一 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
133	兼担	准教授	ムラオカ　ダイスケ 村岡　大輔 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命医療科学トピックス ・腫瘍医学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
134	兼担	准教授	フジタ　シュウイチ 藤田　修一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
135	兼担	准教授	アベ　シゲアキ 阿部　薫明 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生体材料科学	1・2①	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年5月）	5日
136	兼担	准教授	ソウトメ　サキコ 五月女　さき子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔保健学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年2月）	5日
137	兼担	准教授	イズモ　ツヨシ 出雲　剛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
138	兼担	准教授	ムラタ　ヒロアキ 村田　寛明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・麻酔集中治療医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
139	兼担	准教授	ミヤタ　ヤスヨシ 宮田　康好 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
140	兼担	准教授	ツチヤ　トモシ 土谷　智史 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・腫瘍外科学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
141	兼担	准教授	マツモト　ケイタロウ 松本　桂太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・腫瘍外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年11月）	5日
142	兼担	准教授	ヒダカ　マサアキ 日高　匡章 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・移植・消化器外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
143	兼担	准教授	トミタ　マサト 富田　雅人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
144	兼担	准教授	タケナカ　モトイ 竹中　基 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
145	兼担	准教授	カワノ　ヒロアキ 河野　浩章 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
146	兼担	准教授	オバセ　ヤスシ 尾長谷　靖 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
147	兼担	准教授	スエヨシ　エイジュン 末吉　英純 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・放射線診断治療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年11月）	5日
148	兼担	准教授	クラタ　シンジ 倉田　眞治 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科麻酔学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
149	兼担	准教授	ホトケザカ　ヒトシ 佛坂　斉祉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・歯科矯正学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
150	兼担	准教授	ヤマダ　シヅカ 山田　志津香 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
151	兼担	准教授	クロシマ　シンイチロウ 黒嶋　伸一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年5月）	5日
152	兼担	准教授	オオバ　セイゴ 大場　誠悟 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎口腔再生外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年11月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
153	兼担	准教授	タカギ　ユキノリ 高木　幸則 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・口腔診断・情報科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
154	兼担	准教授	ムカイ　ヒデフミ 向井　英史 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・医療情報学 ・医薬品情報学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年6月）	5日
155	兼担	准教授	フモト　シンタロウ 麓　伸太郎 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・先端臨床薬学特論 ・薬剤学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
156	兼担	准教授	オオヤマ　カナメ 大山　要 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・実践薬学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
157	兼担	准教授	サカモト　ジュンヤ 坂本　淳哉 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・理学療法学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
158	兼担	准教授	キシノ　タツヤ 木住野　達也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・ゲノム科学 ・ゲノム機能解析学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年10月）	5日
159	兼担	准教授	コバヤシ　マサカズ 古林　正和 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・予防医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　保健センター 准教授 （令和3年4月）	5日
160	兼担	准教授	カワサキ　コウジ 川崎　浩二 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・地域保健・福祉連携学演習 ・コーディネーター養成実習	1・2④ 2・3前	2 4	1 1	長崎大学　病院 准教授 （平成21年4月）	5日
161	兼担	准教授	コダマ　ユキノブ 兒玉　幸修 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・医療情報学 ・臨床薬物動態学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　病院 准教授 （平成30年7月）	5日
162	兼担	准教授	フクドメ　タカヤス 福留　隆泰 ＜令和4年10月＞		医学博士		・脳神経病態学演習	1・2④	2	1	国立病院機構長崎川棚医療センター 脳神経内科 臨床研究部長 （平成30年4月）	5日
163	兼担	准教授	イワサ　サトル 岩佐　悟 ＜令和4年10月＞		医学博士		・包括的腫瘍学演習	1・2④	2	1	国立がん研究センター中央病院 医員 （平成27年4月）	5日
164	兼担	准教授	トイズミ　ミチコ 樋泉　道子 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・グラント申請演習	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前	2 2 2 2 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 准教授 （令和2年5月）	5日
165	兼担	准教授	マキ　トシヒデ 真木　俊英 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　研究開発推進機構 准教授 （平成30年7月）	5日
166	兼担	准教授	キシカワ　ナオヤ 岸川　直哉 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
167	兼担	准教授	マツモト　タケヒロ 松本　武浩 ＜令和4年10月＞		学士		・医療情報学 ・医療情報学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
168	兼担	准教授	タニムラ　ススム 谷村　進 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・分子細胞生物学	1・2③	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
169	兼担	准教授	シロタニ　ケイロウ 城谷　圭朗 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・ゲノム科学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
170	兼担	准教授	フクダ　ハヤト 福田　隼 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成30年1月)	5日
171	兼担	准教授	クリヤマ　マサミ 栗山　正巳 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
172	兼担	准教授	ノナカ　タカシ 野中　隆 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・腫瘍外科学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　病院 准教授 (令和2年11月)	5日
173	兼担	准教授	モチヅキ　ヤスシ 望月　保志 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論	1・2①	1	1	長崎大学　病院 准教授 (平成29年4月)	5日
174	兼担	准教授	フクダ　ミノル 福田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学実習 ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2通 1・2④	1 2 2	1 1 1	長崎大学　病院 准教授 (平成26年4月)	5日
175	兼担	准教授	アビル　ノリオ 阿比留　教生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内分泌・代謝内科学演習 ・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
176	兼担	准教授	サエンコ　ウラジミール SAENKO VLADIMIR ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (生物学) (ロシア連邦)		・放射線災害医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (平成25年4月)	5日
177	兼担	准教授	ムタ　クミコ 牟田　久美子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 准教授 (令和3年6月)	5日
178	兼担	准教授	ナカハタ　ヤスカズ 中畑　泰和 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
179	兼担	准教授	アリマ　カズヒコ 有馬　和彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・公衆衛生学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
180	兼担	准教授	タマイ　マミ 玉井　慎美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成30年4月)	5日
181	兼担	准教授	ヤマナシ　ヒロトモ 山梨　啓友 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・総合診療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年11月)	5日
182	兼担	准教授	ナカミチ　セイコ 中道　聖子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・総合診療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　保健センター 准教授 (令和3年10月)	5日
183	兼担	准教授	マスダ　ケン 増田　研 ＜令和4年10月＞		博士 (社会人類学)		・文化人類学	1・2後	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
184	兼担	准教授	フジタ　タイスケ 藤田　泰昌 ＜令和4年10月＞		博士 (国際関係論)		・国際経済学	1・2後	1	1	長崎大学　人文社会科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
185	兼担	講師	サイキ　カズノブ 佐伯　和信 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
186	兼担	講師	ムライ　キヨヒト 村井　清人 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・肉眼解剖学演習 ・組織細胞生物学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 (令和3年6月)	5日
187	兼担	講師	マツモト　ゲン 松本　弦 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・組織細胞生物学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
188	兼担	講師	ツジ　ユキオミ 辻　幸臣 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内臓機能生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
189	兼担	講師	ヨネダ　ミツヒロ 米田　光宏 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生化学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年10月）	5日
190	兼担	講師	ハヤシ　ヒロコ 林　洋子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
191	兼担	講師	イケダ　サトシ 池田　聡司 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
192	兼担	講師	サカモト　ノリホ 坂本　憲穂 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
193	兼担	講師	サカモト　ケイ 坂本　啓 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習 ・細菌学特論	1・2④ 1・2④ 1後	1 2 1	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年4月）	5日
194	兼担	講師	キノシタ　アキラ 木下　晃 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 講師 （平成25年4月）	5日
195	兼担	講師	ハセガワ　ヒロオ 長谷川　寛雄 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 （平成23年4月）	5日
196	兼担	講師	マツモト　メグミ 松本　恵 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 （令和3年4月）	5日
197	兼担	講師	アライ　ジュンイチ 荒井　淳一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 （令和3年4月）	5日
198	兼担	講師	ツイキ　エイコ 築城　英子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・眼科・視覚科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 （平成28年10月）	5日
199	兼担	講師	キタオカ　キョウコ 北岡　杏子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 （令和元年6月）	5日
200	兼担	講師	オオバ　コウジロウ 大庭　康司郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 （平成27年4月）	5日
201	兼担	講師	トリス　テツロウ 鳥巣　哲朗 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科補綴学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 （平成21年4月）	5日
202	兼担	講師	イトウ　シンイチロウ 伊藤　信一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・消化器外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 （平成29年4月）	5日
203	兼担	講師	ヤマモト　カズコ 山本　和子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染制御学実習 ・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 講師 （令和3年9月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
204	兼担	講師	タナカ　タケシ 田中　健之 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・感染制御学実習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　病院 講師 （平成27年4月）	5日
205	兼担	講師	カワシリ　シンヤ 川尻　真也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・地域医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
206	兼担	講師	イチノセ　クニヒロ 一瀬　邦弘 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
207	兼担	講師	イワモト　ナオキ 岩本　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年4月）	5日
208	兼担	助教	エンドウ　ダイスケ 遠藤　大輔 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
209	兼担	助教	マツナガ　ハヤト 松永　隼人 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
210	兼担	助教	サカイ　エイコ 坂井　詠子 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・歯科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
211	兼担	助教	カタセ　ナオキ 片瀬　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・口腔病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
212	兼担	助教	ナガノ　ケンイチ 永野　健一 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成30年8月）	5日
213	兼担	助教	オノデラ　タカエ 小野寺　貴恵 ＜令和4年10月＞		博士 （農学）		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （令和2年1月）	5日
214	兼担	助教	ウメハラ　タカヒロ 梅原　敬弘 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・法医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
215	兼担	助教	チバ　コウ 千葉　恒 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・整形外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
216	兼担	助教	モリウチ　マサコ 森内　昌子 ＜令和4年10月＞		PhD （米国）		・小児科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
217	兼担	助教	イ　タカシ 井　隆司 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・顎口腔再生外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
218	兼担	助教	モリイシ　タケシ 森石　武史 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
219	兼担	助教	コサイ　コウスケ 小佐井　康介 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習 ・細菌学特論	1・2④ 1・2④ 1後	1 2 1	1 1 1	長崎大学　病院 助教 （平成24年4月）	5日
220	兼担	助教	トモシゲ　コウイチ 朝重　耕一 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年9月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
221	兼担	助教	ホンダ　タクヤ 本田　琢也 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論（臨床編） ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　病院 助教 （平成23年4月）	5日
222	兼担	助教	イシイ　コウジ 石井　浩二 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学実習	1・2④ 1・2通	1 2	1 1	長崎大学　病院 助教 （平成25年4月）	5日
223	兼担	助教	ホンダ　コウイチ 本多　功一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・在宅・地域医療実習 ・離島・僻地病院実習 ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2通 1・2通 1・2④	1 1 2 2	1 1 1 1	長崎大学　病院 助教 （平成30年4月）	5日
224	兼担	助教	サトウ　シュンタロウ 佐藤　俊太朗 ＜令和4年10月＞		博士 (医学バイオ統計学)		・先端臨床試験特論	1・2②	1	1	長崎大学　病院 助教 （平成26年3月）	5日
225	兼担	助教	ホソガヤ　ナオキ 細萱　直希 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・先端臨床試験特論	1・2②	1	1	長崎大学　病院 助教 （平成30年7月）	5日
226	兼担	助教	タカムラ　ケイコ 高村　敬子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成31年1月）	5日
227	兼担	助教	ニシ　ケイタ 西　啓太 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・顎顔面解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成30年4月）	5日
228	兼担	助教	ナカガワ　タケヤ 中川　武弥 ＜令和4年10月＞		学士		・生化学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 助教 （平成29年4月）	5日
229	兼担	助教	ヤスイ　キヨシ 安井　潔 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・腫瘍医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
230	兼担	助教	ミズタ　サトシ 水田　賢志 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
231	兼担	助教	オオタキ　ヒロキ 大滝　大樹 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
232	兼担	助教	イマミチ　ショウジ 今道　祥二 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （令和2年4月）	5日
233	兼担	助教	オダ　ヨシアキ 織田　善晃 ＜令和4年10月＞		博士 (生命科学)		・加齢口腔生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年10月）	5日
234	兼担	助教	ハタヤマ　ミノル 畑山　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
235	兼担	助教	ヤマグチ　ユウ 山口　優 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成30年4月）	5日
236	兼担	助教	パク　センジュン 朴　盛浚 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
237	兼担	助教	イワナガ　アキラ 岩永　聰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成30年6月）	5日
238	兼担	助教	ヤマグチ　ヒロユキ 山口　博之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
239	兼担	助教	ハシモト　クニオ 橋本　邦生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・小児科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
240	兼担	助教	トリゴエ　ケンタ 鳥越　健太 ＜令和4年10月＞		学士		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 助教 （令和元年8月）	5日
241	兼担	助教	ナカガキ　タケヒロ 中垣　岳大 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・感染分子解析学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
242	兼担	助教	テラシマ　ヒロユキ 寺島　浩行 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・病原細菌学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （令和3年2月）	5日
243	兼担	助教	ヒヨシ　ヒロタカ 日吉　大貴 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・病原細菌学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後	2 2 2 2 2 4 4 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （令和2年9月）	5日
244	兼担	助教	ヤハタ　カズヒデ 矢幡　一英 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・病原原虫学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成19年11月）	5日
245	兼担	助教	ナカムラ　リサ 中村　梨沙 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・熱帯寄生虫学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成25年2月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
246	兼担	助教	ホシ　トモノリ 星　友矩 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・熱帯医学情報学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成30年5月）	5日
247	兼担	助教	イトウ　ヒロム 伊東　啓 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・熱帯寄生虫学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・課題研究Ⅱ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅰ（グローバルリーダー） ・論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③ 1・2前 1・2後 3・4前 3・4後	2 2 2 2 2 4 4 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （平成30年10月）	5日
248	兼担	助教	ヨシカワ　ロクスケ 吉川　禄助 ＜令和4年10月＞		博士 （人間・環境学）		・新興ウイルス感染症学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （令和2年8月）	5日
249	兼担	助教	サクライ　ヤステル 櫻井　康晃 ＜令和4年10月＞		博士 （生命科学）		・新興ウイルス感染症学演習 ・課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学） ・論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 （令和2年8月）	5日
250	兼担	助教	タルミ　ワタル 樽見　航 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
251	兼担	助教	アオヤマ　シンヤ 青山　晋也 ＜令和4年10月＞		博士 （農学）		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成31年4月）	5日
252	兼担	助教	コガ　トモヒロ 古賀　智裕 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
253	兼担	助教	オオタ　ケンジ 太田　賢治 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・細菌学特論	1後	1	1	長崎大学　病院 助教 （令和3年11月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
254	兼担	助教	スナハラ　トシヒコ 砂原　俊彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成20年4月)	5日
255	兼担	助教	フタミ　キョウコ 二見　恭子 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅰ(新興感染症病態制御学) ・論文研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)	1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成20年6月)	5日
256	兼担	助手	タヤマ　タツユキ 田山　達之 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④	1	1	長崎大学　病院 助教 (令和3年4月)	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	ミツタケ　ノリサト 光武　範吏 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・放射線災害医療学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成31年4月）	5日
2	専	教授	マツダ　ナオキ 松田　尚樹 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・放射線生物・防護学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成26年10月）	5日
3	専	教授	ハヤシダ　ナオミ 林田　直美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・先端放射線医療科学特論 ・放射線・環境健康影響学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成26年11月）	5日
4	専	教授	リ　タオセン 李　桃生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・分子細胞生物学 ・移植・再生医療学特論 ・包括的腫瘍学特論（基礎編） ・幹細胞生物学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2③ 1・2① 1・2② 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	1 1 1 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
5	専	教授	ミヤザキ　ヤスシ 宮崎　泰司 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム機能修復学演習 ・血液内科学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
6	専	教授	クドウ　タカシ 工藤　崇 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・アイソトープ診断治療学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成25年4月)	5日
7	専	准教授	スズキ　ケイジ 鈴木　啓司 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・放射線災害医療学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (平成25年4月)	5日
8	専	准教授	イマイズミ　ヨシタカ 今泉　芳孝 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・血液内科学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (令和3年4月)	5日
9	専	助教	ゴトウ　シンジ 後藤　信治 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・幹細胞生物学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 助教 (平成25年4月)	5日
10	専	助教	ニシ　コウダイ 西　弘大 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・アイソトープ診断治療学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅰ（放射線医療科学） ・特別実習Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 2・3② 2・3④ 3・4① 3・4③	2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 助教 (平成26年7月)	5日
11	兼担	教授	ツルモト　トシユキ 弦本　敏行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
12	兼担	教授	オオバ　シンスケ 大庭　伸介 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・分子細胞生物学 ・硬組織疾患特論 ・移植・再生医療学特論 ・細胞生物学演習	1・2④ 1・2③ 1・2② 1・2① 1・2④	2 1 1 1 2	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和元年5月)	5日
13	兼担	教授	イノウエ　ツヨシ 井上　剛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内臓機能生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和2年5月)	5日
14	兼担	教授	イトウ　タカシ 伊藤　敬 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生化学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
15	兼担	教授	ナカムラ　ワタル 中村　渉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・加齢口腔生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
16	兼担	教授	アルガ　ジュン 有賀　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
17	兼担	教授	ツクバ　タカユキ 筑波　隆幸 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・硬組織疾患特論 ・歯科薬理学演習 ・小児歯科学演習	1・2② 1・2④ 1・2④	1 2 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
18	兼担	教授	フクオカ　ジュンヤ 福岡　順也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・病理診断科学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
19	兼担	教授	シモカワ　イサオ 下川　功 ＜令和4年10月＞		医学博士		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和元年10月)	5日
20	兼担	教授	イケダ　ヒロアキ 池田　裕明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端医療科学特論(基礎編) ・腫瘍医学演習	1・2④ 1・2② 1・2通 1・2④	2 1 1 2	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
21	兼担	教授	ワタナベ　イクヤ 渡邊　郁哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・生体材料科学 ・生体材料学演習	1・2④ 1・2① 1・2④	2 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
22	兼担	教授	イトウ　コウセイ 伊藤　公成 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・分子硬組織生物学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
23	兼担	教授	マスタニ　ミツコ 益谷　美都子 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・分子標的医学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和元年10月)	5日
24	兼担	教授	イケマツ　カズヤ 池松　和哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命倫理学 ・法医学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
25	兼担	教授	オオサワ　カズタカ 大沢　一貴 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・比較動物医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年6月)	5日
26	兼担	教授	カドワキ　トモコ 門脇　知子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・フロンティア口腔科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年3月)	5日
27	兼担	教授	サイトウ　トシユキ 齋藤　俊行 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔保健学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
28	兼担	教授	キタオカ　タカシ 北岡　隆 ＜令和4年10月＞		医学博士		・眼科・視覚科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
29	兼担	教授	クマイ　ヨシヒコ 熊井　良彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和2年1月)	5日
30	兼担	教授	マツオ　タカユキ 松尾　孝之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
31	兼担	教授	ハラ　テツヤ 原　哲也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・麻酔集中治療医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
32	兼担	教授	エイシ　キヨユキ 江石　清行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・心臓血管外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
33	兼担	教授	サカイ　ヒデキ 酒井　英樹 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
34	兼担	教授	エグチ　ススム 江口　晋 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・移植・消化器外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
35	兼担	教授	カネタカ　ケンゴ 金高　賢悟 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・移植・消化器外科学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成31年1月)	5日
36	兼担	教授	ミウラ　キヨノリ 三浦　清徳 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・産科婦人科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成31年4月)	5日
37	兼担	教授	オサキ　マコト 尾崎　誠 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
38	兼担	教授	タナカ　カツミ 田中　克己 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・形成再建外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
39	兼担	教授	オザワ　ヒロキ 小澤　寛樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・精神神経科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
40	兼担	教授	ムロタ　ヒロユキ 室田　浩之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成30年5月)	5日
41	兼担	教授	マエムラ　コウジ 前村　浩二 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
42	兼担	教授	ナカオ　カズヒコ 中尾　一彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・消化器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
43	兼担	教授	ムカエ　ヒロシ 迎　寛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
44	兼担	教授	ヤナギハラ　カツノリ 柳原　克紀 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・臨床微生物学特論 ・感染疫学特論 ・病態解析・診断学演習	1・2④ 1・2③ 1・2③ 1・2④	1 1 1 2	1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
45	兼担	教授	モリウチ　ヒロユキ 森内　浩幸 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・小児科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
46	兼担	教授	ウエタニ　マサタカ 上谷　雅孝 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・放射線診断治療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
47	兼担	教授	アシザワ　カズト 芦澤　和人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学特論Ⅰ(総論) ・集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療) ・集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん) ・集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療) ・集学的がん治療学実習 ・在宅・地域医療実習 ・離島・僻地病院実習 ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2前 1・2後 1・2前 1・2後 1・2通 1・2通 1・2通 1・2④	1 1 1 1 1 2 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
48	兼担	教授	アユセ　タカオ 鮎瀬　卓郎 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・歯科麻酔学演習	1・2④ 1・2通 1・2通	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
49	兼担	教授	ヨシムラ　アツトシ 吉村　篤利 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・硬組織疾患特論 ・歯周歯内治療学演習	1・2④ 1・2② 1・2④	2 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成30年4月)	5日
50	兼担	教授	サワセ　タカシ 澤瀬　隆 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
51	兼担	教授	ムラタ　ヒロシ 村田　比呂司 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
52	兼担	教授	ウメダ　マサヒロ 梅田　正博 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・口腔腫瘍治療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
53	兼担	教授	アサヒナ　イズミ 朝比奈　泉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・移植・再生医療学特論 ・顎口腔再生外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
54	兼担	教授	スミ　ミサ 角　美佐 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔診断・情報科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年12月）	5日
55	兼担	教授	ツカモト　カズヒロ 塚元　和弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・がん専門薬剤師養成実習B ・先端薬物治療学特論 ・薬物治療学演習	1・2通 1・2④ 1・2④	8 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年10月）	5日
56	兼担	教授	カワカミ　シゲル 川上　茂 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・先端臨床試験特論 ・医薬品情報学演習	1・2③ 1・2② 1・2④	1 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
57	兼担	教授	ニシダ　コウヨウ 西田　孝洋 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・がん専門薬剤師養成実習A ・先端臨床薬学特論 ・薬剤学演習	1・2通 1・2④ 1・2④	8 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
58	兼担	教授	ナカシマ　ミキロウ 中嶋　幹郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・実践薬学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
59	兼担	教授	エトウ　ヒロミ 江藤　宏美 ＜令和4年10月＞		博士 (看護学)		・看護学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
60	兼担	教授	ホンダ　スミヒサ 本田　純久 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生物統計学 ・看護学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
61	兼担	教授	サワイ　テルミツ 澤井　照光 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・看護学演習	1・2① 1・2④ 1・2①	1 2 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
62	兼担	教授	クロダ　ヒロミ 黒田　裕美 ＜令和4年10月＞		博士 (看護学)		・看護学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年9月）	5日
63	兼担	教授	イシマツ　ユウジ 石松　祐二 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・看護学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
64	兼担	教授	オキタ　ミノル 沖田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・理学療法学演習	1・2④ 1・2通 1・2通	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
65	兼担	教授	オリグチ　トモキ 折口　智樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・看護・リハビリテーション科学特論 ・理学療法学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
66	兼担	教授	コウヅ　リョウ 神津　玲 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・理学療法学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
67	兼担	教授	イワナガ　リョウイチロウ 岩永　竜一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・作業療法学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
68	兼担	教授	タナカ　ゴロウ 田中　悟郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・作業療法学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
69	兼担	教授	オオニシ　マユミ 大西　眞由美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
70	兼担	教授	ヒガシ　トシオ 東　登志夫 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・看護・リハビリテーション科学特論 ・保健科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
71	兼担	教授	コセキ　ヒロノブ 小関　弘展 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
72	兼担	教授	サトウ　カツヤ 佐藤　克也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・保健科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
73	兼担	教授	タナカ　ヨシマサ 田中　義正 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端創薬学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　先端創薬イノベーションセンター 教授 (令和元年9月)	5日
74	兼担	教授	ツジノ　アキラ 辻野　彰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 教授 (平成26年8月)	5日
75	兼担	教授	ニシノ　トモヤ 西野　友哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 教授 (平成26年8月)	5日
76	兼担	教授	タサキ　オサム 田崎　修 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・救命救急医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 教授 (平成23年6月)	5日
77	兼担	教授	ヒグチ　オサム 樋口　理 ＜令和4年10月＞		理学博士		・神経免疫学演習	1・2④	2	1	国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部 免疫・ゲノム医化学研究室長 (平成23年4月)	5日
78	兼担	教授	イチカワ　タツキ 市川　辰樹 ＜令和4年10月＞		医学博士		・地域包括ケア学演習	1・2④	2	1	長崎みなとメディカルセンター市民病院 副院長・消化器内科主任診療部長 (平成31年4月)	5日
79	兼担	教授	ヤマヨシ　アサコ 山吉　麻子 ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・生命医療科学トピックス ・生体分子解析学	1・2④ 1・2④	2 1	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成30年3月)	5日
80	兼担	教授	ナカシマ　マサヒロ 中島　正洋 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・腫瘍・診断病理学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成25年4月)	5日
81	兼担	教授	マエダ　タカヒロ 前田　隆浩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・総合診療学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
82	兼担	教授	イワタ　ノブヒサ 岩田　修永 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・ゲノム科学 ・先端機器実習 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2② 1・2④	1 1 2	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
83	兼担	教授	ユイ　カツユキ 由井　克之 ＜令和4年10月＞		医学博士		・免疫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
84	兼担	教授	タカムラ　ノボル 高村　昇 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・先端臨床試験特論 ・国際保健医療福祉学演習	1・2② 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成20年4月)	5日
85	兼担	教授	アリヨシ　コウヤ 有吉　紅也 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・国際・熱帯医学	1・2②	1	1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成17年3月)	5日
86	兼担	教授	ヨシウラ　コウイチロウ 吉浦　孝一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成25年4月)	5日
87	兼担	教授	コモリ　トシヒサ 小守　壽文 ＜令和4年10月＞		医学博士		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成31年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
88	兼担	教授	イシハラ　ジュン 石原　淳 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
89	兼担	教授	タナカ　タカシ 田中　隆 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
90	兼担	教授	タナカ　マサカズ 田中　正一 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
91	兼担	教授	オノムラ　オサム 尾野村　治 ＜令和4年10月＞		工学博士		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
92	兼担	教授	クロダ　ナオタカ 黒田　直敬 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・生体分子解析学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
93	兼担	教授	トリバ　アキラ 鳥羽　陽 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・生体分子解析学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
94	兼担	教授	ヤマモト　ヒロシ 山本　弘史 ＜令和4年10月＞		修士 (薬学)		・包括的腫瘍学特論(基礎編) ・先端臨床試験特論	1・2② 1・2②	1 1	1 1	長崎大学　病院 教授 (平成26年7月)	5日
95	兼担	教授	シノハラ　カズユキ 篠原　一之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
96	兼担	教授	アオヤギ　キヨシ 青柳　潔 ＜令和4年10月＞		医学博士		・公衆衛生学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
97	兼担	教授	ナガタ　ヤスヒロ 永田　康浩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・地域医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和2年8月)	5日
98	兼担	教授	カワカミ　アツシ 川上　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
99	兼担	教授	ナガヤマ　ユウジ 永山　雄二 ＜令和4年10月＞		医学博士		・分子医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 (平成25年4月)	5日
100	兼担	教授	ウサ　トシロウ 宇佐　俊郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・国際ヒバクシャ医療学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 3・4① 3・4③	2 2 2 4 4	1 1 1 1 1	長崎大学　病院 教授 (令和3年6月)	5日
101	兼担	准教授	シバタ　ヤスアキ 柴田　恭明 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・分子細胞生物学 ・組織細胞生物学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
102	兼担	准教授	オヤマダ　ジョウイチ 小山田　常一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎顔面解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年10月)	5日
103	兼担	准教授	スミタ　ヨシノリ 住田　吉慶 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・生体材料科学	1・2④ 1・2①	2 1	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
104	兼担	准教授	フジタ　ワカコ 藤田　和歌子 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和2年4月)	5日
105	兼担	准教授	モリ　リョウイチ 森　亮一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
106	兼担	准教授	ムラオカ　ダイスケ 村岡　大輔 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生命医療科学トピックス ・腫瘍医学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年4月）	5日
107	兼担	准教授	フジタ　シュウイチ 藤田　修一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
108	兼担	准教授	アベ　シゲアキ 阿部　薫明 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・生体材料科学	1・2①	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年5月）	5日
109	兼担	准教授	ソウトメ　サキコ 五月女　さき子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔保健学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年2月）	5日
110	兼担	准教授	イズモ　ツヨシ 出雲　剛 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・脳神経外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
111	兼担	准教授	ムラタ　ヒロアキ 村田　寛明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・麻酔集中治療医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
112	兼担	准教授	ミヤタ　ヤスヨシ 宮田　康好 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
113	兼担	准教授	ツチヤ　トモシ 土谷　智史 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・腫瘍外科学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
114	兼担	准教授	マツモト　ケイタロウ 松本　桂太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・腫瘍外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年11月）	5日
115	兼担	准教授	ヒダカ　マサアキ 日高　匡章 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論 ・移植・消化器外科学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和2年4月）	5日
116	兼担	准教授	トミタ　マサト 富田　雅人 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
117	兼担	准教授	タケナカ　モトイ 竹中　基 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
118	兼担	准教授	カワノ　ヒロアキ 河野　浩章 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
119	兼担	准教授	オバセ　ヤスシ 尾長谷　靖 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
120	兼担	准教授	スエヨシ　エイジュン 末吉　英純 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・放射線診断治療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和元年11月）	5日
121	兼担	准教授	クラタ　シンジ 倉田　眞治 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科麻酔学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
122	兼担	准教授	ホトケザカ　ヒトシ 佛坂　斉祉 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス ・歯科矯正学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
123	兼担	准教授	ヤマダ　シヅカ 山田　志津香 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
124	兼担	准教授	クロシマ　シンイチロウ 黒嶋　伸一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・生体材料科学 ・口腔インプラント学演習	1・2① 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年5月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
125	兼担	准教授	オオバ　セイゴ 大場　誠悟 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎口腔再生外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年11月)	5日
126	兼担	准教授	タカギ　ユキノリ 高木　幸則 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔診断・情報科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
127	兼担	准教授	ムカイ　ヒデフミ 向井　英史 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・医薬品情報学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和2年6月)	5日
128	兼担	准教授	フモト　シンタロウ 麓　伸太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・先端臨床薬学特論 ・薬剤学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
129	兼担	准教授	オオヤマ　カナメ 大山　要 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・実践薬学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
130	兼担	准教授	サカモト　ジュンヤ 坂本　淳哉 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・理学療法学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
131	兼担	准教授	キシノ　タツヤ 木住野　達也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・ゲノム機能解析学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年10月)	5日
132	兼担	准教授	コバヤシ　マサカズ 古林　正和 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・予防医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　保健センター 准教授 (令和3年4月)	5日
133	兼担	准教授	カワサキ　コウジ 川崎　浩二 ＜令和4年10月＞		歯学博士		・地域保健・福祉連携学演習 ・コーディネーター養成実習	1・2④ 2・3前	2 4	1 1	長崎大学　病院 准教授 (平成21年4月)	5日
134	兼担	准教授	コダマ　ユキノブ 兒玉　幸修 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医療情報学 ・臨床薬物動態学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　病院 准教授 (平成30年7月)	5日
135	兼担	准教授	フクドメ　タカヤス 福留　隆泰 ＜令和4年10月＞		医学博士		・脳神経病態学演習	1・2④	2	1	国立病院機構長崎川棚医療センター 脳神経内科 臨床研究部長 (平成30年4月)	5日
136	兼担	准教授	イワサ　サトル 岩佐　悟 ＜令和4年10月＞		医学博士		・包括的腫瘍学演習	1・2④	2	1	国立がん研究センター中央病院 医員 (平成27年4月)	5日
137	兼担	准教授	マキ　トシヒデ 真木　俊英 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　研究開発推進機構 准教授 (平成30年7月)	5日
138	兼担	准教授	キシカワ　ナオヤ 岸川　直哉 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・生命医療科学トピックス	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
139	兼担	准教授	マツモト　タケヒロ 松本　武浩 ＜令和4年10月＞		学士		・医療情報学 ・医療情報学演習	1・2③ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
140	兼担	准教授	タニムラ　ススム 谷村　進 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・分子細胞生物学	1・2③	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
141	兼担	准教授	シロタニ　ケイロウ 城谷　圭朗 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・ゲノム科学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
142	兼担	准教授	フクダ　ハヤト 福田　隼 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成30年1月)	5日
143	兼担	准教授	クリヤマ　マサミ 栗山　正巳 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医薬品化学	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
144	兼担	准教授	ノナカ　タカシ 野中　隆 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・腫瘍外科学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　病院 准教授 (令和2年11月)	5日
145	兼担	准教授	モチヅキ　ヤスシ 望月　保志 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・再生医療学特論	1・2①	1	1	長崎大学　病院 准教授 (平成29年4月)	5日
146	兼担	准教授	フクダ　ミノル 福田　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学実習 ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2通 1・2④	1 2 2	1 1 1	長崎大学　病院 准教授 (平成26年4月)	5日
147	兼担	准教授	アビル　ノリオ 阿比留　教生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内分泌・代謝内科学演習 ・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成29年4月)	5日
148	兼担	准教授	サエンコ　ウラジミール SAENKO VLADIMIR ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (生物学) (ロシア連邦)		・放射線災害医療学演習 ・課題研究Ⅰ（放射線医療科学） ・課題研究Ⅱ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅰ（放射線医療科学） ・論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2④ 1・2① 1・2③ 3・4① 3・4③	2 2 2 4 4	1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (平成25年4月)	5日
149	兼担	准教授	ムタ　クミコ 牟田　久美子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 准教授 (令和3年6月)	5日
150	兼担	准教授	ナカハタ　ヤスカズ 中畑　泰和 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成31年4月)	5日
151	兼担	准教授	アリマ　カズヒコ 有馬　和彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・公衆衛生学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
152	兼担	准教授	タマイ　マミ 玉井　慎美 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (平成30年4月)	5日
153	兼担	准教授	ヤマナシ　ヒロトモ 山梨　啓友 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・総合診療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年11月)	5日
154	兼担	准教授	ナカミチ　セイコ 中道　聖子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・総合診療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　保健センター 准教授 (令和3年10月)	5日
155	兼担	講師	サイキ　カズノブ 佐伯　和信 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
156	兼担	講師	ムライ　キヨヒト 村井　清人 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・肉眼解剖学演習 ・組織細胞生物学演習	1・2④ 1・2④	2 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 (令和3年6月)	5日
157	兼担	講師	マツモト　ゲン 松本　弦 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・組織細胞生物学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
158	兼担	講師	ツジ　ユキオミ 辻　幸臣 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・内臓機能生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
159	兼担	講師	ヨネダ　ミツヒロ 米田　光宏 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・生化学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年10月)	5日
160	兼担	講師	ハヤシ　ヒロコ 林　洋子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
161	兼担	講師	イケダ　サトシ 池田　聡司 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・循環器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
162	兼担	講師	サカモト　ノリホ 坂本　憲穂 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
163	兼担	講師	サカモト　ケイ 坂本　啓 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 (令和3年4月)	5日
164	兼担	講師	キノシタ　アキラ 木下　晃 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・ゲノム科学 ・人類遺伝学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 講師 (平成25年4月)	5日
165	兼担	講師	ハセガワ　ヒロオ 長谷川　寛雄 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 (平成23年4月)	5日
166	兼担	講師	マツモト　メグミ 松本　恵 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 (令和3年4月)	5日
167	兼担	講師	アライ　ジュンイチ 荒井　淳一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　病院 講師 (令和3年4月)	5日
168	兼担	講師	ツイキ　エイコ 築城　英子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・眼科・視覚科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (平成28年10月)	5日
169	兼担	講師	キタオカ　キョウコ 北岡　杏子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (令和元年6月)	5日
170	兼担	講師	オオバ　コウジロウ 大庭　康司郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・泌尿器科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (平成27年4月)	5日
171	兼担	講師	トリス　テツロウ 鳥巣　哲朗 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科補綴学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (平成21年4月)	5日
172	兼担	講師	イトウ　シンイチロウ 伊藤　信一郎 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・移植・消化器外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (平成29年4月)	5日
173	兼担	講師	ヤマモト　カズコ 山本　和子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染制御学実習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (令和3年9月)	5日
174	兼担	講師	タナカ　タケシ 田中　健之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染制御学実習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 講師 (平成27年4月)	5日
175	兼担	講師	カワシリ　シンヤ 川尻　真也 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・地域医療学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
176	兼担	講師	イチノセ　クニヒロ 一瀬　邦弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (平成29年4月)	5日
177	兼担	講師	イワモト　ナオキ 岩本　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 講師 (令和3年4月)	5日
178	兼担	助教	エンドウ　ダイスケ 遠藤　大輔 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
179	兼担	助教	マツナガ　ハヤト 松永　隼人 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
180	兼担	助教	サカイ　エイコ 坂井　詠子 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
181	兼担	助教	カタセ　ナオキ 片瀬　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・口腔病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
182	兼担	助教	ナガノ　ケンイチ 永野　健一 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年8月)	5日
183	兼担	助教	オノデラ　タカエ 小野寺　貴恵 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和2年1月)	5日
184	兼担	助教	ウメハラ　タカヒロ 梅原　敬弘 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・法医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
185	兼担	助教	チバ　コウ 千葉　恒 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・整形外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
186	兼担	助教	モリウチ　マサコ 森内　昌子 ＜令和4年10月＞		PhD (米国)		・小児科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
187	兼担	助教	イ　タカシ 井　隆司 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・顎口腔再生外科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
188	兼担	助教	モリイシ　タケシ 森石　武史 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・硬組織疾患特論	1・2②	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
189	兼担	助教	コサイ　コウスケ 小佐井　康介 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学 ・病態解析・診断学演習 ・細菌学特論	1・2④ 1・2④ 1後	1 2 1	1 1 1	長崎大学　病院 助教 (平成24年4月)	5日
190	兼担	助教	トモシゲ　コウイチ 朝重　耕一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・腫瘍診断治療学	1・2④	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年9月)	5日
191	兼担	助教	ホンダ　タクヤ 本田　琢也 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論（臨床編） ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2④	1 2	1 1	長崎大学　病院 助教 (平成23年4月)	5日
192	兼担	助教	イシイ　コウジ 石井　浩二 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・集学的がん治療学実習	1・2④ 1・2通	1 2	1 1	長崎大学　病院 助教 (平成25年4月)	5日
193	兼担	助教	ホンダ　コウイチ 本多　功一 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・包括的腫瘍学特論(臨床編) ・在宅・地域医療実習 ・離島・僻地病院実習 ・臨床腫瘍学演習	1・2④ 1・2通 1・2通 1・2④	1 1 2 2	1 1 1 1	長崎大学　病院 助教 (平成30年4月)	5日
194	兼担	助教	サトウ　シュンタロウ 佐藤　俊太朗 ＜令和4年10月＞		博士 (医学バイオ統計学)		・先端臨床試験特論	1・2②	1	1	長崎大学　病院 助教 (平成26年3月)	5日
195	兼担	助教	ホソガヤ　ナオキ 細萱　直希 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・先端臨床試験特論	1・2②	1	1	長崎大学　病院 助教 (平成30年7月)	5日
196	兼担	助教	タカムラ　ケイコ 高村　敬子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・肉眼解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成31年1月)	5日
197	兼担	助教	ニシ　ケイタ 西　啓太 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・顎顔面解剖学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年4月)	5日
198	兼担	助教	ナカガワ　タケヤ 中川　武弥 ＜令和4年10月＞		学士		・生化学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 助教 (平成29年4月)	5日
199	兼担	助教	ヤスイ　キヨシ 安井　潔 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・腫瘍医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
200	兼担	助教	ミズタ　サトシ 水田　賢志 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
201	兼担	助教	オオタキ　ヒロキ 大滝　大樹 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
202	兼担	助教	イマミチ　ショウジ 今道　祥二 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・分子標的医学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和2年4月)	5日
203	兼担	助教	オダ　ヨシアキ 織田　善晃 ＜令和4年10月＞		博士 (生命科学)		・加齢口腔生理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年10月)	5日
204	兼担	助教	ハタヤマ　ミノル 畑山　実 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・医科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
205	兼担	助教	ヤマグチ　ユウ 山口　優 ＜令和4年10月＞		博士 (歯学)		・歯科薬理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年4月)	5日
206	兼担	助教	パク　センジュン 朴　盛浚 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・基礎病理学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
207	兼担	助教	イワナガ　アキラ 岩永　聰 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・皮膚病態学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成30年6月)	5日
208	兼担	助教	ヤマグチ　ヒロユキ 山口　博之 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・呼吸器内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
209	兼担	助教	ハシモト　クニオ 橋本　邦生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・小児科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
210	兼担	助教	トリゴエ　ケンタ 鳥越　健太 ＜令和4年10月＞		学士		・腎臓内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　病院 助教 (令和元年8月)	5日
211	兼担	助教	ナカガキ　タケヒロ 中垣　岳大 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・感染分子解析学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
212	兼担	助教	テラシマ　ヒロユキ 寺島　浩行 ＜令和4年10月＞		博士 (理学)		・病原細菌学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和3年2月)	5日
213	兼担	助教	ヒヨシ　ヒロタカ 日吉　大貴 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・病原細菌学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年9月)	5日
214	兼担	助教	ヤハタ　カズヒデ 矢幡　一英 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・病原原虫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成19年11月)	5日
215	兼担	助教	ナカムラ　リサ 中村　梨沙 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・熱帯寄生虫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成25年2月)	5日
216	兼担	助教	ホシ　トモノリ 星　友矩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・熱帯医学情報学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成30年5月)	5日
217	兼担	助教	イトウ　ヒロム 伊東　啓 ＜令和4年10月＞		博士 (工学)		・熱帯寄生虫学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成30年10月)	5日
218	兼担	助教	ヨシカワ　ロクスケ 吉川　禄助 ＜令和4年10月＞		博士 (人間・環境学)		・新興ウイルス感染症学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年8月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　放射線医療科学専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
219	兼担	助教	サクライ　ヤステル 櫻井　康晃 ＜令和4年10月＞		博士 (生命科学)		・新興ウイルス感染症学演習	1・2④	2	1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年8月)	5日
220	兼担	助教	タルミ　ワタル 樽見　航 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
221	兼担	助教	アオヤマ　シンヤ 青山　晋也 ＜令和4年10月＞		博士 (農学)		・神経機能学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成31年4月)	5日
222	兼担	助教	コガ　トモヒロ 古賀　智裕 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2	1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
223	兼担	助手	タヤマ　タツユキ 田山　達之 ＜令和4年10月＞		学士		・包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④	1	1	長崎大学　病院 助教 (令和3年4月)	5日

別記様式第３号（その２の２）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　先進予防医学共同専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	長崎大学	教授	シノハラ　カズユキ 篠原　一之 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・行動・精神衛生 ・海外母子コホート実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2後 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
2	専	長崎大学	教授	アオヤギ　キヨシ 青柳　潔 ＜令和4年10月＞		医学博士		・医療統計学・疫学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1前 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
3	専	長崎大学	教授	ナガタ　ヤスヒロ 永田　康浩 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和2年8月）	5日
4	専	長崎大学	教授	カワカミ　アツシ 川上　純 ＜令和4年10月＞		医学博士		・地域医療論 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2前 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
5	専	長崎大学	教授	マエダ　タカヒロ 前田　隆浩 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・地域医療論 ・離島コホート実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2前 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
6	専	長崎大学	教授	タカムラ　ノボル 高村　昇 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・放射線健康影響概論 ・原爆被爆者健康診断学実習 ・放射線臨床疫学実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成20年4月）	5日
7	専	長崎大学	教授	ヨシウラ　コウイチロウ 吉浦　孝一郎 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・環境と遺伝 ・臨床遺伝学 ・放射線健康影響概論 ・ゲノム実習（長崎） ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1前 1・2後 1・2後 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
8	専	長崎大学	教授	ナガヤマ　ユウジ 永山　雄二 ＜令和4年10月＞		医学博士		・医学基礎 ・放射線健康影響概論 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1前・1後 1・2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	2 1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
9	専	長崎大学	教授	ナカシマ　マサヒロ 中島　正洋 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・放射線健康影響概論 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
10	専	長崎大学	准教授	ナカハタ　ヤスカズ 中畑　泰和 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・行動・精神衛生 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成31年4月）	5日
11	専	長崎大学	准教授	アリマ　カズヒコ 有馬　和彦 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・医療統計学・疫学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1前 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　先進予防医学共同専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
12	専	長崎大学	准教授	マツモト　タケヒロ 松本　武浩 ＜令和4年10月＞		学士		・情報医工学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
13	専	長崎大学	准教授	アビル　ノリオ 阿比留　教生 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成29年4月）	5日
14	専	長崎大学	准教授	タマイ　マミ 玉井　慎美 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・地域医療論 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2前 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （平成30年4月）	5日
15	専	長崎大学	講師	カワシリ　シンヤ 川尻　真也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
16	専	長崎大学	講師	イチノセ　クニヒロ 一瀬　邦弘 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （平成29年4月）	5日
17	専	長崎大学	講師	キノシタ　アキラ 木下　晃 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・臨床遺伝学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 講師 （平成25年4月）	5日
18	専	長崎大学	助教	ミシマ　ヒロユキ 三嶋　博之 ＜令和4年10月＞		博士 （歯学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 助教 （平成25年4月）	5日
19	専	長崎大学	助教	シチジョウ　カズコ 七條　和子 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 助教 （平成25年4月）	5日
20	専	長崎大学	助教	マツダ　カツヤ 松田　勝也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 3 5 1 2 5	1 1 1 1 1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 助教 （平成25年4月）	5日
21	兼担	長崎大学	教授	イケマツ　カズヤ 池松　和哉 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命倫理	1前・1後	1	1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
22	兼担	長崎大学	教授	モリモト　コウノスケ 森本　浩之輔 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・生命倫理	1前・1後	1	1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （令和2年11月）	5日
23	兼担	長崎大学	教授	キヤス　センヤ 喜安　千弥 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・メディカルロボティクス	2前	1	1	長崎大学　総合生産科学域 教授 （令和2年4月）	5日
24	兼担	長崎大学	教授	クドウ　タカシ 工藤　崇 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・放射線健康影響概論	1・2後	1	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
25	兼担	長崎大学	教授	ミヤザキ　ヤスシ 宮崎　泰司 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・放射線健康影響概論	1・2後	1	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 教授 （平成25年4月）	5日
26	兼担	長崎大学	准教授	スズキ　ケイジ 鈴木　啓司 ＜令和4年10月＞		博士 （学術）		・放射線健康影響概論	1・2後	1	1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 （平成25年4月）	5日

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　先進予防医学共同専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
27	兼担	長崎大学	准教授	キシノ　タツヤ 木住野　達也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・臨床遺伝学	1・2後	1	1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年10月）	5日
28	兼担	長崎大学	准教授	ヤマナシ　ヒロトモ 山梨　啓友 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・地域医療論 ・離島コホート実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ	2前 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 3 5	1 1 1 1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年11月）	5日
29	兼担	長崎大学	准教授	ナカミチ　セイコ 中道　聖子 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・離島コホート実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ	3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 3 5	1 1 1 1	長崎大学　保健センター 准教授 （令和3年10月）	5日
30	兼担	長崎大学	講師	イワモト　ナオキ 岩本　直樹 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ	2通 3・4通 3・4通	1 3 5	1 1 1	長崎大学　生命医科学域 講師 （令和3年4月）	5日
31	兼担	長崎大学	助教	タルミ　ワタル 樽見　航 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・行動・精神衛生	2後	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成29年4月）	5日
32	兼担	長崎大学	助教	アオヤマ　シンヤ 青山　晋也 ＜令和4年10月＞		博士 （農学）		・行動・精神衛生	2後	1	1	長崎大学　生命医科学域 助教 （平成31年4月）	5日
33	専	金沢大学	教授	ナカムラ　ヒロユキ 中村　裕之 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・過疎地コホート実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成19年1月）	5日
34	専	金沢大学	教授	タカムラ　トシナリ 篁　俊成 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・栄養代謝学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成26年3月）	5日
35	専	金沢大学	教授	タジマ　アツシ 田嶋　敦 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・バイオインフォマティックス ・ゲノム実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成26年9月）	5日
36	専	金沢大学	教授	ハナヤマ　リキナリ 華山　力成 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　ナノ生命科学研究所 教授 （平成29年10月）	5日
37	専	金沢大学	教授	カネコ　シュウイチ 金子　周一 ＜令和4年10月＞		医学博士		・オミクス解析 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成16年5月）	5日
38	専	金沢大学	教授	オオシマ　マサノブ 大島　正伸 ＜令和4年10月＞		博士 （獣医学）		・分子腫瘍医科学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　ナノ生命科学研究所 教授 （平成29年10月）	5日
39	専	金沢大学	教授	ナカジマ　ミキ 中嶋　美紀 ＜令和4年10月＞		博士 （薬学）		・分子薬剤応答学 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2前 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　ナノ生命科学研究所 教授 （平成30年4月）	5日
40	専	金沢大学	教授	ヒラオ　アツシ 平尾　敦 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　ナノ生命科学研究所 教授 （令和3年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　先進予防医学共同専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
41	専	金沢大学	教授	ツチヤ　ヒロユキ 土屋　弘行 ＜令和4年10月＞		医学博士		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成22年4月）	5日
42	専	金沢大学	教授	イノウエ　ヒロシ 井上　啓 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　新学術創成研究機構 教授 （平成27年4月）	5日
43	専	金沢大学	教授	クラチ　マコト 倉知　慎 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成30年9月）	5日
44	専	金沢大学	教授	オザキ　ノリユキ 尾崎　紀之 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 教授 （平成21年5月）	5日
45	専	金沢大学	准教授	トコロ　マサハル 所　正治 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・寄生虫感染症研究フィールドワーク実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 准教授 （平成28年8月）	5日
46	専	金沢大学	准教授	ハラ　アキノリ 原　章規 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 准教授 （平成28年4月）	5日
47	専	金沢大学	准教授	タキ　ジュンイチ 瀧　淳一 ＜令和4年10月＞		医学博士		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 准教授 （平成31年4月）	5日
48	専	金沢大学	准教授	ヤマシタ　タツヤ 山下　竜也 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　先進予防医学研究センター 准教授 （平成30年1月）	5日
49	専	金沢大学	准教授	デムラ　マサシ 出村　昌史 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 准教授 （平成29年4月）	5日
50	専	金沢大学	准教授	イシザキ　アズミ 石崎　有澄美 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・HIV／AIDS研究フィールドワーク実習 ・ウィルス感染症研究フィールドワーク実習 ・グローバルヘルス実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	3・4通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	金沢大学　融合研究域　融合科学系 准教授 （令和3年4月）	5日
51	専	金沢大学	准教授	ハマグチ　ツヨシ 濵口　毅 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 准教授 （令和2年8月）	5日
52	専	金沢大学	助教	タダ　ハヤト 多田　隼人 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　附属病院 助教 （平成26年8月）	5日
53	専	金沢大学	助教	ピ　シユウチヨン 畢　袖晴 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　医薬保健研究域　医学系 助教 （平成21年7月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　先進予防医学共同専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
54	専	金沢大学	助教	タカトリ　ハジメ 鷹取　元 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	金沢大学　附属病院 助教 （令和2年1月）	5日
55	専	千葉大学	教授	モリ　チサト 森　千里 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・マクロ環境 ・サステイナブル環境健康科学 ・グローバルヘルス環境医学実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1後 2前 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学研究院 教授 （昭和59年5月）	5日
56	専	千葉大学	教授	トダカ　エミコ 戸高　恵美子 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 教授 （平成15年3月）	5日
57	専	千葉大学	教授	オノウチ　ヨシヒロ 尾内　善広 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学研究院 教授 （平成23年7月）	5日
58	専	千葉大学	教授	スワゾノ　ヤスシ 諏訪園　靖 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学研究院 教授 （平成10年4月）	5日
59	専	千葉大学	教授	コンドウ　カツノリ 近藤　克則 ＜令和4年10月＞		博士 （医学） 博士 （社会福祉学）		・医療政策・マネジメント ・社会疫学 ・ヘルシーシティーズ・都市部コホート実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 2前 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 教授 （平成26年4月）	5日
60	専	千葉大学	教授	フジタ　シンスケ 藤田　伸輔 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・医療情報管理学 ・医療機関情報実習 ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 3・4通 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 教授 （平成26年1月）	5日
61	専	千葉大学	教授	サショウ　タカヒサ 佐粧　孝久 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・レギュラトリーサイエンス ・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	1・2後 2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 教授 （平成11年4月）	5日
62	専	千葉大学	教授	サクライ　ケンイチ 櫻井　健一 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 教授 （平成27年4月）	5日
63	専	千葉大学	准教授	ナカオカ　ヒロコ 中岡　宏子 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 准教授 （平成25年12月）	5日
64	専	千葉大学	准教授	ハナザト　マサミチ 花里　真道 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 准教授 （平成25年12月）	5日
65	専	千葉大学	准教授	スズキ　ノリミチ 鈴木　規道 ＜令和4年10月＞		博士 （工学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 准教授 （令和3年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）　※医歯薬学総合研究科　先進予防医学共同専攻（博士課程）

調書番号	専任等区分	所属大学	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 （就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
66	専	千葉大学	講師	ノガワ　カズヒロ 能川　和浩 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学研究院 講師 （平成23年4月）	5日
67	専	千葉大学	講師	チバ　テツヒロ 千葉　哲博 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学研究院 講師 （平成17年10月）	5日
68	専	千葉大学	助教	エグチ　アキフミ 江口　哲史 ＜令和4年10月＞		博士 （理学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 助教 （平成28年6月）	5日
69	専	千葉大学	助教	ヒサダ　アヤ 久田　文 ＜令和4年10月＞		博士 （環境学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 助教 （平成30年8月）	5日
70	専	千葉大学	助教	ヤマモト　ミドリ 山本　緑 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　予防医学センター 助教 （平成29年4月）	5日
71	専	千葉大学	助教	ワタナベ　ユウカ 渡邉　由芙香 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学研究院 助教 （平成29年4月）	5日
72	専	千葉大学	助教	タカタニ　トモズミ 高谷　具純 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学部附属病院 助教 （平成29年4月）	5日
73	専	千葉大学	助教	ナカノ　タイジ 中野　泰至 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学部附属病院 助教 （平成29年4月）	5日
74	専	千葉大学	助教	シオハマ　タダシ 塩濱　直 ＜令和4年10月＞		博士 （医学）		・課題研究 ・特別研究Ⅰ ・特別研究Ⅱ ・研究実践レポート ・研究デベロップメントⅠ ・研究デベロップメントⅡ	2通 3・4通 3・4通 2通 3・4通 3・4通	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	千葉大学　医学部附属病院 助教 （平成26年4月）	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　員　の　氏　名　等

（プラネタリーヘルス学環）※熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	キタ　キヨシ 北　潔 ＜令和4年10月＞		薬学博士		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
2	専	教授	モジ　カスヒコ 門司　和彦 ＜令和4年10月＞		保健学博士		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
3	専	教授	ヒラヤマ　ケンジ 平山　謙二 ＜令和4年10月＞		医学博士		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
4	専	教授	ワタナベ　チホ 渡辺　知保 ＜令和4年10月＞		保健学博士		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
5	専	教授	ユイ　カツユキ 由井　克之 ＜令和4年10月＞		医学博士		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （平成29年4月）	5日
6	専	教授	カミヤ　ヤスヒコ 神谷　保彦 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
7	専	教授	アイガ　ヒロツグ 相賀　裕嗣 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
8	専	教授	スミス　クリストファー　ガブリエル　ジェームス SMITH CHRISTOPHER GABRIEL JAMES ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (英国)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 教授 （令和3年4月）	5日
9	専	教授	オクムラ　ジュンコ 奥村　順子 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成29年4月）	5日
10	専	教授	アリヨシ　コウヤ 有吉　紅也 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成17年3月）	5日
11	専	教授	イノウエ　シンゴ 井上　真吾 ＜令和4年10月＞		博士 (獣医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （令和3年5月）	5日
12	専	教授	トクマス　フユキ 徳舛　富由樹 ＜令和4年10月＞		博士 (人間・環境学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 （平成31年4月）	5日
13	専	准教授	マツイ　ミツアキ 松井　三明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
14	専	准教授	マルコ　リベラーニ MARCO LIVERRANI ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (社会学) (英国)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
15	専	准教授	グエン　フイ　ティエン NGUYEN HUY TIEN ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日
16	専	准教授	ヤマナシ　ヒロトモ 山梨　啓友 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年11月）	5日
17	専	准教授	マスダ　ケン 増田　研 ＜令和4年10月＞		博士 (社会人類学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 （令和3年4月）	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）※熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	専	准教授	トイズミ　ミチコ 樋泉　道子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 准教授 (令和2年5月)	5日
19	専	准教授	ビム　グッパル　ドバデル BHIM GOPAL DHOUBHADEL ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 准教授 (令和3年4月)	5日
20	専	准教授	イナオカ　ケンダニエル 稲岡　健ダニエル ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
21	専	准教授	サエンコ　ウラジミール SAENKO VLADIMIR ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (生物学) (ロシア連邦)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (平成25年4月)	5日
22	専	助教	サトウ　ミホ 佐藤　美穂 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
23	専	助教	コガ　トモヒロ 古賀　智裕 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
24	専	助教	サークセス　セポソ　テソロ XERXES SEPOSO TESORO ＜令和4年10月＞		博士 (ヒューマン・ケア)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
25	専	助教	スナハラ　トシヒコ 砂原　俊彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成20年4月)	5日
26	専	助教	マダニヤズ　リナ MADANIYAZI LINA ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (環境疫学) (豪州国)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成30年8月)	5日
27	専	助教	カトウ　ケンタロウ 加藤　健太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成22年4月)	5日
28	専	助教	ホシ　トモノリ 星　友矩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成30年5月)	5日
29	専	助教	モリヤス　タエコ 森保　妙子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年4月)	5日
30	専	助教	イズミダ　マイ 泉田　真生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和3年4月)	5日
31	専	助教	タカハシ　ケンスケ 高橋　健介 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　病院 助教 (平成28年8月)	5日

別記様式第３号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）※熱帯医学・グローバルヘルス研究科
長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	キタ　キヨシ 北　潔 ＜令和4年10月＞		薬学博士		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
2	専	教授	モジ　カスヒコ 門司　和彦 ＜令和4年10月＞		保健学博士		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
3	専	教授	ヒラヤマ　ケンジ 平山　謙二 ＜令和4年10月＞		医学博士		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
4	専	教授	ワタナベ　チホ 渡辺　知保 ＜令和4年10月＞		保健学博士		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
5	専	教授	ユイ　カツユキ 由井　克之 ＜令和4年10月＞		医学博士		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (平成29年4月)	5日
6	専	教授	アイガ　ヒロツグ 相賀　裕嗣 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
7	専	教授	カミヤ　ヤスヒコ 神谷　保彦 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
8	専	教授	スミス　クリストファー　ガブリエル　ジェームス SMITH CHRISTOPHER GABRIEL JAMES ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (英国)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 教授 (令和3年4月)	5日
9	専	教授	オクムラ　ジュンコ 奥村　順子 ＜令和4年10月＞		博士 (保健学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成29年4月)	5日
10	専	教授	アリヨシ　コウヤ 有吉　紅也 ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (医学) (英国)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成17年3月)	5日
11	専	教授	イノウエ　シンゴ 井上　真吾 ＜令和4年10月＞		博士 (獣医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (令和3年5月)	5日
12	専	教授	トクマス　フユキ 徳舛　富由樹 ＜令和4年10月＞		博士 (人間・環境学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 教授 (平成31年4月)	5日
13	専	准教授	マツイ　ミツアキ 松井　三明 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
14	専	准教授	マルコ　リベラーニ MARCO LIVERRANI ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (社会学) (英国)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
15	専	准教授	グエン　フイ　ティエン NGUYEN HUY TIEN ＜令和4年10月＞		博士 (学術)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日
16	専	准教授	ヤマナシ　ヒロトモ 山梨　啓友 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年11月)	5日
17	専	准教授	マスダ　ケン 増田　研 ＜令和4年10月＞		博士 (社会人類学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 准教授 (令和3年4月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）※熱帯医学・グローバルヘルス研究科
長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	専	准教授	トイズミ　ミチコ 樋泉　道子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 准教授 (令和2年5月)	5日
19	専	准教授	ビム　グッパル　ドバデル BHIM GOPAL DHOUBHADEL ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 准教授 (令和3年4月)	5日
20	専	准教授	イナオカ　ケンダニエル 稲岡　健ダニエル ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
21	専	准教授	サエンコ　ウラジミール SAENKO VLADIMIR ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (生物学) (ロシア連邦)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　原爆後障害医療研究所 准教授 (平成25年4月)	5日
22	専	助教	サトウ　ミホ 佐藤　美穂 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
23	専	助教	コガ　トモヒロ 古賀　智裕 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 助教 (平成29年4月)	5日
24	専	助教	サークセス　セポソ　テソロ XERXES SEPOSO TESORO ＜令和4年10月＞		博士 (ヒューマン・ケア)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　生命医科学域 助教 (令和3年4月)	5日
25	専	助教	スナハラ　トシヒコ 砂原　俊彦 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成20年4月)	5日
26	専	助教	マダニヤズ　リナ MADANIYAZI LINA ＜令和4年10月＞		Doctor of Philosophy (環境疫学) (豪州国)		(研究指導)	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成30年8月)	5日
27	専	助教	カトウ　ケンタロウ 加藤　健太郎 ＜令和4年10月＞		博士 (薬学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成22年4月)	5日
28	専	助教	ホシ　トモノリ 星　友矩 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (平成30年5月)	5日
29	専	助教	モリヤス　タエコ 森保　妙子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年4月)	5日
30	専	助教	イズミダ　マイ 泉田　真生 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和3年4月)	5日
31	専	助教	タカハシ　ケンスケ 高橋　健介 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		・グローバルヘルス研究演習 ・グローバルヘルス特別研究	1 2-3	4 12	1 1	長崎大学　病院 助教 (平成28年8月)	5日
32	専 (調)	助教	オクヤマ（ヤマウチ）　モモコ 奥山(山内)　桃子 ＜令和4年10月＞		博士 (医学)		－	－	－	－	長崎大学　熱帯医学研究所 助教 (令和2年5月)	5日

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）※熱帯医学・グローバルヘルス研究科
長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）
（London School of Hygiene & Tropical Medicine）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	外国	教授相当 Professor	ブレンダン　ウレン Brendan Wren	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
2	外国	教授相当 Professor	デイビッド　メイビー David Mabey	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
3	外国	教授相当 Professor	ロビン　ベイリー Robin Bailey	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
4	外国	教授相当 Professor	シュンメイ　ヤン Shunmey Yeung	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
5	外国	教授相当 Professor	サイモン　クロフト Simon Croft	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
6	外国	教授相当 Professor	ジョン　ケリー John Kelly	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
7	外国	教授相当 Professor	ヘーゼル　ドックウェル Hazel Dockrel	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
8	外国	教授相当 Professor	フィリップ　メイヤー Philippe Mayour	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
9	外国	教授相当 Professor	ジョン　エドモンズ John Edmunds	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
10	外国	教授相当 Professor	イアン　ロバーツ Ian Roberts	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
11	外国	教授相当 Professor	キム　モルホランド Kim Mulholland	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
12	外国	教授相当 Professor	リアム　スミス Liam Smeeth	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
13	外国	教授相当 Professor	ウンベルト　デ　アレッサンドロ Umberto De Alessandro ＜令和4年10月＞	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
14	外国	教授相当 Professor	ポール　ウィルキンソン Paul Wilkinson	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
15	外国	教授相当 Professor	アン　ミルズ Anne Mills	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
16	外国	教授相当 Professor	ジョン　ケアンズ John Cairns	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
17	外国	教授相当 Professor	リチャード　コッカー Richard Coker	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－

教　　員　　の　　氏　　名　　等

（プラネタリーヘルス学環）※熱帯医学・グローバルヘルス研究科
長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）
(London School of Hygiene & Tropical Medicine)

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	外国	教授相当 Professor	パリー　クリストファー　マーティン Parry　Christopher Martin	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
19	外国	助教相当 Assistant Professor	エドワーズ　タンジー Edwards Tansy	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Assistant Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
20	外国(調)	助教相当 Assistant Professor	マチヤマ　カズヨ 町山　和代	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Assistant Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－
21	外国(調)	助教相当 Assistant Professor	アイ　ミロシェビッチ Ai Milojevic	－	PhD	－	(研究指導)	－	－	－	Assistant Professor of London School of Hygiene & Tropical Medicine	－

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	3 人	3 人	5 人	9 人	2 人	22 人	
	修　士	人	人	1 人	1 人	人	人	人	2 人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	7 人	5 人	2 人	人	人	14 人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	1 人	1 人	1 人	人	人	人	3 人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	1 人	11 人	9 人	7 人	9 人	2 人	39 人	
	修　士	人	人	1 人	1 人	人	人	人	2 人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	